

北海道立帯広美術館年報
平成19年－20年度

北海道立帯広美術館年報
平成19年－20年度



目 次

目 次	3
展覧会事業	
平成19-20年度コレクション・ギャラリー一覧	4
プリントアートの冒険	5
十勝の新時代 X 梅田マサノリ展	7
アートな動物園	10
美術家たちの自然図譜	12
色のいろいろ：カラフル・アート・ボックス	14
ミステリアス・ゾーンへの招待	15
オビビ創作アトリエ	17
平成19-20年度特別展一覧	22
ヨーロッパ絵画展	24
美しさへの挑戦	28
北の風土と四季の彩り	39
オランダ絵本作家展	43
パリそぞろ歩き	54
遠き道展	59
五味太郎作品展[絵本の時間]	65
もじ・モジ・文字展	71
フロンティア～道東美術の現在～	76
絵画と写真の交差	80
教育普及事業	
美術講演会	90
特別展セミナー	91
ギャラリー・ツアー	92
おすすめ1点トーク	92
トークショー	93
ワークショップ	94
ミュージアム・カレッジ	95
映写室	96
技法講座	97
ミュージアム・ミステリー	98
キッズ・ミュージアム	100
芸術週間	102
サマー・ミュージアム	103
団体オリエンテーション	104
博物館実習	105
移動美術館	107
コンサート	109
その他	110
美術作品の収集	
平成19年度作品収集状況	116
受託	116
平成20年度作品収集状況	117
受贈	117
図版目録	118
美術作品の貸出	122
特別観覧	124
貸館事業	124
名簿	125
館内案内図	126
建築概要	127
設備概要	127
沿革	128
観覧者数一覧	129



展覧会事業

平成19年度コレクション・ギャラリー一覧

No.	展覧会名	会期	開催日数
1	プリントアートの冒険	4月20日(金)～8月1日(水)	82
2	十勝の新時代X 梅田マサノリ展	8月10日(金)～11月14日(水)	76
3	アートな動物園	11月22日(木)～3月26日(水)	96

平成20年度コレクション・ギャラリー一覧

No.	展覧会名	会期	開催日数
1	美術家たちの自然図譜 ～風、光、そして生命～ いのち	4月11日(金)～6月15日(日)	54
2	色のいろいろ：カラフル・アート・ボックス	6月20日(金)～9月3日(水)	65
3	ミステリアス・ゾーンへの招待	9月12日(金)～11月12日(水)	54
4	オビビ創作アトリエ ～折り紙建築と石ころアートの世界～	11月21日(金)～3月25日(水)	98

プリントアートの冒険

会期＝平成19年 4月20日(金)－ 8月1日(水) 82日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般150(120)円、大学生90(60)円

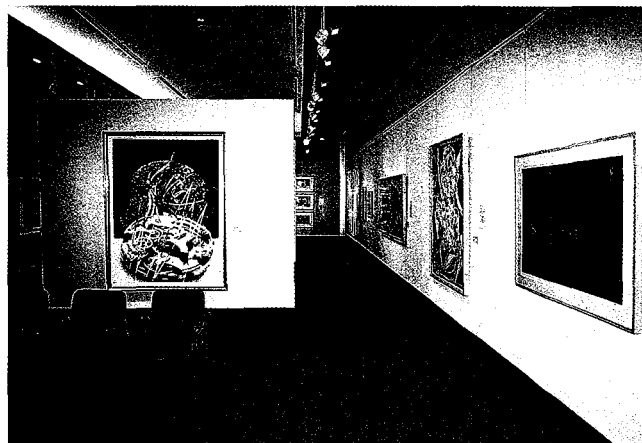
中学生以下・65歳以上の方、および身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日、子どもの日は無料

()内は10名以上の団体料金

現代のプリントアートの分野では、今日、実に多彩な表現が試みられている。カラーコピーやコンピューター制御など新たな技術を利用した作品をはじめ、金属板など意外な素材に版画の技法で絵柄を刷り込んだ作品、写真製版により現実の多様なイメージを導入した作品、身の回りの実物をそのまま版として活用した作品、複数制作にとらわれることなく作られたモノタイプ作品などのほか、それまでの版画の常識を超えた大画面の作品や立体的な作品など、既成の概念にとらわれない自由な発想から生み出された作品は、わたしたちの目を楽しく驚かせてくれる。

本展では、このような今日のプリントアートの多様な世界の一端を、当館が所蔵する日本やアメリカの現代作家の作品で紹介した。



会場風景

出品目録

No	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)
1	池田 緑	Silent Breath サホロの7ヶ月 /12ヶ月 /21ヶ月 /24ヶ月	2001(平成13)～ 2002(平成14)	インクジェット・プリント、紙	各58.2×33.5 (14点組)
2	一原有徳	スパナー	1980(昭和55)	熱版、紙	38.2×32.2
3	一原有徳	A, mi, SON2	1986(昭和61)	インク、アクリルミラー	63.4×100.5
4	一原有徳	SU90	1990(平成2)	熱版、蛍光塗料、ステンレス	80.0×60.0
5	一原有徳	SU(SON)	1990(平成2)	熱版、蛍光塗料、インク、ステンレス	80.0×60.0
6	一原有徳	タガネ9		タガネ、インク、鉛	77.6×47.8
7	大浦一志	杉並区阿佐ヶ谷南3丁目23-13 ～普賢岳(川は水を必要としていた)	1994(平成6)	ミクストメディア(土、石、灰、木、合成樹脂、印画紙)	169.0×225.0
8	國安孝昌	Wind Field Project	1994(平成6)	コピー、鉛筆、紙	各35.2×52.2(15点組)
9	渋谷栄一	7-B	1995(平成7)	モノクロコピー、色鉛筆、紙	60.7×60.7
10	渋谷栄一	7-D	1995(平成7)	モノクロコピー、色鉛筆、紙	60.6×60.6
11	渋谷栄一	H8-A	1996(平成8)	凹版凸版、透明水彩、紙	81.0×81.0
12	渋谷栄一	H8-C	1996(平成8)	凹版凸版、透明水彩、紙	40.7×40.4
13	渋谷栄一	H8-D	1996(平成8)	凹版凸版、透明水彩、紙	40.7×40.5
14	渋谷栄一	H8-F	1996(平成8)	凹版凸版、透明水彩、紙	40.7×41.0
15	島 州一	新聞紙に新聞紙	1974(昭和49)	シルクスクリーン、新聞紙	82.0×55.0
16	島 州一	新聞紙に泥のプリント	1976(昭和51)	シルクスクリーン、新聞紙	81.5×54.5
17	出店久夫	私風景、過去—2000—未来 No. II	2000(平成12)	モノクロコピー、ゼラチンシルバープリント、調色剤、手彩色	182.2×228.8×9.0
18	中谷有逸	碑(鐸)	1976(昭和51)	凹凸併用版、紙	59.0×39.5
19	中谷有逸	碑(十字軍の妻たちのために)	1978(昭和53)	凹凸併用版、紙	45.2×57.1
20	中谷有逸	碑(団長夫人)	1984(昭和59)	凹凸併用版、紙	62.2×40.5
21	中谷有逸	碑(蝕)	1986(昭和61)	凹凸併用版、紙	59.7×40.6

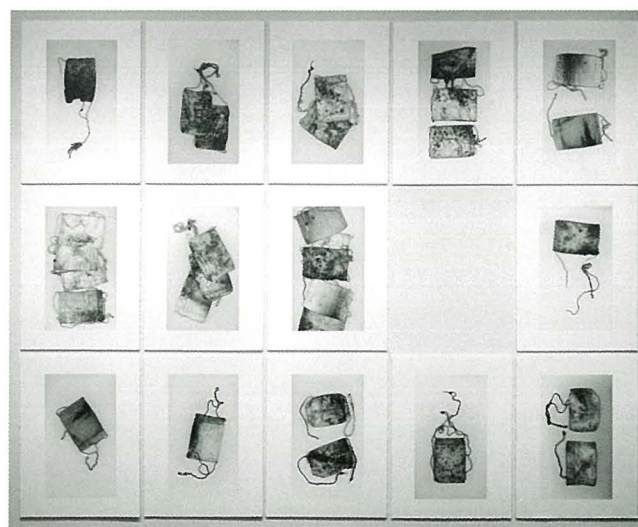
No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)
22	中谷有逸	碑(見えざりし者たち)	1988(昭和63)	凹凸併用版、紙	38.8×58.2
23	中谷有逸	碑(柔らかい重なり)	1988(昭和63)	凹凸併用版、紙	42.5×64.2
24	中谷有逸	碑(出エジプト)	1989(平成元)	凹凸併用版、紙	32.5×59.8
25	中谷有逸	碑(結果)	1990(平成2)	凹凸併用版、紙	58.3×40.2
26	長谷川哲	HOME 1997-2	1997(平成9)	写真、印画紙	86.3×148.5
27	森村泰昌	野菜涅槃(若冲)	1990(平成2)	カラー写真プリント、印画紙	185.3×100.1
28	矢柳 剛	みえる鏡を拒否する鏡	1972(昭和47)	シルクスクリーン、鏡、紙	78.0×103.5
29	横尾忠則	葬列Ⅱ	1969(昭和44)／ 再制作：1985(昭和60)	シルクスクリーン、アクリルプレート	75.2×114.0×9.5
30	デイヴィッド・ホックニー	グランド・キャニオンの北側を見る 1982年9月アリゾナ	1982	フォト・コラージュ(写真、印画紙)	114.0×252.7
31	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によくこそ》 タイム・ゾーンの日没	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペー パー・パルプ(着彩手漉き紙)	201.9×147.3
32	ジョージ・シーガル	前向きの二人の人物	1975	エッチング、アクアチント、紙	85.0×126.5
33	フランク・ステラ	スワン・エンゲレイヴィング、ブ ルー、グリーン、グレー	1985	ミクストメディア(エッチング、レリーフプリント、紙)	169.0×133.0

*寸法は縦×横、または縦×横×奥行。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



横尾忠則「葬列Ⅱ」



池田緑「Silent Breath サホロの7ヶ月／12ヶ月／21ヶ月／24ヶ月」

十勝の新時代X 梅田マサノリ展

会期＝平成19年8月10日(金)～11月14日(水) 76日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般150(120)円、高大生90(60)円

中学生以下・65歳以上の方および身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日無料

芸術週間(11/1～11/7)は観覧無料

()内は10名以上の団体料金

関連事業

トークショー

『『バランスの代償』について』

講師＝梅田マサノリ氏(現代美術作家)

日時＝8月12日(日) 午後2時～4時

会場＝当館コレクション・ギャラリー(要観覧券)

アート・パフォーマンス

「たゆたう」

出演＝伽井丹彌氏(人形作家・舞踊家)、梅田マサノリ氏(現代美術作家)

日時＝11月4日(日) 午後3時～4時

会場＝当館コレクション・ギャラリー(要観覧券)

図録

規格＝27.0×21.5cm／総頁数24ページ

構成＝あいさつ／菌部容子「静謐と不穏とー『バランスの代償』」
／作品図版／梅田マサノリ略年譜／出品リスト

関連記事

成田融「絵画や大型円柱も『十勝の新時代X 梅田マサノリ展』」
十勝毎日新聞／8月8日

成田融「暑い夏・・・静かで涼しく美術鑑賞いかが？」十勝
毎日新聞／8月9日

菌部容子「十勝の新時代X 梅田マサノリ展①～⑤」十勝毎日
新聞／9月10日～14日

成田融「踊り 音 映像」十勝毎日新聞／10月26日

成田融「現代美術と舞踊パフォーマンス」十勝毎日新聞／11月
5日

野口洸「ダンス、映像で幻想的アート」北海道新聞(夕刊・十
勝帯広版)／11月6日



M A S A N O R I U M E D A

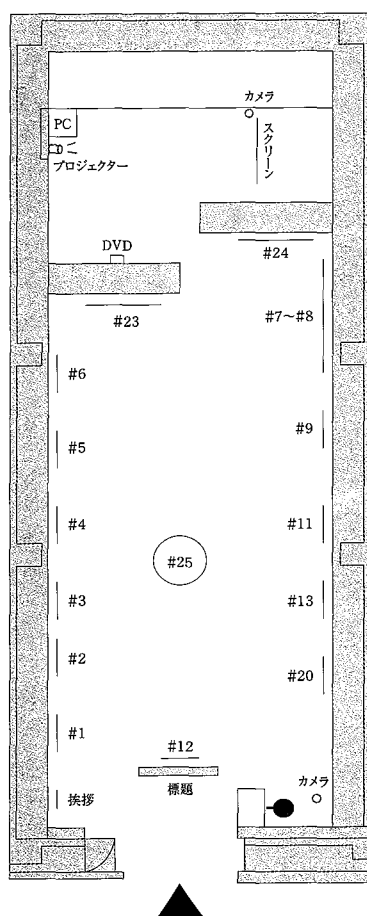
図録



会場風景

本展は、現在および今後の活躍が期待される十勝ゆかりの作家に着目し、個展形式でその制作活動の現況を紹介するシリーズ企画「十勝の新時代」の第10回展として開催された。シリーズ最後を飾る10回目は、帯広在住の現代美術作家・梅田マサノリを取り上げた。梅田は1958年帯広市に生まれ、北海道東海大学デザイン学科を卒業。在学中は荒井善則に学んだ。その後、帯広を拠点にパフォーマンスや平面作品、インスタレーションなど、ジャンルを超えた活躍を続けてきた。近年は、環境をテーマにした作品や、生と死を見詰めた作品、あるいは他者との関わりを素材としたインタラクティブ・アートに取り組んでいる。

本展では、アクリル絵具にさまざまな素材を混ぜた平面作品を中心に、回転する円柱状の作品や、インターネットに接続したインタラクティブ・アートも展示。具象と抽象の間を行き来しながら、静謐な中にどこか不穏を宿した梅田マサノリの世界を紹介した。会期中は、作家自身によるトークショーのほか、舞踊家・人形作家の伽井丹彌氏とのコラボレーションによるパフォーマンスを行うなど、作品および作者への理解を深める機会を設けた。3ヶ月あまりの会期中、6,421人に及ぶ幅広い層の来場者を迎えた。



展示図面

出品目録

No.	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先
1	compensation of balance #1	1991	ミクストメディア、パネル	73.1×103.3	作者
2	compensation of balance #3	1991	ミクストメディア、キャンバス	72.0×50.8	作者
3	compensation of balance #4	1992	ミクストメディア、キャンバス	72.8×91.0	作者
4	compensation of balance #7～ #8	1992	ミクストメディア、パネル	(右) 102.0×152.5 (左) 101.7×152.2	作者
5	compensation of balance #5	1993	ミクストメディア、キャンバス	91.2×116.6	作者
6	compensation of balance #2	1995	ミクストメディア、キャンバス	72.7×51.5	作者
7	compensation of balance #6	1995	ミクストメディア、キャンバス	90.8×99.8	作者
8	compensation of balance #9	1998	ミクストメディア、キャンバス	91.0×117.0	作者
9	compensation of balance #11	1998～2006	ミクストメディア、キャンバス	162.0×130.5	作者
10	compensation of balance #12	1999	ミクストメディア、キャンバス	130.5×162.0	作者
11	compensation of balance #13	2002	ミクストメディア、紙	117.0×90.9	作者
12	compensation of balance #20	2002	ミクストメディア、板	91.5×118.1	作者
13	compensation of balance #23	2007	ミクストメディア、パネル	89.0×180.3	作者
14	compensation of balance #24	2007	ミクストメディア、パネル	89.0×180.6	作者
15	compensation of balance #25	2007	ミクストメディア	310.0×420.3(画面サイズ)	作者
16	陰の領域	2007	インタラクティブ・アート		

*寸法は平面作品は縦×横。



「compensation of balance #1」



「compensation of balance #23」

アートな動物園

会期＝平成19年11月22日(木)－平成20年 3 月26日(水)
96日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般150(120)円、高大生90(60)円
中学生以下・65歳以上の方および身障者手帳をお持ちの方などは無料
高校生は毎週土曜日無料
()内は10名以上の団体料金

当館の所蔵作品より、鳥や野獣、想像上の生き物など、動物をモチーフとした作品、9作家の27点を紹介した。

会場は三つのコーナーからなる。最初のコーナー「矢柳剛のアニマルワールド」では、十勝出身の美術家・矢柳剛のカラフルな油彩画や版画を展示。次いで「ぶきみないきもの」では、実際には存在しない幻想的な生物をテーマに、佐藤克教・多賀新・渋谷栄一といずれも十勝出身の3名の版画家の作品を紹介。最後の「伝説の鳥たち」は、ローゼンクイストや磯辺行久など、鳥をモチーフにした多彩な作品により構成した。



会場風景

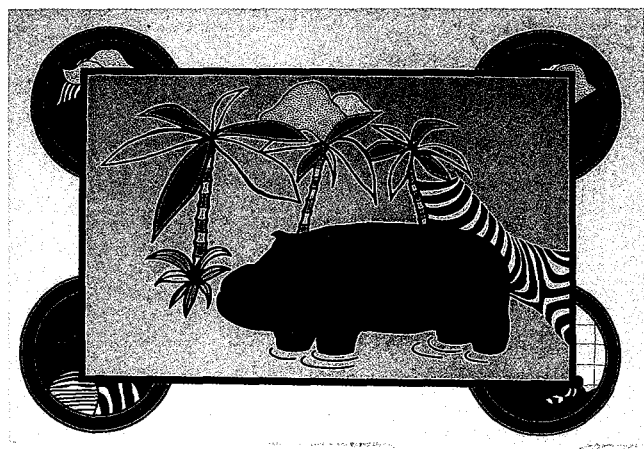
出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)
1	ポール・コラン	W公園	1935	リトグラフ、紙	80.0×60.0
■矢柳剛のアニマルワールド					
2	矢柳 剛	太陽に向かって走れ	1979(昭和54)	シルクスクリーン、紙	27.0×89.8
3	矢柳 剛	宇宙人からのメッセージ	1979(昭和54)	シルクスクリーン、紙	23.9×91.0
4	矢柳 剛	愛の動物誌(A)	1971(昭和46)	シルクスクリーン、紙	40.5×72.5
5	矢柳 剛	愛の動物誌(J)	1972(昭和47)	シルクスクリーン、紙	49.0×73.5
6	矢柳 剛	生命のバランス	1983(昭和58)	油彩、リキテックス、キャンバス	162.0×130.5
7	矢柳 剛	最後の晚餐	1985(昭和60)	シルクスクリーン、紙	51.1×72.8
8	矢柳 剛	古事記Ⅱ	1976(昭和51)	油彩、アクリリック、キャンバス	162.0×130.7
9	矢柳 剛	愛の動物誌 シマウマ カバ ワニ ラクダ カメ	1976(昭和51)	油彩、シルクスクリーン、板、タイル	168.8×82.6
■ぶきみないきもの					
10	佐藤克教	土色の午後	2001(平成13)	木版、紙	75.0×103.0
11	佐藤克教	不毛の翳り	2000(平成12)	木版、紙	73.0×90.5
12	佐藤克教	土色の午後	2002(平成14)	木版、紙	158.9×158.1
13	多賀 新	魚 No. 2(食傷)	1978(昭和53)	エッチング、ルーレット、紙	26.7×36.5
14	多賀 新	魚 No.17(シーラカンス)	1979(昭和54)	エッチング、アクアチント、紙	36.5×60.0
15	多賀 新	太古の夢(ユニコーン)	1993(平成5)	エッチング、アクアチント、紙	36.5×23.1
16	渋谷栄一	Animal F	1986(昭和61)	シュガーアクアチント、エッチング、コラージュ、紙	66.3×40.5
17	渋谷栄一	Animal G	1986(昭和61)	シュガーアクアチント、エッチング、コラージュ、紙	68.8×36.1
18	渋谷栄一	モニュマンH	1979(昭和54)	シュガーアクアチント、エッチング、紙	61.3×38.4
19	渋谷栄一	モニュマンF	1979(昭和54)	シュガーアクアチント、エッチング、紙	56.4×41.4
20	渋谷栄一	モニュマンC	1979(昭和54)	シュガーアクアチント、エッチング、紙	55.3×40.1

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)
■伝説の鳥たち					
21	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこ》楽園の鳥が温水の惑星に接近する	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・バルブ(着彩手漉き紙)	246.4×214.6
22	磯辺行久	江戸障壁	1965(昭和40)	ミクストメディア(シルクスクリーン、レリーフプリント、紐、アクリル板、木、紙)	200.2×299.0
23	手島圭三郎	しまふくろうとやどり木	1988(昭和63)	木版、紙	53.0×75.0
24	手島圭三郎	しまふくろうの夢・古木	1982(昭和57)	木版、紙	53.0×75.0
25	手島圭三郎	しまふくろう・なく	1990(平成2)	木版、紙	53.0×75.0
26	中谷有逸	鳥の碑(二)	1964(昭和39)	木版、紙	79.0×54.7
27	中谷有逸	鳥の碑(土)	1963(昭和38)	木版、紙	79.0×54.7

*寸法は縦×横。

*作品は全て北海道立帯広美術館蔵。



矢柳剛「愛の動物誌(A)」



ポール・コラン「W公園」

美術家たちの自然図譜 いのち ～風、光、そして生命～

会期＝平成20年 4月11日(金)－ 6月15日(日) 54日間
 主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下・65歳以上の方、および身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は、毎週土曜日、子どもの日は無料

()内は10名以上の団体料金

季節の風や輝く光のなかで、美術家たちは豊かな自然のいと
 なみをとらえてきた。その眼差しは、そこに育まれる木々や動
 物たち、水辺や雲などが見せるさまざまな表情に向けられ、あ
 る時は雄大なスケールの山河への驚きやあこがれとなって、あ
 るいは、何気ない草花への愛おしい感情となって、美術家たち
 を制作に駆り立ててきた。

この展覧会では、こうした美術家たちの眼差しを、主に道東
 ゆかりの画家と19世紀フランス、バルビゾン派の画家による、
 油彩画や日本画、水彩画、写真などで紹介し、自然との関わり
 から美術を楽しむ機会とした。



会場風景

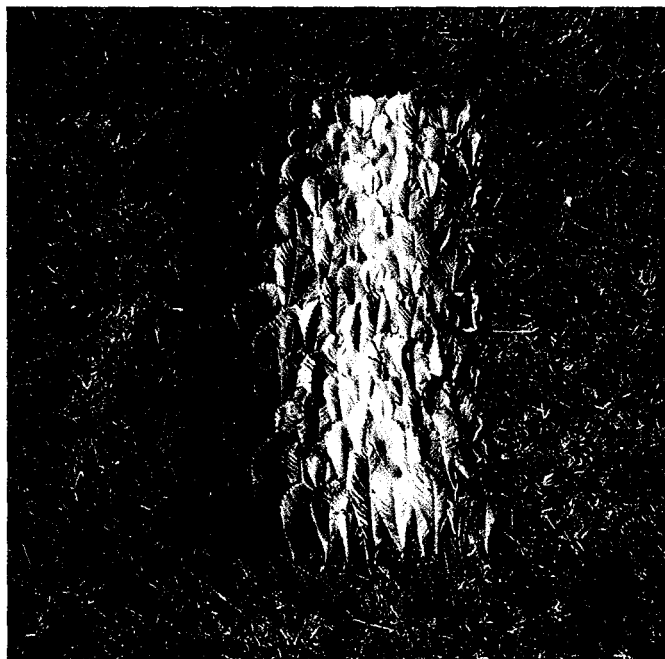
出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	小林満枝	春夕焼Ⅱ	1991(平成3)	紙本彩色	116.7×80.3
2	小林満枝	水辺	1977(昭和52)	紙本彩色	96.8×145.4
3	高坂和子	叢・秋の幻影	2004(平成16)	油彩・キャンバス	130.7×162.1
4	高坂和子	晩夏のレクイエム	1980(昭和55)	油彩・キャンバス	130.7×162.1
5	一原有徳	木の葉(檜)	—	木の葉版・紙	18.5×32.0
6	一原有徳	木の葉(辛夷)	—	木の葉版・紙	14.5×27.6
7	一原有徳	木の葉(柏)	—	木の葉版・紙	18.6×12.0
8	榎原武正	日の出	1975(昭和50)	油彩・キャンバス	165.0×132.5
9	田中 良	そよぐ	1997(平成9)	油彩・キャンバス	162.1×130.5
10	ニルス＝ウド	マロニエの葉／フランス、オート＝ソーヌ県、エクヴィレイ、1985年	1985	イルフォクローム	74.3×74.4
11	ニルス＝ウド	ロードデンドロンの葉、松葉／フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖、1987年	1987	イルフォクローム	99.9×99.7
12	ニルス＝ウド	氷面、シダの葉／フランス、リムーザン地方、ヴァシヴィエール湖、1987年	1987	イルフォクローム	99.8×99.8
13	能勢眞美	涼夏	1972(昭和47)	油彩・キャンバス	96.8×145.5
14	能勢眞美	みどりが丘付近	1961(昭和36)	水彩・紙	19.5×36.3
15	能勢眞美	卯月	1967(昭和42)	水彩・紙	31.5×48.5
16	能勢眞美	木々	1967(昭和42)	水彩・紙	44.5×51.5
17	繁野三郎	千島風物	1944(昭和19)頃	水彩、インク・紙	18.7×26.9
18	伊藤隆二	初秋	1935(昭和10)	油彩・キャンバス	80.7×116.8
19	八嶺一郎	隼平の風景	1956(昭和31)	油彩・キャンバス	50.0×60.6
20	竹山義雄	早春山野	1978(昭和53)	油彩・キャンバス	130.6×162.0
21	長尾栄三	樹苑の秋	1966(昭和41)	油彩・キャンバス	130.3×162.2
22	アルフレッド・ド・クニフ	春の水辺	1875頃	油彩・キャンバス	75.0×150.4
23	ジュール・デュプレ	水飲み場	19世紀後半	パステル・紙	80.0×98.8
24	カール・ボドメール	鹿の呼び声	19世紀後半	油彩・キャンバス	101.0×81.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
25	カール・ボドメール	鳥の水場	19世紀後半	リトグラフ・紙	48.8×34.4
26	レオンス・シャブリ	牧場と木々	1873	油彩・キャンバス	32.0×47.5
27	フランソワ＝ルイ・フランセ	風景一丘陵の牛	1859	パステル・紙	54.7×82.6
28	ウジェーヌ＝アントワーヌ・ラヴィエイユ	村の眺め	19世紀後半	油彩・板	32.8×56.0
29	アルフレッド・ブリッケ	狼溪谷 フォンテーヌブローの森	1863/1865	鶏卵紙プリント	17.7×24.0
30	シャルル・ファマン	〈樹木〉	1874頃	鶏卵紙プリント	25.9×19.5
31	アシーユ・キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5×25.0
32	シャルル・ファマン	〈牛〉	1874頃	鶏卵紙プリント	11.7×16.7

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



ニルス＝ウド「マロニエの葉／フランス、オート＝ソーヌ県、
エクヴィレイ、1985年」



田中良「そよぐ」

色のいろいろ：カラフル・アート・ボックス

会期＝平成20年 6 月20日(金)－ 9 月 3 日(水) 65日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下・65歳以上の方および身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日無料

()内は10名以上の団体料金

美術作品には、たくさんの色が使われている。色彩と形態、つまり色と線は、昔から作品を構成するふたつの主要な要素と考えられてきたのである。本展では、「色」に注目して、当館コレクションの中から「多彩」な作品を紹介した。

色の移ろい、グラデーションに着目して作品にした百瀬寿や、人も風景もすべてを虹色のスペクトルに変化させて表現した鬘嘯。あるいは、自然の中に潜む美しい色彩をすくいにとって作品にするニルス＝ウドや、身近な品々をどぎついまでの色づかいで描くことで、みる者に新たな視点を促すローゼンクイスト。これらの作品は、美術における色の持つ力に改めて気付かせてくれるのではないだろうか。

明るい色、暗い色、暖かい色、冷たい色、微妙な色調の変化、鮮やかな色彩の対比……。さまざまな色の饗宴を楽しんでもらう機会とした。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	鬘嘯	オープニング或いは再び田園	1992(平成4)	シルクスクリーン・紙	各105.0×157.0 (2点組)
2	檜原武正	無題	1984(昭和59)	塗料、釘、針金・トタン板	170.0×170.0
3	神田日勝	画室 D	1967(昭和42)	油彩・板	163.3×183.0
4	一原有徳	A, mi, SON2	1986(昭和61)	インク・アクリルミラー	63.4×100.5
5	一原有徳	A, mi, SON(a)	1986(昭和61)	インク・アクリルミラー	54.0×86.0
6	渋谷栄一	5-A	1993(平成5)	カラーコピー・紙	27.9×142.6
7	寺島春雄	赤の原野	1959(昭和34)	油彩・キャンバス	131.3×194.3
8	磯辺行久	江戸障壁	1965(昭和40)	ミクストメディア(シルクスクリーン、レリーフプリント、紐、アクリル板、木、紙)	200.2×299.0
9	百瀬 寿	Square-Metallic Yellow and Silver	1984(昭和59)	シルクスクリーン・紙	90.0×90.0
10	百瀬 寿	Square-Metallic Green and Violet	1984(昭和59)	シルクスクリーン・紙	90.0×90.0
11	百瀬 寿	Square-Vertical Blue to Magenta	1981(昭和56)	スクエナグラフ(NECO)・キャンバス	180.0×180.2
12	奥野稔和	94D-Museum-N-2	1994(平成6)	タイプC プリント・印画紙	119.5×137.0
13	ジョージ・シーガル	前向きの二人の人物	1975	エッチング、アクアチント・紙	85.0×126.5
14	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこ》スカイ・ホール	1989	リトグラフ、コラージュ・着彩手漉き紙(カラー・プレスト・ペーパー・パルプ)	259.7×148.6
15	ジェームズ・ローゼンクイスト	火の家	1989	リトグラフ、コラージュ・着彩手漉き紙(カラー・プレスト・ペーパー・パルプ)	138.4×304.2
16	ニルス＝ウド	マロニエの葉／フランス、オート＝ソーヌ県、エクヴィレイ、1985年	1985	イルフォクローム	74.3×74.4

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。

ミステリアス・ゾーンへの招待

会期＝平成20年 9 月12日(金)－11月12日(水) 54日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円
中学生以下・65歳以上の方および身障者手帳をお持ちの方などは無料
高校生は毎週土曜日無料
芸術週間(11/1～11/7)は観覧無料
()内は10名以上の団体料金

美術家たちはおのおの独自の技法を生み出しながら、自らが思い描くイメージを作品として具現化してきた。この展覧会では9作家の不可思議ともいえる作品世界を、「宇宙」「大地」「異界」になぞらえながら紹介した。

奥に深い構造の展示室を、可動壁によって三つに分割。一番手前の区画「宇宙のかなた」は、鮮やかな色彩と細やかな筆触によって無限の宇宙の広がりを描いた森健二らを展示。二番目のコーナー「大地のふち」は、金属板におかれたインクの形象をそのまま刷り取るモノタイプ版画によってどことも知れない風景を現出させた一原有徳らを紹介。最奥のスペース「異界の扉」は、写真画像を複写しコラージュすることで現実と虚構の入り混じる私的な世界を生み出した出店久夫らで構成した。



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)
■宇宙のかなた					
1	森 健二	光年の導「道」	1983(昭和58)	油彩、キャンバス	130.0×162.0
2	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によくこそ》 水のゆくえ	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・パルプ(着彩手漉き紙)	261.0×147.3
3	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によくこそ》 スカイ・ホール	1989	リトグラフ、コラージュ、カラード・プレスト・ペーパー・パルプ(着彩手漉き紙)	259.7×148.6
4	渋谷栄一	H 8 - A	1996(平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	81.0×81.0
5	渋谷栄一	H 8 - B	1996(平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	81.7×122.7
6	渋谷栄一	H 8 - C	1996(平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	40.7×40.4
7	渋谷栄一	H 8 - D	1996(平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	40.7×40.5
8	渋谷栄一	H 8 - F	1996(平成8)	凹版凸刷、透明水彩、紙	40.7×41.0
■大地のふち					
9	一原有徳	Z O M 8 8	1988(昭和63)	モノタイプ(アルミ版)、鳥の子紙	151.0×425.0
10	寺島春雄	凶斑	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	130.8×162.4
11	寺島春雄	深淵の声	1961(昭和36)	油彩、キャンバス	130.7×162.5
12	池田良二	Space of foggy ocean (海霧の空間)	1990(平成2)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	113.5×179.7
13	池田良二	Time of frozen ground (凍土の時)	1990(平成2)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	114.0×180.0

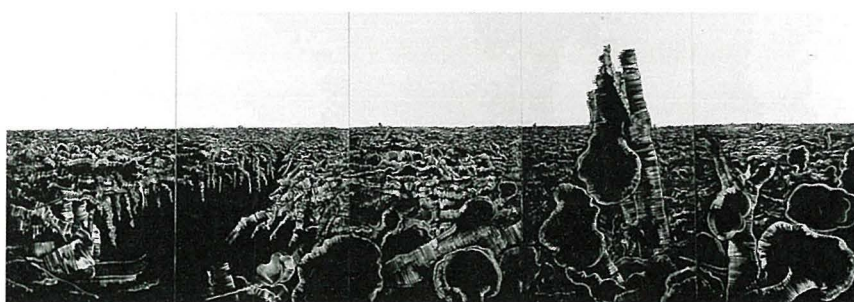
No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)
■異界の扉					
14	多賀 新	飛来	1977(昭和52)	エッチング、アクアチント、紙	48.0×36.5
15	多賀 新	三界	1977(昭和52)	エッチング、紙	36.5×21.5
16	多賀 新	魚 No.2 (食傷)	1978(昭和53)	エッチング、ルーレット、紙	26.7×36.5
17	多賀 新	棲遅	1986(昭和61)	エッチング、アクアチント、紙	50.0×36.5
18	多賀 新	風天	1986(昭和61)	エッチング、紙	45.5×36.5
19	多賀 新	落飾	1988(昭和63)	エッチング、紙	36.5×24.0
20	多賀 新	伝承	1988(昭和63)	エッチング、アクアチント、紙	36.5×23.7
21	多賀 新	バイオリニスト I	1992(平成4)	エッチング、紙	33.0×36.5
22	多賀 新	太古の夢 (ユニコーン)	1993(平成5)	エッチング、アクアチント、紙	36.5×23.1
23	多賀 新	スフィンクス (土方巽氏に捧ぐ)	2000(平成12)	フォトエッチング、紙	30.5×44.5
24	出店久夫	私風景 '94 - 少女図	1994(平成6)	ゼラチンシルバープリント、写真用染料、調色剤、色鉛筆、手彩色	253.5×244.0 ×厚さ5.1
25	佐藤克教	愚者の船 (一)	1995(平成7)	木版、紙	166.0×128.0
26	佐藤克教	愚者の船 デッサン	1995(平成7)頃	インク、鉛筆、紙	51.8×39.5
27	佐藤克教	愚者の船 デッサン	1995(平成7)頃	インク、鉛筆、紙	54.7×39.4
28	佐藤克教	愚者の船 デッサン	1995(平成7)頃	インク、鉛筆、紙	54.6×39.3
29	佐藤克教	愚者の船 デッサン	1995(平成7)頃	インク、鉛筆、紙	45.5×39.2
30	佐藤克教	愚者の船 デッサン	1995(平成7)頃	インク、鉛筆、紙	54.5×39.3
31	佐藤克教	愚者の船 デッサン	1995(平成7)頃	インク、鉛筆、紙	54.5×39.1
32	佐藤克教	愚者の船 デッサン	1995(平成7)頃	インク、鉛筆、紙	59.5×39.5
33	佐藤克教	愚者の船 デッサン	1995(平成7)頃	インク、鉛筆、紙	42.8×32.0

*寸法は縦×横。

*作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



森健二「光年の導『道』」



一原有徳「ZOM88」

オビビ創作アトリエ オリガミック・アーキテクチャー ～折り紙建築と石ころアートの世界～

会期＝平成20年11月21日(金)－平成21年 3月25日(水)
98日間

主催＝北海道立帯広美術館、帯広美術館振興会

観覧料＝一般170(140)円、高大生100(70)円

中学生以下・65歳以上の方および身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日無料

()内は10名以上の団体料金

美しいものを見ると、作りたくなる。そんな創作意欲と美術鑑賞を結びつける工作室付体験型展覧会として開催。

展示構成は、折り紙建築の創始者茶谷正洋(ちやたに・まさひろ)と、自然石彩色意匠の片岡朱央(かたおか・しゅおう)による作品展示を核に、関連作家のワークショップはじめ、それぞれの展示に対応した自由参加の創作体験コーナー「工作コーナーⅠ〈折り紙建築「顔の名刺」〉」「工作コーナーⅢ〈あなたも石ころアーティスト〉」を設けたほか、毎週日曜日限定でボランティア・スタッフがサポートする「工作コーナーⅡ〈折り紙建築 入門編〉」を実施するなど、鑑賞者が創作体験を通して美術に親しみ理解を深めることを企図した。

会期中、幼児から大人まで幅広い階層の6,467人が来場し、ほとんどの観覧者が工作コーナーに立ち寄り、工作を体験していた。また、工作コーナーの案内に関わったボランティア・スタッフ、延べ約80名が来館者と交流しながらの活動も、親しみのもてる展覧会の雰囲気合致するものであった。

関連事業

ワークショップ

「石ころアート作りのたのしみ」

講師＝片岡朱央氏(手描き友禅染め模様師／自然石彩色意匠)

日時＝10月4日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(参加無料、応募制)

折り紙建築ワークショップ

「作ろう！日本・世界の名建築」

講師：茶谷正洋氏(折り紙建築家)

日時：11月29日(土) 午後2時～4時

会場：当館講堂(参加無料、応募制)

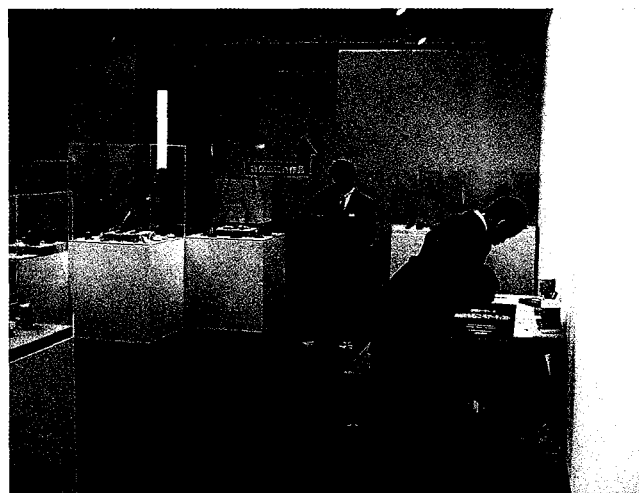
関連記事

成田融「道立帯広美術館 展示作業急ピッチ」十勝毎日新聞／11月19日

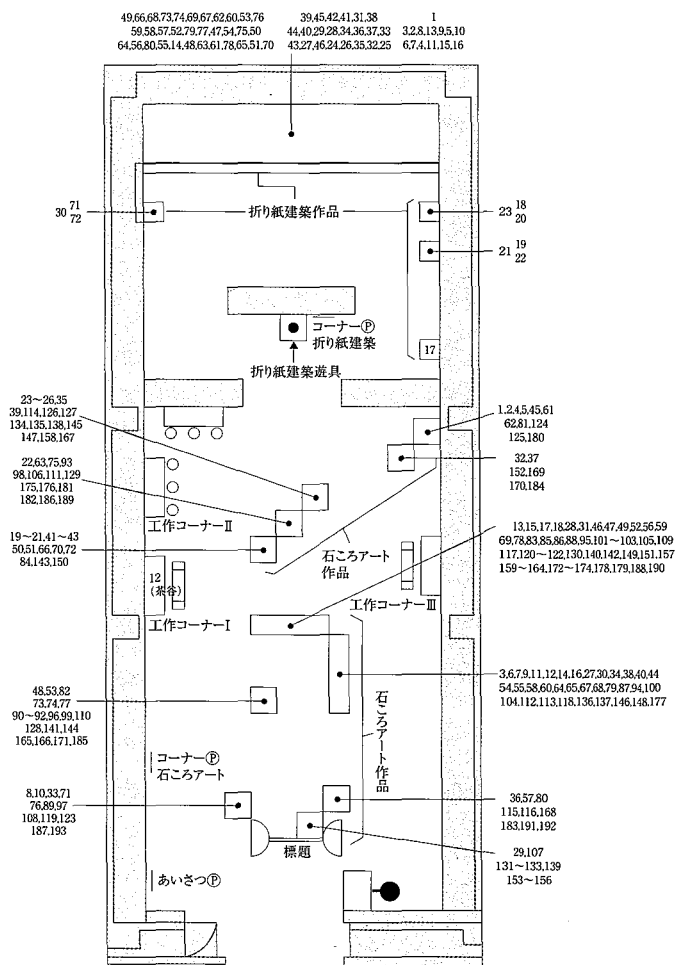
匠王田恵子「朝の食卓 石ころアート」北海道新聞／1月20日

「石ころアート200点」読売新聞／2月25日

守屋裕之「折り紙建築と石ころアートの世界 想像の世界楽しもう」北海道新聞／2月14日



会場風景



展示図面

出品リスト(茶谷正洋)

No.	作品名	地域	建築設計	建築年代	折り紙建築設計制作	制作年	寸法(cm)
1	折紙建築百家展	—	—	—	茶谷正洋	不詳	98.7×7.1×14.8
2	へのへのもへじ	—	—	—	茶谷正洋	1983	14.1×7.1×15.0
3	ヨット	—	—	—	茶谷正洋	1986	14.1×7.1×15.0
4	たこおどり	—	—	—	茶谷正洋	1984	15.0×10.0×10.0
5	かかし	—	—	—	茶谷正洋	不詳	15.0×10.0×10.0
6	寿	—	—	—	茶谷正洋	1983	14.1×7.1×15.0
7	賀	—	—	—	茶谷正洋	1983	14.1×7.1×15.0
8	磯しぎ	—	—	—	茶谷正洋	1983	10.0×10.0×15.0
9	かぶとむし	—	—	—	茶谷正洋	1984	14.1×7.1×15.0
10	無題	—	—	—	茶谷正洋	不詳	14.1×7.1×15.0
11	クリスマスツリー	—	—	—	茶谷正洋	1984	14.1×7.1×15.0
12	顔の名刺	—	—	—	茶谷正洋	1983	7.8×3.9×9.0
13	波(流れ)	—	—	—	茶谷正洋	1983	20.0×14.7
14	カテドラル	—	—	—	茶谷正洋	1983	11.0×7.5×16.0
15	ウェディング・ケーキ	—	—	—	茶谷正洋	1983	15.0×10.0×10.0
16	蜂の巣	—	—	—	茶谷正洋	1983	15.0×10.0×10.0
17	札幌時計台	日本・北海道	W・ホイラー	明治11	茶谷正洋	1999	15.0×9.0×11.0
18	旧函館区公会堂	日本・北海道	小西朝次郎	1910	茶谷正洋	1999	15.0×10.0×10.0
19	旧三井金物店(六花亭ホール Kyu)	日本・北海道	不詳	1912	茶谷重矢	2008	15.0×10.0×10.0
20	函館ハリストス正教会	日本・北海道	河村伊蔵	1916再建	茶谷正洋	1999	15.0×9.0×11.0
21	帯広・双葉幼稚園	日本・北海道	臼田梅	1922	茶谷重矢	2008	15.0×10.0×10.0
22	旧帯広湯(相原求一郎美術館)	日本・北海道	不詳	大正時代	茶谷重矢	2008	15.0×10.0×10.0
23	小樽運河	日本・北海道	不詳	不詳	茶谷正洋	1999	15.0×10.0×10.0
24	釧路フィッシャーマンズワーフ MOO	日本・北海道	毛網毅曠	1989	茶谷正洋	1999	15.0×10.0×10.0
25	札幌市立高等専門学校	日本・北海道	清家清	1995	茶谷正洋	不詳	10.0×15.0×15.0
26	幕張メッセ	日本・千葉県	楨文彦	1989	茶谷正洋	1990	29.0×10.0×2.0
27	国会議事堂	日本・東京都	大蔵省臨時議院建築局	1920～36	茶谷正洋	1983	15.0×10.0×10.0
28	雪ガ谷の家	日本・東京都	清家清	1953	茶谷正洋	2005	20.0×9.0×8.0
29	祐天寺の家	日本・東京都	茶谷正洋	1986	茶谷正洋	1986	15.0×10.0×10.0
30	自由学園明日館	日本・東京都	フランク・ロイド・ライト / 遠藤新	1926	茶谷正洋	2005	20.0×7.7×7.3
31	フジテレビ本社ビル	日本・東京都	丹下健三	1996	茶谷正洋	1996	18.5×12.0×12.0
32	東京ミッドタウン	日本・東京都	日建設計	2007	茶谷重矢	2007	11.0×16.0×16.0
33	さいたまスーパーアリーナ	日本・埼玉県	日建設計	2000	茶谷正洋	2000	17.0×11.0×11.0
34	球 / 藤沢市湘南台文化センター	日本・神奈川県	長谷川逸子	1990	茶谷正洋	1983/1990	20.0×15.0×8.0
35	川崎市市民ミュージアム	日本・神奈川県	菊竹清訓	1988	茶谷重矢	2008	15.0×10.0×10.0
36	横浜ベイブリッジ	日本・神奈川県	建設省	1989	茶谷正洋	1990	20.0×7.5×7.5
37	クイーンズ・スクエア	日本・神奈川県	日建設計	1997	茶谷正洋	1999	15.6×7.8×16.0
38	パシフィコ 横浜	日本・神奈川県	日建設計	2001	茶谷正洋	2001	11.0×16.5×16.5
39	富士山	日本・静岡県・山梨県	—	—	茶谷正洋	1989	20.0×7.5×7.5
40	東大寺大仏殿	日本・奈良県	不詳	758	茶谷正洋	1993	15.0×10.0×10.0
41	京都女子大学・錦華殿	日本・京都府	不詳	大正時代	茶谷正洋	2000	15.0×16.0×16.0
42	京都迎賓館	日本・京都府	日建設計	2005	茶谷正洋・茶谷重矢	2005	21.0×9.0×9.0
43	伊勢神宮	日本・三重県	不詳	6～7C頃	茶谷正洋	1983	20.0×15.0×7.0
44	姫路城	日本・兵庫県	赤松貞範	桃山時代	茶谷正洋	1984	15.0×10.0×10.0
45	旧甲子園ホテル (武庫川女子大学甲子園会館)	日本・兵庫県	遠藤新	1930	茶谷重矢	2006	22.0×10.2×9.8
46	石谷家住宅	日本・鳥取県	不詳	1919-29	茶谷正洋	2000	16.1×11.0×11.0
47	万里の長城	中国	不詳	B.C.2C頃	茶谷正洋	1992	15.0×10.0×10.0
48	ポタラ宮	中国・チベット自治区	グライラマ5世	1645～94	茶谷正洋	1990	20.0×7.5×7.5
49	ペトロナス・ツインタワー	マレーシア	シーザー・ペリ	1997	茶谷正洋	1999	11.0×15.9×15.9
50	ギザのピラミッド	エジプト	不詳	B.C.26C～24C頃	茶谷正洋	1990	20.0×7.5×7.5
51	アブ・シンベル神殿	エジプト・アスワン	ラムセス2世	B.C.13C頃	茶谷正洋	1992	15.0×12.5×7.5
52	カサブランカ	モロッコ	—	—	茶谷正洋	1983	15.0×10.0×10.0

No.	作品名	地域	建築設計	建築年代	折り紙建築設計制作	制作年	寸法(cm)
53	グレート・ジンバブエ	ジンバブエ	不詳	13C 頃	茶谷正洋	1989	20.0×7.5×7.5
54	パルテノン神殿	ギリシャ・アテネ	イクトノス、カリステス	BC.447~432	茶谷正洋	1983	16.0×11.0×11.0
55	ミコノス	ギリシャ・ミコノス島	—	—	茶谷正洋	1983	15.0×10.0×10.0
56	ノイシュバンシュタイン城	ドイツ・フッセン	クリスチャン・ヤンク	1869~86	茶谷正洋	1987	10.0×15.3×14.7
57	西洋館	オランダ・アムステルダム	—	ヨーロッパ中世	茶谷正洋	1983	16.0×11.0×11.0
58	アムステルダムの街並	オランダ・アムステルダム	—	ヨーロッパ中世	茶谷正洋	1983	16.0×11.0×11.0
59	ボンビドーセンター	フランス・パリ	ジャン・ルイ・リガード・ロベール	1977	茶谷正洋	1990	16.0×11.0×11.0
60	アイガー北壁	スイス	—	—	茶谷正洋	1989	20.0×7.5×7.5
61	ロトンダ	イタリア・ヴァイエンツァ	アンドレア・パラディオ	1567	茶谷正洋	1999	15.0×10.0×10.0
62	アルベロベッロ	イタリア・プーリア	不詳	16C 初頭頃	茶谷正洋	1990	20.1×7.5×7.5
63	リアルト橋	イタリア・ヴェネチア	アントニオ・ダ・ボンテ	1587~91	茶谷正洋	1999	15.0×10.0×10.0
64	サグラダ・ファミリア教会	スペイン・バルセロナ	アントニオ・ガウディ	1884~	茶谷正洋	1999	15.0×10.0×10.0
65	ストーン・ヘンジ	イギリス	不詳	不詳	茶谷正洋	1983	15.0×9.9×9.9
66	ロイズ・オブ・ロンドン	イギリス・ロンドン	リチャード・ロジャース	1986	茶谷正洋	1990	11.0×16.0×16.0
67	ティピー(インディアンの家)	アメリカ・オクラホマ	不詳	13C ~	茶谷正洋	1985	15.0×10.0×10.0
68	マリナシティ	アメリカ・シカゴ	ハートランド・ゴルドバーグ	1962	茶谷正洋	1990	10.0×15.0×15.0
69	グランドキャニオン	アメリカ・アリゾナ	—	—	茶谷正洋	1989	20.0×10.0×3.0
70	ナイアガラの滝	アメリカ・ナイアガラ	—	—	茶谷正洋	1989	20.0×11.5×3.7
71	ロビー邸	アメリカ	フランク・ロイド・ライト	1909	茶谷正洋	1985	20.0×7.4×7.4
72	ライト自邸兼スタジオ	アメリカ・オークパーク	フランク・ロイド・ライト	1889~95	茶谷正洋	1985	15.0×10.0×10.0
73	ハーバード大学カーペンターセンター	アメリカ・マサチューセッツ	ル・コルビジエ	1962	茶谷正洋	1990	15.0×10.0×10.0
74	ゴールデン・ゲート・ブリッジ	アメリカ・サンフランシスコ	ジョセフ・シュトラウス	1937	茶谷正洋	1985	16.0×11.0×11.0
75	プエブロ・デ・タオス	アメリカ・ニューメキシコ	不詳	1350頃	茶谷正洋	2000	15.0×10.0×10.0
76	ダイヤモンド・ヘッド	アメリカ・ハワイ	—	—	茶谷正洋	1985	20.0×7.5×7.5
77	マヤのピラミッド	メキシコ	不詳	7~13C 頃	茶谷正洋	1992	15.0×10.0×10.0
78	マチュピチュ	ペルー	不詳	15C 頃	茶谷正洋	1992	15.0×10.0×10.0
79	モアイ	チリ・イースター島	不詳	11~15C 頃	茶谷正洋	1990	14.1×7.1×15.0
80	シドニー・オペラハウス	オーストラリア・シドニー	ヨハン・ウッツォン	1973	茶谷正洋	1999	20.0×15.0×8.0

※作品の所蔵はすべて作者。

※「折り紙建築設計制作」欄の「茶谷亜矢」は茶谷正洋監修。

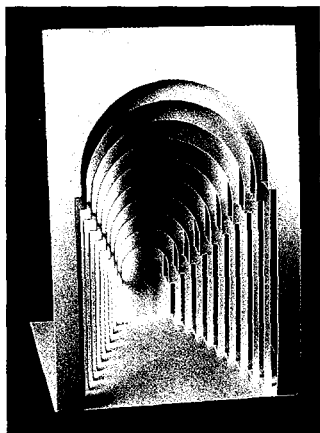
※寸法は縦×横、または幅×奥行×高さ。

出品リスト(片岡朱央)

No	作品名	技法・材質	寸法(cm)
1	紫頭巾 A, B	顔料、石	A103×66×87 B86×68×92
2	ファイアーマン	顔料、石	14.9×9.5×5.7
3	徹子さんとパンダ	顔料、石	9.0×13.4×5.5
4	ドゴール大統領の花咲じじい	顔料、石	9.8×11.2×3.2
5	日本の花咲じじい	顔料、石	8.1×10.5×3.3
6	マンガースと豹	顔料、石	16.4×5.8×4.5
7	猫(好きだからア・ゲ・ル)	顔料、石	7.1×9.5×6.3
8	虎頭	顔料、石	5.0×4.5×2.5
9	犬の横顔	顔料、石	11.0×11.3×2.2
10	コキン鳥	顔料、石	10.5×4.4×3.8
11	カエル親子 A	顔料、石	10.0×9.0×4.7
12	おしどりセット C, E	顔料、石	C160×114×83 E155×70×85
13	赤海亀	顔料、石	12.1×8.7×4.0
14	熊親子	顔料、石	6.7×9.8×7.4
15	岩に蛇	顔料、石	8.5×7.5×6.0
16	悲しいんです(犬) A	顔料、石	6.1×7.7×11.1
17	サメの頭	顔料、石	9.4×6.0×5.2
18	ゾウアザラシ	顔料、石	7.7×6.9×6.7
19	ガイコツ変型	顔料、石	10.1×10.9×6.5
20	お化け A, B, C, F, G	顔料、石	A84×100×39 B67×122 ×48 C52×73×32 F40 ×50×20 G55×110×45
21	おかめヒョットコ A, B	顔料、石	A49×49×24 B47×51×22
22	オモチャ箱 A, B	顔料、石	A73×60×43 B35×38×36
23	トイレスリッパ	顔料、石	13.6×7.0×1.8
24	能面(おかめ)	顔料、石	8.0×10.5×4.0
25	マル・サンカク・シカク A	顔料、石	6.8×7.0×1.8
26	チェックのハンチング	顔料、石	13.4×11.7×5.2
27	鶴亀再会	顔料、石	9.6×8.3×3.5
28	いも虫	顔料、石	8.4×4.3×2.5
29	さつま芋 B	顔料、石	11.5×5.7×2.4
30	犬	顔料、石	10×8.0×3.5
31	恐竜	顔料、石	12.2×6.8×6.1
32	琉球娘	顔料、石	9.5×7.6×7.5
33	オーイかえるよ、俵ねずみ	顔料、石	10.8×4.9×10.3
34	ヘラサギ	顔料、石	6.5×7.0×1.5
35	登山靴	顔料、石	11.8×6.7×11.6
36	茄子に小虫	顔料、石	13.5×9×4.6
37	北国慕情	顔料、石	12.8×5.4×4.0
38	疲れた ゴー	顔料、石	13.5×11.0×7.0
39	桜 娘	顔料、石	9.9×6.2×6.6
40	悲しみの猿	顔料、石	7.3×11.5×7.7
41	河童	顔料、石	15.7×7.1×6.2
42	蛇 姫	顔料、石	14.0×10.7×7.5
43	飛 龍	顔料、石	12.4×9.5×5.0
44	アザラシの別れ	顔料、石	9.6×6.1×4.4
45	タモリさんですよ A, B	顔料、石	7.4×5.8×9.6
46	とぐろのへび	顔料、石	6.1×5.6×3.6
47	ミスジハコカメ	顔料、石	6.6×13.9×7.1
48	犬 きものうでわ	顔料、石	10.4×5.5×5.5
49	かぶとむし幼虫	顔料、石	6.9×5.9×2.5
50	龍	顔料、石	13.5×9.7×7.3
51	愛は不滅です 骨マデー	顔料、石	9.5×8.5×5.0
52	錦鯉	顔料、石	11.5×4.5×4.5
53	モズの子	顔料、石	5.7×5.3×3.7
54	ハイイロペリカン	顔料、石	11.3×5.8×3.6

No	作品名	技法・材質	寸法(cm)
55	バグ親子 父 A	顔料、石	10.9×8.8×6.8
56	花紋ガニ	顔料、石	9.7×5.1×7.0
57	大きな花の萼(つばみ)	顔料、石	15.8×7.2×4.0
58	白いうさぎ	顔料、石	14.0×7.5×11.0
59	ヘンな虫	顔料、石	9.4×6.4×2.0
60	ワンレン?	顔料、石	6.0×5.0×3.5
61	ゆかいな顔達 D	顔料、石	4.3×8.0×5.0
62	七つ目てんとう虫	顔料、石	12.2×5.2×5.4
63	錠	顔料、石	10.0×7.0×2.0
64	猪	顔料、石	15.8×5.8×5.5
65	白うさぎ 結いた耳	顔料、石	9.4×4.8×4.4
66	河童の赤ちゃん	顔料、石	9.5×11.0×4.0
67	マンボウ 犬 りんご	顔料、石	10.2×10.7×2.9
68	スイカをだく犬	顔料、石	9.2×7.1×4.8
69	のせられた緑亀	顔料、石	10.0×4.6×5.8
70	セマルハコ亀	顔料、石	12.7×9.2×6.3
71	白鳥とヒナ	顔料、石	16.8×13.0×6.7
72	鬼は外、福は内	顔料、石	12.0×6.2×10.6
73	河童と小鳥	顔料、石	8.0×7.7×7.6
74	犬の丹前着	顔料、石	9.2×8.3×5.9
75	ねじまわし	顔料、石	10.5×7.0×2.0
76	ショールを掛けたカマキリ	顔料、石	5.9×3.0×4.3
77	人參と白うさぎ	顔料、石	7.6×4.8×5.4
78	フグ	顔料、石	13.0×5.8×3.8
79	不良ダック(アヒルの顔)	顔料、石	10.4×6.3×3.5
80	南国の花	顔料、石	9.5×5.0×2.5
81	金丸信さんと馬	顔料、石	10.0×6.0×8.5
82	金魚だ象〜	顔料、石	4.9×5.7×7.0
83	ギョ! 魚! どちらが人面魚?	顔料、石	15.0×6.4×5.3
84	昇龍	顔料、石	7.5×7.0×9.9
85	アルマジロ	顔料、石	9.9×5.9×2.5
86	アロワナ	顔料、石	13.4×5.3×3.2
87	人面鳥?(おしどり)	顔料、石	13.3×5.4×5.5
88	アンモナイト	顔料、石	5.5×4.7×1.6
89	パンダうさぎ	顔料、石	12.5×6.0×8.0
90	ウム〜重い荷物、カエル	顔料、石	8.5×8.5×3.0
91	岩の上のペンギン	顔料、石	8.0×9.0×3.0
92	けもの悩み多き人生とか?	顔料、石	12.0×8.5×3.5
93	白いスニーカー(ズック)	顔料、石	8.2×5.3×4.8
94	クジャク	顔料、石	9.5×9.0×4.0
95	ヤンチャなカニくん	顔料、石	11.0×5.5×5.0
96	白ねずみウーン明日も幸せ	顔料、石	9.0×7.3×10.3
97	ムックの叫び?	顔料、石	5.0×6.0×9.0
98	腕時計	顔料、石	4.3×3.4×2.0
99	鳥 住職 (一期一会)	顔料、石	8.5×5.5×8.5
100	犬 汗かき	顔料、石	6.3×7.5×4.0
101	ゲンロクダイ	顔料、石	8.7×8.7×1.5
102	イナゴ	顔料、石	5.0×2.0×1.7
103	テントウ虫 赤い糸で結ばれて	顔料、石	8.3×3.1×1.1
104	マジデ、マガモ	顔料、石	12.4×5.2×2.1
105	おにおこぜ(魚)	顔料、石	10.8×5.4×4.9
106	クツ	顔料、石	9.9×4.3×8.2
107	じゃがいも	顔料、石	6.7×6.7×3.7
108	鶉の目鷹の目	顔料、石	5.6×4.4×6.9
109	太ったせみ	顔料、石	7.0×5.3×2.8
110	三鶴関係	顔料、石	7.0×5.0×4.5

No.	作品名	技法・材質	寸法(cm)
111	剣鐔(つば)	顔料、石	7.8×7.8×1.5
112	食いものの恨み・・・	顔料、石	14.2×7.4×6.6
113	ネコ(ボクの手の内)?	顔料、石	9.3×7.0×5.8
114	印カン(シャチハタ)?	顔料、石	7.0×3.3×2.0
115	足を出したアサリ	顔料、石	8.7×5.7×3.8
116	さくらまんじゅう	顔料、石	9.0×7.5×4.7
117	恋鯉魚がれて恋焦がれ	顔料、石	15.3×6.2×8.7
118	あ〜忙しい、忙しい	顔料、石	6.8×6.0×10.1
119	傍目八目?	顔料、石	8.2×4.3×7.4
120	ハマクマノミ	顔料、石	10.5×6.7×2.6
121	鯛頭	顔料、石	10.5×10.0×2.5
122	ハイギョ(ネオセラトダス)	顔料、石	12.1×6.3×1.5
123	ブードル犬	顔料、石	6.5×3.5×2.0
124	喜怒哀楽 II	顔料、石	7.6×6.5×6.1
125	源流を探る	顔料、石	15.3×6.2×7.4
126	カカトの取れたキザな靴	顔料、石	12.3×7.8×2.0
127	奈苗のズック	顔料、石	11.2×5.9×3.7
128	冬眠からさめた白熊	顔料、石	8.2×5.3×6.7
129	剣鐔(ケンツバ)	顔料、石	8.0×7.5×2.0
130	キャリコ(金魚)	顔料、石	10.7×8.4×2.8
131	スイカ	顔料、石	10.0×9.4×5.0
132	ピロシキバーガー	顔料、石	8.5×7.3×3.0
133	パブリカ(赤)	顔料、石	11.5×8.5×3.5
134	飾り櫛(藤花)	顔料、石	11.5×7.5×0.8
135	ゴールドマウンテンロック	顔料、石	9.8×4.8×3.4
136	おかしなふくろう	顔料、石	6.0×8.3×3.5
137	黄色いタマチャン	顔料、石	11.2×4.8×2.8
138	P O K E R 万年筆	顔料、石	10.8×2.7×1.8
139	大きなシジミ	顔料、石	7.6×6.5×2.2
140	サメとウーパールーパーとイモリ	顔料、石	9.5×7.5×4.3
141	考え込む和尚	顔料、石	7.6×6.0×5.6
142	ガンゾウピラメ	顔料、石	9.7×8.4×2.1
143	河童の顔	顔料、石	10.0×10.2×3.8
144	鳥の親子(下絵)	顔料、石	9.6×5.3×5.1
145	縄文式土器	顔料、石	7.0×6.0×6.7
146	雪うさぎ	顔料、石	7.9×6.0×5.2
147	気球かコマか?	顔料、石	8.3×9.0×1.3
148	吾はホワイトブルドック	顔料、石	9.0×6.0×5.0
149	大蛇の孵化	顔料、石	13.1×8.2×3.3
150	福笑い	顔料、石	16.0×19.2×2.9
151	目ダカ魚(下絵)	顔料、石	12.6×6.2×2.6
152	そっくりでゴメンナサイ	顔料、石	8.4×6.9×3.3



茶谷正洋「カテドラル」

No.	作品名	技法・材質	寸法(cm)
153	肉の上にタマネギ、人参、パセリ	顔料、石	7.3×8.9×2.6
154	カボチャ	顔料、石	7.4×17.3×3.0
155	にんにくの根	顔料、石	7.1×6.1×2.3
156	貝(カキ)	顔料、石	7.0×4.0×1.5
157	大きなヤゴ	顔料、石	9.3×3.8×1.3
158	魔法のおばあさん	顔料、石	8.6×10.7×5.7
159	クマノミ(魚)	顔料、石	7.1×5.6×1.7
160	ギンカガミ(熱帯魚)	顔料、石	10.0×8.9×1.5
161	オタマジャクシ	顔料、石	7.7×4.0×2.2
162	海の底の生物	顔料、石	8.3×5.6×5.9
163	タコヤロウ	顔料、石	9.7×5.6×2.8
164	カマキリの巣と幼虫	顔料、石	9.0×7.0×4.5
165	枯葉と蛾	顔料、石	10.5×4.5×1.5
166	パンダママと赤ちゃん	顔料、石	7.2×10.4×3.3
167	ぞうり	顔料、石	9.6×6.9×1.4
168	栗の実	顔料、石	5.2×4.9×2.6
169	龍仙洞と寺院	顔料、石	8.1×4.5×5.4
170	夕焼けの風景	顔料、石	11.5×4.8×6.0
171	タヌキ寝入り(天上天下唯我独尊)	顔料、石	11.5×8.4×5.7
172	はなわ 魚 ギョッ	顔料、石	6.8×4.8×2.1
173	モヨウフグ	顔料、石	10.0×9.0×2.0
174	恐竜	顔料、石	15.7×6.6×7.5
175	刀鐔(かたなつば)	顔料、石	8.1×3.4×3.1
176	燈籠	顔料、石	7.4×5.1×7.1
177	ひつじ	顔料、石	8.0×6.7×3.7
178	太った幼虫(スミマセン)	顔料、石	10.5×6.1×4.0
179	海の底のにぎわい	顔料、石	9.5×7.0×3.0
180	岩影にそっと憩えやきずの鮎	顔料、石	20.6×8.5×8.1
181	印籠	顔料、石	6.3×9.0×3.1
182	根付	顔料、石	4.3×3.8×1.0
183	野沢菜万頭	顔料、石	7.0×6.0×3.3
184	横山小観?の富士	顔料、石	16.6×6.0×9.6
185	鳥三羽、和気あいあい	顔料、石	9.5×7.0×7.0
186	九谷焼 小器珍味	顔料、石	7.1×6.5×3.4
187	クマネズミ	顔料、石	9.4×4.4×3.3
188	白いワニ	顔料、石	14.3×6.1×3.4
189	トイレOTOTO	顔料、石	6.0×9.1×7.4
190	コンペイトウ(ダンゴウオ科)	顔料、石	12.8×10.0×2.7
191	ジャムパン のこり半分	顔料、石	8.1×7.4×2.9
192	草もち(皿付)	顔料、石	6.0×5.5×3.0
193	白鳥とカラス	顔料、石	13.7×8.9×6.0

※作品の所蔵はすべて作者。

※寸法は幅×奥行×高さ。



片岡朱央「草もち」

平成19年度特別展一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主 催 ・ 後 援 ほ か
1	ヨーロッパ絵画展 ～天使がいた時代～	4月20日(金)～ 6月6日(水)	41	主催／北海道立帯広美術館 協力／長坂コレクション
2	美しさへの挑戦 ―ヘアモード・メイクアップの300年―	6月15日(金)～ 8月1日(水)	41	主催／北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、北海道新聞社、 美しさへの挑戦帯広展実行委員会、NHK 帯広放送局、NHK 北海道ビジョン 協賛／POLA 特別協力／ポーラ文化研究所、財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館 協力／高砂香料工業株式会社 制作協力／NHK プロモーション
3	北の風土と四季の彩り	8月10日(金)～ 10月17日(水)	59	主催／北海道立帯広美術館 協力／北海道立近代美術館
4	オランダ絵本作家展 ―かえるくん、ミッフィーとオランダ絵本の仲間たち―	11月22日(木)～ 1月30日(水)	55	主催／北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、NPO 十勝文化会議、「オランダ絵本作家展」実行委員会 後援／オランダ王国大使館、日蘭協会、オランダ会、十勝町村会、帯広市、 帯広市教育委員会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、 十勝文化団体協議会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小・中校長会、帯広市校長会、帯広市町内会連合会、帯広市民劇場運営委員会、とかちカルチャーネット、NHK 文化センター帯広教室、NHK 帯広放送局、HBC 帯広放送局、STV 帯広放送局、HTB 帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA 協力／岩波書店、金の星社、KLM オランダ航空、講談社、小峰書店、朔北社、セーラー出版、ディック・ブルーナ・ジャパン、PHP 研究所、BL 出版、福音館書店、ぶるーな倶楽部、文溪堂、ほるぷ出版 協賛／帯広信用金庫、帯広日産自動車(株)、大成建設(株)、大丸藤井(株)道東支店、東洋印刷(株)、ホクレン農業協同組合連合会 企画協力／産経新聞社 制作協力／ステップ・イースト
5	ポスターと絵画による仮想ツアー パリそぞろ歩き	2月8日(金)～ 3月26日(水)	41	主催／北海道立帯広美術館

平成20年度特別展一覧

No.	展 覧 会 名	会 期	開催日数	主 催 ・ 後 援 ほ か
1	遠き道展 —はて無き精進の道程—	(前期) 4月11日(金)～ 5月11日(日) (後期) 5月16日(金)～ 6月15日(日)	54	主催／北海道立帯広美術館、遠き道展実行委員会 後援／文化庁、厚生労働省、全国盲学校長会、社会福祉法人 日本ライ トハウス、NHK 帯広放送局
2	五味太郎作品展 [絵本の時間]	6月20日(金)～ 9月3日(水)	65	主催／北海道立帯広美術館、北海道新聞社、五味太郎作品展実行委員会 後援／こどもの本 WAVE 企画協力／メディアリンクス・ジャパン
3	もじ・もじ・文字展 ～描かれた文字・記号と美術～	9月12日(金)～ 11月12日(水)	54	主催／北海道立帯広美術館 協力／北海道立函館美術館
4	フロンティア ～道東美術の現在～	11月21日(金)～ 1月21日(水)	48	主催／北海道立帯広美術館
5	絵画と写真の交差 印象派誕生の軌跡	1月30日(金)～ 3月25日(水)	47	主催／北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、十勝毎日新 聞社、「絵画と写真の交差」実行委員会、読売新聞北海道支社、 美術館連絡協議会、NPO 十勝文化会議 後援／十勝町村会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十 勝文化団体協議会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小・ 中校長会、帯広市校長会、帯広市町内会連合会、帯広市民劇場 運営委員会、とかちカルチャーネット、NHK 文化センター帯広 教室、NHK 帯広放送局、HBC 帯広放送局、STV 帯広放送局、 HTB 帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA 協賛／ライオン、清水建設、大日本印刷、医療法人社団博愛会、医療 法人社団北斗、エイブルコンピューター技研、王子製紙株式会社、 帯広信用金庫、帯広日産自動車株式会社、株式会社キクミ、サッ ポロビール株式会社、上光証券株式会社、畜大練成会、DIC 株 式会社、東洋印刷株式会社、ホクレン農業協同組合連合会 企画協力／東京富士美術館

ヨーロッパ絵画展 ～天使がいた時代～

会期＝平成19年 4月20日(金)－6月6日(水) 41日間

主催＝北海道立帯広美術館

協力：長坂コレクション

観覧料＝一般950(750)円、高大生550(400)円、小中生300(250)円

身障者手帳をお持ちの方などは無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

美術講演会

「名画の楽しみ～バロックから近代へ～」

講師＝千足伸行氏(成城大学教授、本展監修者)

日時＝5月3日(木・祝) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(聴講無料)

土曜映写室

「西洋美術の流れ一様式の歴史―」「芸術家と社会」

日時＝4月28日(土)、5月5日(土・祝) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(入場無料)

特別展セミナー

「国別バロック美術案内」

講師＝藺部容子(当館学芸員)

日時＝5月12日(土)、5月26日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(聴講無料)

キッズ・ミュージアム

「チクタク・チクタク・ボン・ボン」

日時＝5月19日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

図録

規格＝29.0×22.5cm／総頁数152ページ

構成＝あいさつ／千足伸行「バロックから近代へ」／作品図版

／関連年表／作家生没年／地図／出品目録

関連記事

『caramel』vol.12／2007年3月号

松村智裕「20日からヨーロッパ絵画展」十勝毎日新聞／4月18日

「帯広美術館 昨年度の入館者数」北海道新聞(夕刊・十勝帯広版)／4月12日

野口洸「西洋絵画の変遷一目で」北海道新聞／4月19日

松村智裕「華麗にヨーロッパ絵画展」十勝毎日新聞／4月20日

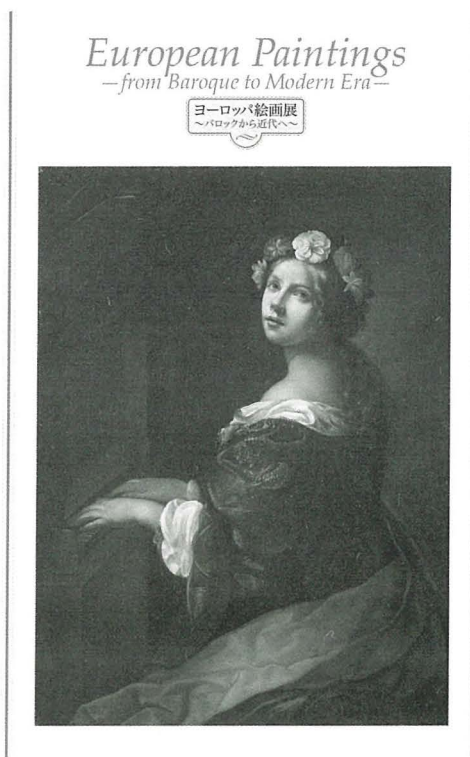
水野富仁「西洋美術の変遷一目で」北海道新聞／4月21日

藺部容子「ヨーロッパ絵画展 1～6」十勝毎日新聞／4月27日

日～6月1日



ポスター



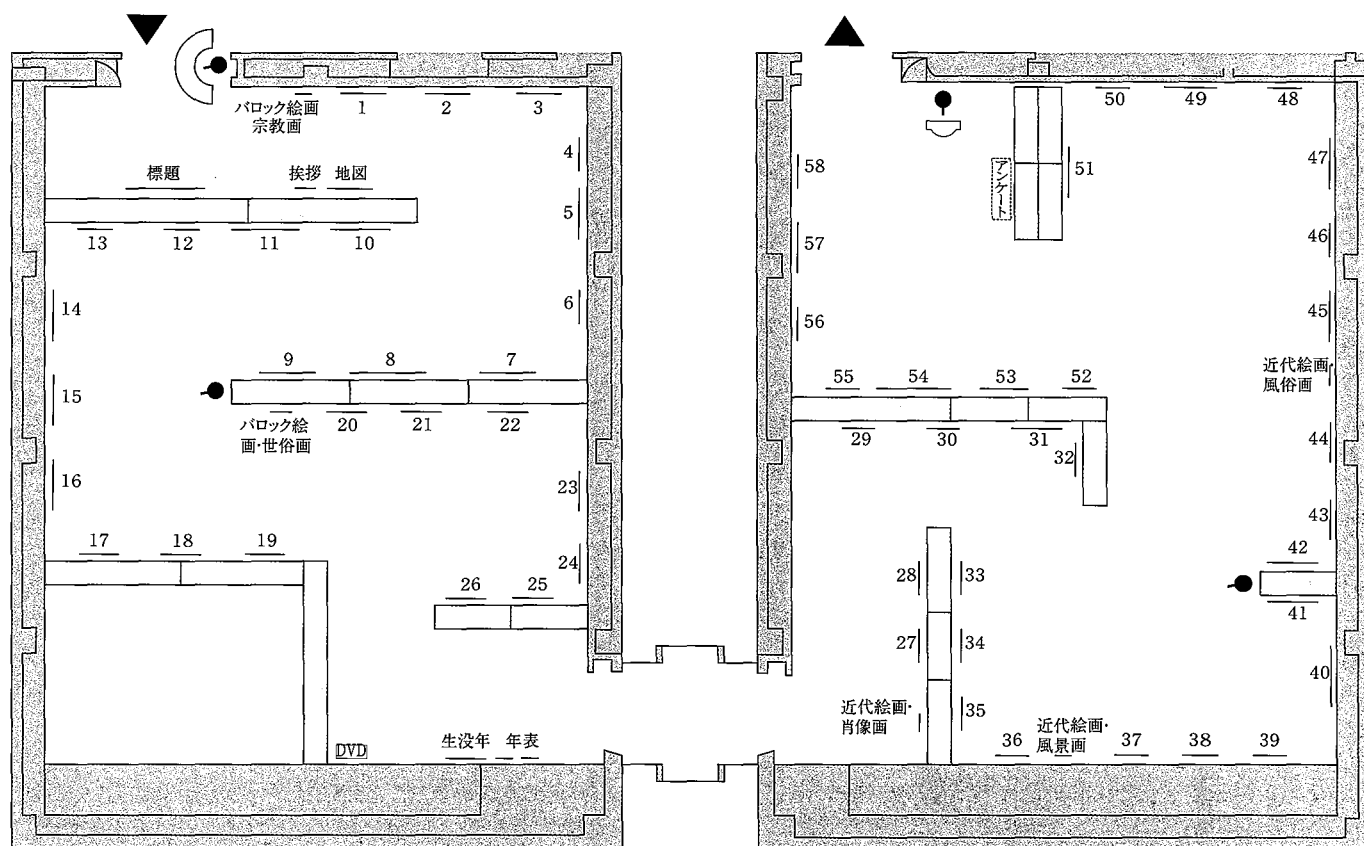
図録

松村智裕「西洋美術の歴史解説」十勝毎日新聞／5月8日
「バロックから近代一望」北海道新聞(夕刊・十勝帯広版)／5月26日

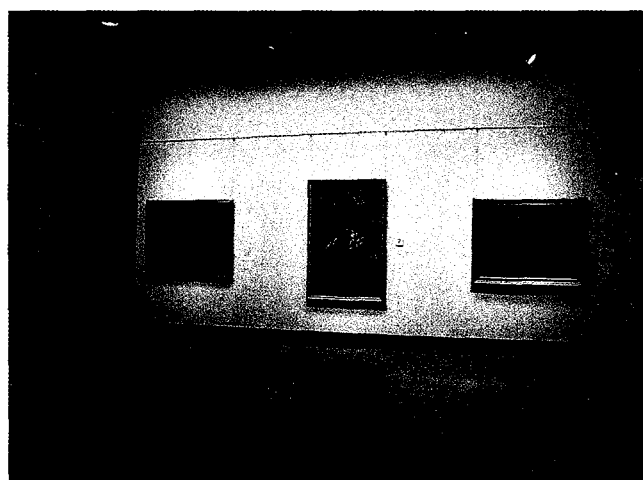
17世紀のバロック美術は、16世紀のルネサンス美術を青年にたとえれば、壮年期に相当すると言える。ルネサンス美術がイタリア中心だったのに対し、バロック美術はヨーロッパ各国でそれぞれの国にふさわしい巨匠を輩出し、ルネサンス美術に優るとも劣らない偉大な美術として、人々の関心を集めてきた。

本展は、そのバロック美術を起点として19世紀の近代絵画にいたる作品を集めた「長坂コレクション」によるものである。宗教的な主題にはじまり、新しい市民層に愛された世俗画、さらに正統派リアリズムが多くを占める近代絵画にいたるまで、バロックから近代にわたり、時代の雰囲気や好みをよく伝える約60点の西洋絵画を紹介した。

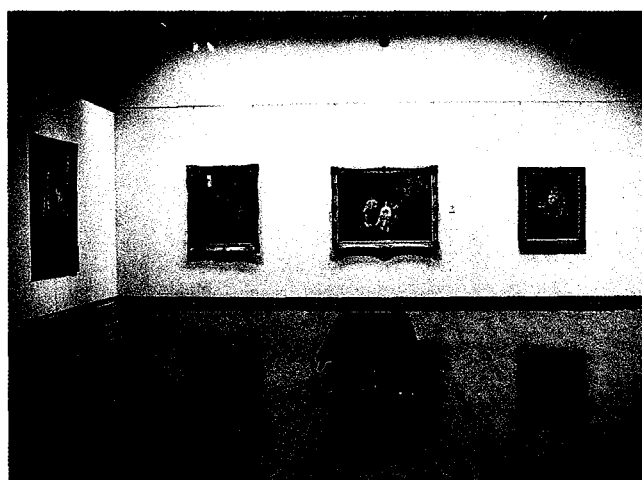
会期中は、西洋美術の流れを概観する講演会や特別展セミナーを行い、展覧会来場者は5,078人にのぼった。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
1	ヘンドリック・ド・クレルク	羊飼いの礼拝		油彩・板	123.5×93.0
2	ヘンドリック・ヴァン・パレン 1 世	紅海を渡るモーセ		油彩・カンヴァス	153.5×117.0
3	アルトゥス・ヴォルフホルト	キリストの足を洗うマグダラのマリア		油彩・板	91.3×123.0
4	ルーベンス周辺の画家	異端に対する聖餐の真実の勝利		油彩・銅板	62.8×84.3
5	アントニオ・デル・カステイーリョ	マギの礼拝		油彩・カンヴァス	182.0×117.5
6	ウィレム・ファン・ヘルプ	サウルの前のダビデ		油彩・カンヴァス	62.2×84.5
7	アントニオ・デル・カステイーリョ	善きサマリア人		油彩・カンヴァス	118.0×158.0
8	ペーテル・ヴァン・リント	サロメ		油彩・カンヴァス	117.0×167.0
9	セバスチャン・デ・エレーラ・バルヌエボ	ユディットとホロフェルネス		油彩・カンヴァス	101.0×142.0
10	セバスチャン・ガルシア・バスケス	無原罪の御宿り		油彩・カンヴァス	105.0×145.0
11	ベドロ・アタナシオ・ボカネグラ	我が子に食事を与える聖母		油彩・カンヴァス	155.0×155.0
12	フランシスコ・アントリーネス・イ・オチョア	エジプトへの逃避	1691前後	油彩・カンヴァス	74.0×103.0
13	フランシスコ・アントリーネス・イ・オチョア	聖母マリアの誕生	1691	油彩・カンヴァス	74.0×103.0
14	ダニエル・ザイター	キリストと姦婦		油彩・カンヴァス	105.0×134.0
15	マリアーノ・サルバドル・マエーリヤ	聖家族と幼い洗礼者聖ヨハネ		油彩・カンヴァス	163.0×107.0
16	ジャック・デュモン	ダビデに捧げ物をするアビガイル		油彩・カンヴァス	111.0×145.0
17	オノリオ・マリナーリ	聖チェチリア		油彩・カンヴァス	115.0×85.5
18	フランツ・ジグリスト周辺の画家	聖ヒエロニムス		油彩・カンヴァス	122.0×104.1
19	作者不詳(ヴェネツィア派)	バビロン王エビル・メロダクとユダの王ヨアキン	18世紀後半(?)	油彩・カンヴァス	89.0×116.0
20	ルーメン・ポルテンヘン	占い師		油彩・カンヴァス	66.0×74.9
21	ヤン・コシエルス	空のジョッキを持つ酒飲み		油彩・カンヴァス	78.0×54.0
22	フランチェスコ・フィダンツァ	ヴェズヴィオ火山の噴火に逃げまどう人々	1768	油彩・カンヴァス	135.0×100.0
23	アントニオ・ストム	アーチのある港	1720～30頃	油彩・カンヴァス	81.0×107.0
24	バレント・ガアル	兵士たちのいる風景		油彩・カンヴァス	63.0×117.0
25	ヨハン・ハイス	画家のアトリエ		油彩・カンヴァス	106.0×108.0
26	ヴィクトワール・シャルティエ	雅やかな場面	19世紀初期	油彩・カンヴァス	80.0×100.0
27	チャールズ・ゴールズボロ・アンダーソン	クラーク・トラヴァーズ夫人	1900頃	油彩・カンヴァス	127.0×71.0
28	セルゲイ・セミョーノヴィッチ・エゴルノフ	ピアノの側にいる女性	1915	油彩・カンヴァス	124.0×78.5
29	サヴァチ・ミハイロヴィッチ・ジリツォーフ	むく犬を抱く若い婦人の肖像	1870代	油彩・カンヴァス	97.0×73.5
30	ウラジーミル・エゴロヴィッチ・マコフスキー	若い未亡人	1894	油彩・カンヴァス	116.0×77.0
31	ジョルジュ・ルフェーヴル	青いストッキングをはいた女流詩人	1870頃	油彩・カンヴァス	80.5×131.0
32	アレクセイ・アレクセイヴィッチ・カルラモフ	若い婦人の肖像	1874	油彩・カンヴァス	78.0×57.0
33	ハンス・マカールト(工房)	恋人を待つ		油彩・カンヴァス	111.0×63.5
34	ルイ・ビルー	裸婦	1896	油彩・カンヴァス	115.5×89.0
35	ピョートル・クリロフ	赤い椅子に座る女性の肖像	1869	油彩・カンヴァス	101.0×77.5
36	イワン・ミハイロヴィッチ・グラボフスキー	モデル	1900頃	油彩・カンヴァス	87.0×65.0
37	ギュスターヴ・ルイ・リカール	地中海の夏祭りを祝う娘達		油彩・カンヴァス	50.5×81.5
38	ロベルト・ナドラー	ヴェネツィア	19世紀末	油彩・カンヴァス	51.0×82.0
39	カール・カウフマン	ウィーン郊外の船着き場の風景	1884	油彩・カンヴァス	40.5×61.0
40	アルフレッド・ゴドショー	ラ・ロシェルの港		油彩・カンヴァス	95.0×159.0
41	アルフレッド・ド・グリーンスキー	湖の風景		油彩・カンヴァス	76.0×127.0
42	エマニュエル・オーギュスト・マッセ	イスリーの戦い	1845	油彩・カンヴァス	98.0×131.0
43	ジェイムズ・スターク	森の中の風景	1820～30頃	油彩・カンヴァス	73.0×102.0
44	ルートヴィヒ・ムンテ	収穫	1873	油彩・カンヴァス	83.2×129.5
45	ヘンリー・アンドリュース	鷹狩	1830頃	油彩・カンヴァス	110.5×152.0
46	ラインハルト・セバスチャン・ツインマーマン	画廊のルートヴィヒ 2 世		油彩・カンヴァス	68.5×56.5
47	ハンス・ローシェン	午後の訪問者	1889	油彩・カンヴァス	91.4×113.0
48	フィリップ・リンド	窓辺の子供達	1859	油彩・カンヴァス	98.0×79.0
49	エドゥアール＝ジャン・コンラッド・アマン	家族のピクニック	1883	油彩・カンヴァス	97.5×131.0
50	ヴィルヘルム・アンベルク	教会のグレートヒェン	1888～90	油彩・カンヴァス	107.0×83.0
51	フランソワ・ヴィンク	老兵	1853	油彩・カンヴァス	170.0×145.0
52	フェリックス・ジョゼフ・バリアス	お気に入りの鳴き鳥	1873	油彩・カンヴァス	100.0×70.0
53	エドウィン・トマス・ロバーツ	街頭の子供たち	19世紀後期	油彩・カンヴァス	157.5×114.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
54	シェリユバン・パタ	競売	1880頃	油彩・カンヴァス	68.0×174.0
55	ニコライ・アンドレヴィッチ・コシェーレフ	脱穀場の子供たち	1882	油彩・カンヴァス	82.5×97.0
56	フランチェスコ・パオロ・ディオダーティ	カプリ島の小さな中庭	1888	油彩・カンヴァス	96.0×66.0
57	ニコライ・ゴルニコヴィッチ・ボダレフスキー	ヒバリの歌	1881	油彩・カンヴァス	86.0×127.0
58	エルンスト・ベルガー	庭で編物をする女性	1894	油彩・カンヴァス	85.0×67.0

*寸法は縦×横。

*所蔵先はすべて長坂コレクション。



アントニオ・デル・カスティージョ「マギの礼拝」



ロベルト・ナドラー「ヴェネツィア」

美しさへの挑戦 ―ヘアモード・メイクアップの300年―

会期＝平成19年 6月15日(金)ー 8月1日(水) 41日間
 主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、北海道新聞社、美しさへの挑戦帯広展実行委員会、NHK帯広放送局、NHK北海道ビジョン

協賛＝POLA

特別協力＝ポーラ文化研究所、財団法人ポーラ美術振興財団、
 ポーラ美術館

協力＝高砂香料工業株式会社

制作協力＝NHKプロモーション

観覧料＝一般1,000(800)円、高大生600(450)円、小中生300(250)円

身障者手帳をお持ちの方などは無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
 割引料金

関連事業

美術講演会

「美女たちに見る化粧・髪型～江戸から現代まで」

講師＝村田孝子氏(ポーラ文化研究所主任研究員)

日時＝6月16日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(聴講無料)

創作アトリエ

「ビーズでティアラを作ろう」

日時＝毎週日曜日 午後1時30分～4時

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ミニ・エステ体験

「ネイル・ケアでみがく指美人」

日時＝毎週日曜日 午後1時30分～4時

会場＝当館ロビー(参加料500円、1日限定10人)

土曜映写室

日時＝6月23日(土)「世界の化粧・ベニス編」(25分)「日本の化粧」
 (32分)

6月30日(土)「江戸の結髪」(20分)「西洋ヘア・ファッション
 の流れ」(25分)

7月28日(土)「おすべらかしと十二単」(25分)「島原の太夫」
 (25分)

午後2時～

会場＝当館講堂(入場無料)

シアター・カフェ

上映内容＝「世界の化粧(ベニス編)」「日本の化粧」「島原の太夫」「眉
 化粧」「おすべらかしと十二単」「結う」「江戸の結髪」「日
 本髪のかき方」「西洋ヘア・ファッションの流れ」から



ポスター



図録

日時＝毎週日曜日および6/23(土)、6/30(土)、7/3(火)、7/4(水)、7/6(金)、
7/10(火)、7/11(水)、7/16(月・祝)、7/18(木)、7/24(火)、7/28(土)、
7/31(火)、8/1(水) 午前10時～午後4時30分
会場＝当館講堂(入場無料)

ミュージアム・ミステリー2007サマー 「ビジュツに挑戦！」

日時＝7月7日(土)、7月14日(土) 午前11時～午後3時
会場＝当館講堂、主展示室ほか(参加料550円、応募制)

ギャラリー・ツアー

講師＝平 利弘(当館主任学芸員)
日時＝6月30日(土)、7月28日(土) 午後2時～2時30分
会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム

「ほくもわたしもヘンシン！」
日時＝7月21日(土) 午後2時～4時
会場＝当館講堂(託児無料)

関連記事

「美しさへの挑戦展 6月道立帯広美術館」北海道新聞／4月17日
地家光二「美しさへの挑戦展から①～⑥」北海道新聞／6月6日
～6月13日

野口洸「美しさへの挑戦展 展示作業始まる」北海道新聞／6月13日

野口洸「特別展きょう開幕」北海道新聞／6月15日

水野富仁「美しさへの挑戦展 帯広美術館でスタート」北海道新聞／6月15日

水野富仁「美しさへの挑戦展 帯広美術館で開幕」北海道新聞／6月16日

松村智裕「帯広美術館 美しさへの挑戦展」十勝毎日新聞／6月17日

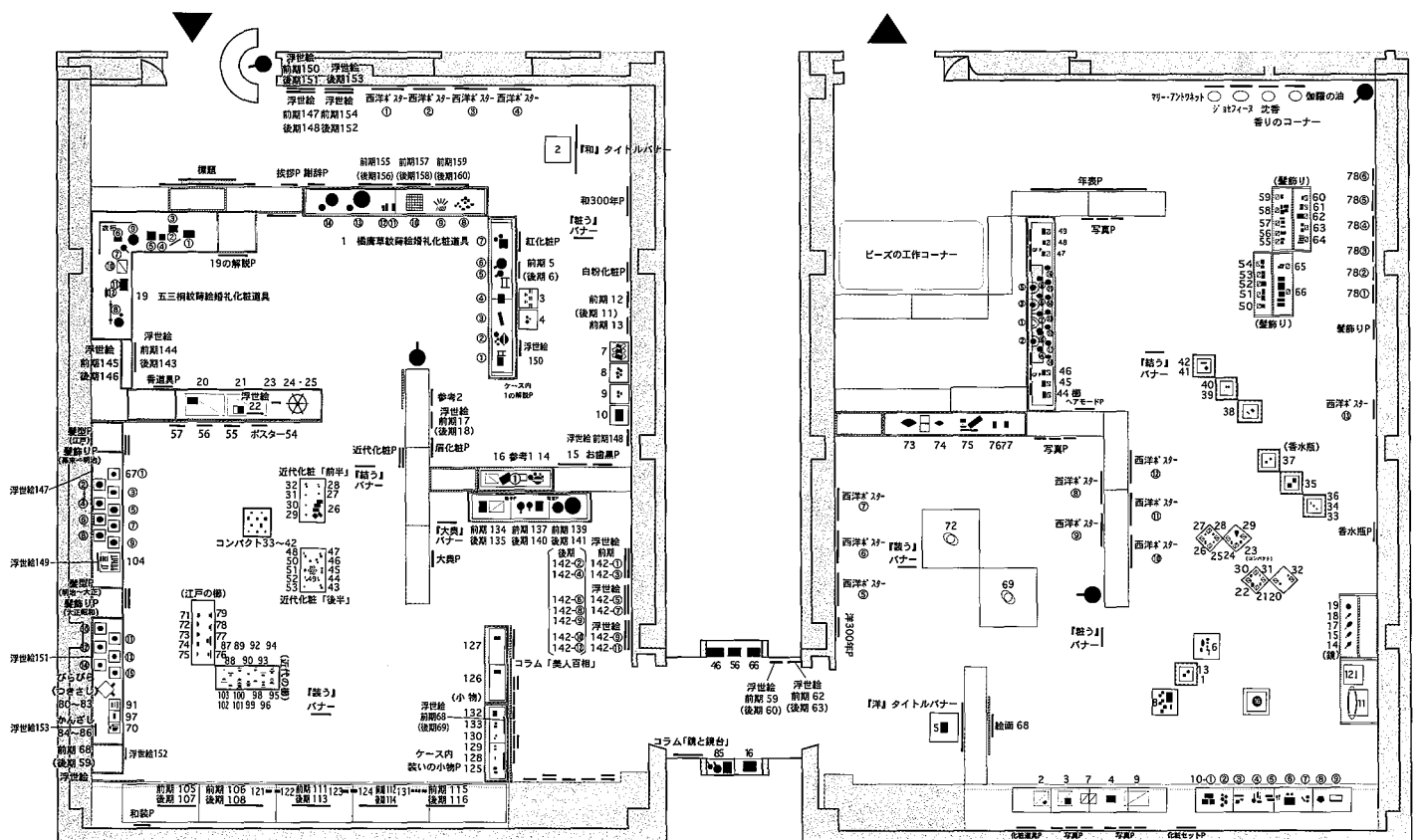
森麻子「美しさへの挑戦展 帯広美術館で記念講演会」北海道新聞／6月17日

鬼頭良幸「美しさへの挑戦展 入場者がミニエステ体験」北海道新聞／6月18日

「美しさへの挑戦展を見て①～⑨」北海道新聞／6月19日～6月30日

女性のよそおいは、時代や社会的地位の変化にともない、多彩さを見せてきた。化粧、髪型、衣装、そして装身具。女性たちにとって欠くことのできないものであり、常に興味的になってきた。今でこそすべての女性がメイクやファッションを自由に選べる時代になったが、日本はもとより世界各国には、それぞれ固有の女性美の歴史がある。

現在見られるような化粧やヘアスタイルなど、化粧法の基礎が出来たのは17世紀になってからのこと。この頃から髪型が華美になるとともに髪飾りが発達し、衣装にも豪華さが求められるようになった。化粧道具の体系化や、化粧本などの発行もそ



展示図面



会場風景



会場風景

れらにともなっていたことだった。日本、また西洋における女性たちが「自らをいかに美しく見せるか」を自覚した時期とも言える。

展覧会では、日本と西洋の美意識や流行の伝播の違いなど、女性たちがどのように美しさを求め、自分たちのものにしてきたかを、各時代の化粧道具、髪型、衣装、装身具、そして絵画資料などから概観し、過去から現在、未来へと続く「美しさへの挑戦」の一端を紹介した。

展示構成は、大きく日本と西洋に分け、それぞれ、化粧と髪型、衣装に関わる調度品や道具、流行を知る資料などを展示した。特に、実用性に関わる分野だけに実際にどのように使われたかを伝えるためにマネキンや結髪見本を用い、絵画資料などの展示が有効的であった。そのほか、マリー・アントワネットをイメージした香水の再現などをはじめとして、ビーズ工作やミニ・エステ体験ができるなど、多彩な体験メニューが好評を得、会期中6,659人の観覧者を迎えた。

出品目録

No.	作品名	制作年代	制作地・材質・技法・寸法(cm)	所蔵先	展示替え
◇日本の化粧・髪型「粧う」					
和1	橘唐草紋散蒔絵婚化粧道具	江戸時代後期 18世紀		ポーラ・コレクション	
-1	旅櫛箱		縦26.5×横19.7×高20.2		
-2	お歯黒道具		耳盥: 径27.5×高17.7、渡金: 縦46.7×横36.7、童子: 径6.2×高4.3、歯黒次: 径7.8×高6.5、お歯黒壺: 径13.5×高15.0、嗽茶碗: 径15.4×高15.0、五倍子箱(大): 縦6.5×横6.5×高7.0、五倍子箱(小): 縦6.0×横6.0×高6.7、お歯黒筆: 長15.2		
-3	渡金箱		縦39.7×横10.2×高9.5		
-4	眉作箱		縦27.2×横21.2×高24.8		
-5	鏡掛と鏡箱(中)		鏡掛: 幅26.0×高62.0、鏡箱中: 径23.5×長34.0		
-6	鏡箱(大・小)		鏡箱大: 径32.6×長44.5、鏡箱小: 径19.4×長29.3		
-7	円鏡、円鏡箱、鏡台		円鏡: 径12.0、円鏡箱: 径13.0、鏡台: 台方26.7×高64.5		
-8	化粧小箱類		小箱: 8.2×8.2×9.3、7.2×7.2×8.0、五倍子箱: 各6.5×6.5×7.0、各6.0×6.0×6.7、髪水入れ: 長11.5×幅7.0×高3.5、油桶: 径7.0×高10.3、化粧香合: 径6.7×高5.7		
-9	刷毛と筆類		刷毛: 長14.8～18.0、筆: 長10.0～11.5		
-10	伏籠		縦50.4×横50.4×高50.0		
-11	爪切箱		縦22.0×横8.8×高6.2		
-12	毛垂と毛垂箱		毛垂: 各長20.1×幅2.3、毛垂箱: 縦22.2×横6.5×高7.0		
-13	桶盥、湯桶		桶盥: 径52.0×高18.8、湯桶: 径19.8×高20.5		
-14	角盥、匜		角盥: 径39.5×高20.8、匜: 径20.8×高21.0		
和2	竜田川蒔絵旅櫛箱	江戸時代後期	セット時: 縦34.0×横21.5×高23.0	ポーラ・コレクション	
和3	紅板類	江戸時代末期～明治時代	いずれも5.0程度	ポーラ・コレクション	
和4	紅猪口	江戸時代末期～明治時代	中: 径7.7、小: 径5.4、大: 径8.0	ポーラ・コレクション	
和5	「模擬六佳撰」 一陽斎豊国	弘化元年(1844)	縦37.6×横25.5	ポーラ・コレクション	前期
和6	「江戸名所百人美女 駒形」三代歌川豊国	安政5年(1858)	縦37.9×横26.0	ポーラ・コレクション	後期
和7	白粉包み	幕末～明治時代	縦22.0～縦13.0	ポーラ・コレクション	

№	作品名	制作年代	制作地・材質・技法・寸法(cm)	所蔵先	展示替え
和8	白粉三段重	江戸時代初期～明治時代	径8.3×高9.0、径7.8×高7.8、径9.8×高15.0、径7.8×高12.2、径8.3×高12.3	ポーラ・コレクション	
和9	牡丹刷毛、水刷毛	幕末～明治時代	径7.0×長8.5、径7.0×長5.5、径4.0×長8.5	ポーラ・コレクション	
和10	『女子風俗 化粧秘伝』	明治時代	縦24.0×横16.7	ポーラ・コレクション	
和11	「白浮世五色合」歌川国貞改二代豊国	弘化4年(1847)	縦37.9×横26.0	ポーラ・コレクション	後期
和12	「山海目出多以図會」一勇斎国芳	嘉永5年(1852)	縦35.5×横23.5	ポーラ・コレクション	前期
和13	「美艷仙女香 式部刷毛」溪斎英泉	文政頃(1818～30)	縦36.3×横25.6	ポーラ・コレクション	前期
和14	庶民用お歯黒道具一式	江戸時代後期	耳盥：径25.0×高17.8、台輪：径24.3×高19.1	ポーラ・コレクション	
和15	「君たち集り粧ひの図(部分)」三代歌川豊国	安政4年(1857)	縦25.8×横75.5	ポーラ・コレクション	
和16	遠鷹羽根紋蒔絵櫛台	江戸時代後期	縦24.3×横36.3×高39.0	ポーラ・コレクション	
和17	「名筆浮世絵鑑」五渡亭国貞	文政頃(1818～30)	縦38.0×横26.4	ポーラ・コレクション	前期
和18	「当世道行ぶり 三かつ半七」五渡亭国貞	文化8年頃～天保末頃(1811～44)	縦37.9×横26.0	ポーラ・コレクション	後期
和19	五三桐紋蒔絵婚礼化粧道具	明治時代後期		ポーラ・コレクション	
-1	針箱		縦21.5×横35.0×高26.4		
-2	笄台		長37.5×高29.0		
-3	紙台		縦21.5×横28.8×高22.3		
-4	菓子箒筥		縦18.2×横19.2×高22.3		
-5	鏡掛		幅26.6×高67.0		
-6	合わせ鏡		径33.5		
-7	手鏡		径18.3×長30.5		
-8	手拭掛、湯桶、桶盥		手拭掛：幅71.2×高57.0、湯桶：径10.8×高12.2、桶盥：径29.0×高10.2		
-9	五重硯		縦23.3×横13.3×高19.5		
-10	化粧小物		化粧三段重：径7.6×高9.8、蓋付深鉢：径12.2×高8.5、油桶：径7.0×高6.0、化粧香合：径6.5×高6.0、化粧水入れ：径8.0×高4.8、剃刀箱：縦22.7×横5.0×高4.3、髪水入れ：長11.5×幅6.7×高4.0、銀製皿：径15.8、眉筆：長10.4、紅筆：長11.6		
-11	櫛台		縦24.3×横35.0×高33.4		
-12	刷毛掛台、刷毛類		刷毛掛台：幅30.5×高27.5、水刷毛：長9.2、板刷毛：長3.8×幅6.1、長4.0×幅4.2、長6.4×幅3.3、長8.2×幅6.0、牡丹刷毛：径5.3×長5.3		
-13	衣桁		幅180.0×高151.0		
-14	掛袂紗		縦67.7×横68.3		
-15	袂紗(大小)		縦73.5×横66.8、縦56.5×横50.7		
和20	菊紋入り十種香箱	江戸時代末期	縦20.4×横33.0×高26.9	ポーラ・コレクション	
和21	梨地葵紋蒔絵香割道具	江戸時代後期	縦23.0×横18.3×高6.5	ポーラ・コレクション	
和22	「江戸名所百人美女 小石川牛天神」三代歌川豊国	安政4年(1857)	縦36.3×横25.2	ポーラ・コレクション	
和23	御所車形蒔絵香炉	江戸時代末期～明治時代	縦27.5×横5.5×高11.5	ポーラ・コレクション	
和24	山水蒔絵阿古陀香炉	明治時代末期	径11.5×高11.0	ポーラ・コレクション	
和25	黒漆塗伏籠	江戸時代末期	径72.0×高63.5	ポーラ・コレクション	
和26	別嬪香	明治時代	縦22.1×横13.1	ポーラ・コレクション	
和27	御料御園白粉	明治時代	径5.×高5.5	ポーラ・コレクション	
和28	やちよまゆずみ鏡・江戸まゆずみ	明治時代	縦4.5×横2.8×厚1.0、縦4.7×横4.7×厚0.6	ポーラ・コレクション	
和29	ホーカー白粉	大正5年(1916)	径4.5×高6.5	ポーラ・コレクション	
和30	レートフード 平尾賛平商店	大正4年(1915)	幅5.5×奥行3.5×高12.3	ポーラ・コレクション	
和31	藤波芙蓉先生創製 コールドクリーム	大正時代	径4.9×高6.5	ポーラ・コレクション	
和32	クラブ美身クリーム	大正時代	径6.0×高6.5	ポーラ・コレクション	
和33	アール・ヌーヴォー風コンパクト	1910～50年代	縦10.2×横7.0×厚1.3	ポーラ・コレクション	
和34	金属製梅模様コンパクト	1910～50年代	縦5.9×横8.4×厚0.5	ポーラ・コレクション	
和35	龍甲製コンパクト	1910～50年代	縦6.0×横8.3×厚1.2	ポーラ・コレクション	
和36	アール・デコ風幾何学模様コンパクト フランス製	1920～30年代	径5.0×厚1.2	ポーラ・コレクション	
和37	八角形リップ付きコンパクト	1910～50年代	縦9.5×横10.0×厚1.5	ポーラ・コレクション	
和38	七宝花模様コンパクト	1910～50年代	径5.6×厚1.0	ポーラ・コレクション	
和39	女性像シガレットケース 口紅内蔵コンパクト アメリカ製	1910～50年代	縦7.6×横13.4×厚1.5	ポーラ・コレクション	
和40	バラ模様木製漆塗りコンパクト	1910～50年代	径7.6×高1.5	ポーラ・コレクション	

No.	作品名	制作年代	制作地・材質・技法・寸法(cm)	所蔵先	展示替え
和41	Elqin American 名入りコンパクト	1910～50年代	縦7.0×横7.0×厚0.9	ポーラ・コレクション	
和42	貞明皇后御所用化粧容器	大正時代	径4.5×高2.5	ポーラ・コレクション	
和43	レート白粉	昭和3年(1928)	径4.5×高6.3	ポーラ・コレクション	
和44	レート五色水白粉	昭和3年(1928)	幅3.7×奥行4.9×高13.5	ポーラ・コレクション	
和45	クレームレート	大正時代～昭和時代	大:径5.0×高5.2、中:径4.5×高4.8、小:径2.8×高2.4	ポーラ・コレクション	
和46	クレームレート・コールド	昭和3年(1928)	径6.0×高5.0	ポーラ・コレクション	
和47	御園つぼみ白粉	昭和9年(1934)	径6.0×高3.8	ポーラ・コレクション	
和48	レート水白粉	昭和11年(1936)	幅5.8×奥行3.3×高11.9	ポーラ・コレクション	
和49	粉白粉	昭和時代	各径7.0×高2.5	ポーラ・コレクション	
和50	オカップ粉白粉	昭和時代	径7.2×高2.2	ポーラ・コレクション	
和51	ポーラ洗顔クリーム	昭和12年(1937)	幅7.3×奥行7.3×高7.7	ポーラ・コレクション	
和52	ポーラダルジャン	昭和21年(1946) 頃	幅5.0×奥行3.5×高7.9	ポーラ・コレクション	
和53	ポーラフレンチバック	昭和23年(1948)	径4.5×高10.4	ポーラ・コレクション	
和54	福田源商店ポスター「ランラン香油」	大正時代	縦74.0×横51.0	ポーラ・コレクション	
和55	クラブ化粧品ポスター「クラブ堂ビル化粧品」	大正時代	縦78.5×横52.5	ポーラ・コレクション	
和56	伊東胡蝶園ポスター「御園クレーム」	昭和7年(1932) 頃	縦51.0×横50.0	ポーラ・コレクション	
和57	平尾喜三郎商店ポスター「オカップナリシングクリーム」	昭和23年(1948)	縦60.8×横45.0	ポーラ・コレクション	

◇日本の化粧・髪型 「結う」

和58	梨地蒔絵鏡掛、鏡箱(大・小)、南天柄鏡	江戸時代後期	鏡掛: 幅27.0×高53.0、鏡箱(大): 径24.5×長35.8×厚4.5、鏡箱(小): 径18.5×長28.8×厚3.5、鏡: 径15.3×長24.5×厚0.5	ポーラ・コレクション	
和59	「江戸名所百人美女 花川戸」三代歌川豊国	安政4年(1857)	縦36.3×横25.2	ポーラ・コレクション	後期
和60	「婦人たしなみ草」 香蝶楼国貞	弘化4年(1847)	縦35.5×横24.0	ポーラ・コレクション	前期
和61	黒漆塗庶民用鏡台と鏡箱	江戸時代後期	鏡台: 縦41.7×横30.5×高66.0、鏡箱: 径26.5×長39.0	ポーラ・コレクション	
和62	「江戸名所百人美女 柳橋」三代歌川豊国	安政5年(1858)	縦36.3×横25.2	ポーラ・コレクション	前期
和63	「百人一首絵抄 七十八」 国貞改二代豊国	弘化頃(1844～47)	—	ポーラ・コレクション	後期
和64	閑院宮家御所用鏡台	明治時代	縦27.4×横51.3×高90.3	ポーラ・コレクション	
和65	アール・デコ風鏡台	大正時代	縦27.0×横40.0×高75.0	ポーラ・コレクション	
和66	昭和の鏡台	昭和時代	縦26.5×横49.0×高85.0	ポーラ・コレクション	
和67-1	兵庫髻	寛永～元禄	—	ポーラ・コレクション	
和67-2	勝山髻	承応～明暦	—	ポーラ・コレクション	
和67-3	元禄島田髻	元禄	—	ポーラ・コレクション	
和67-4	春信風島田髻	明和年間	—	ポーラ・コレクション	
和67-5	燈籠髻・島田髻	安永～寛政	—	ポーラ・コレクション	
和67-6	横兵庫髻・江戸吉原	文化・文政頃	—	ポーラ・コレクション	
和67-7	両輪髻	江戸時代末期	—	ポーラ・コレクション	
和67-8	丸髻	江戸時代末期～明治時代	—	ポーラ・コレクション	
和67-9	おすべらかし	江戸時代後期	—	ポーラ・コレクション	
和67-10	桃割れ	明治時代	—	ポーラ・コレクション	
和67-11	マガレイト	明治時代	—	ポーラ・コレクション	
和67-12	高島田	明治時代	—	ポーラ・コレクション	
和67-13	行方不明	大正時代	—	ポーラ・コレクション	
和67-14	耳隠し	大正時代	—	ポーラ・コレクション	
和67-15	女優髻	大正時代	—	ポーラ・コレクション	
和68	「風流七小町 関寺小町 鶴屋内・大淀」菊川英山	文化9年(1812)	縦36.3×横25.2	ポーラ・コレクション	前期
和69	「江戸名所百人美女 三縁山増上寺」三代歌川豊国	安政4年(1857)	縦36.3×横25.2	ポーラ・コレクション	後期
和70	おすべらかし用櫛類 杵製	明治時代	長櫛: 縦4.5×横11.5、へら付き筋立て、長10.5×幅2.5、長13.0×幅2.5、長16.0×幅2.5、筋立て: 長18.0×幅2.0、長21.5×幅2.5	ポーラ・コレクション	
和71	貝桶模様金蒔絵木櫛	江戸時代末期	縦8.0×横12.0	ポーラ・コレクション	
和72	珊瑚付き花模様蒔絵木櫛	江戸時代末期	縦4.5×横16.8	ポーラ・コレクション	
和73	葵模様蒔絵木櫛	江戸時代末期	縦5.0×横11.8	ポーラ・コレクション	
和74	枝垂れ桜模様鼈甲蒔絵櫛	江戸時代末期	縦6.1×横11.9	ポーラ・コレクション	
和75	櫛巻用鼈甲櫛	江戸時代末期	縦3.0×横12.4	ポーラ・コレクション	

No.	作品名	制作年代	制作地・材質・技法・寸法(cm)	所蔵先	展示替え
和76	鼈甲製櫛・簪	江戸時代後期	櫛：縦4.1×横9.2、簪：長20.5	ポーラ・コレクション	
和77	斑入り鼈甲製櫛・簪・簪	江戸時代後期	櫛：縦7.7×横11.5、簪：長22.8、簪：長28.9	ポーラ・コレクション	
和78	梅に鶯模様蒔絵木櫛・簪	幕末～明治時代	櫛：縦3.6×横8.6、簪：長16.4	ポーラ・コレクション	
和79	珊瑚付き菊に小鳥模様蒔絵櫛・簪	幕末～明治時代	櫛：縦3.4×横8.6、簪：長13.1	ポーラ・コレクション	
和80	牡丹珊瑚飾りびらびら簪	幕末～明治時代	長21.5	ポーラ・コレクション	
和81	松竹梅珊瑚飾りびらびら簪	幕末～明治時代	長23.5	ポーラ・コレクション	
和82	結び葵びらびら簪	幕末～明治時代	長19.4	ポーラ・コレクション	
和83	牡丹に蝶珊瑚飾りびらびら簪	幕末～明治時代	長19.0	ポーラ・コレクション	
和84	玉簪	幕末～明治時代	長15.4、長18.7、長21.7、長17.6	ポーラ・コレクション	
和85	桜紋簪	幕末～明治時代	長20.2	ポーラ・コレクション	
和86	菊花簪と平打簪	幕末～明治時代	長15.9、長16.6	ポーラ・コレクション	
和87	龍の落とし子模様象牙洋髪櫛	明治時代	縦3.5×横4.0	ポーラ・コレクション	
和88	象牙製櫛・いち止め・簪	幕末～明治時代	櫛：縦2.8×横8.4、幅0.8×長6.2、1.8×16.6	ポーラ・コレクション	
和89	菊に流水模様 象牙櫛・簪	明治時代	櫛：縦4.3×横8.7、簪：長17.0	ポーラ・コレクション	
和90	菊模様透し彫り鼈甲櫛	明治時代	縦5.0×横9.0	ポーラ・コレクション	
和91	ガラスの弁類	明治時代	長15.0、長15.9、長16.6、長21.0	ポーラ・コレクション	
和92	富士龍模様蒔絵鼈甲櫛・簪	明治時代	櫛：縦3.4×横8.6、簪：長14.1	ポーラ・コレクション	
和93	金地鳥兜紅葉模様螺鈿蒔絵鼈甲櫛・簪	明治時代	櫛：縦5.0×横8.0、簪：長16.0	ポーラ・コレクション	
和94-1	鶴模様蒔絵鼈甲櫛・簪	明治時代	櫛：縦3.1×横7.8、簪：長14.0	ポーラ・コレクション	
和94-2	菊模様螺鈿蒔絵櫛・簪	明治時代	櫛：縦3.5×横8.5、簪：長15.2	ポーラ・コレクション	
和95-1	金蒔絵櫛・簪	明治時代	櫛：縦2.8×横8.7、簪：長13.6	ポーラ・コレクション	
和95-2	蝶模様螺鈿蒔絵櫛・簪	明治時代	櫛：縦3.1×横8.4、簪：長14.5	ポーラ・コレクション	
和96-1	菊模様金蒔絵櫛	明治時代	縦4.5×横9.1	ポーラ・コレクション	
和96-2	御所車桜模様蒔絵鼈甲櫛・簪	明治時代	櫛：縦4.5×横8.5、簪：長15.7	ポーラ・コレクション	
和97	束髪用櫛	明治～大正時代	縦6.8×横15.0	ポーラ・コレクション	
和98	南天雪模様象嵌擬甲櫛	大正時代	縦5.5×横10.5	ポーラ・コレクション	
和99-1	お面模様擬甲櫛・簪	大正時代	櫛：縦4.7×横9.4、簪：長14.7	ポーラ・コレクション	
和99-2	扇面桜模様螺鈿擬甲櫛・簪	昭和時代	櫛：縦5.3×横9.8、簪：長16.0	ポーラ・コレクション	
和100	大正櫛／菊模様金芝櫛・簪、小粒真珠入り櫛・簪、鶴に松竹梅模様櫛・簪	大正時代	櫛：縦5.3×横9.9、簪：長16.0、櫛：縦4.8×横9.8、簪：長16.2、櫛：縦5.5×横10.2、簪：長16.1	ポーラ・コレクション	
和101	珊瑚入りつる草模様櫛	大正時代	縦5.1×横10.3	ポーラ・コレクション	
和102	青地蟹葎蒔絵木櫛	大正時代	縦4.4×横9.8	ポーラ・コレクション	
和103	瓢箪模様蒔絵木櫛・簪	昭和時代	櫛：縦5.5×横10.3、簪：長17.4	ポーラ・コレクション	
和104	日本髪を結う櫛 黄揚櫛類	現代	髪搔き櫛：縦4.0×横16.5、解き櫛：各縦4.0×横16.5、元結い通し：縦17.0×横0.5、髪あげ：縦20.0×横3.5、髪出し：縦21.5×横5.0、際出し：縦21.0×横3.0、髷搔き：縦20.0×横5.5、毛筋立て：縦21.0×横8.5、縦16.0×横8.0、縦19.0×横7.5、鬼齒：縦19.5×横8.0	ポーラ・コレクション	

◇日本の化粧・髪型 「装う」

和105	白綸子地花束雲模様打掛	江戸時代	18～19世紀	丈172.0×衿60.5	共立女子大学	前期
和106	紫縮緬地放鷹雪景模様振袖	江戸時代	18～19世紀	丈148.7×衿62.2	共立女子大学	前期
和107	紅綸子地花束空目模様打掛	江戸時代	19世紀	丈165.0×衿59.6	共立女子大学	後期
和108	浅葱縮緬地秋冬風景模様小袖	江戸時代	19世紀	丈164.7×衿63.3	共立女子大学	後期
和111	紅綸子地松笹鶴模様打掛	江戸時代	19世紀	丈169.6×衿60.5	共立女子大学	前期
和112	白綸子地松御簾模様打掛	江戸時代	18世紀	丈164.3×衿62.9	共立女子大学	前期
和113	白綸子地松竹梅鶴亀模様打掛	江戸時代	19世紀	丈165.0×衿62.0	共立女子大学	後期
和114	紺襦子地薬玉模様打掛	江戸時代	19世紀	丈164.0×衿61.0	共立女子大学	後期
和115	白綸子地松竹梅鶴亀模様打掛	明治時代	19世紀	丈161.0×衿64.0	ポーラ・コレクション	前期
和116	萌黄縮緬地梅桜菊唐扇模様振袖	幕末～明治時代	19世紀	丈160.0×衿64.0	ポーラ・コレクション	後期
和121	牡丹蝶模様箱迫	江戸時代末期		縦8.0×横17.0	ポーラ・コレクション	
和122	紅白梅宝尽くし模様箱迫	江戸時代末期		縦8.0×横16.5	ポーラ・コレクション	
和123	竹雀模様懐紙入れ	江戸時代末期		縦9.5×横19.0	ポーラ・コレクション	
和124	牡丹模様懐紙入れ	江戸時代末期		縦10.0×横19.0	ポーラ・コレクション	
和125	竹犬猫模様袂落し	江戸時代末期		大：縦10.3×横7.9、小：縦9.5×横7.5、紐：78.0	ポーラ・コレクション	
和126	萌黄地牡丹青海波文定家文庫	明治時代		縦20.7×横10.7×高12.3	ポーラ・コレクション	
和127	金襴地亀甲文定家文庫	明治時代		縦22.5×横11.8×高12.3	ポーラ・コレクション	

No.	作品名	制作年代	制作地・材質・技法・寸法(cm)	所蔵先	展示替え
和128-1	菊模様印籠	江戸時代末期	縦4.2×横3.0×厚2.0	ポーラ・コレクション	
和128-2	さやえんどう模様印籠	江戸時代末期	縦3.2×横2.2×厚1.0	ポーラ・コレクション	
和129	タバコケース	明治時代	縦9.2×横6.0×厚2.0	ポーラ・コレクション	
和130	信玄袋	幕末～明治時代	径6.8×高3.7、径6.0×高3.8	ポーラ・コレクション	
和131	香水調合セット付きハンドバッグ	明治時代	縦19.6×横15.2×奥行8.0	ポーラ・コレクション	
和132	携帯用化粧道具セット	明治時代末期～大正時代	縦12.5×横8.0×厚4.5	ポーラ・コレクション	
和133	携帯用裁縫セット	明治時代	縦10.6×横6.6	ポーラ・コレクション	

◇日本の化粧・髪型 「特別展示 江戸城大奥の化粧道具」

和134	櫛台(黒塗葵牡丹散蒔絵) 敬子(天璋院) 所用	江戸時代 19世紀	全体：高34.5、天板部：縦23.8×横33.3、底部：縦20.8×横29.5	徳川記念財団	前期
和135	眉作箱(黒塗葵牡丹散蒔絵) 敬子(天璋院) 所用	江戸時代 19世紀	縦21.5×横22.0×高27.0	徳川記念財団	後期
和137	手鏡、鏡袋、鏡建(黒塗葵葉菊紋散蒔絵) 和宮(静寛院宮) 所用	江戸時代 19世紀	手鏡：各縦42.0×横30.0、鏡建：高61.5×幅28.0	徳川記念財団	前期
和139	湯桶・手洗(村梨子地葵葉菊紋散花桐唐草蒔絵) 和宮(静寛院宮) 所用	江戸時代 19世紀	湯桶：幅34.0×高18.8、手洗：径51.0×高20.5	徳川記念財団	前期
和140	耳手洗・輪台(黒塗葵葉菊紋散蒔絵) 和宮(静寛院宮) 所用	江戸時代 19世紀	耳手洗：高17.0×径27.0、輪台：高21.5×径28.0	徳川記念財団	後期
和141	渡金・渡金箱(黒塗葵葉菊紋散蒔絵) 和宮(静寛院宮) 所用	江戸時代 19世紀	渡金：縦32.5×横6.3、渡金箱：縦39.3×横9.8×高12.6	徳川記念財団	後期
和142	「千代田の大奥」 揚州周延	明治27年～29年(1894～96)		ポーラ・コレクション	
-1	おさざれ石		縦35.5×横72.4		前期
-2	元旦・二度目の御飯		縦35.5×横72.4		後期
-3	お流れ		縦35.5×横72.4		前期
-4	節分		縦35.5×横72.4		後期
-5	婚礼		縦35.5×横72.4		前期
-6	ご遊山		縦35.5×横72.4		後期
-7	月見の宴		縦35.5×横72.4		前期
-8	入浴		縦35.5×横72.4		後期
-9	お櫛あげ		縦35.5×横72.4		
-10	お召し換え		縦35.5×横72.4		後期
-11	式日 局の退出		縦35.5×横72.4		前期
-12	長刀の稽古		縦35.5×横72.4		後期
和143	「三定例之内 婚礼之図」 一勇斎国芳	嘉永元年(1848)	縦35.8×横24.6	ポーラ・コレクション	後期
和144	源氏御祝言図	文久元年(1861)	縦34.5×横71.0	ポーラ・コレクション	前期
和145	「婚礼色直し之図」 一勇斎国芳	弘化4年(1847)	縦25.8×横76.0	ポーラ・コレクション	前期
和146	「婦人諸礼鑑之内 婚礼」 一勇斎国芳	弘化頃(1844～48)	縦35.8×横24.6	ポーラ・コレクション	後期
和147	「七小町吾妻風俗 さうしあらひ」 香蝶楼国貞	安政4年(1857)	縦35.8×横70.3	ポーラ・コレクション	前期
和148	「江戸名所百人美女 御殿山」 三代歌川豊国	安政5年(1858)	縦35.8×横24.6	ポーラ・コレクション	後期
和149	「江戸名所百人美女 今川橋」 三代歌川豊国	安政5年(1858)	縦24.0×横34.0	ポーラ・コレクション	前期
和150	「江戸名所百人美女 芝神明前」 三代歌川豊国	安政5年(1858)	縦37.9×横26.0	ポーラ・コレクション	後期
和151	「上野不忍競馬之図」 楊州周延	明治17年(1884)	縦35.8×横70.3	ポーラ・コレクション	前期
和152	鬘附東髪圖會	明治20年(1887)	縦35.0×横72.5	ポーラ・コレクション	後期
和153	「幻燈写真競 女史演説」 楊州周延	明治23年(1890)	縦35.2×横23.2	ポーラ・コレクション	前期
和154	「幻燈写真競 海水浴」 楊州周延	明治23年(1890)	縦34.7×横22.7	ポーラ・コレクション	後期
和155	「紅つけ」 橋口五葉	大正9年(1920)	縦46.3×横30.0	ポーラ・コレクション	前期
和156	「夏衣の女」 橋口五葉	大正9年(1920)	縦46.3×横30.0	ポーラ・コレクション	後期
和157	「赤い襟」 山川秀峰	昭和3年(1928)	縦39.0×横26.2	ポーラ・コレクション	前期
和158	「襟白粉」 鳥居言人	昭和4年(1929)	縦48.0×横32.9	ポーラ・コレクション	後期
和159	「初化粧」 堂本印象	昭和10年(1935)	縦51.0×横37.8	ポーラ・コレクション	前期
和160	「髪のはつれ」 小早川清	昭和初期(1926～)	縦40.4×横25.2	ポーラ・コレクション	後期
和161	美人絵はがき	—	縦13.0×横8.0など	ポーラ・コレクション	

◇西洋のヘアモード・メイクアップ 「粧う」

洋1	化粧する貴婦人	1910年	ドイツ・マイセン 磁器 縦8.5×横10.5×高13.5	ポーラ・コレクション	
洋2	キュービット花文様パッチボックス	18世紀	イングランド 木、真珠母貝、銀、真鍮、ビケ装飾 ボックス：縦3.8×横6.0×高8.1	ポーラ・コレクション	

No.	作品名	制作年代	制作地・材質・技法・寸法(cm)	所蔵先	展示替え
洋3	寄木細工ケース入り香水化粧セット	18世紀後半	フランス 木、金属、ガラス、ビロード ケース：縦18.5×横19.0×高26.0(開)	ポーラ・コレクション	
洋4	イニシャル入り化粧ケース	19世紀後半	くるみ材、金属、ガラス、象牙 ケース：縦26.5×横29.0×高30.5(開)	ポーラ・コレクション	
洋5	ヴィクトリア様式イニシャル入り化粧ケース	19世紀中頃	イングランド くるみ材、金属、カットガラス、珊瑚象嵌 ケース：縦26.0×横38.5×高30.5(開)	ポーラ・コレクション	
洋6	ルイ16世様式化粧セット	19世紀後半	フランス 20金、ガラス 香水瓶(大)：縦8.5×横8.5×高21.5、トレー(大)： 縦19.5×横30.5×厚3.5 ほか	ポーラ・コレクション	
洋7	写真アルバム	1870～90年代頃	ドイツ 皮、金属、紙、ゼラチン現像紙、コロタ イブ写真印刷、手彩色 縦29.8×横23.9×厚7.6	ポーラ・コレクション	
洋8	緑色ガラス化粧セット	19世紀後半	ガラス 香水瓶(大)：径7.5×高18.5、パウダーボッ クス：径9.5×高8.0、トレー(大)：縦8.5×横21.0× 高3.5 ほか	ポーラ・コレクション	
洋9	イニシャル入り化粧セット	19世紀後半	オーストリア 銀、ガラス、毛 立ち鏡：縦52.1× 横39.4×厚2.5、燭台：径12.8×高22.0、香水瓶：径6.0 ×高14.8、ヘアブラシ：縦21.9×横8.1×厚3.8 ほか	ポーラ・コレクション	
洋10	アール・ヌーヴォー様式あやめ文様化粧セッ ト ゴールド・スミス&シルバー・スミス	1903～07年	イングランド 銀、ガラス、毛、ビロード、鼈甲	ポーラ・コレクション	
-1	宝石箱	1903～07年	大：縦14.0×横27.5×高9.0、中：縦16.6×横19.5× 高9.2、小：縦10.2×横15.3×高6.3	ポーラ・コレクション	
-2	ハート型トレーと化粧小物入れ	1903～07年	トレー(大)：縦12.0×横11.8、トレー(小)：縦10.5 ×横10.0、ケース：縦8.0×横8.5×高3.5	ポーラ・コレクション	
-3	トレー、クラブストレッチャー、皮ケー ス付き時計	1903～07年	クラブストレッチャー：縦22.5×横3.5×厚2.2、ト レー：縦8.7×横22.5、時計：縦6.0×横7.0×高9.5	ポーラ・コレクション	
-4	手鏡、アルコールランプとコテ、ドレッ シングコームとテールコーム	1903～07年	手鏡：縦28.0×横13.0、アルコールランプ：縦6.1× 横14.0×高4.7、ドレッシングコーム：縦18.5×横4.5 ×厚1.0、テールコーム：縦22.0×横3.5×厚1.0	ポーラ・コレクション	
-5	帽子・服ブラシとヘアブラシ	1903～07年	帽子・服ブラシ：縦4.0×横16.5×厚4.5、ヘアブラシ： 縦23.6×横8.0×厚4.5	ポーラ・コレクション	
-6	トレー、パウダーボックス、香水瓶	1903～07年	トレー：縦23.0×横31.5、パウダーボックス：径8.5 ×高9.0、香水瓶：径8.8×高13.0	ポーラ・コレクション	
-7	ヘアピンケースと化粧容器	1903～07年	ヘアピンケース：縦4.0×横16.2×高3.0、化粧容器 (大)：縦7.0×横10.5×高3.0、化粧容器(小)：縦3.8 ×横8.7×高3.2	ポーラ・コレクション	
-8	マニキュアセット	1903～07年	縦19.5×横25.5×高4.5	ポーラ・コレクション	
-9	立ち鏡	1903～07年	縦：60.0×横40.0×奥行29.0	ポーラ・コレクション	
洋11	王妃マリー・アントワネット、ルイ16世 肖像入り壁掛け鏡	1880年代	ドイツ 磁器、ガラス 縦100.0×横80.0×厚20.0	ポーラ・コレクション	
洋12	天使花文様円形壁掛け鏡	19世紀後半	ドイツ・マイセン 磁器、ガラス 縦34.5×横25.0×厚6.5	ポーラ・コレクション	
洋13	五感の象徴	1880年代	ドイツ・マイセン 磁器 径9.2×高19.8	ポーラ・コレクション	
洋14	ルイ16世様式手鏡	19世紀中頃	フランス 金属、ガラス 縦30.5×横13.0×厚1.0	ポーラ・コレクション	
洋15	花文様手鏡	19世紀後半	イタリア マイクロモザイクガラス、金属 縦26.5×横10.0×厚1.0	ポーラ・コレクション	
洋16	女性像柄付き立ち鏡	1900年頃	銅、ガラス 径26.5×高48.0	ポーラ・コレクション	
洋17	アール・ヌーヴォー様式花女神文様手鏡	19世紀末	銅、ガラス 縦32.5×横12.5×厚1.0	ポーラ・コレクション	
洋18	梅文様手鏡	1920年代	銀、ガラス、金彩エナメル 縦23.0×横7.2×厚1.0	ポーラ・コレクション	
洋19	山羊ぶどう文様手鏡	1920～30年代	銀、ガラス 径16.2×厚2.5	ポーラ・コレクション	
洋20	オルゴール付きパウダーコンパクト	1910年代頃	金属、ガラス、オルゴール、マルカジット装飾 縦6.5×横6.8×厚1.6	ポーラ・コレクション	
洋21	オルゴール付きダブルコンパクト	1920～30年代	フランス 金属、ガラス、オルゴール、エナメル 装飾 縦5.5×横9.8×厚0.9	ポーラ・コレクション	
洋22	トリプルコンパクト	1920～30年代	フランス スエード、金属、ガラス、絹、マルカジッ ト装飾 縦8.0×横12.0×厚2.0	ポーラ・コレクション	
洋23	房付き幾何学文様トリプルコンパクト	1920～30年代	フランス 金属、ガラス、絹、エナメル装飾 縦5.0×横9.6×厚1.5	ポーラ・コレクション	
洋24	トリプルコンパクト ラングロワ	1920～30年代	アメリカ 金属、ガラス、布、エナメル装飾 縦5.0×横9.7×厚0.7	ポーラ・コレクション	
洋25	文字入りパウダーコンパクト アトキンソン	1930年代頃	イングランド 金属、ガラス、布 径5.3×厚1.0	ポーラ・コレクション	
洋26	アラベスク文様トリプルコンパクト	1930年代	皮、金属、ガラス、布 縦5.6×横9.7×厚1.2	ポーラ・コレクション	
洋27	花かご文様ダブルコンパクト ウビガン	1920～30年代	フランス 金属、ガラス、エナメル装飾、布 径4.5×厚1.5	ポーラ・コレクション	
洋28	房付き蝶文様パウダーコンパクト	1920～30年代	金属、ガラス、絹 径7.0×厚2.0	ポーラ・コレクション	
洋29	袋付きダブルコンパクト	1910～50年代	金属、ガラス、布 径11.0×厚3.3	ポーラ・コレクション	
洋30	コーム付きトリプルコンパクト ウビガン	1930～50年代	フランス 金属、セルロイド、ガラス、布 縦5.3×横8.4×厚0.9	ポーラ・コレクション	

No.	作品名	制作年代	制作地・材質・技法・寸法(cm)	所蔵先	展示替え
洋31	ライター型トリプルコンパクト	1930年代	金属、ガラス 縦6.0×横6.5×厚1.8	ポーラ・コレクション	
洋32	地球儀型パウダーコンパクト	1910～50年代	金属、ガラス、布 径5.2	ポーラ・コレクション	
洋33	卵型ケース入り香水瓶セット	18世紀	フランス ガラス、金属 縦6.5×横10.7×高15.0(開)	ポーラ・コレクション	
洋34	くるみケース入り香水瓶セット	18世紀末	イングランド くるみ、絹、カットガラス、金属 縦3.0×横4.2×高5.8(開)	ポーラ・コレクション	
洋35	花唐草文様香水瓶	18世紀末～19世紀初	フランス 磁器、金彩 縦12.5×横12.5×高10.5	ポーラ・コレクション	
洋36	マーブル文様香水瓶	19世紀	イタリア アベンチュリンガラス、金属、ガラス 径2.5×高7.5	ポーラ・コレクション	
洋37	ケース入り香水セット	19世紀後半	フランス 象牙、金属、布、ガラス、木、水彩 ケース：縦6.5×横10.5×高9.0	ポーラ・コレクション	
洋38	花文様香水瓶、パウダーボックス	1880年	フランス 磁器、金彩エナメル 香水瓶：縦6.3×横6.3×高15.0、パウダーボックス：縦6.2×横8.0×高14.5	ポーラ・コレクション	
洋39	蛇文様香水瓶	19世紀後半	ガラス、金属 縦6.5×横6.5×高15.5	ポーラ・コレクション	
洋40	アトマイザー付き花文様香水瓶 バカラ	20世紀初頭	フランス 金属、ガラス 径10.5×高20.0	ポーラ・コレクション	
洋41	冬景色文様香水瓶 ドーム	1910年代頃	フランス ガラス 径11.0×高18.5	ポーラ・コレクション	
洋42	菊文様香水瓶 エミール・ガレ	1910年代	フランス ガラス、エナメル、エッチング 縦5.3×横10.5×高9.5	ポーラ・コレクション	

◇西洋のヘアモード・メイクアップ 「結う」

洋43-1	16世紀末のエリザベス1世のスタイル	—	—	ポーラ・コレクション	
洋43-2	17世紀のユリユルベリユル・スタイル	—	—	ポーラ・コレクション	
洋43-3	17世紀のフォンタンジュ・スタイル	—	—	ポーラ・コレクション	
洋43-4	18世紀のフランス王妃のスタイル	—	—	ポーラ・コレクション	
洋43-5	18世紀のマリー・アントワネットのスタイル	—	—	ポーラ・コレクション	
洋43-6	18世紀のフリゲート艦ユノスタイル	—	—	ポーラ・コレクション	
洋43-7	18世紀のドラゴンヌ(下緒)・スタイル	—	—	ポーラ・コレクション	
洋43-8	18世紀の貝殻型巻毛付きの編み込みスタイル	—	—	ポーラ・コレクション	
洋43-9	19世紀のギリシア・スタイル	—	—	ポーラ・コレクション	
洋43-10	19世紀のア・ラ・ジラフ・スタイル(兜型)	—	—	ポーラ・コレクション	
洋43-11	1830年代後半のスタイル	—	—	ポーラ・コレクション	
洋43-12	1850年代のスタイル	—	—	ポーラ・コレクション	
洋43-13	1870年代のスタイル	—	—	ポーラ・コレクション	
洋43-14	19世紀のボンパドール風スタイル	—	—	ポーラ・コレクション	
洋43-15	20世紀のボブ風スタイル	—	—	ポーラ・コレクション	
洋43-16	20世紀のパーマネントウェーブ	—	—	ポーラ・コレクション	
洋44	フリゲート艦ユノ『髪型—ルイ16世代の奇抜なよそおい』 オクタヴ・ユザース著	1895年	フランス 紙、銅版画	ポーラ・コレクション	
洋45	ギリシア神話文様両歯櫛	1550年代頃	イタリア 象牙 縦11.5×横12.0	ポーラ・コレクション	
洋46	ハート文様両歯櫛	16世紀	木、絹 縦11.5×横16.5	ポーラ・コレクション	
洋47	花文様両歯櫛	1650～80年頃	真珠貝、鼈甲、象牙、真鍮、ビケ装飾 縦10.0×横13.5	ポーラ・コレクション	
洋48	男女花文様両歯櫛	1750年代	象牙、彩色 縦8.0×横12.0	ポーラ・コレクション	
洋49	名前入り櫛	1785年	角、透かし彫り 縦10.0×横17.5	ポーラ・コレクション	
洋50	矢筒・矢文様飾り櫛	1800～05年頃	金属、珊瑚、鼈甲 縦12.5×横12.0	ポーラ・コレクション	
洋51-1	女神文様飾り櫛	1815～20年頃	銀、透かし彫り 縦12.0×横15.0	ポーラ・コレクション	
洋51-2	植物文様飾り櫛	1815～20年頃	金属、透かし彫り 縦9.5×横16.5	ポーラ・コレクション	
洋52	花文様飾り櫛	1820～30年頃	金属、アメジスト、透かし彫り 縦15.0×横14.5	ポーラ・コレクション	
洋53-1	玉飾り付き飾り櫛	1860～70年頃	骨 縦11.0×横9.5	ポーラ・コレクション	
洋53-2	玉飾り付き飾り櫛	1860～70年頃	骨 縦10.0×横10.0	ポーラ・コレクション	
洋54-1	飾り櫛	1880～90年頃	鼈甲、ボヘミアンガーネット、金属 縦10.0×横7.5	ポーラ・コレクション	
洋54-2	飾り櫛	1880～90年頃	鼈甲、ボヘミアンガーネット、金属 縦10.0×横13.5	ポーラ・コレクション	
洋55-1	玉飾り付き飾り櫛	19世紀後半	セルロイド 縦8.0×横8.0	ポーラ・コレクション	
洋55-2	花文様飾り櫛	19世紀後半	ジェット、透かし彫り 縦11.5×横5.5	ポーラ・コレクション	
洋56	飾り櫛	19世紀前半	銀、セルロイド、透かし彫り 縦15.0×横9.0	ポーラ・コレクション	
洋57-1	ヘアピン	1880年頃	イングランド 銀、透かし彫り 縦12.0×横3.5	ポーラ・コレクション	
洋57-2	飾り櫛	1880年頃	イングランド 銀、透かし彫り 縦10.5×横9.0	ポーラ・コレクション	

No.	作品名	制作年代	制作地・材質・技法・寸法(cm)	所蔵先	展示替え
洋57-3	ヘアピン	1880年頃	イングランド 銀、透かし彫り 縦12.5×横3.5	ポーラ・コレクション	
洋58-1	アール・ヌーヴォー様式松葉文様飾り櫛	1900～05年頃	角、銀 縦5.5×横11.0	ポーラ・コレクション	
洋58-2	アール・ヌーヴォー様式花文様飾り櫛	1900～05年頃	角 縦13.0×横7.5	ポーラ・コレクション	
洋58-3	アール・ヌーヴォー様式銀杏文様飾り櫛	1900～05年頃	角 縦8.5×横11.5	ポーラ・コレクション	
洋58-4	アール・ヌーヴォー様式蜻蛉文様飾り櫛	1900～05年頃	セルロイド 縦10.0×横13.2	ポーラ・コレクション	
洋59	アール・ヌーヴォー様式すずらん文様飾り櫛	1900～05年頃	セルロイド、銀、トルコ石、象嵌 縦7.5×横11.5	ポーラ・コレクション	
洋60	アール・ヌーヴォー様式飾り櫛	1910年代	セルロイド、金、オパール、真珠、象嵌 縦7.0×横10.5	ポーラ・コレクション	
洋61-1	アール・デコ様式ヘアピン	1920年代頃	金属、トルコ石、イミテーションストーン 縦11.0×横2.0	ポーラ・コレクション	
洋61-2	アール・デコ様式ヘアピン	1920年代頃	金属、イミテーションストーン 縦11.0×横1.5	ポーラ・コレクション	
洋61-3	アール・デコ様式ヘアピン	1920年代頃	金属、トルコ石、イミテーションストーン 縦11.5×横2.5	ポーラ・コレクション	
洋61-4	アール・デコ様式ヘアピン	1920年代頃	金属、イミテーションストーン 縦12.0×横1.5	ポーラ・コレクション	
洋62	スペイン櫛	1920～25年頃	セルロイド 縦21.5×横13.0	ポーラ・コレクション	
洋63-1	花文様飾り櫛 オーギュスト・ボナ工房	1913年	フランス セルロイド、イミテーションストーン 縦10.5×横8.0	ポーラ・コレクション	
洋63-2	孔雀文様飾り櫛	1910年代	セルロイド、イミテーションストーン 縦9.5×横10.5	ポーラ・コレクション	
洋64	羽根飾り付きヘアピン	1930年代頃	セルロイド、ナイロン、金属、イミテーションストーン、絹、透かし彫り 縦20.5×横4.0、縦16.0×横4.0、縦15.5×横4.0、縦15.5×横4.0縦17.5×横2.5	ポーラ・コレクション	
洋65-1	ヘアピン	1910年代	亀甲、イミテーションストーン 縦12.5×横4.0	ポーラ・コレクション	
洋65-2	ヘアピン	1910年代	セルロイド、イミテーションストーン 縦12.5×横4.0	ポーラ・コレクション	
洋66	アメリカ櫛	1920～25年頃	セルロイド、イミテーションストーン 縦18.5×横11.5、縦19.5×横22.5、縦20.5×横10.0、縦20.0×横9.5	ポーラ・コレクション	

◇西洋のヘアモード・メイクアップ 「装う」

洋68	「鏡の前の装い」 ジュール・ジェーム・ルージュロン	1877年	縦58.5×横40.0	東京富士美術館
洋69	ローブ・ア・ラ・フランセーズ	1775年頃	フランス 縞と花柄の絹プロケード	神戸ファッション美術館
洋72	ウェディング・ドレス	1873～75年頃	イギリス 絹サテン、花柄の絹プロケード	神戸ファッション美術館
洋73	男女図文様扇	1770年代	フランス 紙、象牙、金、銀、ガラス、手彩色、ファン 幅49.6(開)×縦27.0	ポーラ・コレクション
洋74	キューピット文様扇	1820年代	フランス 羊皮紙、銀、ガラス、ファン 幅28.6(開)×縦16.2	ポーラ・コレクション
洋75	ビーズアクセサリセット	1815～20年頃	メタルビーズ、トルコ石 櫛：縦10.5×横17.0、イヤリング：縦3.4×幅1.5、腕輪：幅4.0×長17.5、ネックレス：長47.2、ベルト：幅4.8×長53.6	ポーラ・コレクション
洋76	幾何学文様ビーズバッグ	1920～30年代頃	ガラスビーズ、絹、銀、彫刻、エナメル装飾 縦20.4×横13.0	ポーラ・コレクション
洋77	ビーズバッグ	1900年頃	イングランド メタルビーズ、布、金属 縦20.9×横11.5	ポーラ・コレクション
洋78	ウェーブヘアの女性の絵はがき	1901～1934年頃	イングランドほか ゼラチン現像紙、手彩色 縦13.5×横8.5	ポーラ・コレクション

◇参考出品

1	「帽子の館」 ジュール・シェレ	1892年	リトグラフ、紙 縦118.5×横83.4	北海道立帯広美術館
2	「『ラ・マリブラン』のシモーヌ・フレヴァレス」 マルセル・ヴェルテス	1923年	リトグラフ、紙 縦120.0×横80.0	北海道立帯広美術館
3	「バーデン—バーデン、1934」 リンヌ	1934年	リトグラフ、紙 縦120.0×横80.0	北海道立帯広美術館
4	「自動車『シトロエン』」 ピエール・ルイス	1924年	リトグラフ、紙 縦159.0×横117.0	北海道立帯広美術館
5	「安全灯油『サクソレーヌ』」 ジュール・シェレ	1894年	リトグラフ、紙 縦51.2×横33.2	北海道立帯広美術館
6	「最高級インド香水」 作者不詳	1895年頃	リトグラフ、紙 縦120.0×横80.0	北海道立帯広美術館
7	「脱毛防止剤『ベルテュイジヌ』」 作者不詳	1899年	リトグラフ、紙 縦86.5×横66.0	北海道立帯広美術館
8	「キナ入りワイン『スマルト』を一杯どうぞ」 作者不詳	1885年頃	リトグラフ、紙 縦129.5×横94.0	北海道立帯広美術館
9	「カジノ・ド・ピアリッツ」 アルフレッド・シュープラク	1885年頃	リトグラフ、紙 縦130.0×横93.5	北海道立帯広美術館
10	「自動車『モトブロック』」 ルネ・ヴァンサン(ルネ・マエル)	1927年	リトグラフ、紙 縦154.3×横113.2	北海道立帯広美術館

No.	作品名	制作年代	制作地・材質・技法・寸法(cm)	所蔵先	展示替え
11	「ギャルリー・ラファイエット百貨店―国債募集」 ジャン＝ガブリエル・ドメルグ	1920年	リトグラフ、紙 縦154.6×横115.5	北海道立帯広美術館	
12	「白粉『ディアファース』」 ジュール・シェレ	1890年	リトグラフ、紙 縦39.0×横82.6	北海道立帯広美術館	
13	「タバコ巻紙『ジョブ』」 アルフォンス・マリア・ミュシャ	1896年	リトグラフ、紙 縦51.5×横39.4	北海道立帯広美術館	

※番号は会場の作品キャプション(題せん)及びカタログ番号と一致。当館で展示されなかった作品の番号が空番号。

※展示替えの前期は6/15～7/8、後期は7/10～8/1。



「化粧ケース」



「眉作箱」

北の風土と四季の彩り

会期＝平成19年8月10日(金)－10月17日(水) 59日間

主催＝北海道立帯広美術館

協力＝北海道立近代美術館

観覧料＝一般650(500)円、高大生400(300)円

中学生以下・65歳以上の方および身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

おすすめ1点トーク

講師＝苦名 真(当館学芸課長)

日時＝9月1日(土)、9月15日(土) 午後1時～3時の間約15分
(希望に応じて随時)

会場＝当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム

「こねこね・アート」

日時＝9月8日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

ミュージアム・カレッジ

「十勝と北海道の美術をめぐる4章」

日時＝9月22日(土)、9月29日(土)、10月6日(土)、10月13日(土)
午後2時～4時 全4回

会場＝当館講堂、展示室(参加料620円、応募制)

美術講演会

「北の風土と美術－岩橋英遠、国松登、小川原脩、木田金次郎、神田日勝、片岡球子－」

講師＝奥岡茂雄氏(札幌芸術の森美術館館長、北翔大学大学院教授)

日時＝10月13日(土) 午後2時～午後4時

会場＝当館講堂(聴講無料)

関連記事

奥岡茂雄「魚眼図 芸術と風土」北海道新聞／9月7日

重田サキネ「あーとしーん 北の風土と四季の彩り」朝日新聞／9月13日

重田サキネ「マニアック・アート・ギャラリー 北の風土と四季の彩り」月刊ウィング サッポロ／2007年10月号



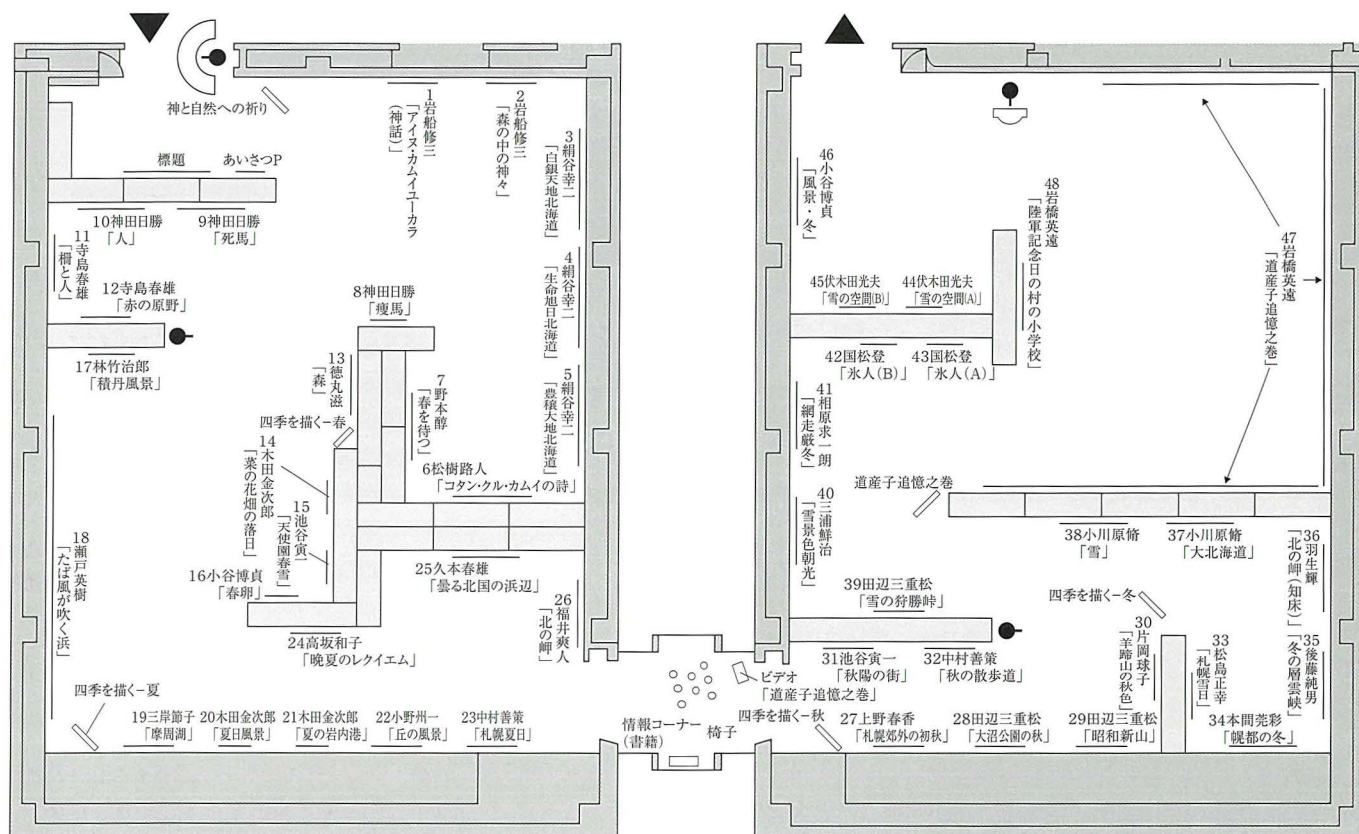
ポスター

アイヌ神話の神々が息づく深い森、収穫をもたらす恵みの大地、ときに困難な生活を強いる過酷な自然、そして季節感に富んだ折々の風景。日本列島の北端に位置する北海道は、その特異な気候と豊かな自然のもと、四季折々にさまざまな表情を見せる。そしてこれらの風土と風景は、そこに生きる画家たちの感性をはぐくみ想像力をかきたて、多彩な作品を醸成してきた。本展では、札幌の北海道立近代美術館ならびに当館が所蔵する作品のなかから、北海道の風土と四季をテーマに、油彩画および日本画およそ50点を紹介した。

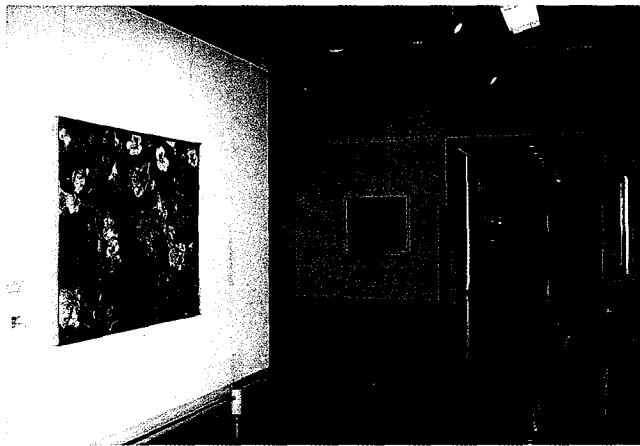
会場構成はまず、厳しくも美しい北海道の風土とその幻想性

をテーマとしたコーナー「神と自然への祈り」でスタート。次いで春夏秋冬のおおの季節の景物をモチーフとした作品をコーナーごとに紹介した。そして会場の後端では、北海道を代表する日本画家・岩橋英遠による全長30mにおよぶ大作『道産子追憶之巻』を展示した。

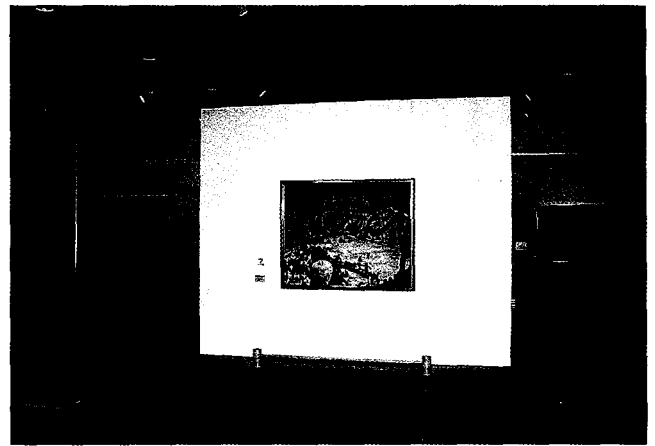
なお本展は、期間中の9月27日から30日にかけて帯広市内で開催された「日本青年会議所第56回全国会員大会」との連携を図った。この大会への参加者も含め多くの市民から好評を持って迎えられ、期間中の入場者は9,127名を数えた。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
■神と自然への祈り						
1	岩船修三	アイヌ・カムイユーカー(神話)	1971(昭和46)	油彩・キャンバス	72.7×90.7	北海道立近代美術館
2	岩船修三	森の中の神々	1970(昭和45)	油彩・キャンバス	97.0×130.3	北海道立近代美術館
3	絹谷幸二	日月燦々北海道：白銀天地北海道	2001(平成13)	ミクストメディア・キャンバス	193.9×259.1	北海道立近代美術館
4	絹谷幸二	日月燦々北海道：生命旭日北海道	2001(平成13)	ミクストメディア・キャンバス	193.9×259.1	北海道立近代美術館
5	絹谷幸二	日月燦々北海道：豊穠大地北海道	2001(平成13)	ミクストメディア・キャンバス	193.9×259.1	北海道立近代美術館
6	松樹路人	コタン・クル・カムイの詩	1988(昭和63)	油彩・キャンバス	181.8×227.3	北海道立帯広美術館
7	野本 醇	春を待つ(希望)	1979(昭和54)	油彩・キャンバス	112.1×193.9	北海道立近代美術館
8	神田日勝	瘦馬	1956(昭和31)	油彩・板	52.3×61.0	北海道立帯広美術館 (帯広市寄託)
9	神田日勝	死馬	1965(昭和40)	油彩・板	148.0×184.2	北海道立近代美術館
10	神田日勝	人	1962(昭和37)	油彩・板	121.0×168.0	北海道立近代美術館
11	寺島春雄	欄と人	1957(昭和32)	油彩・キャンバス	162.1×130.7	北海道立帯広美術館
12	寺島春雄	赤の原野	1959(昭和34)	油彩・キャンバス	131.3×194.3	北海道立帯広美術館
13	徳丸 滋	森	1982(昭和57)	油彩・キャンバス	130.5×193.5	北海道立近代美術館
■四季を描くー春						
14	木田金次郎	菜の花畑の落日	1955(昭和30)	油彩・キャンバス	72.7×90.9	北海道立近代美術館
15	池谷寅一	天使園春雪	1939(昭和14)	油彩・キャンバス	60.6×72.7	北海道立近代美術館
16	小谷博貞	春卵	1938~41(昭和13~16)	油彩・キャンバス	116.0×72.8	北海道立近代美術館
17	林竹治郎	積丹風景	1925(大正14)	油彩・キャンバス	61.0×151.5	北海道立近代美術館
18	瀬戸英樹	たば風が吹く浜	1991(平成3)	油彩・キャンバス	97.0×969.5	北海道立近代美術館
■四季を描くー夏						
19	三岸節子	摩周湖	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	59.5×108.5	北海道立近代美術館
20	木田金次郎	夏日風景	1930(昭和5)頃	油彩・キャンバス	59.4×48.9	北海道立近代美術館
21	木田金次郎	夏の岩内港	1960(昭和35)	油彩・キャンバス	65.2×80.3	北海道立近代美術館
22	小野州一	丘の風景	1996(平成8)	油彩・キャンバス	130.5×163.3	北海道立近代美術館
23	中村善策	札幌夏日	1961(昭和36)	油彩・キャンバス	112.1×145.5	北海道立近代美術館
24	高坂和子	晩夏のレクイエム	1980(昭和55)	油彩・キャンバス	130.7×162.1	北海道立帯広美術館
25	久本春雄	曇る北国の浜辺	1932(昭和7)	絹本彩色	192.5×198.0	北海道立近代美術館
26	福井爽人	北の岬	1993(平成5)	紙本彩色	71.7×89.9	北海道立近代美術館
■四季を描くー秋						
27	上野春香	札幌郊外の初秋	1968(昭和43)	油彩・キャンバス	60.6×72.7	北海道立近代美術館
28	田辺三重松	大沼公園の秋	1934(昭和9)	油彩・キャンバス	112.1×162.1	北海道立近代美術館
29	田辺三重松	昭和新山	1971(昭和46)	油彩・キャンバス	91.0×72.8	北海道立近代美術館

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	所蔵先
30	片岡球子	羊蹄山の秋色	1986(昭和61)	紙本彩色	71.5×90.0	北海道立近代美術館
31	池谷寅一	秋陽の街	1950(昭和25)	油彩・キャンバス	80.3×100.0	北海道立近代美術館
32	中村善策	秋の散歩道	1971(昭和46)	油彩・キャンバス	97.0×145.5	北海道立近代美術館

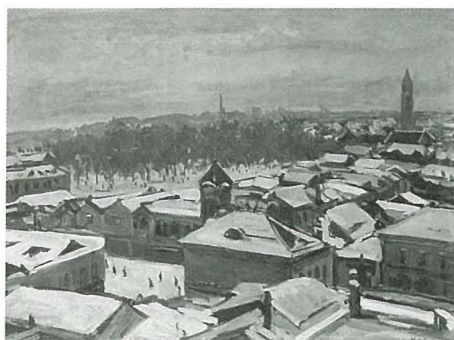
■四季を描くー冬

33	松島正幸	札幌雪日	1943(昭和18)	油彩・キャンバス	97.0×130.5	北海道立近代美術館
34	本間莞彩	幌都の冬	1949(昭和24)	紙本彩色	85.3×115.2	北海道立近代美術館
35	後藤純男	冬の層雲峡	2002(平成14)	紙本彩色	128.8×192.0	北海道立近代美術館
36	羽生 輝	北の岬(知床)	1989(平成元)	彩色・板	181.7×227.5	北海道立近代美術館
37	小川原 脩	大北海道	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	155.0×191.7	北海道立近代美術館
38	小川原 脩	雪	1940(昭和15)	油彩・キャンバス	154.8×191.2	北海道立近代美術館
39	田辺三重松	雪の狩勝峠	1939(昭和14)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	北海道立近代美術館
40	三浦鮮治	雪景色朝光	1972(昭和47)	油彩・キャンバス	130.3×162.1	北海道立近代美術館
41	相原求一郎	網走厳冬	1977(昭和52)	油彩・キャンバス	112.0×194.0	北海道立近代美術館
42	国松 登	氷人B	1960(昭和35)	油彩・キャンバス	136.0×136.2	北海道立近代美術館
43	国松 登	氷人(A)	1961(昭和36)	油彩・キャンバス	135.5×136.0	北海道立近代美術館
44	伏木田光夫	雪の空間(A)	1980(昭和55)	油彩・キャンバス	145.5×97.0	北海道立近代美術館
45	伏木田光夫	雪の空間(B)	1980(昭和55)	油彩・キャンバス	145.5×89.4	北海道立近代美術館
46	小谷博貞	風景・冬	1980(昭和55)	油彩・キャンバス	112.1×145.5	北海道立近代美術館

■道産子追憶之巻

47	岩橋英遠	道産子追憶之巻	1978～82(昭和53～57)	紙本彩色	60.7×2908.8	北海道立近代美術館
48	岩橋英遠	陸軍記念日の村の小学校	1928(昭和3)	紙本彩色	136.4×151.5	北海道立近代美術館

* 寸法は縦×横。



松島正幸「札幌雪日」



林竹治郎「積丹風景」

オランダ絵本作家展 ―かえるくん、ミッフィーとオランダ絵本の仲間たち―

会期：平成19年11月22日(木)ー平成20年1月30日(水)
55日間

主催＝北海道立帯広美術館、十勝毎日新聞社、
NPO 十勝文化会議、「オランダ絵本作家展」
実行委員会

後援＝オランダ王国大使館、日蘭協会、オランダ会、十勝町村
会、帯広市、帯広市教育委員会、十勝管内各町村教育委
員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、北海道高
等学校長協会十勝支部、十勝小・中校長会、帯広市校長会、
帯広市町内会連合会、帯広市民劇場運営委員会、とかち
カルチャーネット、NHK 文化センター帯広教室、NHK
帯広放送局、HBC 帯広放送局、STV 帯広放送局、HTB
帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA

協力＝岩波書店、金の星社、KLM オランダ航空、講談社、小
峰書店、朔北社、セーラー出版、ディック・ブルーナ・
ジャパン、PHP 研究所、BL 出版、福音館書店、ぶるー
な倶楽部、文芸堂、ほるぷ出版

協賛＝帯広信用金庫、帯広日産自動車(株)、大成建設(株)、大丸藤井
(株)道東支店、東洋印刷(株)、ホクレン農業協同組合連合会

企画協力＝産経新聞社

制作協力＝ステップ・イースト

観覧料＝一般950(750)円、高大生550(400)円、小中生300(250)円
身体障害者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

美術家に習う〈絵本作り教室〉

「作ろう！絵本～クリスマスの思い出～」

講師：宮澤克忠氏(元平原社美術協会会長・美術文化協会会員)

日時＝11月24日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(参加無料)

創作アトリエ

「ミニ・絵本作り体験」

日時＝毎日曜日(12/16、12/23をのぞく)、1月25日(金)、1月26日(土)

午後1時30分～4時

会場＝当館主展示室(要観覧券)

クリスマス・コンサート

出演＝ゴスペルシンガー Natsuki 氏

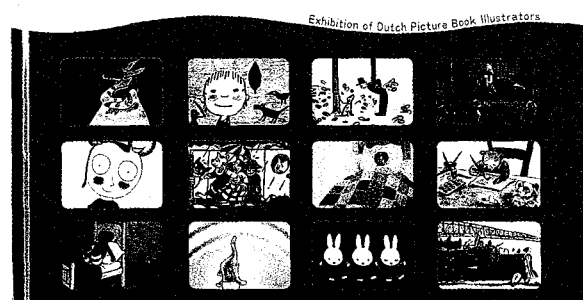
日時＝12月22日(土) 午後6時～7時

会場＝当館ロビー(入場無料)



ポスター

オランダ絵本作家展



図録

キッズ・ミュージアム

「作ろう・ミッフィーの紙芝居」

日時＝1月19日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

読みきかせ絵本シアター

朗読＝窪田稔氏(劇団ほうき座副代表)

日時＝1月25日(金)、1月26日(土) 午後5時～5時40分

会場＝当館講堂(入場無料)

たんけん！雪の迷路にかくされた謎

日時＝1月25日(金)～1月27日(日) 午前9時30分～午後4時

会場＝当館前庭、ロビー(参加無料)

関連記事

大笹健郎「サンデートーク」十勝毎日新聞／11月18日

大笹健郎「オランダ絵本展開幕」十勝毎日新聞／11月22日

大笹健郎「オランダ絵本作家展 関連グッズが好評」十勝毎日新聞／11月24日

大笹健郎「オランダ絵本作家展 美術家が指導し絵本作り」十勝毎日新聞／11月25日

野口洸「オランダ絵本作家展 帯広美術館で「教室」」北海道新聞／11月25日

大笹健郎「オランダ絵本作家展作品紹介」十勝毎日新聞／11月28日～12月9日

「オランダ絵本作家展 帯広美術館 原画など320点」読売新聞

／11月30日

大笹健郎「ミュージアムショップ 包装サービス実施」十勝毎日新聞／12月8日

「オランダ絵本作家展見学」十勝毎日新聞／12月8日、9日、1月18日、31日、2月1日

「オランダ絵本作家展 愛情の結晶一堂に」北海道新聞／12月8日

大笹健郎「オランダ絵本作家展 ミニ絵本作り体験子供たちに人気」十勝毎日新聞／12月10日

武内哲「編集余録 オランダ」十勝毎日新聞／12月24日

大笹健郎「オランダ絵本の魅力 (上)(中)(下)」十勝毎日新聞／1月9日～11日

「オランダの絵本作家と私」十勝毎日新聞／1月12日

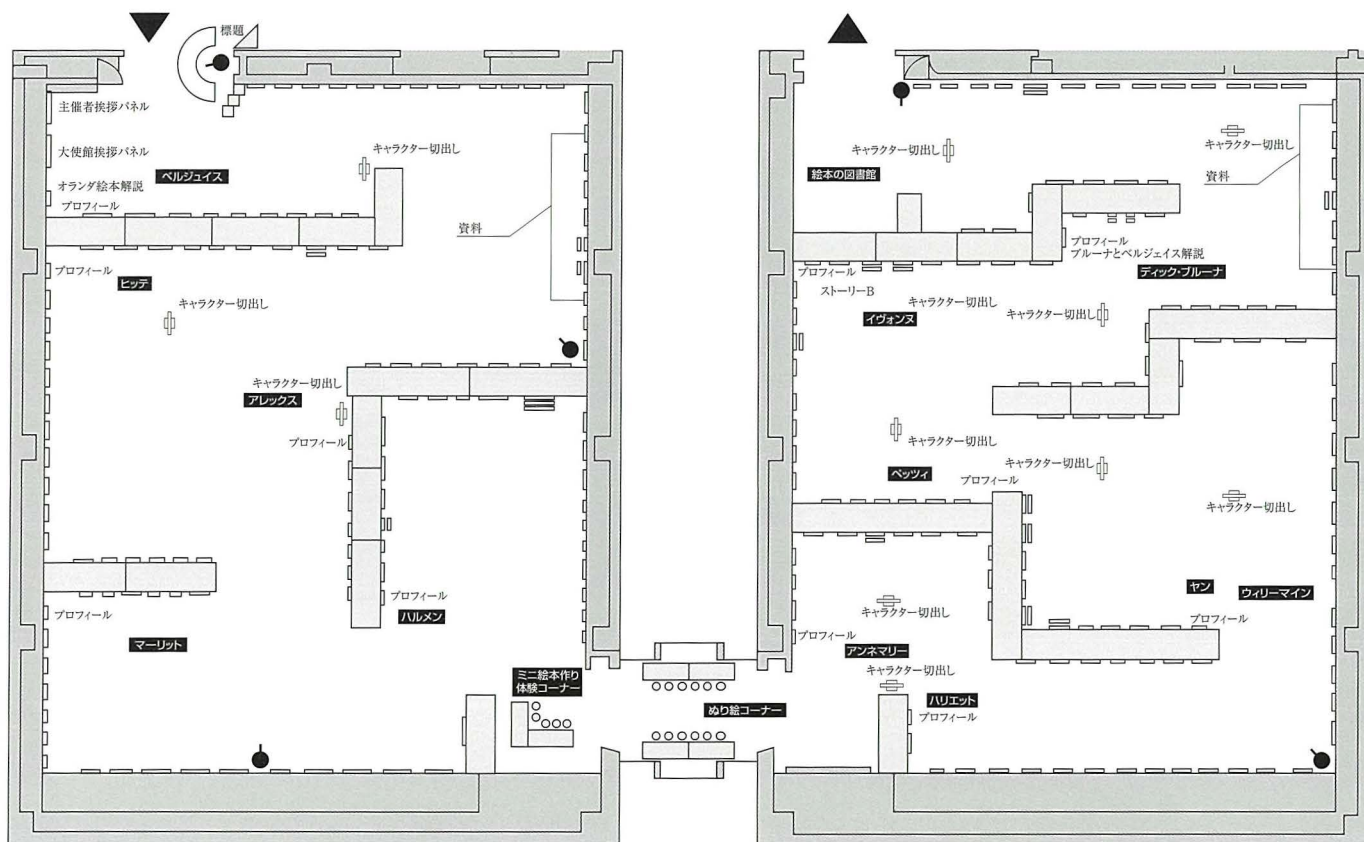
「オランダ絵本作家展 私のお気に入り(1)～(6)」十勝毎日新聞／1月14日～18日

大笹健郎「らいふ シニア 生涯現役」十勝毎日新聞／1月19日

大笹健郎「オランダ絵本展 入場1万人達成」十勝毎日新聞／1月27日

「絵本の国」オランダでは、20世紀初頭以来、独自の個性を発揮した優れた絵本が数多く出版されてきた。日本でも、「かえるくん」シリーズのマックス・ベルジュイスと人気者「ミッフィー」を生んだディック・ブルーナは、いち早く受け入れられ、多くの絵本が出版されてきた。

本展は、多彩な個性と独特の味わいで知られる、オランダ絵本の魅力を日本に伝える初めての本格的な展覧会。出品作品は、



展示図面



会場風景



会場風景

オランダ絵本界の二大巨匠といわれる、ベルジュイスとブルーナの作品を中心に、ハンス・ファン・ストラーテン、アンネマリー・ファン・ハーリングェン、ペッツィー・バックス、ヤン・ユッテ、ヒッテ・スパー、ハリエット・ヴァン・レーク、アレックス・デ・ウォルフ、イヴォンヌ・ヤハテンベルフ、ウィリー・メイン・ミン、マーリット・テークヴィストら現在活躍中の絵本作家10人を加え、絵本原画や出版絵本、2005年惜しまれつつ亡くなったベルジュイスの遺品や、ブルーナの色彩や形態の表現に至る制作手法を紹介する資料などもあわせて展示。

そこに繰り広げられる豊かな世界は、シンプルな味わいの印象的なタッチや端正なデッサン、あるいは穏やかで香り高い構

図、詩情をただよわせる透明な色づかいやゆらぐような線描など、さまざまな表現の要素に支えられながら、あるものは率直で力強く、あるいは素朴に繊細に、はたまた笑いやユーモアの眼差しによって、命のありようを見つめるような多様で奥深いストーリーを展開している。

代表的な作家12人、総点数300点を超えるボリュームは、オランダ絵本をたっぷり堪能できる内容であった。そのほか展示室には、工作コーナーや閲覧コーナーを設け、体験的にも手応えのもてる企画とした。分かりやすくポピュラーな内容が好感され、家族連れを中心に会期中12,162人の来館者を迎えた。

出品目録

No.	作品名	種別・技法	制作年	寸法(mm)	原著出版	日本での出版社	所蔵先
マックス・ベルジュイス							
1	鶏をくわえる猫	油彩	不詳	675×968	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
2	家族	油彩	1953	505×660	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
3	かえるくんどうしたの／うさぎとかえる	グアッシュ	1988年頃	150×190	Leopold 出版 (オランダ／1989年) Andersen Press (イギリス／1989年)	セーラー出版 (1990年)	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
4	かえるくんどうしたの／机にむかう	グアッシュ	1988年頃	150×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
5	かえるくんどうしたの／花を抱える	グアッシュ	1988年頃	150×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
6	かえるくんどうしたの／あひる	グアッシュ	1988年頃	150×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
7	げんきをだしてねかえるくん／雪の中歩く	グアッシュ	1991年頃	180×210	Leopold 出版 (オランダ／1992年) Andersen Press (イギリス／1992年)	セーラー出版 (1993年)	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
8	げんきをだしてねかえるくん／うさぎ、ブタ、アヒル	グアッシュ	1991年頃	200×390			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
9	げんきをだしてねかえるくん／雪に手をのばす	グアッシュ	1991年頃	120×150			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
10	げんきをだしてねかえるくん／ベッドにすわる	グアッシュ	1991年頃	160×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
11	げんきをだしてねかえるくん／家	グアッシュ	1991年頃	160×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
12	げんきをだしてねかえるくん／家からとび出す	グアッシュ	1991年頃	160×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
13	げんきをだしてねかえるくん／10ぶたとかえる	グアッシュ	1991年頃	160×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)

No.	作品名	種別・技法	制作年	寸法(mm)	原著出版	日本での出版社	所蔵先
14	げんきをだしてねかえるくん / ブタがかごせおう	グアッシュ	1991年頃	160×190	Leopold 出版 (オランダ/1992年)		マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
15	げんきをだしてねかえるくん / 走るウサギ	グアッシュ	1991年頃	160×190	Andersen Press (イギリス/1992年)		マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
16	げんきをだしてねかえるくん / うさぎとかえる	グアッシュ	1991年頃	160×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
17	げんきをだしてねかえるくん / ストープの前	グアッシュ	1991年頃	160×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
18	げんきをだしてねかえるくん / 雪の中	グアッシュ	1991年頃	160×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
19	げんきをだしてねかえるくん / かえる運ばれる	グアッシュ	1991年頃	160×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
20	げんきをだしてねかえるくん / ブタがスープ	グアッシュ	1991年頃	160×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
21	げんきをだしてねかえるくん / ベッド	グアッシュ	1991年頃	160×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
22	げんきをだしてねかえるくん / あひる、うさぎ、ぶた	グアッシュ	1991年頃	160×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
23	かえるくんたびにでる / 食べている	グアッシュ	1997年頃	160×200	Leopold 出版 (オランダ/1998年) Andersen Press (イギリス/1998年)	セーラー出版 (2000年)	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
24	スケッチ(かえるくん)	ペン画	不詳	390×490	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
25	スケッチ(かえるくん)	鉛筆画	不詳	430×310	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
26	スケッチ	ペン画	不詳	160×290	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
27	スケッチ	ペン画	不詳	160×290	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
28	漫画(FLEUER skizzc)	ペン画	不詳	310×210	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
29	漫画(わにくん)	ペン、グアッシュ	1980年代	315×245	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
30	漫画(わにくん)	ペン、グアッシュ	1980年代	350×245	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
31	漫画(わにくん)	ペン、グアッシュ	1980年代	509×660	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
32	こびとくんのいえさがし / 食事2人	グアッシュ	1982年頃	155×200	De Vier Windstreken 出版 (オランダ/1983年)	セーラー出版 (1992年)	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
33	こびとくんのいえさがし / 人々食べている	グアッシュ	1982年頃	170×320	Nord-Süd 出版 (スイス/1983年)		マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
34	こびとくんのきゅうじょたい / ビン	グアッシュ	1985年頃	160×190	De Vier Windstreken 出版 (オランダ/1986年)	セーラー出版 (1992年)	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
35	こびとくんのきゅうじょたい / かえる&こびと	グアッシュ	1985年頃	190×335	Nord-Süd 出版 (スイス/1986年)		マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
36	こびとくんのしあわせないちにち51 クローバー	グアッシュ	1984年頃	160×180	Leopold 出版 (オランダ/1988年)	セーラー出版 (1992年)	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
37	こびとくんのしあわせないちにち / 休憩	グアッシュ	1984年頃	225×370	Nord-Süd 出版 (スイス/1985年)		マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
38	スケッチ(こびとくん)	鉛筆画	不詳	290×400	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
39	男の子とおおきなさかな / 少年	グアッシュ	1968年頃	285×195	Junk 出版 (オランダ/1972年)	ほるぷ出版 (2007年)	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
40	男の子とおおきなさかな / ねこ	グアッシュ	1968年頃	285×195	Nord-Süd 出版 (スイス/1969年)		マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
41	おおかみとちびやぎ / 表紙	グアッシュ	1966年頃	290×440	Nord-Süd 出版 (スイス/1967年)	佑学社 (1979年)	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
42	おおかみとちびやぎ / ほえるおおかみ	グアッシュ	1966年頃	275×192			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
43	おおかみとちびやぎ / 笛吹くおおかみ	グアッシュ	1966年頃	275×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
44	おおかみとちびやぎ / 笛吹く少年	グアッシュ	1966年頃	275×190			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
45	ぬすまれたかいじゅうくん / 泥棒食事	グアッシュ	1975年頃	200×400	Junk 出版 (オランダ/1976年)	ほるぷ出版 (1978年)	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
46	ぬすまれたかいじゅうくん / 捕獲	グアッシュ	1975年頃	285×420	Nord-Süd 出版 (スイス/1976年)		マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
47	ぬすまれたかいじゅうくん / 城と怪獣	グアッシュ	1975年頃	280×410			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)

No.	作品名	種別・技法	制作年	寸法(mm)	原著出版	日本での出版社	所蔵先
48	こころのやさしいかいじゅうくん / 消防	グアッシュ	1972年頃	285×420	Junk 出版 (オランダ/1973年)	ほるぷ出版 (1978年)	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
49	こころのやさしいかいじゅうくん / 消防	グアッシュ	1972年頃	285×420	Nord-Süd 出版 (スイス/1973年)		マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
50	こころのやさしいかいじゅうくん / 町と人々と	グアッシュ	1972年頃	285×420			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
51	えかきさんとことり / 画家と画商	グアッシュ	1970年頃	290×420	Junk 出版 (オランダ/1972年)	ほるぷ出版 (1979年)	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
52	えかきさんとことり / ライオン	グアッシュ	1970年頃	290×420	Nord-Süd 出版 (スイス/1971年)		マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
53	えかきさんとことり / 町並煙突カラス	グアッシュ	1970年頃	285×410			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
54	えかきさんとことり / ニワトリ	グアッシュ	1970年頃	282×395			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
55	えかきさんとことり / 画家	グアッシュ	1970年頃	277×405			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
56	宣伝サンプル / 黒バックの建物	プリント	不詳	320×482	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
57	無題 / 王さまの食卓	グアッシュ	不詳	295×420	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
58	王様と馬・原画『忘れることのない詩歌』より	—	1961年頃	195×165	—	未邦訳	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
59	王様と馬・版下『忘れることのない詩歌』より	—	1961年頃	195×165			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
60	3人の王様・原画『忘れることのない詩歌』より	—	1961年頃	195×165			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
61	3人の王様・版下『忘れることのない詩歌』より	—	1961年頃	195×165			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
62	船長・原画『忘れることのない詩歌』より	—	1961年頃	195×165			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
63	船長・版下『忘れることのない詩歌』より	—	1961年頃	195×165			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
64	城・原画『忘れることのない詩歌』より	—	1961年頃	195×165			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
65	城・版下『忘れることのない詩歌』より	—	1961年頃	195×165			マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
66	ポスター原画	—	不詳	75×115	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
67	〔ポスター〕 青少年貯金キャンペーン	プリント	1957	840×600	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
68	〔ポスター〕 イースター電報	プリント	1959	830×600	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
69	〔ポスター〕 切手を貼ろう	プリント	1950年頃	410×295	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
70	〔装丁本〕 RIO NEGRO	装丁本	—	—	SPB Academic Publishing bv (オランダ/1988年)	未邦訳	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
71	〔装丁本〕 THE ROLE OF FIRE IN ECOLOGICAL SYSTEMS	装丁本	—	—	SPB Academic Publishing bv (オランダ/1987年)	未邦訳	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
72	〔装丁本〕 AFRICA	装丁本	—	—	Dr.W.Junk bv Publishers The Hague (オランダ/1975年)	未邦訳	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
73	〔装丁本〕 The river Volga and its life	装丁本	—	—	Dr.W.Junk bv Publishers (オランダ)	未邦訳	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
74	〔装丁本〕 FLOWERING TREES IN SUBTROPICAL GARDENS	装丁本	—	—	Dr.W.Junk bv Publishers (オランダ)	未邦訳	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
75	〔装丁本〕 LAKE KARIBA	装丁本	—	—	Dr.W.Junk bv Publishers The Hague (オランダ)	未邦訳	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
76	〔装丁本〕 the Nile	装丁本	—	—	Dr.W.Junk bv Publishers The Hague (オランダ)	未邦訳	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
77	〔装丁本〕 the study of vegetation	装丁本	—	—	Dr.W.Junk bv Publishers (オランダ)	未邦訳	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
78	〔装丁本〕 LAKE KINNERET	装丁本	—	—	Dr.W.Junk bv Publishers (オランダ)	未邦訳	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
79	失われたパスポート	遺品	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)

No.	作品名	種別・技法	制作年	寸法(mm)	原著出版	日本での出版社	所蔵先
80	パレット	遺品	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
81	パレット	遺品	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
82	パレット	遺品	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
83	絵の具	遺品	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
84	メガネ	遺品	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
85	筆	遺品	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
86	ダイアリー1990	遺品	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
87	ダイアリー1998	遺品	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
88	スケッチブック	—	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
89	スケッチブック	—	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
90	スケッチブック	—	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
91	スケッチブック	—	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
92	スケッチブック	—	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
93	写真(子供とマックス)	写真	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
94	写真(ギターとマックス)	写真	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
95	写真(アトリエのマックス)	写真モノクロ	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
96	[スケッチ]ELEFANT UND KROKODIL(ぞうとわに)	—	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
97	[パンフレット] Im an artist	—	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
98	[リーフレット] Madurodam	—	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
99	ファイル	—	—	—	—	—	マックス・ベルジュイス財団 (子どもの本の博物館寄託)
ヒッテ・スパー							
100	げんきをだして ウィリアム	ペン、水彩	1994年頃	350×250	Zwijsen 出版 (オランダ/1995年)	金の星社 (1996年)	作者
101	げんきをだして ウィリアム	ペン、水彩		260×405			作者
102	げんきをだして ウィリアム	ペン、水彩		260×405			作者
103	げんきをだして ウィリアム	ペン、水彩		260×405			作者
104	げんきをだして ウィリアム	ペン、水彩		265×405			作者
105	ハートどろぼう	パステルクレ ヨン、筆ペン	2003年頃	280×380	Unieboek 出版 (オランダ/2004年)	未邦訳	作者
106	ハートどろぼう	パステルクレ ヨン、筆ペン		190×280			作者
107	ハートどろぼう	パステルクレ ヨン、筆ペン		190×280			作者
108	ハートどろぼう	パステルクレ ヨン、筆ペン		190×280			作者
109	ハートどろぼう	パステルクレ ヨン、筆ペン		190×280			作者
110	むかし、ゾウさんがいまして…お日さまや雪や、 いろんな天気の話	パステルクレ ヨン、筆ペン	2005年頃	277×310	The House of Books 出版 (オランダ/2006年)	未邦訳	作者
111	むかし、ゾウさんがいまして…お日さまや雪や、 いろんな天気の話	パステルクレ ヨン、筆ペン		275×282			作者
112	むかし、ゾウさんがいまして…お日さまや雪や、 いろんな天気の話	パステルクレ ヨン、筆ペン		275×282			作者
113	むかし、ゾウさんがいまして…お日さまや雪や、 いろんな天気の話	パステルクレ ヨン、筆ペン		275×282			作者
114	むかし、ゾウさんがいまして…お日さまや雪や、い ろんな天気の話	パステルクレ ヨン、筆ペン		275×282			作者

No.	作品名	種別・技法	制作年	寸法(mm)	原著出版	日本での出版社	所蔵先
アレックス・デ・ウォルフ							
115	森のなかでみつけたよ	インク、水彩	1996	130×140	De Vier Windstreken 出版 (オランダ／1996年)	ほるぷ出版 (1997年)	作者
116	森のなかでみつけたよ	インク、水彩		145×155	Nord-Süd 出版 (スイス／1996年)		作者
117	森のなかでみつけたよ	インク、水彩		215×160			作者
118	森のなかでみつけたよ	インク、水彩		90×135			作者
119	森のなかでみつけたよ	インク、水彩		130×165			作者
120	だいじょうぶ くまくま	鉛筆、水彩	1988	170×150	Middernacht 出版 (オランダ／1988年)	講談社 (2004年)	作者
121	だいじょうぶ くまくま	鉛筆、水彩		170×150			作者
122	だいじょうぶ くまくま	鉛筆、水彩		170×150			作者
123	だいじょうぶ くまくま	鉛筆、水彩		170×150			作者
124	だいじょうぶ くまくま	鉛筆、水彩		170×150			作者
125	これはほくのたまご	インク、グアッシュ	2005	300×280	Ploegsma 出版 (オランダ／2005年)	未邦訳	作者
126	これはほくのたまご	インク、グアッシュ		300×220			作者
127	これはほくのたまご	インク、グアッシュ		300×220	Ploegsma 出版 (オランダ／2005年)	未邦訳	作者
128	これはほくのたまご	インク、グアッシュ		300×230			作者
129	これはほくのたまご	インク、グアッシュ		300×220			作者
マーリット・テークヴィスト							
130	おくびょうな英雄たち	ミクスドメディア	1996-1997	160×380	Querido 出版 (オランダ／1995年)	未邦訳	作者
131	おくびょうな英雄たち	ミクスドメディア	1996-1997	170×300			作者
132	おくびょうな英雄たち	ミクスドメディア	1996-1997	260×190			作者
133	おくびょうな英雄たち	ミクスドメディア	1996-1997	260×190			作者
134	おくびょうな英雄たち	ミクスドメディア	1996-1997	270×200			作者
135	だいすき そんなきもちをつたえてくれることば	ミクスドメディア	1998-1999	235×420	Querido 出版 (オランダ／2000年)	金の星社 (2003年)	作者
136	だいすき そんなきもちをつたえてくれることば	ミクスドメディア	1998-1999	235×420			作者
137	だいすき そんなきもちをつたえてくれることば	ミクスドメディア	1998-1999	230×405			作者
138	だいすき そんなきもちをつたえてくれることば	ミクスドメディア	1998-1999	230×400			作者
139	だいすき そんなきもちをつたえてくれることば	ミクスドメディア	1998-1999	235×400			作者
140	愛についての ちいさな おはなし	ミクスドメディア	1993-1994	A240×155	Querido 出版 (オランダ／1995年)	小峰書店 (1998年)	作者
141	愛についての ちいさな おはなし	ミクスドメディア	1993-1994	B240×155			作者
142	愛についての ちいさな おはなし	ミクスドメディア	1993-1994	A240×155			作者
143	愛についての ちいさな おはなし	ミクスドメディア	1993-1994	B240×155			作者
144	愛についての ちいさな おはなし	ミクスドメディア	1993-1994	A240×155			作者
145	愛についての ちいさな おはなし	ミクスドメディア	1993-1994	B240×155			作者
146	愛についての ちいさな おはなし	ミクスドメディア	1993-1994	A240×155			作者
147	愛についての ちいさな おはなし	ミクスドメディア	1993-1994	B240×155			作者
148	愛についての ちいさな おはなし	ミクスドメディア	1993-1994	A240×155			作者
149	愛についての ちいさな おはなし	ミクスドメディア	1993-1994	B240×155			作者
ハルメン・ファン・ストラテン							
150	おじいちゃん わすれないよ	アクリル、水彩	2000	300×240	Hillen 出版 (オランダ／2000年)	金の星社 (2002年)	作者
151	おじいちゃん わすれないよ	アクリル、水彩		310×220			作者
152	おじいちゃん わすれないよ	アクリル、水彩		270×230			作者
153	おじいちゃん わすれないよ	アクリル、水彩		310×230			作者
154	おじいちゃん わすれないよ	アクリル、水彩		280×440			作者
155	おじいちゃん わすれないよ	アクリル、水彩		330×490			作者
156	アヒルのおはなし	水彩	2003	280×580	Leopold 出版 (オランダ／2003年)	未邦訳	作者
157	アヒルのおはなし	水彩		150×170			作者
158	アヒルのおはなし	水彩		150×170			作者
159	アヒルのおはなし	水彩		230×340			作者
160	アヒルのおはなし	水彩		220×500			作者
161	アヒルのおはなし	水彩		220×550			作者
162	アヒルのおはなし	水彩		145×580			作者
163	エルフはゾウの消防士	水彩	2005	260×520	Pimento 出版 (オランダ／2005年)	未邦訳	作者
164	エルフはゾウの消防士	水彩		280×420			作者
165	エルフはゾウの消防士	水彩		270×200			作者

No.	作品名	種別・技法	制作年	寸法(mm)	原著出版	日本での出版社	所蔵先
166	エルフはゾウの消防士	水彩		259×485			作者
167	エルフはゾウの消防士	水彩		320×230			作者
168	フランダースの犬	水彩、墨	2002	240×210		岩波書店 (日本/2003年)	岩波書店
169	フランダースの犬	水彩、墨		200×145			岩波書店
170	フランダースの犬	水彩、墨		200×145			岩波書店
171	フランダースの犬	水彩、墨		200×145			岩波書店
172	フランダースの犬	水彩、墨		190×150			岩波書店
173	フランダースの犬	水彩、墨		190×150			岩波書店
174	フランダースの犬	水彩、墨		190×150			岩波書店

アンネマリー・ファン・ハーリングエン

175	おおきくなりたい ちびろばくん	インク、水彩	1998	350×260	Leopold 出版 (オランダ/2000年)	PHP 研究所 (2001年)	作者
176	おおきくなりたい ちびろばくん	インク、水彩		260×350			作者
177	おおきくなりたい ちびろばくん	インク、水彩		260×350			作者
178	おおきくなりたい ちびろばくん	インク、水彩		260×350			作者
179	おおきくなりたい ちびろばくん	インク、水彩		260×350			作者
180	おおきくなりたい ちびろばくん	インク、水彩		260×350			作者
181	マルモック	インク、水彩	1997	260×370	Leopold 出版 (オランダ/1998年)	未邦訳	作者
182	マルモック	インク、水彩		260×370			作者
183	マルモック	インク、水彩		260×370			作者
184	マルモック	インク、水彩		260×370			作者
185	マルモック	インク、水彩		260×370			作者
186	髪の毛長いお姫さま	インク、水彩	1998	275×400	Leopold 出版 (オランダ/1999年)	未邦訳	作者
187	髪の毛長いお姫さま	インク、水彩		270×360			作者
188	髪の毛長いお姫さま	インク、水彩		320×240			作者
189	髪の毛長いお姫さま	インク、水彩		320×240			作者
190	髪の毛長いお姫さま	インク、水彩		240×360			作者
191	髪の毛長いお姫さま	インク、水彩		300×420			作者

ハリエット・ヴァン・レーク

192	ボッケ	インク、色鉛筆	2001	255×185	Querido 出版 (オランダ/2001年)	朔北社 (2006年)	作者
193	ボッケ	インク、色鉛筆	2001	235×150			作者
194	ボッケ	インク、色鉛筆	2001	235×150			作者
195	ボッケ	インク、色鉛筆	2001	235×150			作者
196	ボッケ	インク、色鉛筆	2001	235×150			作者
197	ボッケ	インク、色鉛筆	2001	235×150			作者
198	ボッケ	インク、色鉛筆	2001	235×150			作者
199	ボッケ	インク、色鉛筆	2001	235×150			作者
200	ボッケ	インク、色鉛筆	2001	235×150			作者
201	ボッケ	インク、色鉛筆	2001	235×150			作者
202	ボッケ	インク、色鉛筆	2001	235×150			作者
203	ヘンケルマン、われらのヘンケルマンくん	インク、色鉛筆	1995	150×240	Querido 出版 (オランダ/1996年)	未邦訳	作者
204	ヘンケルマン、われらのヘンケルマンくん	インク、色鉛筆	1995	150×240			作者
205	ヘンケルマン、われらのヘンケルマンくん	インク、色鉛筆	1995	150×240			作者
206	ヘンケルマン、われらのヘンケルマンくん	インク、色鉛筆	1995	150×240			作者
207	ヘンケルマン、われらのヘンケルマンくん	インク、色鉛筆	1995	150×240			作者
208	レナレナ	インク、色鉛筆	1985	230×320	Querido 出版 (オランダ/1986年)	リブレポート (1989年)	作者
209	レナレナ	インク、色鉛筆	1985	230×320			作者
210	レナレナ	インク、色鉛筆	1985	230×320			作者
211	レナレナ	インク、色鉛筆	1985	230×320			作者
212	レナレナ	インク、色鉛筆	1985	230×320			作者
213	レナレナ	インク、色鉛筆	1985	230×320			作者

No.	作品名	種別・技法	制作年	寸法(mm)	原著出版	日本での出版社	所蔵先
ウィリー・ミン							
214	はいいろねずみのフレイシェ	アクリル、コラージュ	2001	294×421	Lemniscaat 出版 (オランダ／2001年)	未邦訳	作者
215	はいいろねずみのフレイシェ	アクリル、コラージュ	2001	294×421			作者
216	はいいろねずみのフレイシェ	アクリル、コラージュ	2001	294×421			作者
217	はいいろねずみのフレイシェ	アクリル、コラージュ	2001	294×421			作者
218	はいいろねずみのフレイシェ	アクリル、コラージュ	2001	294×421			作者
219	鳥おじさん	アクリル	1988	340×500	Lemniscaat 出版 (オランダ／1988年)	徳間書店 (1999年)	作者
220	鳥おじさん	アクリル	1988	340×500			作者
221	鳥おじさん	アクリル	1988	340×500			作者
222	鳥おじさん	アクリル	1988	340×500			作者
223	鳥おじさん	アクリル	1988	340×500			作者
224	パッチワークのかけぶとん	アクリル	1990	360×520	Lemniscaat 出版 (オランダ／1990年)	セーラー出版 (1991年) *絶版	作者
225	パッチワークのかけぶとん	アクリル	1990	360×520			作者
226	パッチワークのかけぶとん	アクリル	1990	360×520			作者
227	パッチワークのかけぶとん	アクリル	1990	360×520			作者
228	パッチワークのかけぶとん	アクリル	1990	360×520			作者
ヤン・ユッテ							
229	10びきのいたずらねこ	墨、アクリル	2000	80×305	Leopold 出版 (オランダ／2000年)	朔北社 (2002年)	作者
230	10びきのいたずらねこ	墨、アクリル		80×305			作者
231	10びきのいたずらねこ	墨、アクリル		80×305			作者
232	10びきのいたずらねこ	墨、アクリル		80×305			作者
233	10びきのいたずらねこ	墨、アクリル		80×305			作者
234	お月さまにほうしを	ミクストメディア	2003	275×235	Leopold 出版 (オランダ／2003年)	文溪堂 (2007年)	作者
235	お月さまにほうしを	ミクストメディア		275×440			作者
236	お月さまにほうしを	ミクストメディア		275×440			作者
237	お月さまにほうしを	ミクストメディア		275×440			作者
238	お月さまにほうしを	ミクストメディア		275×440			作者
239	宇宙旅行	墨、水彩	2000	250×450	Leopold 出版 (オランダ／2001年)	未邦訳	作者
240	宇宙旅行	墨、水彩		250×475			作者
241	宇宙旅行	墨、水彩		250×475			作者
242	宇宙旅行	墨、水彩		250×485			作者
243	宇宙旅行	墨、水彩		250×480			作者
ベッツィー・バックス							
244	ヤンとスティッピー	インク、水彩	1992	175×270	Jenny de Jonge 出版 (オランダ／1993年)	BL出版 (1996年)	作者
245	ヤンとスティッピー	インク、水彩	1992	170×260			作者
246	ヤンとスティッピー	インク、水彩	1992	170×260			作者
247	ヤンとスティッピー	インク、水彩	1992	170×260			作者
248	ヤンとスティッピー	インク、水彩	1992	170×260			作者
249	フィーンチェのあかい キックボード	インク、水彩	1998	200×260	J.H.Gottmer/H.J.W. Becht 出版 (オランダ／1999年)	BL出版 (2000年)	作者
250	フィーンチェのあかい キックボード	インク、水彩	1998	200×250			作者
251	フィーンチェのあかい キックボード	インク、水彩	1998	185×250			作者
252	フィーンチェのあかい キックボード	インク、水彩	1998	230×260			作者
253	フィーンチェのあかい キックボード	インク、水彩	1998	185×250			作者
254	デビーとフィーンチェ	インク、水彩	2004	275×180	De Harmonie 出版 (オランダ／2005年)	未邦訳	作者
255	デビーとフィーンチェ	インク、水彩	2004	275×180			作者
256	デビーとフィーンチェ	インク、水彩	2004	275×180			作者
257	デビーとフィーンチェ	インク、水彩	2004	275×180			作者
258	デビーとフィーンチェ	インク、水彩	2004	275×180			作者
イヴォンヌ・ヤハテンベルフ							
259	マリーケのあたま	デッサン、シボ紙	2001	220×420	Hillen & Davidsfonds/ Infodok 出版 (オランダ・ベルギー／ 2001年)	未邦訳	作者
260	マリーケのあたま	デッサン、シボ紙		220×420			作者
261	マリーケのあたま	デッサン、シボ紙		220×420			作者
262	マリーケのあたま	デッサン、シボ紙		220×420			作者

No.	作品名	種別・技法	制作年	寸法(mm)	原著出版	日本での出版社	所蔵先
263	パロチェとくま	グーグジュ、シダズメイト	2004	315×465	Leopold 出版 (オランダ/2004年)	未邦訳	作者
264	パロチェとくま	グーグジュ、シダズメイト		310×460			作者
265	パロチェとくま	グーグジュ、シダズメイト		310×480			作者
266	パロチェとくま	グーグジュ、シダズメイト		310×470			作者
267	パロチェとくま	グーグジュ、シダズメイト		310×470			作者
268	とくべつな いちにち	グーグジュ、シダズメイト	2001	310×470	Hillen 出版 (オランダ/2001年)	講談社 (2005年)	作者
269	とくべつな いちにち	グーグジュ、シダズメイト		310×470			作者
270	とくべつな いちにち	グーグジュ、シダズメイト		310×470			作者
271	とくべつな いちにち	グーグジュ、シダズメイト		310×470			作者
272	とくべつな いちにち	グーグジュ、シダズメイト		310×470			作者

ディック・ブルーナ

273	おともだち『ミッフィーどうしたの?』より	シルクスクリーン線画	1991	210×297	Mercis Publishing bv (オランダ/1991年)	講談社 (2004年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
274	無題『ぶたのうたこさん』より	シルクスクリーン	1977	210×297	Mercis Publishing bv (オランダ/1977年)	未邦訳	ディック・ブルーナ・ジャパン
275	無題『うさこちゃんのおじいちゃんとおばあちゃん』より	シルクスクリーン	1988	210×297	Mercis Publishing bv (オランダ/1988年)	福音館 (1993年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
276	こぐまのボリス『こぐまのボリス』より	シルクスクリーン	1989	210×297	Mercis Publishing bv (オランダ/1989年)	講談社 (1994年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
277	ゆきのひのうさこちゃん『ゆきのひのうさこちゃん』より	オフセット	1963	210×297	Mercis Publishing bv (オランダ/1963年)	福音館 (1964年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
278	うさこちゃんとティディベア『うさこちゃんのたんじょうび』より	オフセット	1970	210×297	Mercis Publishing bv (オランダ/1970年)	福音館 (1982年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
279	すいへいさんになったら『はくがいっぱい』より	オフセット	1974	210×297	Mercis Publishing bv (オランダ/1974年)	未邦訳	ディック・ブルーナ・ジャパン
280	うさこちゃんのきのり『うさこちゃんとゆうえんち』より	オフセット	1974	210×297	Mercis Publishing bv (オランダ/1975年)	福音館 (1982年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
281	うさこちゃんとトランボリン『うさこちゃんとゆうえんち』より	オフセット	1975	210×297	Mercis Publishing bv (オランダ/1975年)	福音館 (1982年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
282	ばんざい!ばんざい!うれしいな『うさこちゃんとゆうえんち』より	オフセット	1975	700×555	Mercis Publishing bv (オランダ/1975年)	福音館 (1982年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
283	おひやくしょうのやん『おひやくしょうのやん』より	オフセット	1982	555×700	Mercis Publishing bv (オランダ/1982年)	福音館 (1984年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
284	ボリスはちからもち『こぐまのボリス』より	オフセット	1989	555×555	Mercis Publishing bv (オランダ/1989年)	講談社 (1994年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
285	ボリスとバーバラ『ボリスとバーバラ』より	オフセット	1989	700×555	Mercis Publishing bv (オランダ/1989年)	講談社 (1994年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
286	バーバラ『ボリスとバーバラ』より	オフセット	1989	555×555	Mercis Publishing bv (オランダ/1989年)	講談社 (1994年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
287	アリスおばさんのパーティー『アリスおばさんのパーティー』より	オフセット	1992	555×555	Mercis Publishing bv (オランダ/1992年)	講談社 (1994年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
288	うさこちゃんとペン	シルクスクリーン	1970	850×650	—	—	ディック・ブルーナ・ジャパン
289	ゆきのひのうさこちゃん『ゆきのひのうさこちゃん』より	オフセット	1963	730×520	Mercis Publishing bv (オランダ/1963年)	福音館 (1964年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
290	たこあげ	オフセット	1972	555×700	—	—	ディック・ブルーナ・ジャパン
291	おとこのこ『BOEK zonder woorden2』より	オフセット	1968	620×520	Mercis Publishing bv (オランダ/1968年)	福音館 (1968年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
292	まいごのすーきーちゃん『こいぬのくんくん』より	オフセット	1969	730×520	Mercis Publishing bv (オランダ/1969年)	福音館 (1972年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
293	うさこちゃんのたんじょうび『うさこちゃんのたんじょうび』より	オフセット	1970	620×520	Mercis Publishing bv (オランダ/1970年)	福音館 (1982年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
294	がちょう	シルクスクリーン	2000	650×850	—	—	ディック・ブルーナ・ジャパン
295	ぶたのうたこさん『ぶたのうたこさん』より	シルクスクリーン	1977	700×555	Mercis Publishing bv (オランダ/1977年)	未邦訳	ディック・ブルーナ・ジャパン
296	うたこさんのおせんたく『ぶたのうたこさん』より	シルクスクリーン	1977	549×731	Mercis Publishing bv (オランダ/1977年)	未邦訳	ディック・ブルーナ・ジャパン
297	びえろ『さーかす』より	シルクスクリーン	1962	620×520	Mercis Publishing bv (オランダ/1962年)	福音館 (1964年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
298	ええ。いくわ、もちろん!『うたこさんのおかいもの』より	シルクスクリーン	1980	549×731	Mercis Publishing bv (オランダ/1980年)	未邦訳	ディック・ブルーナ・ジャパン
299	ふーと『おーちゃんのおーけすとら』より	シルクスクリーン	1984	555×700	Mercis Publishing bv (オランダ/1984年)	福音館 (1985年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
300	オーケストラ『おーちゃんのおーけすとら』より	シルクスクリーン	1984	555×700	Mercis Publishing bv (オランダ/1984年)	福音館 (1985年)	ディック・ブルーナ・ジャパン

No.	作品名	種別・技法	制作年	寸法(mm)	原著出版	日本での出版社	所蔵先
301	だん、ふねにのる『だん ふねにのる』より	オフセット	1984	731×549	Mercis Publishing bv (オランダ/1984年)	未邦訳	ディック・ブルーナ・ジャパン
302	みんなでいっしょに『うさこちゃんがつこうへいく』より	オフセット	1984	731×549	Mercis Publishing bv (オランダ/1984年)	福音館 (1985年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
303	うさこちゃんとティベア『うさこちゃんのたんじょうび』より	オフセット	1986	727×545	Mercis Publishing bv (オランダ/1984年)	福音館 (1982年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
304	あまやどり『ボリスのやまのぼり』より	オフセット	1989	700×555	Mercis Publishing bv (オランダ/1989年)	講談社 (1994年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
305	ボールあそび『ちいさなロッチェ』より	オフセット	1991	700×555	Mercis Publishing bv (オランダ/1990年)	講談社 (2000年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
306	ちいさなロッチェ『ちいさなロッチェ』より	オフセット	1991	555×700	Mercis Publishing bv (オランダ/1990年)	講談社 (2000年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
307	りんご『かぞえてみよう(1〜12)』より	シルクスクリーン	1968	850×650	Mercis Publishing bv (オランダ/1968年)	未邦訳	ディック・ブルーナ・ジャパン
308	meneer Knie『mencer knie』より	シルクスクリーン	2000	850×650	Mercis Publishing bv (オランダ/2000年)	未邦訳	ディック・ブルーナ・ジャパン
309	つみき『うさこちゃんがつこうへいく』より	シルクスクリーン	1984	1200×940	Mercis Publishing bv (オランダ/1984年)	福音館 (1985年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
310	あおいかさ『ボリスとあおいかさ』より	シルクスクリーン	1999	650×850	Mercis Publishing bv (オランダ/1999年)	講談社 (2000年)	ディック・ブルーナ・ジャパン
311	うたこさんとかきねかり『うたこさんのにわしごと』より	シルクスクリーン	1977	850×650	Mercis Publishing bv (オランダ/1977年)	未邦訳	ディック・ブルーナ・ジャパン
312	点字絵本	書籍	2000	100×100	Mercis Publishing bv (オランダ/2000年) ・ミッフィー45周年の記念事業の一環として制作	—	ディック・ブルーナ・ジャパン
313	『りんごちゃん』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/2000年)	未邦訳	—
314	『ちいさなうさこちゃん』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/1963年)	福音館 (1964年)	—
315	『うさこちゃんとううぶつえん』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/1963年)	未邦訳	—
316	『ゆきのひのうさこちゃん』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/1963年)	福音館 (1964年)	—
317	『うさこちゃんとうみ』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/1963年)	福音館 (1964年)	—
318	『おやゆびこぞう』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/1966年)	未邦訳	—
319	『うさこちゃんのたんじょうび』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/1970年)	福音館 (1982年)	—
320	『うさこちゃんとゆうえんち』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/1975年)	福音館 (1982年)	—
321	『ぶたのうたこさん』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/1977年)	未邦訳	—
322	『うさこちゃんとじてんしゃ』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/1982年)	福音館 (1984年)	—
323	『おーちゃんのおーけすとら』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/1984年)	福音館 (1985年)	—
324	『こぐまのボリス』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/1989年)	講談社 (1994年)	—
325	『ミッフィーどうしたの?』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/1991年)	講談社 (2004年)	—
326	『アリスおばさんのパーティー』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/1992年)	講談社 (1994年)	—
327	『ボリスとバーバラのあかちゃん』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/1994年)	講談社 (1994年)	—
328	『ミッフィーのおばけごっこ』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/2001年)	講談社 (1995年)	—
329	『ボリスはパイロット』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/2002年)	講談社 (2003年)	—
330	『ミッフィーのでがみ』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/2003年)	講談社 (2004年)	—
331	『うさこちゃんのはたけ』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/2004年)	福音館 (2005年)	—
332	『おかしのくにのうさこちゃん』	絵本	—	—	Mercis Publishing bv (オランダ/2005年)	福音館 (2007年)	—

*寸法は縦×横。

ポスターと絵画による仮想ツアー パリそぞろ歩き

会期＝平成20年 2月8日(金)－3月26日(水) 41日間
主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般450(350)円、高大生250(200)円
中学生以下・65歳以上の方および身障者手帳をお持ちの方などは無料
高校生は毎週土曜日無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

バレンタイン・コンサート

出演＝マルカート氏(アコーディオン弾きがたり)
日時＝2月14日(木) 午後6時～7時
会場＝当館ロビー(入場無料)

ギャラリー・ツアー

講師＝苦名真(当館学芸課長)
日時＝2月16日(土)、3月15日(土) 午後2時～
会場＝当館主展示室(要観覧券)

ミュージアム・ミステリー2008ウインター

「わくわく美術館&動物園」
日時＝2月23日(土)、3月1日(土) 午前11時～午後3時
会場＝当館講堂、展示室、おびひろ動物園(参加料300円、応募制)

ミュージアム・ミステリー ミニ

日時＝3月2日(日)、3月9日(日)、3月16日(日) 午後1時～午後3時
会場＝当館講堂、展示室(参加無料、応募制)

キッズ・ミュージアム

「作って遊ぼう ジャンケンポン」
日時＝3月8日(土) 午後2時～4時
会場＝当館講堂(託児無料)

ミュージアム・コンサート

「Classic & Jazz クラリネットのフランス音楽巡り」
出演＝渡部大三郎氏(クラリネット)、瀬尾高志氏(ベース)、齋藤桃子氏(ピアノ)、岸林大輔氏(ドラム)
日時＝3月22日(土) 午後2時～3時
会場＝当館ロビー(入場無料)

関連記事

苦名真「作品紹介①～⑤」十勝毎日新聞／2月18日～20日、23日、24日



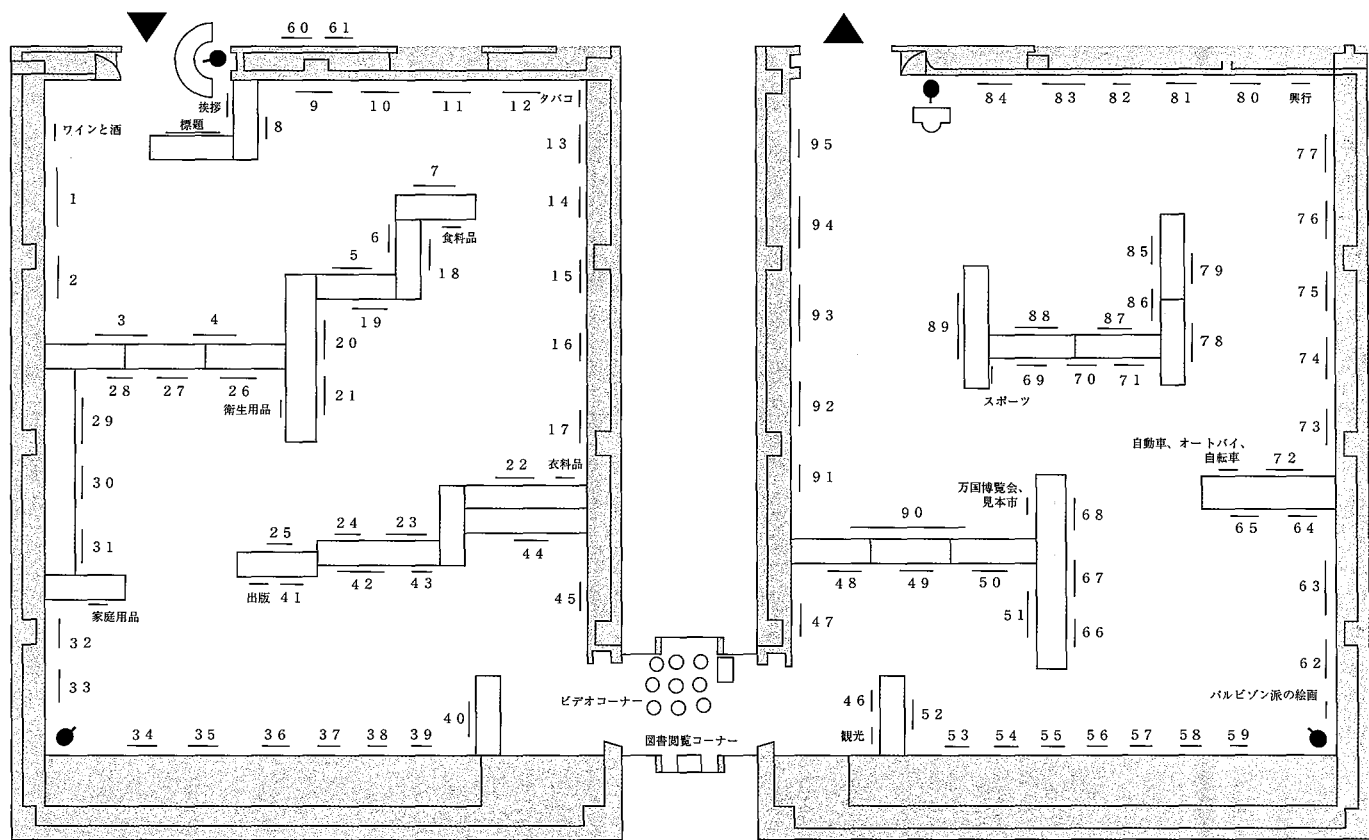
ポスター

当館は平成3年の開館以来、美術館の立地する北海道東部地域に焦点をあてた「道東の美術」、印刷・複製技術を用いた美術作品「プリントアート」、そして田園風景や農村風俗を主題とした「西洋の美術」の三つの指針を立て、作品の収集や展覧会の企画を行ってきた。このうち、「プリントアート」では19世紀フランスを中心としたリトグラフ・ポスター200点余りを、「西洋の美術」ではバルビゾン派の絵画や版画60点余りを所蔵している。本展では、これら19世紀のフランスを彩った作品をまとめて紹介した。

19世紀には近代的な資本主義経済の発展と市民を主役とする大衆社会の確立にともない、商品や観光などの宣伝を目的とした大型のポスターが盛んに制作された。とりわけフランスの首都パリでは、経済の発展と美術文化の向上を背景としてポスター芸術が大輪の花を咲かせた。パリの街角の各所にはこれら

のポスターを貼るための広告塔が設置され、さまざまな画家やポスター専門作家らが手がけた多彩な作品が掲示されたのである。本展はあたかも、そうした往時のパリの街に踏み込んだかのように、ポスター作品を鑑賞してもらおうと企画したものである。約80点に及ぶ作品は、「ワインと酒」「タバコ」「観光」「万国博覧会、見本市」など、そこに掲載された内容ごとに分け紹介した。

消費生活と都市文化の中心たるパリに対し、そこから南東に60kmほどの距離にあるフォンテーヌブローの森やその周囲の村々は、昔ながらの豊かな自然景観と素朴な田園生活がとどめられていた。そしてこの地には大都市パリからの観光客が流入する一方、今日「バルビゾン派」と呼称される一群の風景画家たちが集ったのである。こうした背景もあり、展示室ではバルビゾン派の油彩風景画7点も併せて展示した。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

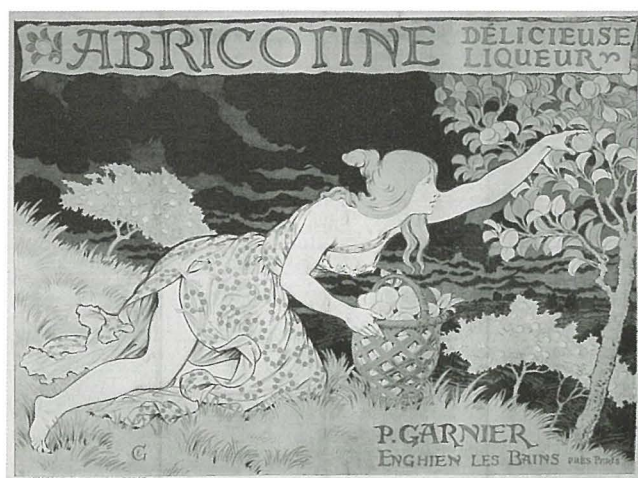
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
■ワインと酒 VINS ET ALCOOLS					
1	ウジェーヌ・グラッセ	あんず酒「アブリコティーヌ」	1895頃	リトグラフ・紙	109.5×149.5
2	レオネット・カピエッロ	食前酒「モーラン・キナ」	1906	リトグラフ・紙	150.3×110.5
3	ジュール・ドランシー(ジュール・イスナール)(原画)	細い瓶の高級酒「ニコラ」	1935頃	リトグラフ・紙	231.0×154.0
4	ロビイ	食前酒「トニ＝コーラ」	1935	リトグラフ・紙	200.0×130.0
5	J. スプリング(アンドレ・ラブシェフスキー)	コニャック「ソラン」	1930	リトグラフ・紙	151.4×113.7
6	ラコット	ペリエのりんご酒	1900頃	リトグラフ・紙	119.5×79.5
7	ロジェ・ド・ヴァレリオ	シェリー酒「モーリス・シュヴァリエ」	1935	リトグラフ・紙	160.0×120.0
8	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)(原画)	キナ酒「デュボネ」	1935	リトグラフ・紙	39.6×31.1
9	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	ジャンシアヌ＝キナ酒「ボナル」	1933	リトグラフ・紙	154.2×114.5
10	ジョルジュ・ファーヴル	ビール「ティタン」	1933	リトグラフ・紙	150.0×113.5
11	レイモン・サヴィニャック	アルマニャック(ブランデー)「リスト」	1943	リトグラフ・紙	151.8×109.3
12	クロード・ガドゥー	ワイン「ローマ軍」-赤・ロゼ・白	1935	リトグラフ・紙	159.0×119.0
■タバコ CIGARETTES					
13	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1898	リトグラフ・紙	141.5×94.0
14	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1896	リトグラフ・紙	51.5×39.4
15	フラム／ヴァルマン	タバコ巻紙「スエズ」	1890～1900頃	リトグラフ・紙	130.0×99.0
16	ステファノー	タバコ「サファイア」	1921	リトグラフ・紙	114.5×74.0
17	ジュール・ドランシー(ジュール・イスナール)	東洋のタバコ「ナジャ」	1937頃	リトグラフ・紙	149.3×98.0
■食料品 ALIMENTATION					
18	不詳	「ムニエ・チョコレート」	1929	リトグラフ・紙	112.4×72.5
19	フィルマン・ブイセ	「ブーラン・チョコレート」	1898	リトグラフ・紙	180.0×115.5
20	レオネット・カピエッロ	フォワグラ・クリーム女王「金の鷲鳥」	1937	リトグラフ・紙	109.0×154.5
21	レオネット・カピエッロ	甘草入りドロップ「カシュ・ラジョーニー」	1920	リトグラフ・紙	144.0×92.0
■衣料品 VÊTEMENTS					
22	ロペール・ファルクユッチ	服地「ベリー」	1936	リトグラフ・紙	156.2×116.5
23	オルスキー	モッサン帽子	1928頃	リトグラフ・紙	159.0×117.0
24	ジュール・シェレ	帽子の館	1892	リトグラフ・紙	118.5×83.4
25	ロジェ・ペロー	コルセット「フェレット」	1933	リトグラフ・紙	130.0×90.0

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法 (cm)
■衛生用品 USTENSILES HYGIÉNIQUES					
26	G. ベルニ	最高級浄水器	1893	リトグラフ・紙	128.5×99.0
27	フィリップ・シャプリエ	真の円形シャワー	1890頃	リトグラフ・紙	119.0×79.5
28	レイモン・トゥルノン	理想の浴室	1895頃	リトグラフ・紙	121.0×80.5
29	レオネット・カピエッロ	湿布綿「テルモジェーヌ」	1907	リトグラフ・紙	151.1×112.5
30	ジュール・シェレ	白粉「ディアファース」	1890	リトグラフ・紙	39.0×82.6
31	不詳	脱毛防止剤「ベルテュイジーヌ」	1899	リトグラフ・紙	86.5×66.0
■家庭用品 ARTICLES DE MÉNAGES					
32	J.C.	野外コンロ	1895頃	リトグラフ・紙	129.0×99.5
33	A. フォス	純ニッケル	1900頃	リトグラフ・紙	129.0×94.0
34	リュシアン・ルフエーヴル	白熱灯「エレクトリシーヌ」-赤と白	1894	リトグラフ・紙	245.0×86.0
35	ジュール・シェレ	安全灯油「サクソレーヌ」	1896	リトグラフ・紙	243.5×85.0
36	レオネット・カピエッロ	速乾ペンキ「ニトロリアン」	1929	リトグラフ・紙	152.4×112.8
37	不詳	液体ワックス	1900	リトグラフ・紙	125.0×90.0
38	L. ビュジェット	ラジオ「グラモン」	1935	リトグラフ・紙	101.5×75.5
39	ジャン・リュック	ラジオ「ミロマ」	1935	リトグラフ・紙	112.0×68.2
40	ウジェーヌ・オジェ	自動印刷機「シクロスティル」	1900頃	リトグラフ・紙	139.0×100.0
■出版 PUBLICATIONS					
41	ジョルジュ・ド・フル(ジョゼフ・ヴァン・スリュイテール)	書籍「パリの暦」	1894	リトグラフ・紙	79.5×62.0
42	レオネット・カピエッロ	新聞「ル・プティ・ドーフィノワ」	1933	リトグラフ・紙	109.6×152.9
43	ロベール・ファルクユッチ	日刊紙「山(ラ・モンターニュ)」	1939	リトグラフ・紙	116.8×76.4
44	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ヴィクトル・ジョゼ著「ドイツのバビロン」	1894	リトグラフ・紙	122.0×86.7
45	バル(ジャン・ド・パレオローク)	雑誌「自由(ラ・リベルテ)」	1895頃	リトグラフ・紙	158.0×114.0
■観光 TOURISME					
46	アルベール・ベルジュヴァン	アヴランシュ＝モン・サン・ミシェル湾	1910頃	リトグラフ・紙	111.5×75.0
47	ポール・ベルトン	ノルマンディ、ブルターニュ＝西部鉄道	1895頃	リトグラフ・紙	106.1×78.8
48	アルフレッド・シュエブラク	カジノ・ド・ピアリッツ	1885頃	リトグラフ・紙	130.5×93.5
49	アルフレッド・シュエブラク	トゥルーヴィルのカジノ	1885頃	リトグラフ・紙	130.0×90.5
50	H. ララメ	カジノ、トゥルーヴィール＝シュル＝メール	1902	リトグラフ・紙	129.5×90.0
51	ファリア(カンディード・アラゴネス・デ・ファリア)	カシャ＝マジェスティック＝シャモニーのウィンター・スポーツ	1905	リトグラフ・紙	109.8×151.7
52	ルネ・ルーセル	パリに行こう＝フランス大鉄道網	1920	リトグラフ・紙	98.5×60.5
53	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	パリ	1935	リトグラフ・紙	104.0×62.4
54	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	北極星号＝フランス北部鉄道	1927	リトグラフ・紙	105.7×75.4
55	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	北方急行＝フランス北部鉄道	1927	リトグラフ・紙	105.9×75.0
56	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	フランス北部鉄道	1929	リトグラフ・紙	100.0×62.3
57	カッサンドル(アドルフ・ジャン・ムーロン)	ノルマンディー号＝トランザトランティク総合会社	1935	リトグラフ・紙	96.7×58.4
58	里見宗次	コート・ダジュール	1934	リトグラフ・紙	98.7×62.4
59	アルベール・ソロン	ファルマン航空	1930	リトグラフ・紙	97.0×58.0
60	アルベール・ブルネ	フランスへ、シャルジュール・レユニ海運会社で(エッフェル塔)	1950	オフセット・紙	97.5×61.8
61	アルベール・ブルネ	フランスへ、シャルジュール・レユニ海運会社で(オペラ座)	1950	オフセット・紙	96.5×61.0
■バルビゾン派の絵画 PEINTURES DE BARBIZON					
62	アレクサンドル・ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩・キャンバス	40.0×68.0
63	アレクサンドル・ドゥフォー	森の中での休息	1871	油彩・キャンバス	98.0×131.0
64	ウジェーヌ＝アントワヌ・ラヴィエイユ	村の眺め	19世紀後半	油彩・板	32.8×56.0
65	レオン・リッシェ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩・キャンバス	43.8×59.7
66	レオンス・シャプリ	牧場と木々	1873	油彩・キャンバス	32.0×47.5
67	レオンス・シャプリ	羊の群れを連れ帰る羊飼いの	1872	油彩・キャンバス	69.1×99.8
68	ジュール・デュプレ	ベリー地方の農家	1830年代	油彩・キャンバス	45.7×67.3

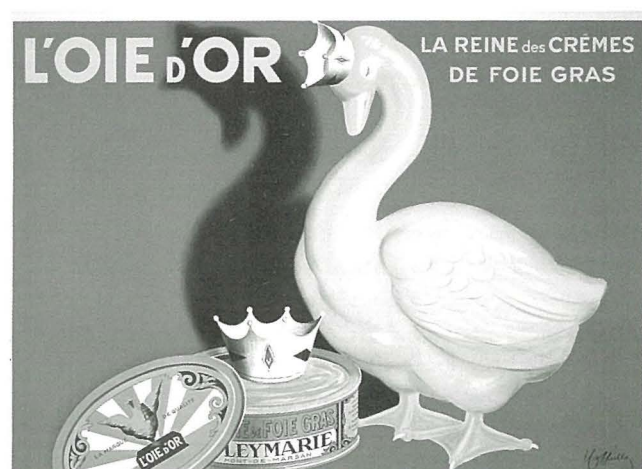
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
■スポーツ SPORTS					
69	ラチャ	体育教室	1885頃	リトグラフ・紙	123.5×90.5
70	ルイ・リュシアン・フォール	ザンドウ筋肉増強器	1899	リトグラフ・紙	139.5×99.5
71	アロイス・カリジエ	アローザ	1931	リトグラフ・紙	127.8×91.5
■自動車、オートバイ、自転車 VOITURES, MOTOS, VÉLOS					
72	ビエール・ルイス	自動車「シトロエン」	1924	リトグラフ・紙	159.0×117.0
73	ルネ・ヴァンサン(ルネ・マエル)	自動車「モトブロック」	1927	リトグラフ・紙	154.3×113.2
74	ルネ・ヴァンサン(ルネ・マエル)	自動車「ビュイック」	1929	リトグラフ・紙	155.7×113.7
75	シャルル・ティション	自転車「メトロポール」	1890頃	リトグラフ・紙	139.0×99.0
76	オガロ(マリウス・ロシヨン)	自転車タイヤ「ミシュラン」	1920頃	リトグラフ・紙	100.0×76.0
77	ジョルジュ・ファーヴル	自転車「ディレクタ」	1930	リトグラフ・紙	110.5×74.2
78	フリュージェ＝ファン	最新型人間のオートバイ「モネ＝ゴワイヨン」	1920	リトグラフ・紙	75.0×113.0
79	マックス・ボンティ	オートバイ「ブジョー」	1930	リトグラフ・紙	115.9×75.5
■興行 SPECTACLES					
80	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	リトグラフ・紙	80.4×60.0
81	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	エグランティエス嬢一座	1896	リトグラフ・紙	59.0×79.0
82	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	高名な「黒猫(シャ・ノワール)」一座近日来演	1896	リトグラフ・紙	61.2×38.1
83	テオフィル・アレクサンドル・スタンラン	演劇「居酒屋」ボルト＝サン＝マルタン劇場	1900	リトグラフ・紙	192.0×139.0
84	A. マンシオン	「肖像画・デッサン・宝石展」サル・デ・ザール	1910～1920頃	リトグラフ・紙	88.5×125.0
85	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「ロレンザッチオ」ルネサンス座	1897	リトグラフ・紙	97.5×35.9
86	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「メディア」ルネサンス座	1898	リトグラフ・紙	201.5×68.7
87	ジュール・シェレ	新劇場(ヌーヴォー・テアトル)ー綱渡りとバントマイム	1891	リトグラフ・紙	119.4×84.6
88	ルイ・ガリス	アルハンブラーヌイイの祭	1905頃	リトグラフ・紙	158.5×119.0
89	マニュエル・オラジ	曲馬場、クリシイ大通り	1900	リトグラフ・紙	216.0×159.0
■万国博覧会、見本市 EXPOSITIONS					
90	ジョルジュ・ボワスリエ	「住宅展示会」グラン・パレ	1900頃	リトグラフ・紙	158.0×310.0
91	ジョルジュ・ルルー	万国博覧会「光学館」ー1900年の大望遠鏡	1900	リトグラフ・紙	78.5×60.0
92	ルイ・ガリス	パロン・シネオラマ	1900	リトグラフ・紙	143.5×99.0
93	エドゥアル・ジュレ	パノラマ館「世界旅行」ー1900年万国博覧会の呼び物	1900	リトグラフ・紙	196.5×139.5
94	V. ギイエ	ギョーム人形劇場ー1900年パリ万国博覧会	1900	リトグラフ・紙	103.0×148.0
95	V. ギイエ	「パリ水族館」1900年万国博覧会	1900	リトグラフ・紙	149.0×109.0

* 寸法は縦×横。

* 作品はすべて北海道立帯広美術館蔵。



ウジェーヌ・グラッセ「あんず酒『アプリコティーヌ』」



レオネット・カピエロ「フォワグラ・クリーム女王『金の鷺鳥』」

遠き道展—はて無き精進の道程— ～現代日本画の行き先～

会期＝平成20年4月11日(金)－6月15日(日) 54日間
前期：4月11日(金)－5月11日(日) 27日間
後期：5月16日(金)－6月15日(日) 27日間
主催＝北海道立帯広美術館、遠き道展実行委員会

後援＝文化庁、厚生労働省、全国盲学校長会、社会福祉法人
日本ライトハウス、NHK帯広放送局

観覧料＝一般950(750)円、高大生550(400)円、小中生300(250)円
身障者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の
割引料金

関連事業

鑑賞ツアー(視覚にハンディキャップのある方対象)

日時＝4月12日(土) 午後1時30分～4時

会場＝当館主展示室、講堂(参加無料、応募制)

美術講演会

「日本画—近代から現代へ」

講師＝島田康寛氏(立命館大学文学部教授、前京都国立近代美
術館 学芸課長)

日時＝4月26日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(聴講無料)

キッズ・ミュージアム

「とぼしてあそぼう、空とぶアニマル」

日時＝5月10日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

オープン・カフェ

日時＝5月10日(土)、5月11日(日) 午前10時～午後4時30分

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

会場＝当館ロビー(有料)

ギャラリー・ツアー

講師＝菌部容子(当館学芸員)

日時＝5月24日(土)、6月7日(土) 午後2時～2時30分

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ワークショップ(視覚にハンディキャップのある方対象)

「描いてさわろう、自分だけの絵」

講師＝北田克巳氏(日本画家、出品作家)

日時＝5月31日(土) 午前10時～12時

会場＝当館講堂(参加無料、応募制)



ポスター



図録

アーティスト・トーク

「院展草創期から現在まで」

講師＝北田克巳氏(日本画家、出品作家)

日時＝5月31日(土) 午後1時～2時

会場＝当館講堂(聴講無料)

アーティスト・トークⅡ

講師＝北田克巳氏、高橋秀年氏(日本画家、出品作家)

日時＝5月31日(土) 午後2時30分～3時30分

会場＝当館主展示室(要観覧券)

鑑賞会

「素晴らしい日本画を皆で鑑賞する会」

コメンテーター＝池田緑氏、齊藤隆博氏、瀧川秀敏氏、中谷有逸氏、宮澤克忠氏、村上陽一氏(美術家)ほか

日時＝6月1日(日) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂、主展示室(要観覧券)

図録

〈健常者用図録〉

規格＝24.0×25.7cm／総頁数152ページ

構成＝ご挨拶／島田康寛「日本画あるいは日本絵画について」／池田良平「平成期の日本美術院 若手作家たちの台頭と古典絵画へのオマージュ」／吉田洋一「日展と日本画―独白的に―」／小倉実子「創造美術から創画会へ―その60年の軌跡―」／立島「無所属作家について」／岡田潔「視覚障害者の美術館利用―岐阜県美術館の場合―」／広瀬浩二郎「“みる”心―さまざまなアートの見方を味方にすれば―」／当展覧会の試み―視覚にハンディキャップのある方に対する平面作品の美術鑑賞方法の実施／作品図版／作家略歴／掲載作品リスト

〈視覚にハンディキャップのある方への図録〉

規格＝30.5×24.0cm／総頁数44ページ

構成＝はじめに／作品解説・図版

関連記事

中村征太郎「絵画『触れて』」北海道新聞／4月1日

志村直「現代日本画 一堂に」北海道新聞／4月11日

成田融「『遠き道展』スタート」十勝毎日新聞／4月11日

森麻子「視覚障害者が絵画を楽しむ」北海道新聞／4月13日

松村智裕「耳傾け手で触れ 浮かぶ大作」十勝毎日新聞／4月13日

「Obihiro Art News」／『Chai』2008年4月24日号

蘭部容子・地家光二「帯広と函館、二つの美術館で観る日本画の現在」／『月刊美術』2008年4月号

古家昌伸「現代日本画の粋 一堂に」北海道新聞／5月5日

本展覧会は、活躍のめざましい若手から中堅の日本画家の作品を一堂に集め、現代日本画の状況を俯瞰しようとするものである。出品される作品は、日展、院展、創画会といった所属団体や出身校などの垣根を越え、さまざまな公募展で受賞した大作を中心に選ばれている。伝統の中に自己の表現を生かそうとする者、また従来の枠にとらわれず斬新な創作を目指す者など、その試みはさまざまだが、それぞれが真摯に日本画の新しい地平を切り開こうとしている。これらの作品を通して、現在の日本画の広がりを感じていただけたことだろう。

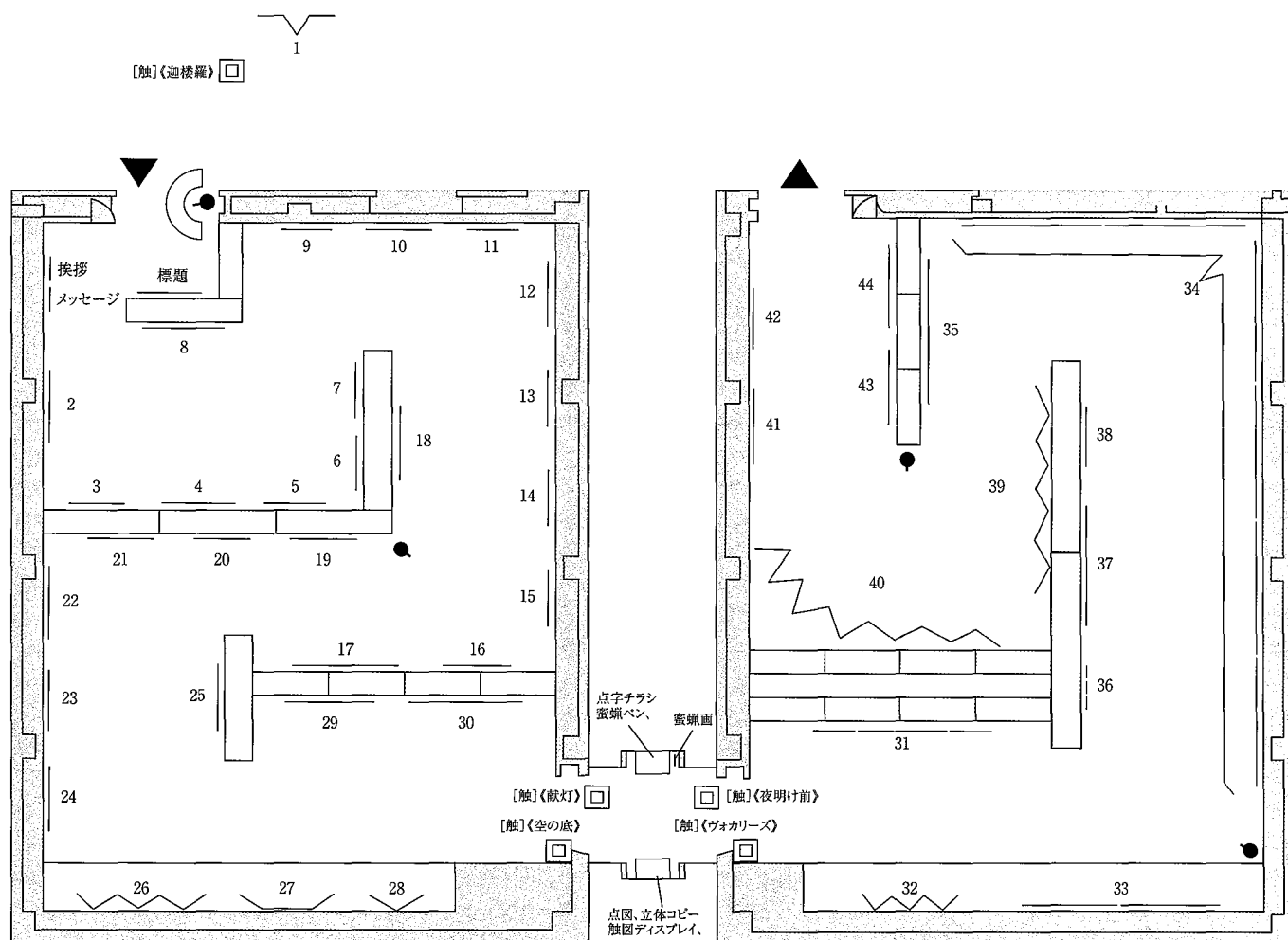
展覧会は、前期・後期に分かれ、前期は日展と無所属の作品44点を、後期は院展と創画展の作品53点を紹介した。大作が多く、日本画の伝統を感じさせるもの、あるいはその概念をくつがえすような表現が人々の心を捉え、会期中は4,345人の来場を迎えた。また、本展は視覚にハンディキャップのある方々にも、美術を楽しんでもらいたいという趣旨を持ち、出品作をもとにしたレリーフや、触ることができる日本画などを設置。音声ガイドや触図点字図録を用意した。また、初めての試みとして、視覚にハンディキャップのある方々を対象とした鑑賞ツアーやワークショップを行った。



会場風景(前期)



会場風景(後期)



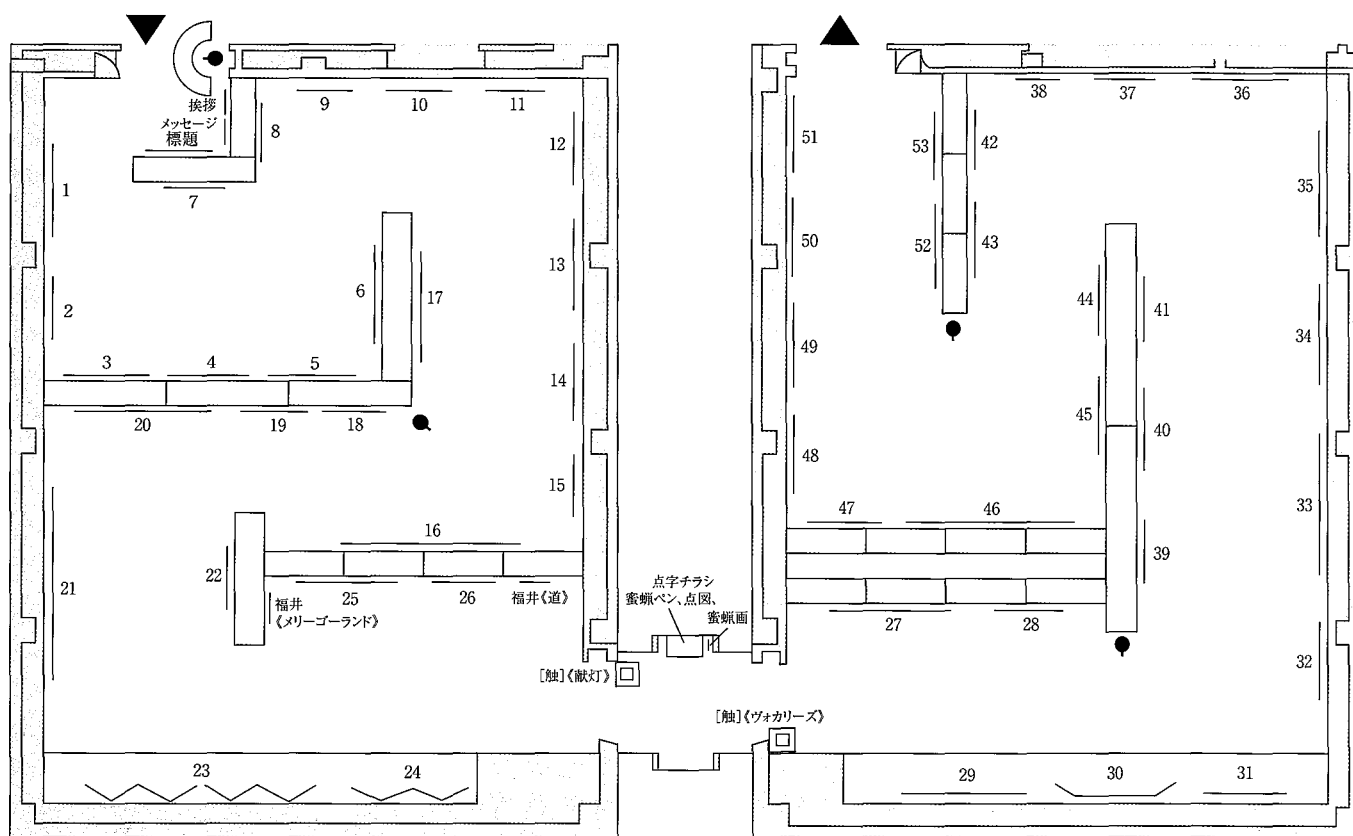
展示図面(前期)

出品目録(前期)

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	出展・受賞
1	岡村桂三郎	迦楼羅 07-2	2007	295×480×9cm	個展
2	加藤 晋	春ごろも	2007	180×220cm	第39回日展
3	加藤 晋	空の底	2001	227×162cm	第33回日展
4	加藤 晋	明日吹く風	1991	187×230cm	第23回日展・特選、文化庁現代美術選抜展
5	加藤 晋	いつも いて 青い空	1997	227×178cm	第29回日展
6	稲元 実	21st C 水の星	2000	220×170cm	第32回日展
7	稲元 実	壊	1978	225×170cm	第10回日展・特選
8	加藤東一	祈り	1996	130×206cm	第28回日展、第20回日本秀作美術展
9	川崎麻児	沈黙	2002	194×140cm	第34回日展
10	川崎麻児	問い	1997	185×185cm	第29回日展、文化庁 DOMANI・明日展
11	岸野圭作	白韻	1998	230×157cm	第30回日展
12	仙崎 誠	独	1987	200×200cm	第19回日展・特選、文化庁現代美術選抜展
13	仙崎 誠	刻	1989	230×168cm	第21回日展
14	仙崎 誠	如来図	2004	210×170cm	第36回日展
15	仙崎 誠	谿	1999	227×162cm	第31回日展
16	仙崎 誠	武蔵野	2005	170×209cm	第37回日展
17	坂本藍子	影の果て	2007	130.3×324.0cm	個展
18	山田 毅	底引きの網	2004	178×220cm	第36回日展・特選
19	中町 力	MONTPARNASSE	2003	194×194cm	第35回日展・特選、文化庁現代美術選抜展

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	出展・受賞
20	中町 力	闘牛場の見える街	2006	227×173cm	第38回日展
21	西田真人	華燈	2000	194×194cm	第32回日展
22	西田真人	静まる刻	1998	175×223cm	第30回日展・特選、文化庁現代美術選抜展
23	土屋禮一	椿樹	2005	198×186cm	第37回日展・文部科学大臣賞
24	土屋禮一	妙義	1998	200×175cm	第30回日展、第22回日本秀作美術展
25	長谷川喜久	シーソー	2005	199×194cm	第37回日展・会員賞
26	土屋禮一	黒い沼	2002	172×435cm	個展
27	マコトフジムラ	columbine sea	2002	180×360cm	個展
28	マコトフジムラ	12th Night	2008	177×176cm	
29	マコトフジムラ	Golden Fire	2008	178×267cm	
30	新恵美佐子	花 -1	2005	227×363cm	ポーラ新鋭展
31	西野陽一	黒潮	1998	193.9×519.7cm	ネクスト第1回展
32	荒井 経	景色 06 Nov.-1	2007	180×360cm	個展
33	吉川 優	風神雷神之図	2005	180×640cm	個展「悠悠蒼天」
34	吉川 優	生命礼讃	2002	170×2700cm	個展「生命礼讃」
35	間島秀徳	Kinesis No.211	2004	160×460cm	超 日本画宣言展
36	松生 歩	臨在	1995	180×40cm ×3	個展
37	松生 歩	天地を結ぶもの	2005	180×360cm	三人展
38	吉川 優	夏日	1992	174.7×179.7cm	個展「生命礼讃」
39	岡村桂三郎	日月龍図	2003	215×360×9cm ×2	第8回目展
40	岡村桂三郎	白澤 04-1	2004	225×1080×9cm	個展
41	依田万実	風の道	1997	184×227cm	第29回日展
42	依田万実	夜明け前	1994	225×185cm	第26回日展
43	依田万実	Moon Rabbit—風の谷を越えて	2008	181.8×227.3cm	
44	依田万実	Mother Ship	2003	89.4×260.6cm	文化庁 DOMANI・明日展

*寸法は縦×横。



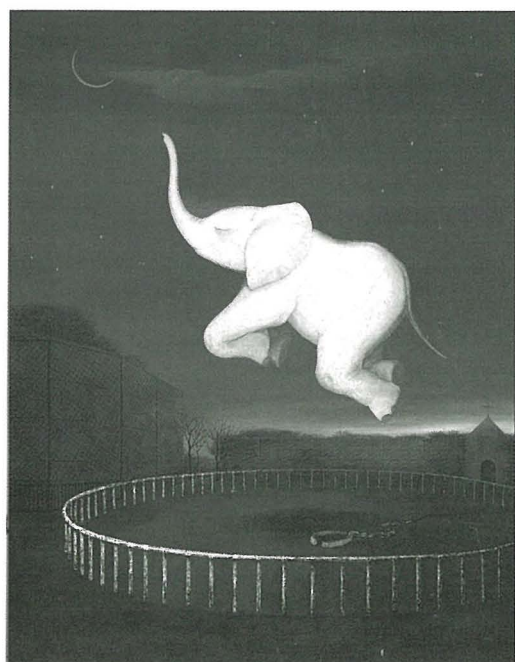
展示図面(後期)

出品目録(後期)

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	出展・受賞
1	清水由朗	貿易風	2006	180×232cm	第91回院展
2	清水由朗	氷塔	1998	214×169cm	第83回院展・奨励賞、文化庁現代美術選抜展
3	小谷津雅美	桜韻	2006	152×220cm	第91回院展・内閣総理大臣賞
4	小谷津雅美	月夜見桜(けやき)	2004	142×232cm	第89回院展
5	高橋秀年	白鳥の城	2000	180×250cm	
6	高橋秀年	雨後	1991	180×360cm	個展
7	清水由朗	幕電	2002	214×169cm	第87回院展
8	高橋秀年	ザンスカール	1993	216×169.8cm	第78回院展・日本美術院賞(大観賞)、文化庁現代美術選抜展
9	高橋秀年	献灯	1992	214×169.8cm	第77回院展・奨励賞、文化庁現代美術選抜展
10	高橋秀年	遠き道	1996	215×169.8cm	第81回院展
11	高橋秀年	帰神	1987	214×174cm	第72回院展
12	北田克己	夜明けの地	2003	169.8×215cm	第88回院展・日本美術院賞(大観賞)、文化庁現代美術選抜展
13	北田克己	月の汀	1999	170×240cm	日本画の新世代展
14	北田克己	花結び	2001	169.8×216cm	個展
15	北田克己	朝かげの翼	2000	214×169cm	第85回院展
16	梅原幸雄	白銀の流れ	2003	182×546cm	第88回院展・内閣総理大臣賞
17	北田克己	水辺のロジャア	2001	165×340cm	個展
18	梅原幸雄	神灯に包まれて	1992	214×169.8cm	第77回院展・日本美術院賞(大観賞)、文化庁現代美術選抜展
19	梅原幸雄	線香花火	1993	215×169.8cm	第78回院展・日本美術院賞(大観賞)、文化庁現代美術選抜展
20	梅原幸雄	淡雪	1998	185.5×366cm	第83回院展
21	梅原幸雄	花筏	2001	182×546cm	第86回院展・文部科学大臣賞、日経日本画大賞入選、文化庁現代美術選抜展
22	仲 裕行	旅立ち	2002	214×169cm	第87回院展
23	梅原幸雄	夜桜	2005	182×728cm	第90回記念院展
24	福井爽人	北明	1992	170×340cm	第77回院展
25	福井爽人	星のオアシス	2004	165×285cm	第89回院展

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	出展・受賞
26	福井爽人	明	2001	220×186cm	第86回院展
27	西田俊英	きさらぎの月	2005	182×364cm	第90回記念院展・内閣総理大臣賞
28	西田俊英	酒場	1998	215×169.8cm	第83回院展
29	西田俊英	華孔雀	2003	182×364cm	第88回院展
30	西田俊英	月光華	1990	180×360cm	現代日本の屏風絵展(デュッセルドルフ)
31	西田俊英	デカンの台地	1994	172×218cm	第79回院展
32	西田俊英	緋色のターバン	1993	172×216.5cm	第78回院展
33	浅野 均	大塊雲起	2004	194×390cm	第31回創画展
34	浅野 均	高原風光	1999	185×286cm	第26回創画展、第22回日本秀作美術展
35	浅野 均	横臥山岳	1996	180×300cm	第23回創画展、文化庁 DOMANI・明日展
36	浅野 均	早行寒気	1989	170×268cm	第16回創画展、第12回日本秀作美術展
37	浅野 均	過ぎ行く時に	1984	268×170cm	第4回天展・大賞
38	浅野 均	寄り添う樹	1994	163×130cm	第20回春季創画展、文化庁 DOMANI・明日展
39	平川敏夫	秋韻	2003	183×183cm	
40	尾長良範	zone	2002	181.8×227.3cm	第29回創画展・創画会賞、文化庁現代美術選抜展
41	尾長良範	zone	2006	227.3×181.8cm	第33回創画展
42	平山英樹	天廻地廻	2004	227.3×181.8cm	第31回創画展・創画会賞
43	平山英樹	風の門	2007	181.8×227.3cm	第34回創画展
44	小嶋悠司	穢土	1993	100×200cm	個展
45	伴戸玲伊子	いびつなかたちをした土地	2000	181.8×227.3cm	第27回創画展・創画会賞、文化庁現代美術選抜展
46	宮いつき	ヴォカリーズ	2004~2006	220×170cm ×3	第31回・第32回創画展、個展
47	宮いつき	未知の贈りもの	1990	193×259cm	第17回創画展・創画会賞、文化庁現代美術選抜展
48	宮いつき	午睡	1999	181.8×227.3cm	第26回創画展・創画会賞
49	宮いつき	ガーデン	2001	227.3×181.8cm	第28回創画展、第24回日本秀作美術展
50	宮いつき	ゲーム	2002	181.8×227.3cm	第29回創画展、第25回日本秀作美術展、文化庁 DOMANI・明日展
51	宮いつき	晩夏	2003	181.8×227.3cm	第30回創画展
52	武田州左	光の采・662	2006	194×260.6cm	第33回創画展
53	武田州左	GLOBE 光・365	2001	227.5×182cm	第28回創画展・創画会賞、文化庁現代美術選抜展
(参考出品)					
	福井爽人	メリーゴーランド	1998	56.8×65.3cm	(パステル)
	福井爽人	道	2001	44.3×63.3cm	(パステル)

*寸法は縦×横。



依田万実「夜明け前」



浅野均「寄り添う樹」

五味太郎作品展 [絵本の時間]

会期＝平成20年 6月20日(金)－9月3日(水) 65日間
主催＝北海道立帯広美術館、北海道新聞社、五味太郎作品展実行委員会

後援＝こどもの本 WAVE

企画協力＝メディアリンクス・ジャパン

観覧料＝一般950(750)円、高大生550(400)円、小中生400(300)円
身障者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

ミュージアム・ミステリー2008サマー

「みんなの時間～絵本の世界へ～」

日時＝7月19日(土)、7月26日(土) 午前11時～午後3時

会場＝当館講堂、展示室ほか(参加料600円、応募制)

絵本の読み聞かせ

出演＝帯広図書館友の会 おひさま(7/27)、子どもと本を楽しむ会(8/10)

日時＝7月27日(日)、8月10日(日) 午後2時～2時30分

会場＝当館講堂(参加無料)

大きな波を起こそう WAVE in おびひろ

日時＝8月2日(土)

会場＝当館講堂(参加無料、応募制)

主催＝こどもの本 WAVE

(午前10時30分～12時)

講演「五味太郎作品を語る」

講師＝小野明氏(フリー編集者)

(午後1時30分～3時)

対談「僕らの絵本の時間」

出演＝五味太郎氏、あべ弘士氏(絵本作家)

サマー・ミュージアム

日時＝8月3日(日)

(午後2時30分～3時30分)

グリーン・コンサート：ジャズ・セッション

出演＝MICA & ピアノトリオ

会場＝当館ロビー(入場無料)

(午後1時～4時)

ワークショップ「巨大絵本を作ろう！」

会場＝当館講堂(無料、自由参加制)

キッズ・ミュージアム

「ダンボールで遊ぼう」

日時＝8月9日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)



ポスター

関連記事

「絵本の世界で遊ぼう」北海道新聞／6月16日

鎌田享「大人のための『絵本の時間』①～⑦」北海道新聞／7月29日～8月2日、5日、6日

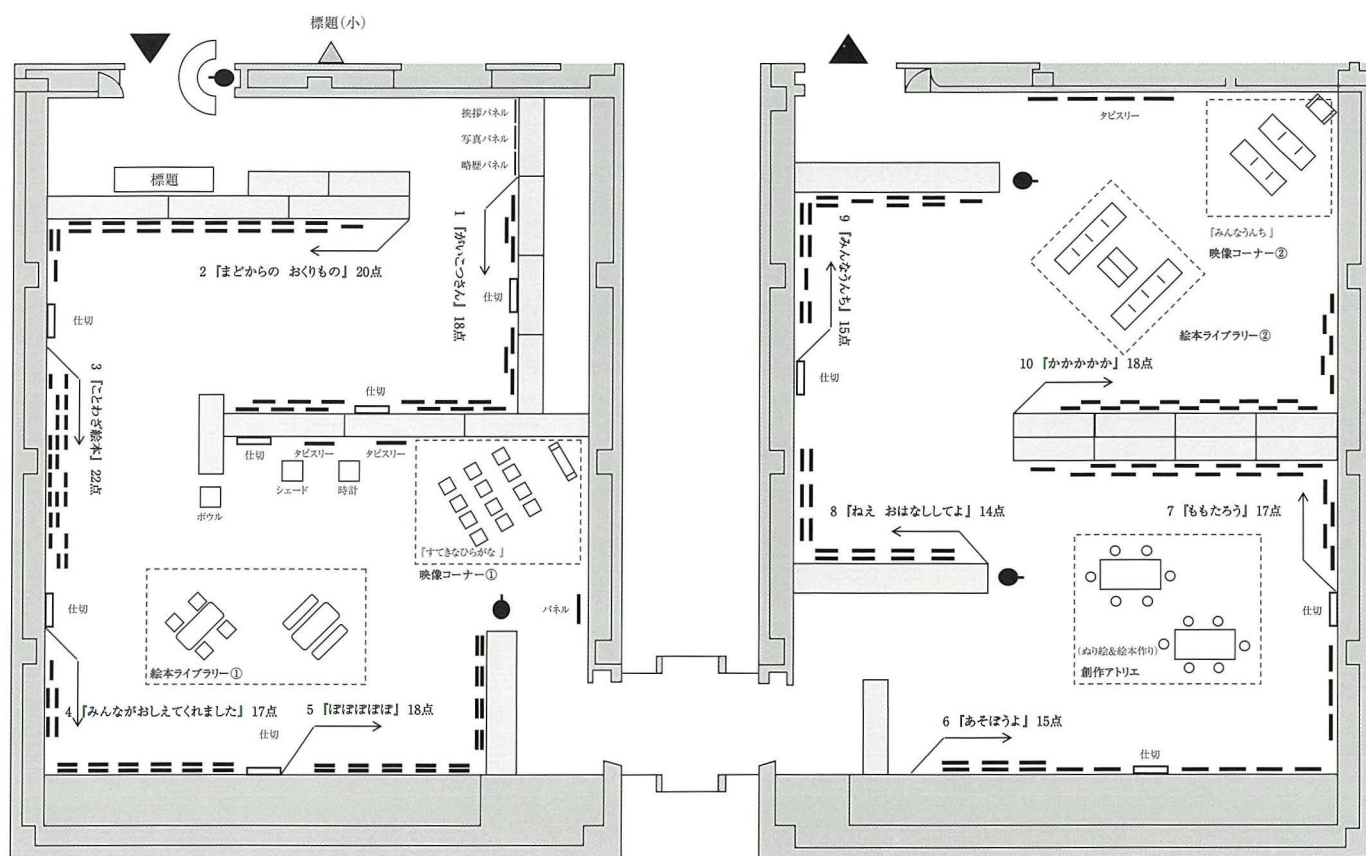
五味太郎は『みんなうんち』『ねえ、おはなししてよ』などのロングセラーで知られる日本を代表する絵本作家のひとりである。1945年に東京に生まれた五味は、工業デザインの世界から絵本の創作活動に転じ、現在までにおよそ350冊を超える著作を発表している。ユーモアあふれるストーリーと暖かみあふれる描写に彩られたその作品は、子どもから大人まで幅広いファンに支持される一方、サンケイ児童出版文化賞やボローニャ国際絵本原画展など国内外において高い評価を獲得してきた。

本展では数多い五味作品より代表作10タイトルを取り上げ、

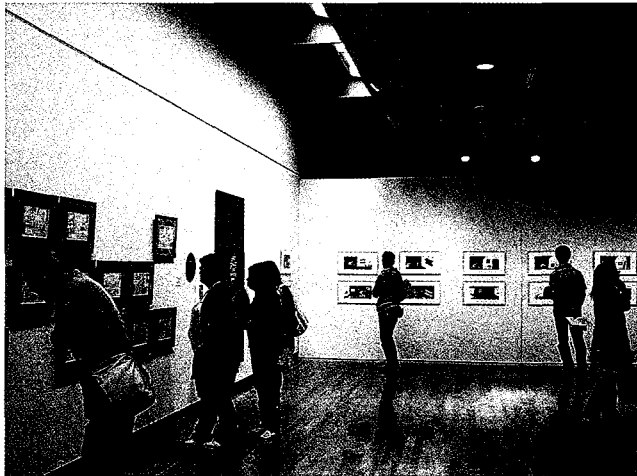
それぞれの本に含まれているほぼ全ての原画を紹介した。また時計やランプシェードなど、五味が近年手がけてきた工業デザイン製品も特集展示した。

あわせて展示室内には、五味の制作風景をとらえた映像や絵本を原作としたアニメーションを上映する映像コーナー、展示作品を含む多数の五味の著作を手にとり読む絵本ライブラリー、また五味の創案による創作ぬり絵を楽しめる創作アトリエを併設。五味太郎の創作世界を多面的に紹介しながら、来館者が多様に観賞・参加できる会場構成とした。

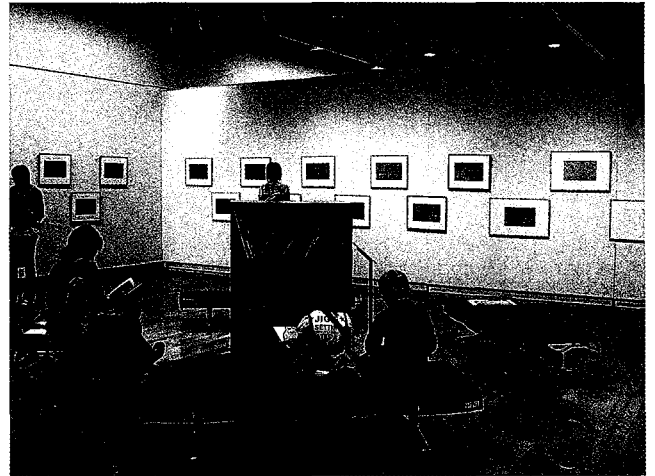
幅広い年齢層が気軽に足を運べる内容であったこと、また夏休み期間中の開催であったことなどから、低年齢層や親子連れを中心に多くの鑑賞者を集め、会期中の入場者は14,885名を数えた。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

No.	絵本名	発行年	出版社	技法・材質	掲載頁	作品名
1	がいこつさん	1982	文化出版局	カラーインク・紙	表紙 p.2-3 p.4-5 p.6-7 p.8-9 p.10-11 p.12-13 p.14-15 p.16-17 p.18-19 p.20-21 p.22-23 p.24-25 p.26-27 p.28-29 p.30-31 p.1, p.32 見返し	がいこつさんが ねています どうも よくねては いなようです はて なんだか 気になることがある…… なにか 忘れていることがある しかたがないから そこらを ぶらっとしてくるか 忘れていているのは せんたくかな まさか 電話を かけるの 忘れていたかな まさか 忘れていること いったいぜんたい なんだろう 病院に 予約してあったかな まさか はて おなががすいているの 忘れていたかな まさか 誰かがどこかで 待っているの 忘れていたかな まさか ついでをついで がいこつさんは デパートへ 入って行きます がいこつさん 少し疲れたので 休みます あとまわってないのは あそこだけ なんだか 思い出しそうな 気分だぞ なあんだ 忘れていたのは あれか これを 忘れちゃ ぐっすり ねむれないのも あたりまえです では おやすみ
2	まどから おくりもの	1983	偕成社	カラーインク・紙	表紙 p.1 p.2-3 p.4-5 p.6-7 p.8-9 p.10-11 p.12-13 p.14-15 p.16-17 p.18-19 p.20-21 p.22-23 p.24-25 p.26-27 p.28-29 p.30-31	きょうは どうやら クリスマス あれは きっと おくりもの ここは ねずみさんの おうち おくりものは しゃれた ながぐつ ここは ねこさんの おうち おくりものは かわいい リボン ここは どうやら しまうまさんの おうち おくりものは しましま えりまき おや ここは るす だーれも いない だから なんにも あげない ここは どうやら きつねさんの おうち おくりものは とんがりぼうし ここは どうみても わにさんの おうち まどから いれるのも…… ちょっと こわいみたい ここは どうやら ふたごの きょうだい だから おくりものは はい ふたつ

No.	絵本名	発行年	出版社	技法・材質	掲載頁	作品名
3	ことわざ絵本	1986	岩崎書店	インク・紙	p.32-33	「わあ ふたつも もらった」 「あ ずるい ずるい」
					p.34-35	うさぎの きょうだいは どうしたかな……
					p.36	たぶん わいわい おおさわぎ
					表紙	
					p.36-37	鬼に金棒→美人に体力
					p.50-51	ちりも積れば山となる→山が積ればもうおしまい
					p.60-61	負けるが勝ち→負るが得
					p.76-77	一事が万事→あわててのんびり あせってのんびり
					p.68-69	損して得とれ→損せずに損する
					p.88-89	花よりだんご→パンダよりパンだ
					p.98-99	船頭多くして船山にのぼる→主役ばかりじゃ芝居にならぬ
					p.84-85	泣きつ面に蜂→おとしもの・迷い道・こわい犬・日ぐれ
					p.104-105	かえるの子はかえる→ぐうたらの子はぐうたら
					p.108-109	けんか両成敗→どちらもどちら落とし穴
					p.116-117	せいては事をし損ずる→いちばん風呂のおおやけど
					p.120-121	知らぬが仏→知らぬがパラダイス
					p.128-129	親の心子知らず→子の心親知らず
					p.134-135	縁の下の力持ち→汗と涙の花火大会
					p.146-147	早起きは三文の得→早起きはケーキの損
					p.154-155	どんぐりの背くらべ→赤ん坊美人コンテスト
					p.164-165	壁に耳あり障子に目あり→壁、床、天井の防犯装置
					p.178-179	飼い犬に手を噛まれる→ロボットの逆襲
					p.194-195	石の上にも三年→小学校にも六年
					p.204-205	十人十色→百人百様
					見返し	
4	みんながおしえてくれました	1983	絵本館	カラーインク・紙	表紙	
					p.2-3	あるきかたは ねこが おしえてくれました
					p.4-5	とびこえかたは いぬが おしえてくれました
					p.6-7	のぼりかたは さるが おしえてくれました
					p.8-9	かつこいい はしりかたは うまに おしえてもらいました
					p.10-11	きもちのいい おさんぽの やりかたは にわとりに おしえてもらいました
					p.12-13	おなかのひえない ひるねのしかたは わにに おしえてもらいました
					p.14-15	はなのかおりや あじのことは ちょうちょに おしえてもらいました
					p.16-17	おにに みつからない かくれかたは うさぎが おしえてくれました
					p.18-19	つちのうえの できごとや つちのなかの ひみつは ありが おしえてくれました
					p.20-21	わるものを やっつける たたかいかたは ゴリラに おしえてもらいました
					p.22-23	よるのことは ふくろうが おしえてくれました
					p.24-25	とびかたは ともかく うたのことは ことりに おしえてもらいました
					p.26-27	わたしは うまれつき かんがえる ひとだし いろいろ おぼえる ひとでもあるし…
					p.28-29	ほかに いろいろ こまかいことは このひとたちが おしえてくださいますし
					p.30-31	なにしろ ともだちがたくさん おりますから
					p.1, p.32	どうみても りっぱなひとに なるわけです
5	ばいばいばい	1989	偕成社	カラーインク・紙	表紙	
					p.1	タイトルページ
					p.2-3	ばいばいばい
					p.4-5	ばいばいばい
					p.6-7	ばいばいばい ばいばいばい
					p.8-9	ばいばいばい とととと
					p.10-11	ばいばい ばいばい
					p.12-13	ば ば ば ば
					p.14-15	ば ばばばば
					p.16-17	ばいばいばい

No	絵本名	発行年	出版社	技法・材質	掲載頁	作品名
6	あそぼうよ	2001	偕成社	カラーインク・紙	p.18-19	ててててて せせせせせ
					p.20-21	ぼぼぼぼぼ ぼぼぼぼぼ
					p.22-23	ぼぼぼぼぼ るるるるる
					p.24-25	ぞぞぞぞぞ れれれれれ
					p.26-27	ののののの よよよよよ
					p.28-29	ぼぼぼぼぼ こここここ
					p.30-31	すすすすす さささささ
					p.32	ぼぼぼぼ ぼ
					p.24	タイトル文字
					表紙	
					p.1	タイトルページ
					p.2-3	あそぼうよ
					p.4-5	あそぼうよ
					p.6-7	あそぼうよ——あそばない
					p.8-9	あそぼうよ——あそばない
					p.10-11	あそぼうよ——あそばない
					p.12-13	あそぼうよ——あそばない
					p.14-15	あそぼうよ——あそばない
					p.16-17	あそぼうよ——あそばない
					p.18-19	あそぼうよ——あそばない
					p.20-21	あそぼうよ——あそばない
					p.22-23	あした また あそぼうよ
					p.24	あした また あそばない
7	ももたろう	2007	絵本館	ジグレイによる複製	p.1	タイトルページ
					p.2-3	だれでもしっている あのゆうめいな ももたろうです
					p.4-5	ももからうまれたから 「ももたろう」 これまたゆうめいです
					p.6-7	「きゅうりたろう」なども いたのですが なぜか ゆうめいでは ありません
					p.8-9	ももたろうが そだつのを おてつだいした ひとは じつは たくさん いました
					p.10-11	いよいよ あのゆうめいな おにがしまへ おにたいじに おでかけです
					p.12-13	おともが たくさんいたのですが ついて これたのは さると きじと いぬだけでした
					p.14-15	きびだんごです ほかにも いろいろと もってきましたよ ピクニック きぶんです
					p.16-17	さて いよいよ おにがしまです
					p.18-19	ももたろうチームが おにを やっつけました ゆうめいな はなしです
					p.20-21	サッカーの しあいでも おには かてません
					p.22-23	おにごっこ しあいでは どうせん おにチームが かちました
					p.24-25	なかよくなったので ほかの おにがしまにも いってみることに しました
					p.26-27	みんな なかなか いいやつです それぞれ たのしい れんちゅうです
					p.28-29	ももたろうの しまへ もどります みんな いっしょに もどります
					p.30-31	そして ももたろうの しまは こんなぐあいに になりました
					p.32	きびだんごに ちかって これ ほんとうの おはなし
8	ねえ おはなししてよ	1986	岩崎書店	カラーインク・紙	表紙	
					見返し・p.1	ねえ わにのおじさん おはなし してよ
					p.2-3	はいはい では そこにすわって ようく きいてくださいよ
					p.4-5	あるひ わにさんの せなかに 木が はえました とさ
					p.6-7	木は ずんずん そだって わにの木に になりました とさ
					p.8-9	やがて わにの木に 実がなりました とさ
					p.10-11	しばらくすると 実がおちて きました とさ
					p.12-13	わにの 木の実のなかには わにの子でした とさ
					p.14-15	うさぎさんは すごく きにいて かわいがりました とさ
					p.16-17	わにの子たちが よろこびそうなことを たくさん してあげました とさ
					p.18-19	うさぎさんは ずっと あそんで あげました とさ でもね……
					p.20-21	うさぎさんも まだ 子どもですから
					p.22-23	しばらくすると ちよつとばかり くだびれて……

No.	絵本名	発行年	出版社	技法・材質	掲載頁	作品名
9	みんなうんち	1981	福音館書店	水彩・紙	p.24 表紙 p.2-3 p.4-5 p.6-7 p.8-9 p.10-11 p.12-13 p.14-15 p.16-17 p.18-19 p.20-21 p.22-23 p.24-25 p.26-27 p.1, p.28	ねむたくなって しまいました とさ おおきい ぞうは おおきい うんち ちいさい ねずみは ちいさい うんち ひとこぶらくだは ひとこぶ うんち ふたこぶらくだは ふたこぶ うんち これは うそ! さかなも うんち とりも うんち むしも うんち いろんな どうぶつ いろんな うんち いろんな かたち いろんな いろ いろんな におい へびの おしりは どこ? くじらの うんちは どんなの? とまって うんち あるきながら うんち あちらこちらで うんち きめたところで うんち おとなも うんち こどもも うんち おまるで うんち おむつで うんち うんちをしても しらんかお うんちをしたら あとしまつ みずべで うんち みずのなかで うんち かみで ふいて、みずをながして… いきものは たべるから みんな うんちをするんだね タイトルページ
10	かかかかか	1991	偕成社	アクリル、 グアッシュ・紙	表紙 p.1 p.2-3 p.4-5 p.6-7 p.8-9 p.10-11 p.12-13 p.14-15 p.16-17 p.18-19 p.20-21 p.22-23 p.24-25 p.26-27 p.28-29 p.30-31 p.32	タイトルページ かかか か か・ かかかかか か・ かかかかか か・ かかかかか か・ かかか かかかかか か・ か! かかかかか か・ か! かか かかか か・ か か かかかかか・



「ねえおはなししてよ」



「ももたろう」

もじ・モジ・文字展 ～描かれた文字・記号と美術～

会期＝平成20年9月12日(金)～11月12日(水) 54日間

主催＝北海道立帯広美術館

協力＝北海道立函館美術館

助成＝芸術文化振興基金

観覧料＝一般650(500)円、高大生400(300)円

中学生以下・65歳以上の方および身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

ギャラリー・ツアー

ごあんない＝平 利弘(当館主任学芸員)

日時＝9月13日(土)、9月20日(土) 午後2時～2時30分

会場＝当館主展示室(要観覧券)

ミュージアム・カレッジ

「文字・記号と美術」

日時＝10月11日(土)、10月18日(土)、10月25日(土)、11月1日(土)

午後1時～2時30分 全4回

会場＝当館講堂等(参加料500円、応募制)

美術講演会

「文字変化物語～あの手この手」

講師＝齊藤千鶴子氏(北海道立函館美術館学芸員)

日時＝11月1日(土) 午後1時～2時30分

会場＝当館講堂(聴講無料)

キッズ・ミュージアム

「フィンガーペインティング」

日時＝11月8日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

関連記事

「帯広美術館で特別展スタート」十勝毎日新聞／9月12日

「道立帯広美術館 もじ・モジ・文字展」釧路新聞／10月10日

「Art もじモジ文字展 道立帯広美術館 来月12日まで」北海道新聞／10月18日

丹羽恭太「帯広美術館で講演会」十勝毎日新聞／11月2日

文字は、つづり、記録し、伝える‘言葉’としての働きを本領としながら、美術の世界とも深い結びつきを示してきた。美術に関わる文字の表れ方や役どころは時代や作品の目的、テーマなどによってさまざまで、多彩な表現が繰り返されてきた。絵巻物のように物語の詞書きに即して生み出されるものや、広

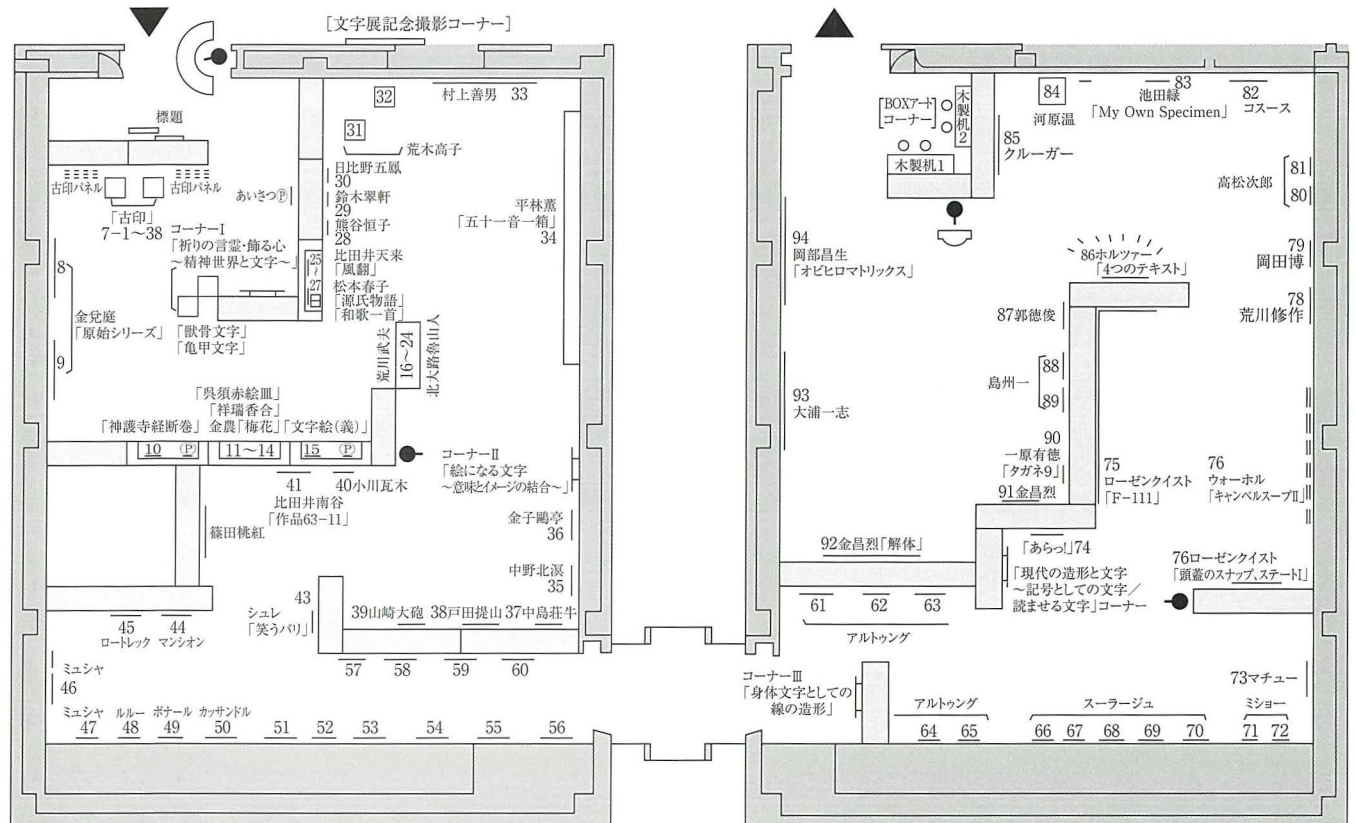


ポスター

告ポスターのように文字と広告内容を伝えるイメージが一体となつて作り出されたもの、あるいは、東洋の書や西洋のカリグラフィーのように、文字そのものを表現するものなどもある。20世紀の美術にあつては、文字に含まれる記号としての特性やイメージの伝達機能に着目し、あるいは逆手にとつた、視覚芸術や現実社会の制度への問いかけや矛盾を浮き彫りにする作品も制作されてきた。

本展では、「絵画と文字」を収集方針に多くの現代美術や書を所蔵する北海道立函館美術館の協力を得て、文字と美術をめぐる多彩な作品約100点を四つのコーナーで紹介。即ち、古代・中国の古いで刻まれた亀甲文字をはじめ、文字の成り立ちや精神世界との関わりに着目した「Ⅰ 祈りの言霊・飾る心〜精神世

界と文字〜」、近代書やポスター作品によって文字とイメージとの関係を読み解く「Ⅱ 絵になる文字〜意味とイメージの結合〜」、さらに、文字を出発点にしながら絵画性を追究したコーナーⅢとは対照的に、自由な線表現で文字に近接したアンフォルメル絵画を展示した「Ⅲ 身体文字としての線の造形」、最後に、記号としての文字や言葉そのものを表現に据える作品など多彩な展開を紹介する「Ⅳ 現代の造形と文字〜記号としての文字／読ませる文字」とした。あわせて、文字をテーマにした工作コーナーや吹き出し文字の遊具など、体験や遊びの要素も設けながら、文字と美術をテーマに、見ることと造形美術との関わりについて掘り下げる機会となった。会期中、学校団体の利用も多く、3,890人の観覧者が訪れた。



展示図面



会場風景



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	所蔵先
■ I 祈りの言霊・飾る心〜精神世界と文字〜						
1	作者不詳	獣骨文字		16.0×14.0×4.0	獣骨	北海道立函館美術館
2	作者不詳	獣骨文字		15.0×5.5×1.0	獣骨	北海道立函館美術館
3	作者不詳	獣骨文字		10.0×5.0×2.0	獣骨	北海道立函館美術館
4	作者不詳	亀甲文字		10.5×7.5×4.5	亀甲	北海道立函館美術館
5	作者不詳	亀甲文字		10.5×7.0×1.5	亀甲	北海道立函館美術館
6	作者不詳	亀甲文字		7.5×5.0×2.0	亀甲	北海道立函館美術館
7-1	作者不詳	王汎		1.3×1.3×1.2	銀、鐘鈕古印	北海道立函館美術館
7-2	作者不詳	降真		1.0×1.0×1.0	銀、鐘鈕古印	北海道立函館美術館
7-3	作者不詳	敬		1.1×1.1×1.0	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-4	作者不詳	根		0.9×0.9×1.2	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-5	作者不詳	梁貴		1.2×1.2×1.3	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-6	作者不詳	峯鼎		1.3×1.3×1.1	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-7	作者不詳	嶺羔		1.0×1.0×1.5	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-8	作者不詳	左軍□鉢		1.0×1.0×0.9	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-9	作者不詳	胄睡		1.2×1.2×1.0	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-10	作者不詳	袁文私印		1.4×1.4×1.4	銅、獸鈕古印	北海道立函館美術館
7-11	作者不詳	駢		1.1×1.1×2.0	銅、獸鈕古印	北海道立函館美術館
7-12	作者不詳	奉車都尉		2.0×2.0×2.3	銅、龜鈕古印	北海道立函館美術館
7-13	作者不詳	衛騎將軍		2.0×2.0×2.1	鍍金、龜鈕古印	北海道立函館美術館
7-14	作者不詳	武猛都尉		2.1×2.1×2.2	象嵌、龜鈕古印	北海道立函館美術館
7-15	作者不詳	季慶之印		1.4×1.4×1.0	銅、龜鈕古印	北海道立函館美術館
7-16	作者不詳	斌□□□		1.7×1.7×1.9	銅、龜鈕古印	北海道立函館美術館
7-17	作者不詳	李忠印		1.4×1.4×1.4	銅、龜鈕古印	北海道立函館美術館
7-18	作者不詳	田終根印		1.6×1.6×1.6	銅、獸鈕古印	北海道立函館美術館
7-19	作者不詳	鳥日幸		1.6×1.6×1.5	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-20	作者不詳	公孫陽印		1.7×1.7×1.4	銅、瓦鈕古印	北海道立函館美術館
7-21	作者不詳	王□私印		1.5×1.5×1.5	銅、瓦鈕古印	北海道立函館美術館
7-22	作者不詳	弓克私印		1.5×1.5×1.4	銅、瓦鈕古印	北海道立函館美術館
7-23	作者不詳	屈漢		1.6×1.6×1.5	銅、瓦鈕古印	北海道立函館美術館
7-24	作者不詳	大史臨印		1.8×1.8×1.5	銅、瓦鈕古印	北海道立函館美術館
7-25	作者不詳	桓常		1.4×1.4×1.3	銅、瓦鈕古印	北海道立函館美術館
7-26	作者不詳	方豫□印		1.6×1.6×2.1	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-27	作者不詳	辛百兄弟		1.9×1.9×1.8	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-28	作者不詳	黃神之印		2.2×2.2×2.0	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-29	作者不詳	中山王氏		2.1×2.1×2.3	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-30	作者不詳	王□		2.6×1.2×1.8	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-31	作者不詳	□□□		2.7×1.6×1.3	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-32	作者不詳	汜壬信印 汜翁孺		2.0×2.0×0.5	銅、両面印	北海道立函館美術館
7-33	作者不詳	清白傳家		3.2×3.2×0.3	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-34	作者不詳	林亞禹		2.0×2.0×2.5	銅、獸鈕古印	北海道立函館美術館
7-35	作者不詳	豊		1.7×1.7×1.8	銅、鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-36	作者不詳	□		1.5×1.5×1.5	銅、丸形鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-37	作者不詳	長□		1.3×1.3×1.2	銅、四角鼻鈕古印	北海道立函館美術館
7-38	作者不詳	□		1.4×1.4×0.8	銅、四角鼻鈕古印	北海道立函館美術館
8	金 兌庭	原始シリーズⅡ 自然回帰 仁宅弘祥	1988	124.0×167.0	ミクストメディア・麻布	北海道立函館美術館
9	金 兌庭	原始シリーズⅡ 自然回帰 好古敏而求之者也	1988	124.0×167.0	ミクストメディア・麻布	北海道立函館美術館
10	作者不詳	神護寺経断卷(紺紙金字一切経)	12世紀	24.0×55.0	墨・紙・軸	北海道立函館美術館
11	金 農(落款)	梅花	1760	30.0×46.4	絹本水墨・軸	北海道立函館美術館
12	作者不詳	水滴 銘「清陳鴻寿」	清代	8.0×12.0×4.0	陶磁	北海道立函館美術館
13	作者不詳	祥瑞手桃形香合(景德鎮窯)	清代	6.5×6.5×8.0	陶磁	北海道立函館美術館
14	作者不詳	呉須赤絵人物鹿文大皿(汕頭窯)	明代末期	38.5×38.5×9.5	陶磁	北海道立函館美術館
15	作者不詳	文字絵(義)		50.0×30.0	紙本彩色・軸	北海道立函館美術館

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	所蔵先
16	荒川武夫	鷗亭題字「天賜清福」 虎溪山唐津風茶碗		13.0×13.0×9.0	陶磁	北海道立函館美術館
17	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句閑さや」 虎溪山唐津風茶碗		14.5×14.5×8.5	陶磁	北海道立函館美術館
18	荒川武夫	鷗亭題字「鷹一つ」 虎溪山唐津風茶碗	1984(昭和59)	9.5×9.5×9.5	陶磁	北海道立函館美術館
19	荒川武夫	鷗亭題字「芭蕉句山路来て」 虎溪山唐津風茶碗	1984(昭和59)	11.0×11.0×9.0	陶磁	北海道立函館美術館
20	荒川武夫	鷗亭題字「牧水歌ひととや」 虎溪山皿		24.0×24.0×2.5	陶磁	北海道立函館美術館
21	北大路魯山人	福字皿		21.8×21.8×3.0	陶磁	北海道立函館美術館
22	荒川武夫	鷗亭題字「萬寿」 虎溪山皿	1984(昭和59)	24.0×24.0×2.5	陶磁	北海道立函館美術館
23	荒川武夫	鷗亭題字「寶字」 虎溪山唐津風茶碗		11.0×11.0×8.5	陶磁	北海道立函館美術館
24	荒川武夫	鷗亭題字「延寿萬歳」 虎溪山皿		23.0×23.0×2.5	陶磁	北海道立函館美術館
25	松本春子	和歌一首	1977(昭和52)	27.0×35.0	墨・紙・軸	北海道立函館美術館
26	松本春子	源氏物語 初音	1937(昭和12)	15点組 25.0×35.0	墨・紙・帖	北海道立函館美術館
27	比田井天来	七言対句 風翻	1933(昭和8)	48.5×59.5	墨・紙・軸・扇面	北海道立函館美術館
28	熊谷恒子	蓮月尼歌 旅		35.0×49.0	墨・紙・額	北海道立函館美術館
29	鈴木翠軒	萬葉集 柿本人麿歌	1975(昭和50)	21.0×18.0	墨・紙・額	北海道立函館美術館
30	日比野五鳳	一茶句 山水に		27.0×24.0	墨・紙・額	北海道立函館美術館
31	荒木高子	岩の聖書	1987(昭和62)	46.0×63.0×15.0	シャモット	北海道立函館美術館
32	荒木高子	砂の聖書	1985(昭和60)	33.3×57.0×14.0	シャモット	北海道立函館美術館
33	村上善男	黒石府下之図油横町に釘打ち	1992(平成4)	182.5×128.5	アクリル・キャンバス	北海道立函館美術館
34	平林 薫	五十一音一箱	1985(昭和60)	51点組 各50.0×50.0×41.0	ミクストメディア	北海道立函館美術館

■Ⅱ 絵になる文字～意味とイメージの結合～

35	中野北溟	海	1984(昭和59)	69.0×78.4	墨・紙・額	北海道立函館美術館
36	金子鷗亭	水原秋桜子句 壺にして深山の	1988(昭和63)	40.0×56.0	墨・紙・額	北海道立函館美術館
37	中島荘牛	華	1983(昭和58)	125.0×92.0	墨・紙・額	北海道立函館美術館
38	戸田提山	貴	1985(昭和60)	132.8×68.8	墨・紙・額	北海道立函館美術館
39	山崎大砲	逢	1986(昭和61)	75.3×83.4	墨・紙・額	北海道立函館美術館
40	小川瓦木	鯢	1985(昭和60)	86.8×117.8	墨・紙・額	北海道立函館美術館
41	比田井南谷	作品63-11	1963(昭和38)	124.0×92.0	墨・紙・額	北海道立函館美術館
42	篠田桃紅	漸く	1991(平成3)	180.2×136.5	墨、銀泥・紙	北海道立函館美術館
43	ジュール・シェレ	ジョルジュ・デュヴァル著「笑うパリ」	1886	19.1×28.1	リトグラフ・紙	北海道立帯広美術館
44	A. マンシオン	「肖像画・デッサン・宝石展」サル・デ・ザール	1910～1920頃	88.5×125.0	リトグラフ・紙	北海道立帯広美術館
45	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	ディヴァン・ジャポネ	1892	80.4×60.0	リトグラフ・紙	北海道立帯広美術館
46	アルフォンス・マリア・ミュシャ	「メディア」ルネサンス座	1898	201.5×68.7	リトグラフ・紙	北海道立帯広美術館
47	アルフォンス・マリア・ミュシャ	タバコ巻紙「ジョブ」	1896	51.5×39.4	リトグラフ・紙	北海道立帯広美術館
48	ジョルジュ・ルルー	万国博覧会「光学館」－1900年の大望遠鏡	1900	78.5×60.0	リトグラフ・紙	北海道立帯広美術館
49	ピエール・ボナール	「創作版画家展」ヴォラール画廊	1896	64.5×47.0	リトグラフ・紙	北海道立帯広美術館
50	カンパンド(アドルフ・ジャン・ムーロン)	北極星号－フランス北部鉄道	1927	105.7×75.4	リトグラフ・紙	北海道立帯広美術館
51	勝井三雄	モリサワ－零－	1985(昭和60)		オフセット・紙	北海道立帯広美術館
52	原 弘	日本タイポグラフィ展	1959(昭和30)		オフセット・紙	北海道立帯広美術館
53	横尾忠則	横尾忠則近作展	1973(昭和48)		オフセット・紙	北海道立帯広美術館
54	栗津 潔	第2回世界宗教者平和会議	1964(昭和39)		オフセット・紙	北海道立帯広美術館
55	山城隆一	森・林	1955(昭和30)		オフセット・紙	北海道立帯広美術館
56	五十嵐威暢	科学万博つくば'85	1983(昭和58)		オフセット・紙	北海道立帯広美術館
57	ポール・ランド	IBM	1982	103.0×68.7	オフセット・紙	北海道立帯広美術館
58	田中一光	第8回産経観世能	1961(昭和36)		オフセット・紙	北海道立帯広美術館
59	ベン・シャーン	水爆実験反対	1960頃	103.0×70.3	オフセット・紙	北海道立帯広美術館
60	ピーター・マックス	トゥールーズ・ロートレック	1967	102.7×69.3	オフセット・紙	北海道立帯広美術館

■Ⅲ 身体文字としての線の造形

61	ハンス・アルトウング	L. 1 6-1 9 7 3	1973	75.0×104.5	リトグラフ・紙	北海道立函館美術館
62	ハンス・アルトウング	L. 2 8-1 9 7 3	1973	105.2×76.2	リトグラフ・紙	北海道立函館美術館
63	ハンス・アルトウング	L. 4 8-1 9 7 3	1973	76.0×105.6	リトグラフ・紙	北海道立函館美術館
64	ハンス・アルトウング	無題		59.8×50.3	銅版(凹版)・紙	北海道立函館美術館
65	ハンス・アルトウング	無題		50.5×39.8	銅版(凹版)・紙	北海道立函館美術館
66	ピエール・スーラージュ	EAU-FORTE Xa	1957	76.0×56.5	銅版・紙	北海道立函館美術館

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(cm)	材質・技法	所蔵先
67	ピエール・スーラージュ	EAU-FORTE X IV	1961	76.0×56.0	銅版・紙	北海道立函館美術館
68	ピエール・スーラージュ	EAU-FORTE X V	1961	76.0×56.0	銅版・紙	北海道立函館美術館
69	ピエール・スーラージュ	EAU-FORTE XX V	1974	53.0×75.5	銅版・紙	北海道立函館美術館
70	ピエール・スーラージュ	EAU-FORTE XXXV	1979	79.0×73.0	銅版・紙	北海道立函館美術館
71	アンリ・ミショー	無題 MP1196	1974	39.5×52.0	油彩・キャンバス	北海道立函館美術館
72	アンリ・ミショー	無題 K352	1968	46.0×55.0	油彩・キャンバス	北海道立函館美術館
73	ジョルジュ・マチュー	グリーン・パロック	1961	195.0×96.0	油彩・キャンバス	北海道立函館美術館

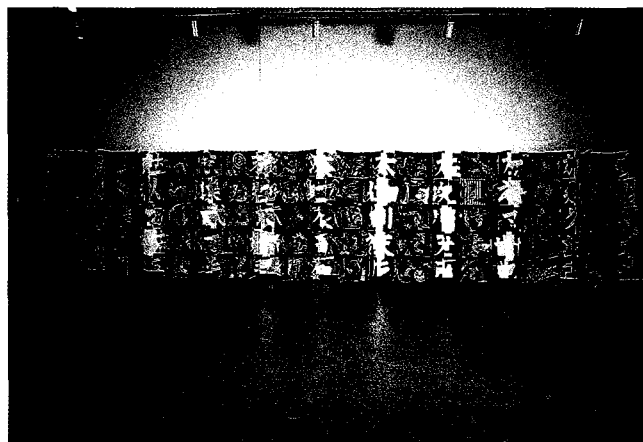
■Ⅳ現代の造形と文字～記号としての文字／読ませる文字

74	前田守一	あらっ！	1968(昭和43)	90.0×90.0	ビニール・合板	北海道立函館美術館
75	ジェームス・ローゼンクイスト	F-111	1974	928×1908/928× 1780/928×1908/ 928×1780 (4点組)	リトグラフ、シルクスクリーン・紙	北海道立帯広美術館
76	ジェームス・ローゼンクイスト	《水の惑星によろこそ》頭蓋のスナップ、ステート I	1989	直径151.1	リトグラフ、コラージュ、 カラード・プレスト・ペーパー・バルブ(着彩手漉き紙)、エンボス	北海道立帯広美術館
77	アンディ・ウォーホル	キャンベル・スープⅡ	1969	10点組 各88.9×58.4	シルクスクリーン・紙・額	北海道立函館美術館
78	荒川修作	DISTANCE OF FORMING/MODEL BY MODEL/THE	1980(昭和55)	86.6×160.0	リトグラフ、シルクスクリーン・紙・額	北海道立函館美術館
79	岡田 博	RED	1971(昭和46)	72.8×103.0	アクリル・板	北海道立函館美術館
80	高松次郎	この七つの文字	1970(昭和45)	82.0×46.0	オフセット・紙	北海道立函館美術館
81	高松次郎	THESE THREE WORDS	1970(昭和45)	80.0×56.0	オフセット・紙	北海道立函館美術館
82	ジョセフ・コースス	題(概念としての芸術という概念)	1967	125.0×125.0	印刷・板	北海道立函館美術館
83	池田 緑	My Own Specimen(1943年4月3日に生まれて)	1999(平成11)	205.5×59.9×9.8	プラスチックテープ、アクリルパイプ	北海道立帯広美術館
84	河原 温	NOV.23,1971 TODAY No.111	1971(昭和46)	25.4×33.0	アクリル・キャンバス 他	北海道立函館美術館
85	バーバラ・クルーガー	無題(We Will Undo You)	1981～83	185.0×124.0	ボード、写真	北海道立函館美術館
86	ジュニー・ホルツァー	4つのテキスト:「暴行殺人」「走奪」「アルノ川」「青」	1993～98	13.3×146.7×7.6	LEDサイン (ブルーダイオード)	北海道立函館美術館
87	郭 徳俊	フォードと郭(B)	1974(昭和49)	46.4×33.5	リトグラフ・紙	北海道立帯広美術館
88	島 州一	新聞紙に新聞紙	1974(昭和49)	82.0×55.0	シルクスクリーン・新聞紙	北海道立帯広美術館
89	島 州一	新聞紙に泥のプリント	1976(昭和51)	81.5×54.5	シルクスクリーン・新聞紙	北海道立帯広美術館
90	一原有徳	タガネ 9		77.6×47.8	タガネ、インク・鉛	北海道立帯広美術館
91	金 昌烈	水滴	1986	162.5×97.0	油彩・麻布	北海道立函館美術館
92	金 昌烈	解体	1985～88	193.5×290.5	油彩・麻布 他	北海道立函館美術館
93	大浦一志	杉並区阿佐ヶ谷南3丁目23-13～普賢岳 (川は水を必要としていた)	1994(平成6)	169.0×225.0	ミクストメディア(土、石、灰、 木、合成樹脂、印画紙)	北海道立帯広美術館
94	岡部昌生	オビヒロ・マトリックス1991の10ピース	1991(平成3)	50.9×39.4	フロタージュ、鉛筆・紙	北海道立帯広美術館

*寸法は、平面作品は縦×横、立体作品は高さ×幅×奥行。



荒木高子「砂の聖書」



平林薫「五十一音一箱」

フロンティア～道東美術の現在～

会期＝平成20年11月21日(金)～平成21年1月21日(水)
48日間

主催＝北海道立帯広美術館

観覧料＝一般450(350)円、高大生250(200)円

中学生以下・65歳以上の方および身障者手帳をお持ちの方などは無料

高校生は毎週土曜日無料

()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

版画技法講座(メゾチント)& アトリエ探訪

講師：小笠原洋子氏(画家)、近藤みどり氏(画家)、白土薫氏(版画家)、中谷有逸氏(美術家)ほか

日時：11月22日(土)、11月23日(日) 午後2時～4時 全2回

会場：当館講堂、旧・毛根小アトリエ(参加無料、応募制)

特別展セミナー

「道東美術のフロンティア・スピリット」

講師：蘭部容子(当館学芸員)

日時：12月6日(土)、1月18日(日) 午後2時～3時

会場：当館講堂(聴講無料)

クリスマス・コンサート

「ボサノバでメリー・クリスマス☆」

出演：ショコラッチ(ボサノババンド)

日時：12月20日(土) 午後2時～3時30分

会場：当館ロビー(入場無料)

トークショー

講師：森弘志氏(画家)

日時：1月10日(土) 午後2時～4時

会場：当館主展示室(要観覧券)

キッズ・ミュージアム

「ジグソーパズル作り」

日時＝1月17日(土) 午後2時～4時

会場＝当館講堂(託児無料)

関連記事

成田融「道東ゆかりの美術『面白い』」十勝毎日新聞／11月21日

須藤幸恵「多彩 道東の作家」北海道新聞／11月22日

蘭部容子「フロンティア～道東美術の現在～ ①～⑤」十勝毎日新聞／11月28日～12月25日

佐藤孝雄「帯広で『フロンティア』展」北海道新聞(夕刊)／11月28日

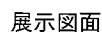
蘭部容子「『フロンティア』の風景 ①～⑩」北海道新聞(夕刊・十勝帯広版)／12月8日～19日



ポスター

当館は北海道立の美術館として5番目に設立され、道東エリアの美術を収蔵作品の柱のひとつとしてきた。本展覧会では収蔵作品をひとつの核として、表現の世界で挑戦を続ける、道東

展示内容は、Ⅰ. 開拓・挑戦 Ⅱ. 自然・息吹 Ⅲ. 朔北
Ⅳ. 変容 Ⅴ. 未踏の地を行く の5つのコーナーに分け、分
野としては油彩、日本画、水彩、版画、彫刻、ガラス、立体作品、
地域としては帯広・十勝をはじめ、釧路、根室、網走、北見ゆ
かりの28作家による約60点を展覧した。関連事業として、作家
の共同アトリエを訪れたり、展示室内でのトークショーを行う
など、現在の道東地域の美術に触れてもらった。来場者は2,532
人。





会場風景



会場風景

出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先
■開拓・挑戦						
1	富谷 智	shell-shelter	2001(平成13)	鉄、ボルト	260.0×130.0×250.0	北海道立帯広美術館 (作者寄託)
2	半谷 学	歩く人の風の装置	2004(平成16)	海藻(ホソジズモ)紙、原麻、顔料	603.0×80.0×301.5	北海道立帯広美術館
3	岡部昌生	オビヒロ・マトリックス1991の10ピース	1991(平成3)	フロッタージュ、鉛筆、紙	50.9×39.4	北海道立帯広美術館
4	岡部昌生	Stroke-on the road at Hiroshimacho in Sapporo, September 7-November 15, 1987	1987(昭和62)	フロッタージュ、鉛筆、紙	各300.0×152.0 (3点組)	北海道立帯広美術館
5	鳴海寛理	呼吸構築体-接続領域# 2	2001(平成13)	木、鉄、真鍮	110.0×110.0×211.0	北海道立帯広美術館
6	鳴海寛理	呼吸構築体-接続領域# 3	2001(平成13)	木、鉄、真鍮	120.0×60.0×92.5	北海道立帯広美術館
7	中谷有逸	碑(海・蠕動)	1995(平成7)	凹凸併用版、コラージュ、紙	270.0×540.0	北海道立帯広美術館
8	中江紀洋	魂の安息日	1998(平成10)	木(スプルース、カツラ、ラワン、ベニヤ)、石膏(歯型)、着色	450.0×120.0~180.0 ×346.0	北海道立釧路芸術館
9	橋原武正	黒の惑星 '90-17	1990(平成2)	塗料、空き缶、廃品、釘、針金、トタン板	154.5×302.0	北海道立帯広美術館
10	米坂ヒデノリ	漂泊	1973(昭和48)	木(カツラ、マツ)	38.0×46.2×155.3	北海道立釧路芸術館
■自然・息吹						
11	高坂和子	行く秋の抄	1985(昭和60)	油彩、キャンバス	130.7×162.1	北海道立釧路芸術館
12	高坂和子	叢・秋の幻影	2004(平成16)	油彩、キャンバス	130.7×162.1	北海道立帯広美術館
13	半谷 学	銀座の森 すくいとりたいたいもの	2003(平成15)	海藻(ホソジズモ)紙、原麻、顔料、再生素材(花びら、葉、切り枝、パンフレット、チラシ、紙ナプキン、箸袋、シュレッダー紙)	150.0×150.0×250.0 など7点によるインスタレーション	北海道立帯広美術館
14	佐藤健吾エリオ	蔭 iv	2001(平成13)	油彩、キャンバス	40.9×40.9	個人
15	佐藤健吾エリオ	水路	1998(平成10)	油彩、キャンバス	53.0×53.0	個人
16	佐藤健吾エリオ	茜空	2001(平成13)	油彩、キャンバス	145.5×89.4	個人
17	佐藤健吾エリオ	雪の淵	2003(平成15)頃	油彩、キャンバス	72.7×72.2	個人
18	佐藤健吾エリオ	霧	1999(平成11)	油彩、キャンバス	40.9×24.3	個人
19	羽山雅倫	黄昏・釧路(00-3)	2000(平成12)	油彩、アクリル絵具、キャンバス	130.3×194.0	北海道立釧路芸術館
20	松本早苗	見上げた空に	2007(平成19)	水彩、紙	72.7×91.0	作者
21	松本早苗	あと一時間・・・	2005(平成17)	水彩、紙	72.7×91.0	作者
22	松本早苗	工場が見える窓	2006(平成18)	水彩、紙	72.7×91.0	作者
23	松本早苗	春	2008(平成20)	水彩、紙	72.7×91.0	作者
■朔北						
24	羽生 輝	海霧(オダイト)	2001(平成13)	岩絵具、合板	181.8×227.5	北海道立釧路芸術館
25	羽生 輝	北の浜辺(床丹)	1999(平成11)	岩絵具、合板	181.8×227.5	北海道立釧路芸術館

No.	作者名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先
26	國安孝昌	Wind Field Project	1994(平成6)	コピー、鉛筆、紙	各35.2×52.2(15点組)	北海道立帯広美術館
27	伊藤彰規	地宴	1981(昭和56)	アクリル絵具、岩絵具、紙	54.0×83.0	北網園北見文化センター
28	伊藤彰規	棲	1981(昭和56)	アクリル絵具、岩絵具、紙	72.7×91.0	北網園北見文化センター
29	池田良二	Space of foggy ocean(海霧の空間)	1990(平成2)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	113.5×179.7	北海道立帯広美術館
30	池田良二	Time of frozen ground(凍土の時)	1990(平成2)	フォトエッチング、エッチング、アクアチント、ドライポイント、メゾチント、手漉き雁皮	114.0×180.0	北海道立帯広美術館
■変容						
31	伽井丹彌	精霊(プシュケ)の系譜 III	2008(平成20)	ビスク(磁器)、化繊、ガラス	42.5×34.5×78.8	作者
32	伽井丹彌	精霊(プシュケ)の系譜 I	2008(平成20)	ビスク(磁器)、化繊、ガラス	44.5×41.0×77.5	作者
33	伽井丹彌	精霊(プシュケ)の系譜 II	2008(平成20)	ビスク(磁器)、化繊、ガラス	41.4×42.5×79.3	作者
34	多賀 新	伝承	1988(昭和63)	エッチング、アクアチント、紙	36.5×23.7	北海道立帯広美術館
35	多賀 新	バイオリニスト I	1992(平成4)	エッチング、紙	33.0×36.5	北海道立帯広美術館
36	多賀 新	スフィンクス(土方巽氏に捧ぐ)	2000(平成12)	フォトエッチング、紙	30.5×44.5	北海道立帯広美術館
37	渋谷栄一	Animal G	1986(昭和61)	シュガーアクアチント、エッチング、コラーージュ、紙	68.8×36.1	北海道立帯広美術館
38	渋谷栄一	Animal F	1986(昭和61)	シュガーアクアチント、エッチング、コラーージュ、紙	66.3×40.5	北海道立帯広美術館
39	渋谷栄一	Animal C	1986(昭和61)	シュガーアクアチント、エッチング、コラーージュ、紙	37.5×80.0	北海道立帯広美術館
40	佐藤克教	愚者の船(一)	1995(平成7)	木版、紙	166.0×128.0	北海道立帯広美術館
41	佐藤克教	夜の箱	1993(平成5)	木版、紙	182.0×150.0	北海道立帯広美術館
42	近藤みどり	慰する旅人 I	2004(平成16)	油彩、キャンバス	182.0×227.5	北海道立帯広美術館 (作者寄託)
■未踏の地を行く						
43	富谷道信	アデラの記憶	1980(昭和55)	木	115.0×30.0×50.0	北海道立帯広美術館
44	岡沼淳一	MONSOON	1988(昭和63)	埋もれ木(ニレ)	185.0×44.3×190.0	北海道立帯広美術館
45	森 弘志	それ、普通	1994~95 (平成6~7)	油彩、キャンバス	162.4×162.2	北海道立帯広美術館
46	森 弘志	糞は良く噛んで食べた時のみ栄養にならない	2004~06 (平成16~18)	油彩、キャンバス、パネル	(中)80.0×227.0、 (上左右5点)80.0×80.0	作者
47	梅田マサノリ	compensation of balance #6	1995(平成7)	アクリル絵具、石膏、キャンバス	90.8×99.8	北海道立帯広美術館 (作者寄託)
48	横山郁美	-であること、-としてあること。	2007(平成19)	木版、紙	193.9×130.3	作者
49	横山郁美	潜る	2004(平成16)	木版、紙	162.0×97.0	作者
50	嶋崎 誠	心円	2002~07 (平成14~19)	ガラス	75.0×20.0×117.0	作者
51	嶋崎 誠	天と地	2002~05 (平成14~17)	ガラス	26.0×27.0×67.5	作者
52	池田 緑	ALICE'S SPECIMEN	1996(平成8)	シルクスクリーン、アクリルパイプ、枯葉、枯枝、紙	190.6×9.8×102.4	北海道立帯広美術館
53	池田 緑	My Own Specimen(1943年4月3日に生まれて)	1999(平成11)	プラスチックテープ、アクリルパイプ	59.9×205.5×9.8	北海道立帯広美術館

*寸法は、平面作品は縦×横、立体作品は幅×奥行×高さ、レリーフ状の作品は縦×横×奥行。



松本早苗「あと一時間…」



嶋崎誠「心円」

絵画と写真の交差 印象派誕生の軌跡

会期＝平成21年1月30日(金)－3月25日(水) 47日間
主催＝北海道立帯広美術館、帯広市、帯広市教育委員会、十勝毎日新聞社、「絵画と写真の交差」実行委員会、読売新聞北海道支社、美術館連絡協議会、NPO 十勝文化会議

後援＝十勝町村会、十勝管内各町村教育委員会、帯広商工会議所、十勝文化団体協議会、北海道高等学校長協会十勝支部、十勝小・中校長会、帯広市校長会、帯広市町内会連合会、帯広市民劇場運営委員会、とかちカルチャーネット、NHK 文化センター帯広教室、NHK 帯広放送局、HBC 帯広放送局、STV 帯広放送局、HTB 帯広支社、帯広シティーケーブル、FM-JAGA

協賛＝ライオン、清水建設、大日本印刷、医療法人社団博愛会、医療法人社団北斗、エイブルコンピューター技研、王子製紙株式会社、帯広信用金庫、帯広日産自動車株式会社、株式会社キクミ、サッポロビール株式会社、上光証券株式会社、畜大練成会、DIC 株式会社、東洋印刷株式会社、ホクレン農業協同組合連合会

企画協力＝東京富士美術館

観覧料＝一般1,050(800)円、高大生650(500)円、小中生300(250)円
身障者手帳をお持ちの方などは無料
()内は前売り、リピーターおよび10名以上の団体の割引料金

関連事業

おびひろ氷まつり連携事業

「たんけん！雪の迷路にかくされた謎」

日時＝1月30日(金)、1月31日(土)、2月1日(日) 午前9時30分～午後4時

会場＝当館前庭、ロビー(参加無料)

美術講演会

「印象派 視覚の革命」

講師＝五木田聡氏(東京富士美術館副館長)

日時＝1月31日(土) 午後2時～3時30分

会場＝当館講堂(聴講無料)

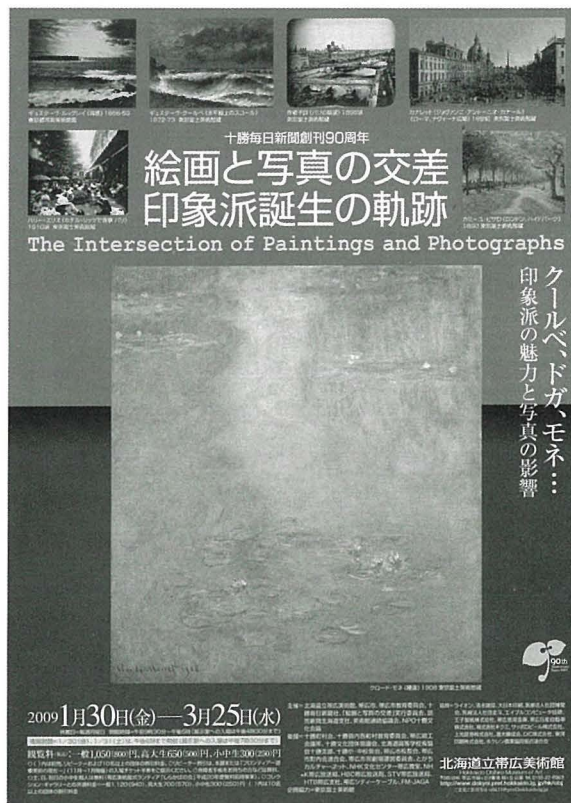
特別展セミナー

「19世紀ヨーロッパの視覚 絵画と写真と」

講師＝鎌田 享(当館学芸課長)

日時＝2月7日(土)、3月14日(土) 午後2時～3時

会場＝当館講堂(聴講無料)



ポスター



図録

バレンタイン・コンサート

出演＝井上美代志氏(フルート、オカリナ)、伊藤笑里氏(ピアノ)
日時＝2月14日(土) 午後2時～3時
会場＝当館ロビー(入場無料)

キッズ・ミュージアム

「作って楽しい ひなまつり」
日時＝2月21日(土) 午後2時～4時
会場＝当館講堂(託児無料)

おすすめ作品ツアー

講師＝鎌田 享(当館学芸課長)
日時＝2月21日(土)、2月27日(金)、2月28日(土)、3月6日(金)、3月7日(土)、3月13日(金)、3月20日(金・祝)、3月21日(土)
午後2時30分～3時
会場＝当館主展示室(要観覧券)

ミュージアム・ミステリー2009ウインター

「絵画とカメラとこーさくと」
日時＝2月28日(土)、3月7日(土) 午前11時～午後3時
会場＝当館講堂、展示室ほか(参加料620円、応募制)

NPO 十勝文化会議 ギャラリーフリートーク

講師＝池田緑氏、小笠原洋子氏、齋藤隆博氏、白土薫氏、瀧川秀敏氏、中西堯昭氏、中谷有逸氏、宮澤克忠氏、由良真一氏(NPO 十勝文化会議美術部会員)
日時＝3月8日(日) 午後2時～4時
会場＝当館講堂、主展示室(要観覧券)

図 録

規格＝28.6×23.0cm／総頁数344ページ

構成＝あいさつ／ジョナサン・クレリー「『絵画と写真の交差』展に寄せて」／岡部昌幸「光の仲間たち、絵画と写真－光学探求が生み出した技術・表現のシステムと視覚革命」／横江文憲「不確かな領域への接近－絵画と写真の関係をめぐって」／五木田聡「印象派 視覚の革命 視線の創意または眼差しの発見－写真との蜜月時代」／森山朋絵「第1章 見えるものと見えないもの－視覚装置のアルケオロジー」／横江文憲「第2章 写真の誕生」／細萱禮子「第3章第1部 印象派誕生前夜」／鎌田享「第3章第2部 森の画家と写真家たち」／岩崎直人「第3章第3部 ジャポニスム・浮世絵・誕生期の日本の写真－広重〈名所江戸百景〉を中心に」／原沢暁子「第4部 印象派の誕生」／渡辺純子「第5章 ドガと写真－モデルとしての写真、モデルとしての絵画」／竹葉丈「第6章 “光の印象から主観の象徴へ”－“運動”としてのピクトリアリズムの展開」／竹葉丈「第7章 絵画主義を越えて－カメラ・ワークから光の造形へ」／岡部昌幸「第8章 エピローグ」／五木田聡・吉岡栄二郎「絵画と写真・対比年表」／作家解説／作品リスト

関連記事

鎌田享「作品紹介(上)(中)(下)」読売新聞／1月28日～30日
「絵画と写真の交差 印象派誕生の軌跡」十勝毎日新聞／1月29日
鎌田享「作品紹介①～⑤」十勝毎日新聞／2月3日～7日
中西堯昭、由良真一、小笠原洋子「私の見方(上)(中)(下)」十勝毎日新聞／2月13日～15日
横江文憲「ドガの写真の謎を解き明かす」十勝毎日新聞／2月14日
瀧川秀敏、戸張良彦「対談(上)(中)(下)」十勝毎日新聞／2月26日～28日
横江文憲「写真の誕生1839年 ダゲレオタイプ(銀板写真)」十勝毎日新聞／2月28日
五木田聡氏「絵画と写真の協奏曲(上)(下)」十勝毎日新聞／3月6日、7日
横江文憲「パリの街並みの記録に徹した写真家アジェ、写真が絵画に与えた影響」十勝毎日新聞／3月7日
「『絵画と写真の交差・印象派誕生の軌跡』展に感動」『Chai』／2009年3月号

19世紀前半に誕生した写真術は、その迫真的な画像によって人々に衝撃を与え、爆発的なスピードで普及していった。それは美術界においても同様であり、賛否両論を巻き起こしながらも写真は、多くの画家たちに影響を与えることとなった。

写真は、その特性を十全に生かした新たな視覚像を提供した。連続する時間の一瞬を提示すること、遠隔地の風物を伝えること、多彩なアングルとトリミングにより世界を自在に切り取ること……。これら新たな世界像が同時代の画家たちに咀嚼され、クールベの写真主義、モネやドガらの印象主義へと結実していったのである。

本展では、「写真の発明」と「印象派の誕生」という19世紀のヨーロッパで相次いで起こったふたつの事象を軸に、絵画と写真、双方の展開と影響関係を検証した。当館での開催に続いて、札幌芸術の森美術館、財団法人ひろしま美術館、松本市美術館、名古屋市美術館の各会場を巡回。企画の立案と実現には、これら5館と東京富士美術館の学芸スタッフが共同であたり、あわせて多くの関連テキストを掲載した大部の展覧会図録を作成した。

出品作品は、東京富士美術館の所蔵品を中心に、国内外あわせて300点あまりにおよんだ。このうち、版画も含めた絵画関係が約60点、古い機材や文献類を含めた写真関係が約240点を占める。当館ではこれら多数の作品を前期・後期の2期にわけて展示した。各会期の出品点数は、おのおの220点あまりである。

展覧会の構成は、写真術登場以前の光学理論や機器類にふれた「第1章 遠近法500年の扉」にはじまり、初期の写真を紹介する「第2章 写真の誕生」から現代の作品を取り上げた「エピローグ」まで10コーナーを設け、絵画と写真を巡るもろもろのトピックスを時系列に沿って取り上げた。このうち「第3章第2部 印象派誕生前夜－森の画家と写真家たち」ではバルビゾン派の絵画と写真の影響関係に焦点をあてたが、その作品は主として当館の所蔵作品によって構成されている。

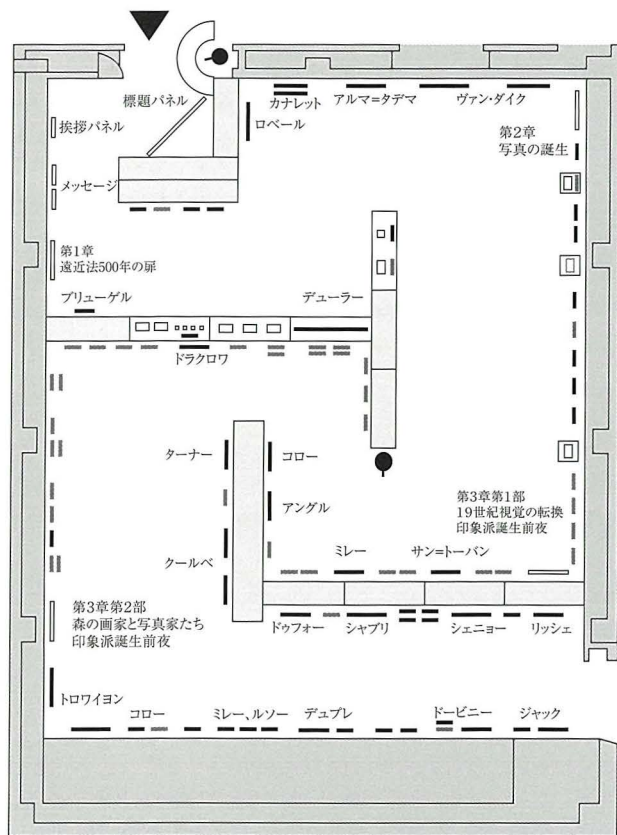
絵画と写真、ふたつの視覚表現の変遷に切り込むという意欲的な本展覧会は、関係各方面から高い注目を集めた。また帯広会場での入館者は9,261名におよんだ。



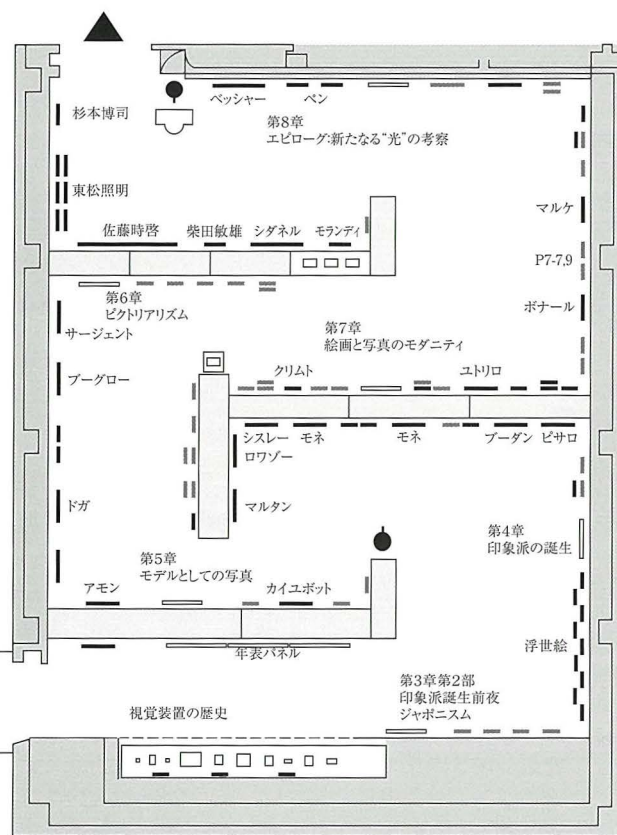
会場風景



会場風景



展示図面



出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先	前期	後期
第1章 遠近法500年の扉								
1	アルブレヒト・デューラー	皇帝マクシミリアンの凱旋	1609印刷	木版、紙	45.0×228.1	東京富士美術館	○	○
2	アンソニー・ヴァン・ダイク	アマリア・フォン・ソルムス＝ブラウンフェルズの肖像	1629	油彩、カンヴァス	114.3×95.9	東京富士美術館	○	○
3	アンソニー・ヴァン・ダイクに帰属	ドーセット伯爵4世エドワード・サックヴィルの肖像	1638-41	油彩、カンヴァス	208.2×130.2	東京富士美術館	○	○
4	ピーテル・ブリューゲル(子)	雪中の狩人	17世紀	油彩、板	25.5×32.5	東京富士美術館	○	○
5	カナレット(ジョヴァンニ・アントーニオ・カナール)	ローマ、ナヴォーナ広場	18世紀	油彩、カンヴァス	39.5×68.5	東京富士美術館	○	○
6	カナレット(ジョヴァンニ・アントーニオ・カナール)	ローマ、キリナーレ宮殿広場	18世紀	油彩、カンヴァス	39.5×68.5	東京富士美術館	○	○
7	ユベール・ロベール	スフィンクス橋の眺め	1767	油彩、カンヴァス	96.0×163.0	東京富士美術館	○	○
8	ローレンス・アルマ＝タデマ	古代ローマのスタジオ	1874	油彩、板	64.0×93.5	東京富士美術館	○	○
P1	ボーガート光学社製(フランス)	カメラ・ルシーダ(2レンズ型)	1835頃	金属製	27.5×9.1×1.0	東京富士美術館	○	○
P2	ワトキン&ヒル社製(イギリス)	カメラ・ルシーダ(ワトキン社型)	1835頃	金属製	240.×6.7×0.9	東京富士美術館	○	○
P3	製作会社不詳	カメラ・ルシーダ(一眼式)	1835頃	金属製	26.3×5.4×1.0	東京富士美術館	○	○
P4	製作会社不詳	カメラ・ルシーダ(2鏡・台座型)	1835頃	金属製	19.5×8.0×5.3	東京富士美術館	○	○
P5	作者不詳	コモ湖(ルシーダによるスケッチ画)	1835頃	鉛筆	11.5×19.0	東京富士美術館	○	○
P6	作者不詳	鞆絵皿	1860頃	陶磁	直径15.5×高2.5	東京富士美術館	○	○
P7	エドメ・ケネデー	フィジオノトラス(イエル氏)	1808頃	ペン、手彩色	6.0×6.0	東京富士美術館	○	○
P8	エドメ・ケネデー	フィジオノトラス(ケレンガル夫人)	1808頃	ペン、手彩色	6.0×6.0	東京富士美術館	○	○
P9	作者不詳	ランタン・マジック鑑賞スタイル	1807頃	リトグラフ	30.4×44.3	東京富士美術館	○	○
P10	D. ボッシオ	ランタン・マジックの鑑賞	1807頃	リトグラフ	16.6×22.5	東京富士美術館		○
P11	ガラルニ	ランタン・マジックを背にする旅人	1810頃	リトグラフ	28.1×21.6	東京富士美術館	○	○
P12	落合芳幾	『新編旭物語』(種彦述) 写真術の画	1855頃	木版	18.0×12.4	東京富士美術館	○	○
P13	落合芳幾	『久万那幾影』	1867	木版／書籍	25.0×17.8	東京富士美術館	○	○
P14	石川豊雅	『風流十二月(七月)』	1860頃	木版	24.9×18.4	東京富士美術館	○	
P15	鈴木春信	『万寫屋』(手持ち覗きからくりを見る図)	1916印刷	木版	20.9×14.2	東京富士美術館		○
P16	G.B. デッラ・ポルタ	『自然の魔術』	1558	書籍		東京富士美術館	○	○
P17	ルネ・デカルト	『哲学原理』(屈折光学) の項	1637	書籍		東京富士美術館	○	○
P18	アルブレヒト・デューラー	『ラ・ナチュール』 パースペクティブ作画器	1878	書籍		東京富士美術館	○	○
P19	ジャン＝フランソワ・ニスロン	『奇妙な遠近法』	1638	書籍		東京富士美術館	○	○
P20	アタナシウス・キルヒヤー	『光と影の大いなる術』(第2版)	1671	書籍		東京富士美術館	○	○
第2章 写真の誕生								
P21	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット	村の人々(ガラス面に煤を付け針先で線画)	1834	フोटグラフィック・エンレービング	14.0×10.3	東京富士美術館	○	○
P22	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット	アン皇女のレース(上部に(太陽光で1時間の露光)の記述)	1834	フोटジェニク・ドローイング	15.0×12.3	東京富士美術館	○	○
P23	ルイ・ジャック・マンデ・ダゲール	フイヤン派修道院の礼拝所	1818	エングレーヴィング	20.9×16.1	東京富士美術館	○	○
P24	ルイ・ジャック・マンデ・ダゲール	『ダゲレオタイプ・マニュアル』(使用教書)	1839	書籍	21.3×13.4	東京富士美術館	○	○
P25	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット	『自然の鉛筆』(モダン・プリント)	1844	塩化紙プリント／書籍	30.4×20.0	東京富士美術館	○	○
P26	作者不詳	家族の肖像	1850頃	ダゲレオタイプ	12.0×9.0	東京富士美術館	○	
P27	作者不詳	女性像	1850頃	ダゲレオタイプ、手彩色	12.0×9.0	東京富士美術館		○
P28	ジョセフ＝フイッセル・ジロッド・ブランジェ アルマン・イボリット・ルイ・フィゾー	『聖母被昇天図』ダゲレオ写真よりプリント	1841-42	リトグラフ	19.4×23.9	東京富士美術館	○	○
P29	ノエル＝マリー・ペマル・ルルブール	セーヌ川越しに見たパリ市庁舎	1842	リトグラフ	13.6×19.3	東京富士美術館	○	○
P30	イボリット・バール／アルフォンス・ルイ・ボトゲン	研究のための実験習作『農家の中庭』	1850	塩化紙、ワックスド・プリント	27.6×21.3	東京富士美術館	○	
P31	J.C. ビュットル	ダゲレオタイプ写真からの彫版画(フレデリック氏)	1855頃	ダゲレオタイプ写真からの彫版	18.0×26.0	東京富士美術館		○
P32	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット	レイコック・アペイのガラス窓(モダン・プリント)	1835	塩化紙プリント	3.9×3.0	東京富士美術館	○	
P33	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット	牧草地より見たレイコック・アペイのシルエット(ネガタイプ)	1840	カロタイプ(ペーパー・ネガ)	12.5×20.3	東京富士美術館		○
P34	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット	榆の木・冬	1840	塩化紙プリント	17.9×15.8	東京富士美術館		○
P35	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット	レイコック・アペイ中庭の2人の紳士	1842	塩化紙プリント	15.7×19.8	東京富士美術館	○	
P36	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット	レイコック・アペイで果物と花を売る人々	1845	塩化紙プリント	16.9×21.0	東京富士美術館		○
P37	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット	木を切る男たち	1843	塩化紙プリント	15.3×20.2	東京富士美術館	○	
P38	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット	中国の陶磁器	1844	塩化紙プリント	14.0×18.3	東京富士美術館	○	○
P39	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット	レース C	1845	塩化紙プリント	22.8×17.7	東京富士美術館	○	○
P40	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット	タルボット夫人とカルバート・ジョーンズ	1845	塩化紙プリント	16.8×21.0	東京富士美術館		○
P41	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット	英国艦スパーブ号の船員と航海士	1845	カロタイプ(ペーパー・ネガ) 塩化紙プリント	83×101、186×225	東京富士美術館		○

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先	前期	後期
P42	ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット	バリの町とセース川の眺望	1860	フログラフィック・エングレービング	4.5×6.3	東京富士美術館	○	
P43	アルフォンス・ウジェーヌ・ジュール・イティエ	エジプト、エデュフ寺院の正面外観	1845-46	ダゲレオタイプ	10.9×15.1	東京富士美術館	○	

第3章第1部 印象派誕生前夜 — 19世紀視覚の転換

9	ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	嵐の近づく海景	1803-04頃	油彩、カンヴァス	45.7×60.9	東京富士美術館	○	○
10	ジャン＝オーギュスト＝ドミニク・アングル	ユピテルとテティス	1807-25頃	油彩、カンヴァス	82.0×65.0	東京富士美術館	○	○
11	ルイズ・アメー・ルグラン・ド・サン＝トマソ	婦人の肖像	1828	油彩、カンヴァス	65.0×54.0	東京富士美術館	○	○
12	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	ユディット	1872-74頃	油彩、カンヴァス	105.5×62.2	東京富士美術館	○	○
13	ウジェーヌ・ドラクロワ	オランのアラブ人	1834	油彩、カンヴァス	32.5×41.0	東京富士美術館	○	○
14	ジャン＝フランソワ・ミレー	男の肖像	1840-41	油彩、カンヴァス	59.0×47.0	東京富士美術館	○	○
15	ギュスターヴ・クールベ	釣り人のいる風景	1870	油彩、カンヴァス	60.0×73.0	北海道立帯広美術館	○	○
16	ギュスターヴ・クールベ	水平線上のスコール	1872-73	油彩、カンヴァス	53.6×72.4	東京富士美術館	○	○
P44	フランシス・プリス	第一宮殿の眺め メディネ・アブ	1857-58	鶏卵紙プリント(コロディオン選板ネガより)	22.3×29.2	東京富士美術館	○	
P45	ジョン・パークレイ・グリーン	メディネ・アブ宮殿、中庭への入口 テーベ	1852	塩化紙プリント	22.3×29.2	東京富士美術館		○
P46	アルフォンス・ルイ・ボワトヴァン	ランス大聖堂の正面七聖人像	1852	フット・リグラフ(ペーパー・ネガより)	62.9×49.3	東京富士美術館	○	
P47	デヴィッド・オクザヴィアス・ヒル&ロバート・アダムソン	退位に関する署名法について議論する人々	1845	塩化紙プリント(コロタイプ・ネガより)	14.4×19.7	東京富士美術館	○	
P48	デヴィッド・オクザヴィアス・ヒル&ロバート・アダムソン	ニューヘヴンの漁師たち	1845頃	塩化紙プリント(コロタイプ・ネガより)	14.2×19.5	東京富士美術館		○
P49	デヴィッド・オクザヴィアス・ヒル&ロバート・アダムソン	修道僧の W. レイトン・リーチ	1844頃	塩化紙プリント(コロタイプ・ネガより)	19.9×14.6	東京富士美術館	○	
P50	デヴィッド・オクザヴィアス・ヒル&ロバート・アダムソン	リッチェと Wm. ヘニング	1844-45頃	フログラフュール(JC. アナンによる)	20.6×14.6	東京富士美術館	○	
P51	デヴィッド・オクザヴィアス・ヒル&ロバート・アダムソン	家族の肖像	1844-45頃	フログラフュール(JC. アナンによる)	21.3×15.9	東京富士美術館		○
P52	デヴィッド・オクザヴィアス・ヒル&ロバート・アダムソン	ガウンと宝石箱	1844-45頃	フログラフュール(JC. アナンによる)	21.4×15.9	東京富士美術館		○
P53	フィリップ・ヘンリー・デラモット	クリスタル・パレス宮内部の眺望	1859	鶏卵紙プリント	21.0×14.4	東京富士美術館		○
P54	レオン＝ウジェーヌ・メーダン(推定)	無題(クリミア戦争の砲艦)	1855	塩化紙プリント	27.6×34.4	東京富士美術館	○	
P55	M. ウォーノッド(推定)	実験(1)「海原を覆う雲」(印画露光時間の不足)	1859	鶏卵紙プリント	15.8×20.5	東京富士美術館		○
P56	M. ウォーノッド(推定)	実験(2)「海原を覆う雲」(習作プリント)	1859	鶏卵紙プリント	15.8×20.5	東京富士美術館		○
P57	マシュー・B. ブラディ	無題(ペンシルバニア砲兵隊)	1862頃	鶏卵紙プリント	16.9×29.4	東京富士美術館		○
P58	ルイス・モリス・ラザフォード	無題(月のシリーズ)	1865	鶏卵紙プリント(コロディオン選板ネガより)	57.1×42.2	東京富士美術館	○	
P59	イザック・A. レーン(推定)	シダの葉(アスプレニウム・ファビアナム)	1860頃	鶏卵紙プリント	43.6×35.0	東京富士美術館		○
P60	ジョージ・N. バーナード	テネシー州議事堂からのナッシュヴィルの眺め	1863	鶏卵紙プリント	28.5×37.7	東京富士美術館	○	
P61	アレクサンダー・ヘスラー	アブラハム・リンカーンの肖像	1860	プラチナ・プリント	22.5×17.3	東京富士美術館		○
P62	ルイ・カミール・ドリビエ	風笛を持つ2人の少年	1854	塩化紙プリント(ペーパー・ネガより)	20.2×16.7	東京富士美術館		○
P63	オーギュスト・ザルツマン	裁判所の門の円柱	1854頃	塩化紙プリント	32.4×23.5	東京富士美術館	○	
P64	イポリット・バヤール	椅子に座る老紳士	1858頃	塩化紙プリント(ペーパー・ネガより)	21.8×16.0	東京富士美術館	○	
P65	ギュスターヴ・ル・グレイ	ル・グレイの使者 エジプト	1862頃	鶏卵紙プリント(ガラス・ネガより)	27.4×19.6	東京富士美術館	○	
P66	アントン・ハウトマン	通りの物売り	1860頃	鶏卵紙プリント	16.5×13.5	東京富士美術館		○
P67	ギヨーム・デュシェンヌ・ド・ブローニユ	機械的装置としての人間の顔の実験	1862	鶏卵紙プリント(ガラス・ネガより)	11.9×9.0	東京富士美術館		○
P68	アントワヌ＝サミュエル・アダム＝ザロモン	ロングドレスを着た婦人	1860頃	鶏卵紙プリント(ガラス・ネガより)	26.5×21.6	東京富士美術館	○	
P69	アントワヌ＝サミュエル・アダム＝ザロモン	高貴な顎鬚の紳士	1860頃	鶏卵紙プリント(ガラス・ネガより)	26.1×21.2	東京富士美術館		○
P70	J. ドックロ	シャボンスの橋	1865	鶏卵紙プリント	22.8×35.4	東京富士美術館	○	
P71	エドゥアール＝ドゥニ・バルデュス	ルーブル宮	1853頃	鶏卵紙プリント	44.0×32.4	東京富士美術館		○
P72	ナダール(ガスパール・フェリックス・ナダール)	ヴィクトル・ユゴーの肖像	1878	カーボン転写プリント	36.2×25.8	東京富士美術館	○	
P73	エティエンヌ・カルジャ	アンリ・モニエ	1870頃	ウッドベリータイプ	23.9×19.2	東京富士美術館		○
P74	エティエンヌ・カルジャ	G. アントニオ・ロッシーニ	1877	ウッドベリータイプ	23.9×19.1	東京富士美術館	○	
P75	シャルル・ルノルマン	教会の後陣と遺跡、サン＝ジル(＝デュ＝ガール)	1875頃	鶏卵紙プリント(コロディオン選板ネガより)	25.0×32.3	東京富士美術館	○	
P76	ジュリア・マーガレット・キャメロン	マリー・スバテリ	1868	鶏卵紙プリント	30.2×24.3	東京富士美術館	○	
P77	ジュリア・マーガレット・キャメロン	可愛いレイチェル	1870頃	鶏卵紙プリント	38.3×30.5	東京富士美術館	○	
P78	ジュリア・マーガレット・キャメロン	トマス・カーライル	1867	鶏卵紙プリント	31.9×24.1	東京富士美術館		○
P79	ジュリア・マーガレット・キャメロン	無題(マリアに扮するダックワース夫人)	1872	鶏卵紙プリント	34.3×26.6	東京富士美術館		○
P80	ルイス・キャロル	無題(兄弟たちと一緒にのエクシー・キッチン)	1874頃	鶏卵紙プリント	10.5×15.0	東京富士美術館	○	
P81	ルイス・キャロル	ブルック・キッチン	1874頃	鶏卵紙プリント	14.4×10.6	東京富士美術館		○
P82	ヴィルヘルム・フォン・グローデン	街のいたずら少年たち、イタリア	1865頃	鶏卵紙プリント	17.0×12.4	東京富士美術館		○
P83	ツィーグラウ・エ・コンパニー	実写習作(バリの道路の崩壊)	1870-71	鶏卵紙プリント	21.0×26.6	東京富士美術館		○
P84	イードウィアード・マイブリッジ	動物の運動—飛び跳ねる女性	1887	コロタイプ・プリント	17.3×42.5	東京富士美術館	○	○
P85	イードウィアード・マイブリッジ	動物の運動—躍動する肉體	1887	コロタイプ・プリント	24.3×29.6	東京富士美術館		○

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先	前期	後期
P86	イードウィアード・マイブリッジ	動物の運動ージャンプする馬	1887	コロタイプ・プリント	16.0×22.4	東京富士美術館	○	
P87	カリア & アイブズ	疾走する馬(オクシデント)(石版画)	1872	リトグラフ	32.1×43.0	東京富士美術館	○	
P88	作者不詳	パリの眺望	1859頃	調色プリント	24.9×32.3	東京富士美術館	○	
P89	アントーニオ・ダレッサンドリ	アフリカから来た2人のローマ教会使節	1859頃	鶏卵紙プリント	17.0×21.0	東京富士美術館	○	
P90	レオン・クレミエール	トゥアレグ族(サハラ砂漠の遊牧民)の人々、パリ	1862	鶏卵紙プリント	25.0×29.2	東京富士美術館		○
P91	作者不詳	ナイアガラ上流の鉄橋、ニューヨーク州	1900頃	鶏卵紙プリント	39.7×49.2	東京富士美術館	○	
P92	エドワ・ド・カーティス	森を駆けるネイティヴ・アメリカン	1910頃	調色プリント	14.4×19.4	東京富士美術館		○
P93	カール・E. ムーン	キーヤン・タディ(ラグナ族の娘)	1900頃	調色プリント	42.7×34.1	東京富士美術館	○	
P94	ジョーアッキーノ・アルトベッリ	月光の古代広場、ローマ	1865頃	鶏卵紙プリント	19.7×27.3	東京富士美術館		○
P95	ジェームス・マッド	ベイヤー・ピーコック社 マンチェスター	1862	鶏卵紙プリント	27.0×37.9	東京富士美術館	○	
P96	作者不詳	作業をする職工たち	1900頃	鶏卵紙プリント	21.3×27.6	東京富士美術館		○
P97	ウィルヘルム・ハマーシュミット	ピラミッド	1860頃	鶏卵紙プリント	20.7×31.3	東京富士美術館	○	
P98	アントニオ・ペアト	ラムセスの像、エジプト	1880頃	鶏卵紙プリント	36.8×26.1	東京富士美術館		○
P99	作者不詳	壁画を背にした3人の原住民の少年、エジプト	1900頃	鶏卵紙プリント	12.4×17.2	東京富士美術館	○	
P100	作者不詳	インドの女性	1870頃	鶏卵紙プリント	21.4×27.7	東京富士美術館	○	
P101	作者不詳	椅子に腰掛ける農家の子	1880頃	調色プリント	24.6×20.3	東京富士美術館		○
P102	作者不詳	オシッピー山の落雷	1889	調色プリント	15.1×20.8	東京富士美術館	○	
P103	マルク・フェレーズ	椰子の並木道(ブラジル)	1888	鶏卵紙プリント	56.0×36.5	東京富士美術館		○
P104	作者不詳	長崎港に停泊中の四国聯合艦隊	1864	鶏卵紙プリント	18.2×22.0	東京富士美術館	○	
P105	上野彦馬	フルベッキと塾生たち(長崎)	1869	鶏卵紙プリント	21.9×28.0	東京富士美術館		○
P106	ギュスターヴ・ル・グレイ	海景	1856-59	鶏卵紙プリント	34.0×41.5	東京都写真美術館	○	

第3章第2部 印象派誕生前夜 ― 森の画家と写真家たち

17	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	イタリアの思い出	1863	エッチング、紙	29.5×22.0	北海道立帯広美術館	○	○
18	コンスタン・トロワイオン	家畜の群れ	19世紀	油彩、カンヴァス	52.0×70.0	東京富士美術館	○	○
19	コンスタン・トロワイオン	牛のいる風景	19世紀後半	油彩、カンヴァス	80.6×99.7	北海道立帯広美術館(帯広市寄託)	○	○
20	ジュール・デュプレ	ベリー地方の農家	1830代	油彩、カンヴァス	45.7×67.3	北海道立帯広美術館	○	○
21	ジュール・デュプレ	ノルマンディ地方の風景	1835	リトグラフ、紙	13.7×20.7	北海道立帯広美術館	○	○
22	シャルル＝エミール・ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ	1865-70頃	油彩、カンヴァス	81.2×65.0	北海道立帯広美術館(帯広市寄託)	○	○
23	シャルル＝エミール・ジャック	オランダ牛	19世紀後半	エッチング、紙	11.0×17.9	北海道立帯広美術館	○	○
24	ジャン＝フランソワ・ミレー	耕す人	1855頃	エッチング、紙	24.0×34.0	北海道立帯広美術館	○	○
25	ジャン＝フランソワ・ミレー	裁縫する女	1855-56	エッチング、紙	10.5×7.4	北海道立帯広美術館(帯広市寄託)	○	○
26	シャルル＝フランソワ・ドービニー	川辺の風景	1874	油彩、カンヴァス	31.5×56.5	東京富士美術館	○	○
27	シャルル＝フランソワ・ドービニー	オーヴェールのりんごの木	1877	エッチング、紙	14.0×23.9	北海道立帯広美術館	○	○
28	アレクサンドル・ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩、カンヴァス	40.0×68.0	北海道立帯広美術館	○	○
29	ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	1863	油彩、カンヴァス	65.4×100.4	北海道立帯広美術館	○	○
30	レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼いの	1872	油彩、カンヴァス	69.1×99.8	北海道立帯広美術館	○	○
31	レオン・リッシェ	農婦のいる風景	19世紀後半	油彩、カンヴァス	43.8×59.7	北海道立帯広美術館(帯広市寄託)	○	○
P107	レオナール・ミンツ	無題(森の習作)	1925頃	調色プリント	8.0×11.4	東京富士美術館	○	○
P108	ルイ＝アドルフ・ウンベール・ド・モラール	ラ・シアンドー、シラフルーの家	1850頃	塩化紙プリント(ペーパー・ネガリ)	21.7×17.5	東京富士美術館	○	
P109	シャルル・マルヴィル(推定)	とちの樹の下で休む男(マルヴィル本人と推定)	1853頃	塩化紙プリント	21.1×16.2	東京富士美術館	○	○
P110	アンドレ・ジル	無題(倒れた森の木)	1855頃	鶏卵紙プリント	25.5×31.6	東京富士美術館	○	○
P111	フランシス・ベッドフォード	ラッシュフォードの粉引き場	1870頃	カーボン・プリント	22.2×28.4	東京富士美術館	○	
P112	アルフレッド・ブリッケ	狼溪谷 フォンテーヌブローの森	1863-65	鶏卵紙プリント	17.7×24.0	北海道立帯広美術館	○	○
P113	アシーユ・キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	19.5×25.0	北海道立帯広美術館	○	○
P114	アシーユ・キネ	自然の習作	1868頃	鶏卵紙プリント	19.0×24.8	北海道立帯広美術館	○	○
P115	シャルル・ファマン	ダニョーの沼	1874	鶏卵紙プリント	19.3×25.0	北海道立帯広美術館	○	○
P116	ジェグレール	自然の習作	1870代	鶏卵紙プリント	21.3×26.7	北海道立帯広美術館	○	○
P117	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	夢見る人	1854	クリシェ＝ヴェール、紙	14.7×19.5	北海道立近代美術館	○	
P118	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー	馬に乗る人II	1854頃	クリシェ＝ヴェール、紙	18.7×15.0	北海道立近代美術館	○	
P119	テオドル・ルソー	ピアノのサクランボの木	1848頃	クリシェ＝ヴェール、紙	22.1×27.7	北海道立帯広美術館	○	○
P120	シャルル＝フランソワ・ドービニー	鹿	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	15.0×19.0	北海道立近代美術館	○	
P121	シャルル＝フランソワ・ドービニー	森の中の小川	1862	クリシェ＝ヴェール、紙	18.6×15.0	北海道立近代美術館	○	

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先	前期	後期
視覚装置の歴史								
P122	ジョージ・アダムス	ピラミッド型カメラ・オブスキュラ	1765頃	木製	80.0×59.7×41.6	東京富士美術館	○	○
P123	オーストリア製	携帯型レフレックス・カメラ・オブスキュラ	17世紀	木製	22.5×15.3×28.0	東京富士美術館	○	○
P124	ダニエル・シュベンダー	サイオプティック・ボール	18世紀	木製加工	直径13.5×厚さ7.0	東京富士美術館	○	○
P125	ジョーンズ	レフレックス・カメラ・オブスキュラ	1790頃	木製	13.0×16.5×29.0	東京富士美術館	○	○
P126	F.ベッカリー	素描器(カメラ・ルシーダ) 木製	1830頃	木製	28.0×11.5×5.9	東京富士美術館	○	○
P127	J.H.ダルメイヤー社製(イギリス)	ダルメイヤー・ステレオ・カメラ	1900頃	木製	16.4×23.0×28.0	東京富士美術館	○	○
P128	ハウエル ステレオ スコピック社製(イギリス)	一眼式ステレオ・カメラ	1858	木製	23.0×46.8×13.5	東京富士美術館	○	○
P129	イギリス製	螺旋ステレオ・ビューアー	1870頃	木製、螺旋装飾	16.5×20.0×11.0	東京富士美術館	○	○
P130	キーストン・ヴェー社製(アメリカ)	ステレオ写真カード 『ダイヤモンドを採掘するアフリカの黒人労働者』	1870頃	ゼラチン・シルバー・プリント	8.9×17.3	東京富士美術館	○	○
P131	F.ガイドット	カメラ・オブスキュラ図解画	1751頃	エングレーヴィング	37.0×24.0	東京富士美術館	○	○
P132	ピアンキ工房製(フランス)	ピアンキ・ダゲレオタイプ・カメラ	1839年	木製	31.7×36.8×60.0	東京富士美術館	○	○
P133	制作会社不詳	アメリカン・ダゲレオタイプ・カメラ	1845年頃	木製	18.5×16.5×28.5	東京富士美術館	○	○
P134	ロチャード	印画紙の販売広告(石版画)	1910年頃	リトグラフ		東京富士美術館	○	○
P135	レオナルド・ダヴィンチ	カメラ・オブスキュラ(ピンホール型) 図		シルクスクリーン		東京富士美術館	○	○

第3章第3部 印象派誕生前夜 ― ジャポニスム

32	歌川広重	名所江戸百景 霞かせき	1857/2000復刻	大判錦絵	34.1×22.2	東京伝統木版画工芸協同組合	○	○
33	歌川広重	名所江戸百景 蒲田の梅園	1857/2002復刻	大判錦絵	34.1×22.2	東京伝統木版画工芸協同組合	○	○
34	歌川広重	名所江戸百景 隅田川水神の森真崎	1857/2001復刻	大判錦絵	34.1×22.2	東京伝統木版画工芸協同組合	○	○
35	歌川広重	名所江戸百景 日本橋江戸ばし	1858/2002復刻	大判錦絵	34.1×22.2	東京伝統木版画工芸協同組合	○	○
36	歌川広重	名所江戸百景 深川萬年橋	1857/2000復刻	大判錦絵	34.1×22.2	東京伝統木版画工芸協同組合	○	○
37	歌川広重	名所江戸百景 大はしあたけの夕立	1857/1999復刻	大判錦絵	34.1×22.2	東京伝統木版画工芸協同組合	○	○
38	歌川広重	名所江戸百景 深川木場	1856/2000復刻	大判錦絵	34.1×22.2	東京伝統木版画工芸協同組合	○	○
39	歌川広重	名所江戸百景 びくにはし雪中	1858/2000復刻	大判錦絵	34.1×22.2	東京伝統木版画工芸協同組合	○	○
40	歌川広重	名所江戸百景 高田の馬場	1857/1998復刻	大判錦絵	34.1×22.2	東京伝統木版画工芸協同組合	○	○
P136	フェリックス・ベアト	井戸の水を汲む女	1870-80頃	鶏卵紙プリント、手彩色	25.6×20.9	東京富士美術館	○	
P137	フェリックス・ベアト	日本の家族(原家の人々)、静岡	1870頃	鶏卵紙プリント	23.0×28.4	東京富士美術館	○	
P138	日下部金兵衛	駕籠の女性と背負いの男達	1880頃	鶏卵紙プリント、手彩色	20.8×21.0	東京富士美術館	○	
P139	日下部金兵衛	蓑を着けた荷役人	1875-80頃	鶏卵紙プリント、手彩色	22.5×27.7	東京富士美術館	○	
P140	日下部金兵衛	傘職人	1880頃	鶏卵紙プリント、手彩色	21.4×27.1	東京富士美術館		○
P141	日下部金兵衛	着物の女性	1875-80頃	鶏卵紙プリント、手彩色	24.7×18.5	東京富士美術館		○
P142	フェリックス・ベアト	若い侍	1868-70頃	鶏卵紙プリント、手彩色	24.7×18.5	東京富士美術館		○
P143	日下部金兵衛	丈の長い着物を着た女性	1880頃	鶏卵紙プリント、手彩色	52.6×41.0	東京富士美術館		○

第4章 印象派の誕生

41	ウジェーヌ・ブーダン	ヴェネツィア、大運河	1895	油彩、カンヴァス	51.0×74.5	東京富士美術館	○	○
42	カミーユ・ピサロ	ロンドン、ハイドパーク	1890	デンプ、カンヴァスに移された紙	54.0×65.0	東京富士美術館	○	○
43	エドゥアール・マネ	猫と花	1869	エッチング、アクアチント、紙	20.3×15.2	町田市立国際版画美術館	○	
44	エドゥアール・マネ	バリエード	1871頃	リトグラフ、紙	46.6×33.7	町田市立国際版画美術館		○
45	アルフレッド・シスレー	レディース・コーヴ、ヘイスティングス	1897	油彩、カンヴァス	65.0×81.0	東京富士美術館	○	○
46	クロード・モネ	プールヴィルの断崖	1882	油彩、カンヴァス	59.0×71.0	東京富士美術館	○	○
47	クロード・モネ	睡蓮	1908	油彩、カンヴァス	101.0×90.0	東京富士美術館	○	○
48	ギュスターヴ・カイユボット	トルーヴィルの別荘	1882	油彩、カンヴァス	65.0×82.0	東京富士美術館	○	○
49	アンリ・マルタン	画家のアトリエの眺め	1902頃	油彩、カンヴァス	73.0×78.0	東京富士美術館	○	○
50	ギュスターヴ・ロワノー	ヴォードルイユの農家	1900-03	油彩、カンヴァス	44.5×53.5	東京富士美術館	○	○
P144	M.ウォーノッド(推定)	ル・アーブル港の船舶	1859頃	鶏卵紙プリント(コデオン湿板ネガ)	21.1×16.2	東京富士美術館	○	○
P145	ルイ＝アドルフ・ウンベール・ド・モラーレ	狩に向かう猟犬たち	1850頃	塩化紙プリント(ペーパー・ネガ)	11.5×17.6	東京富士美術館	○	○
P146	作者不詳	河のある風景	1870頃	鶏卵紙プリント	20.3×26.3	東京富士美術館	○	○
P147	オリボス・バアグド	ブローニュの林(湖に映る木々)	1856頃	鶏卵紙プリント	27.3×22.9	東京富士美術館	○	
P148	作者不詳	荷車の馬と男	1854頃	鶏卵紙プリント	27.3×22.9	東京富士美術館	○	
P149	ロジャー・フェントン	プレストバリー	1852	塩化紙プリント(ワグズ・ペーパー・ネガ)	18.4×21.6	東京富士美術館	○	
P150	ルイ＝デジレ・ブランカール＝エブーラー	木輪の置かれた農家の納屋	1860頃	鶏卵紙プリント	12.0×17.0	東京富士美術館		○

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先	前期	後期
P151	ルイ＝アドルフ・ウンベール・ド・モテール(推定)	アーチの入口に立つ2人の子供	1850頃	塩化銀プリント(ペーパー・ネガより)	25.2×19.3	東京富士美術館		○
P152	フランシス・プリス	カーナヴォン城、ウェールズ	1880頃	塩化銀プリント(コデオン湿板初写)	14.4×20.8	東京富士美術館	○	
P153	フランシス・プリス	ボルトン修道院	1875頃	塩化銀プリント(コデオン湿板初写)	18.9×29.0	東京富士美術館		○
P154	J.A. メランジュ	クラークの入江	1875頃	鶏卵紙プリント	19.4×24.3	東京富士美術館		○
P155	作者不詳	羊飼いの女性	1880頃	鶏卵紙プリント	25.3×20.2	東京富士美術館	○	
P156	ハリー・エリス	ホテル・リッツで食事、パリ	1910頃	ブロマイドプリント	19.2×24.1	東京富士美術館		○
P157	ハリー・エリス	照明に輝く万国博覧会場とエッフェル塔	1900	ブロマイドプリント	24.3×19.5	東京富士美術館	○	○

第5章 モデルとしての写真

51	ビエール＝ポール・アモン	皇后ウジェニー	1850代	油彩、カンヴァス	132.0×100.0	東京富士美術館	○	○
52	ウィリアム・アドルフ・ブーグロー	漁師の娘	1872	油彩、カンヴァス	116.0×87.5	東京富士美術館	○	○
53	エドガー・ドガ	馬上の散策	1867-68	油彩、カンヴァス	71.0×90.5	財団法人ひろしま美術館	○	○
54	エドガー・ドガ	裸婦(浴後)	1896	木炭、パステル、紙	31.3×24.5	ベオグラード国立美術館	○	○
55	エドガー・ドガ	三人の踊り子	1896-98	クレヨン、パステル、紙	29.8×42.8	ベオグラード国立美術館	○	○
56	ジョン・シンガー・サージェント	ハロルド・ウィルソン夫人	1897	油彩、カンヴァス	152.5×96.5	東京富士美術館	○	○
P158	(エドガー・ドガの死後、アトリエより発見)	腕を伸ばした踊り子	1895-96	モダン・プリント	18.0×13.0	フランス国立図書館	○	○
P159	(エドガー・ドガの死後、アトリエより発見)	2本の肩紐を着ける踊り子	1895-96	モダン・プリント	18.0×13.0	フランス国立図書館	○	○
P160	(エドガー・ドガの死後、アトリエより発見)	肩紐を着ける踊り子	1895-96	モダン・プリント	18.0×13.0	フランス国立図書館	○	○
P161	フェリックス・ジャック・A. ムーラン	アメリ	1853頃	塩化紙プリント	16.3×22.0	東京富士美術館	○	
P162	フェリックス・ジャック・A. ムーラン	糸車の前に座る婦人と娘	1870頃	鶏卵紙プリント(ガラス・ネガより)	19.7×14.0	東京富士美術館		○
P163	グリエルモ・マルコーニ	ドレスを手につく女性	1870頃	鶏卵紙プリント	25.9×15.2	東京富士美術館	○	
P164	作者不詳	画家のためにポーズをとる男性	1860頃	鶏卵紙プリント	25.4×14.7	東京富士美術館	○	
P165	作者不詳	身体 #102	1860頃	鶏卵紙プリント	27.1×16.9	東京富士美術館	○	
P166	作者不詳	無題(裸婦と円柱 / X X II)	1860頃	鶏卵紙プリント	27.6×21.4	東京富士美術館		○
P167	作者不詳	“マгдаラのマリア”の寓意的習作	1858頃	鶏卵紙プリント	32.7×24.9	東京富士美術館	○	○
P168	ハンス・ミルツ	絵画のためにポーズをとるモデル / 写真と描かれた絵画	1870頃	鶏卵紙プリント、手彩色	22.9×16.7、26.5×20.5	東京富士美術館	○	
P169	作者不詳	裸婦習作	1870頃	鶏卵紙プリント	7.9×5.3	東京富士美術館		○
P170	作者不詳	カメラを背にした画家のモデル	1895	鶏卵紙プリント	15.9×11.2	東京富士美術館	○	
P171	作者不詳	衣をつけポーズをとる女性	1900頃	鶏卵紙プリント	13.0×9.5	東京富士美術館		○
P172	ウィリアム・カリック	習作 種を蒔く人(ミレーの絵のポーズ)	1880頃	鶏卵紙プリント	13.8×9.6	東京富士美術館		○
P173	作者不詳	ベッドに横たわる女性像	1853頃	鶏卵紙プリント	13.0×17.0	東京富士美術館		○

第6章 ピクトリアリズム

57	グスタフ・クリムト	横顔を見せる少女	1880頃	油彩、カンヴァス	24.0×16.8	東京富士美術館	○	○
P174	クラレンス・ハドソン・ホワイ特	朝	1905	プラチナ・プリント	22.5×17.5	東京富士美術館	○	
P175	オスカー・ギュスターヴ・レイランダー	洗い物をする女性	1854-60頃	鶏卵紙プリント	23.2×29.0	東京富士美術館	○	
P176	フランツ・ハンプシュテングル	窓辺に座り新聞を読むゲルハルト	1863	鶏卵紙プリント	30.0×23.7	東京富士美術館		○
P177	トーマス・フレデリック・グッドール	泥炭掘り	1886	プラチナ・プリント	17.8×12.8	東京富士美術館		○
P178	レオン・クレール&アウグスト・ハンプシュテングル	無題(鏡に映った女性)	1864頃	カーボン・プリント	32.4×26.0	東京富士美術館		○
P180	フランク・ユージン	アダムとイヴ	1910	フォトグラヴェール	17.8×12.8	東京富士美術館	○	
P181	ロベール・ドマシー	舞台の裏で	1906	ガム・プリント	13.9×15.2	東京富士美術館		○
P182	エミール・コンスタン・ピュヨー	扇	1900頃	調色グラヴェール	9.7×24.3	東京富士美術館		○
P183	アーノルド・ジェンス	ドリス・ハンプリー(ダンサー)	1916頃	クロロ・ブロマイド・プリント	34.4×26.8	東京富士美術館	○	
P184	ローラ・ギルピン	イーデス・ルーベル三重奏団	1917	クロロ・ブロマイド・プリント	15.6×20.1	東京富士美術館		○
P185	ナンシー・フォード・コーン	妖精の出る所	1918頃	カリタイプ	34.3×24.5	東京富士美術館	○	
P186	ナンシー・フォード・コーン	未亡人	1918頃	カリタイプ	35.5×27.6	東京富士美術館	○	
P187	リュミエール兄弟	庭で働くリュミエールの家族	1902頃	オートクローム	11.4×16.3	東京富士美術館	○	○
P188	フェリックス・ベネディクト・ハーゾグ	イゾルデの物語	1905	フォトグラヴェール	18.9×18.1	東京富士美術館		○
P189	エドワード・スタイケン	月夜、池	1906	調色グラヴェール	16.1×20.3	東京富士美術館	○	
P190	サラ・チョート・シアーズ	マリーの肖像	1907頃	フォトグラヴェール	20.7×16.5	東京富士美術館		○
P191	フェリックス・ベネディクト・ハーゾグ	マルセーラ	1906	フォトグラヴェール	20.3×17.1	東京富士美術館	○	
P192	エドワード・スタイケン	ジョージ・フレデリック・ワッツ	1906	フォトグラヴェール	21.1×16.5	東京富士美術館	○	
P193	エドワード・スタイケン	ウィリアム・メリット・チェイス	1906	フォトグラヴェール	20.6×16.2	東京富士美術館		○
P194	アルフレッド・スティエグリッツ	森の中のスケッチ	1894頃	調色プラチナ・プリント	16.3×21.8	東京富士美術館		○

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先	前期	後期
P195	エドワード・スタイケン	カバー・デザイン	1906	調色グラヴェール	20.1×13.3	東京富士美術館		○
P196	フランシス・ロタンダ・ブルギエル	リージョン・オブ・オーナー宮殿、サンフランシスコ	1915	調色プリント	34.4×26.4	東京富士美術館	○	
P197	ウィリアム・モーテンセン	壺にミルクを注ぐ女性	1940頃	カーボン・プリント	31.4×26.0	東京富士美術館	○	
P198	アドルフ・シュネバーガー	墓堀のところで	1926	プロマイド・プリント	22.0×23.6	東京富士美術館		○
P199	ピーター・ヘンリー・エマーソン	『ノーフォーク・ブローズ(湖沼地帯)の田園風景』	1887	フォトグラヴェール／書籍		東京富士美術館	○	○
P200	ピーター・ヘンリー・エマーソン	『東アングリア地方の生活と風景』	1888年	フォトグラヴェール／書籍		東京富士美術館	○	○
P201	ピーター・ヘンリー・エマーソン	『田園と沼地の生活風景』	1887年	フォトグラヴェール／書籍		東京富士美術館	○	○

第7章 絵画と写真のモダニティ

58	モーリス・ユトリロ	モンモランシーの通り	1912頃	油彩、カンヴァス	58.6×79.7	財団法人ひろしま美術館	○	○
59	ピエール・ボナール	若い女	1905頃	油彩、カンヴァス	70.5×46.7	東京富士美術館	○	○
60	アルベール・マルケ	トゥーロン湾の眺め	制作年不詳	油彩、カンヴァス	49.5×60.5	東京富士美術館	○	○
P202	エドワード・ウェストン	エセル・ストウラス	1923	パラディウム・プリント	24.5×18.2	東京富士美術館		○
P203	ジャン・ウジェーヌ・オーギュスト・アジェ	ノナン・ディエール通り、パリ	1910頃	鶏卵紙プリント	21.4×17.6	東京富士美術館	○	○
P204	アルフレッド・ステューグリッツ	冬の五番街	1892	フォトグラヴェール	18.9×18.1	東京富士美術館	○	
P205	エドワード・スタイケン	暮れなずむフラットアイアン・ビル	1906	調色グラヴェール	20.1×13.3	東京富士美術館	○	○
P206	ルイス・ハイン	カロライナ綿花工場	1908	クロロ・プロマイド・プリント	19.1×24.1	東京富士美術館	○	
P207	ルイス・ハイン	発電所の機械工	1921	クロロ・プロマイド・プリント	24.4×17.7	東京富士美術館		○
P208	アルフレッド・ステューグリッツ	エキヴァレント #147E	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	9.2×11.8	東京富士美術館		○
P209	エドワード・ウェストン	無題(水平な状態の裸婦)	1920	クロロ・プロマイド・プリント	18.4×24.0	東京富士美術館	○	
P210	エドワード・ウェストン	頭部の見えない女性	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント	18.6×23.6	東京富士美術館		○
P211	エドワード・ウェストン	モダン・クラシズム	1925	プロマイド・プリント	23.7×19.0	東京富士美術館	○	
P212	アルフレッド・ステューグリッツ	無題(草の葉、ジョージ湖)	1933	調色プラチナ・プリント	16.6×23.0	東京富士美術館		○
P213	フランティシェク・ドルティコル	思い	1927	ピグメント・プリント	22.5×29.1	東京富士美術館	○	
P214	フランティシェク・ドルティコル	構成	1925年	ピグメント・プリント	28.1×20.8	東京富士美術館		○
P215	マン・レイ	アングルのヴァイオリン	1924	ゼラチン・シルバー・プリント	40.0×29.8	東京富士美術館	○	
P216	マン・レイ	セルフ・ポートレイト	1932	ゼラチン・シルバー・プリント	11.7×16.4	東京富士美術館		○
P217	エドムント・ケスティンゲ	ヌード #11	1928	ゼラチン・シルバー・プリント	29.8×21.9	東京富士美術館	○	○
P218	アンドレ・ケルテス	ディストーション #40	1933	ゼラチン・シルバー・プリント	8.6×11.5	東京富士美術館	○	
P219	アンドレ・ケルテス	ディストーション	1933	ゼラチン・シルバー・プリント	23.4×16.6	東京富士美術館		○
P220	アンドレ・ケルテス	憂鬱なチューリップ、ニューヨーク	1939	ゼラチン・シルバー・プリント	34.8×25.6	東京富士美術館	○	
P221	アンドレ・ケルテス	モンドリアンの家で	1926	ゼラチン・シルバー・プリント	24.7×18.3	東京富士美術館		○
P222	マータ・ハップナー	カンディンスキーに捧ぐ	1937	ゼラチン・シルバー・プリント	27.4×21.2	東京富士美術館	○	○
P223	ビル・ブランド	London	1952	ゼラチン・シルバー・プリント	34.5×29.7	東京富士美術館	○	
P224	ビル・ブランド	East Sussex	1953	ゼラチン・シルバー・プリント	34.3×29.0	東京富士美術館		○
P225	ラーズロー・モホイ＝ナジ	フォトグラム	1922	フォトグラム	39×29	東京都写真美術館	○	○
P226	ラーズロー・モホイ＝ナジ	フォトグラム	1923	フォトグラム	23.7×16.7	東京都写真美術館	○	○
P227	アーヴィング・ペン	静物 ニューヨーク	制作年不詳	プラチナ・プリント		東京富士美術館	○	○
P228	パブロ・ピカソ(撮影:A. ヴィレール)	ピカソによる紙の切り抜き「金網に入った山羊」	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント		東京富士美術館	○	○
P229	パブロ・ピカソ(撮影:A. ヴィレール)	ピカソによる紙の切り抜き「難しい問題点」	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント		東京富士美術館	○	
P230	パブロ・ピカソ(撮影:A. ヴィレール)	ピカソによる紙の切り抜き「喧騒」	制作年不詳	ゼラチン・シルバー・プリント		東京富士美術館		○
P231	リチャード・アドベン	ルネ・クレールの肖像	1970	ゼラチン・シルバー・プリント		東京富士美術館	○	
P232	リチャード・アドベン	イサク・ディセンの肖像	1970	ゼラチン・シルバー・プリント		東京富士美術館		○

第8章 エピローグ：新たな“光”の考察

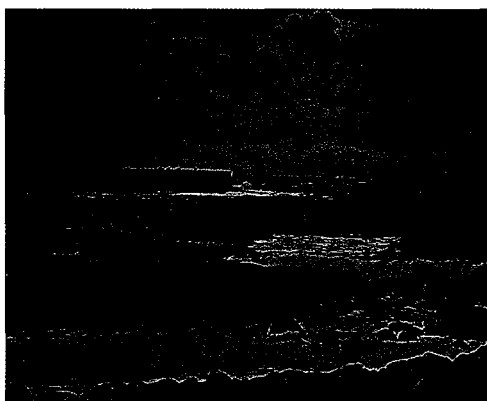
61	アンリ・ル・シダネル	黄昏の古路	1929	油彩、カンヴァス	125.0×150.0	東京富士美術館	○	○
62	ジョルジョ・モランディ	静物	1948-49	油彩、カンヴァス	30.0×35.0	東京富士美術館	○	○
P233	フレデリック・ソマー	リヴィア	1948	ゼラチン・シルバー・プリント	19.1×23.5	東京富士美術館	○	
P234	フレデリック・ソマー	リー・ネヴィン	1963頃	ゼラチン・シルバー・プリント	33.8×22.3	東京富士美術館		○
P235	東松照明	プラスチックス、千葉県九十九里海岸	1987-89	コダック・カラープリント	43.5×43.4	東京富士美術館	○	○
P236	東松照明	プラスチックス、千葉県九十九里海岸	1987-89	コダック・カラープリント	42.0×42.0	東京富士美術館	○	○
P237	東松照明	プラスチックス、千葉県九十九里海岸	1987-89	コダック・カラープリント	42.0×42.0	東京富士美術館	○	○
P238	東松照明	プラスチックス、千葉県九十九里海岸	1987-89	コダック・カラープリント	42.0×42.0	東京富士美術館	○	○
P239	東松照明	プラスチックス、千葉県九十九里海岸	1987-89	コダック・カラープリント	42.0×42.0	東京富士美術館	○	○

No.	作家名	作品名	制作年	技法、材質	寸法(cm)	所蔵先	前期	後期
P240	東松照明	プラスチック、千葉県九十九里海岸	1987-89	コダック・カラープリント	42.0×42.0	東京富士美術館	○	○
P241	柴田敏雄	福島県相馬郡鹿島町	1990	ゼラチン・シルバー・プリント	55.5×44.8	東京富士美術館	○	○
P242	佐藤時啓	ホルンド・メロン	1955	ゼラチン・シルバー・プリント	90.0×288.5	東京富士美術館	○	○
P243	ベルント & ヒラー・ベッシャー	採掘塔	1967-82	ゼラチン・シルバー・プリント	187.2×154.5	東京富士美術館	○	○
P244	杉本博司	インペリアル・モントリオール	1995	ゼラチン・シルバー・プリント	42.4×54.3	東京富士美術館	○	○
P245	アーヴィング・ベン	トルソー #148	制作年不詳	プラチナ・プリント		東京富士美術館	○	○
P246	アーヴィング・ベン	トルソー #150	制作年不詳	プラチナ・プリント		東京富士美術館	○	○

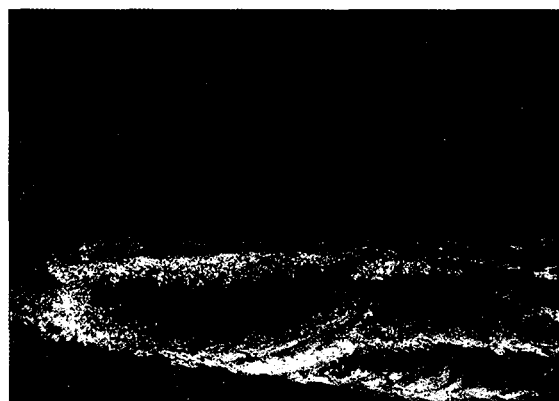
* No.のうち、Pではじまるものは写真関係作品、その他は絵画関係作品(油彩画、版画など)。

* 寸法は縦×横、または高さ×幅×奥行。

* 前期は1月30日(金)～2月22日(日)に展示、後期は2月24日(火)～3月25日(木)に展示。



ギュスターヴ・ル・グレイ「海景」



ギュスターヴ・クールベ「水平線上のスコール」

美術講演会

各分野の専門家を招いて、それぞれの展覧会に関連した内容の講演会を開催した。

会場＝当館講堂(聴講無料)



「北の風土と四季の彩り」奥岡茂雄氏

平成19年度

開催日	演題	講師	関連展覧会	聴講者数
5月3日(木・祝) 午後2時～4時	名画の楽しみ～バロックから近代へ～	千足伸行氏(成城大学教授、展覧会監修者)	ヨーロッパ絵画展	64人
6月16日(土) 午後2時～4時	美女たちに見る化粧・髪型～江戸から現代まで	村田孝子氏(ポーラ文化研究所主任研究員)	美しさへの挑戦	45人
10月13日(土) 午後2時～4時	北の風土と美術―岩橋英遠、国松登、小川原脩、木田金次郎、神田日勝、片岡球子―	奥岡茂雄氏(札幌芸術の森美術館館長、北翔大学大学院教授)	北の風土と四季の彩り	55人

平成20年度

開催日	演題	講師	関連展覧会	聴講者数
4月26日(土) 午後2時～4時	日本画―近代から現代へ	島田康寛氏(立命館大学文学部教授、前京都国立近代美術館 学芸課長)	遠き道展	50人
11月1日(土) 午後1時～2時30分	文字変化物語～あの手この手	齊藤千鶴子氏(北海道立函館美術館学芸員)	もじ・もじ・文字展	62人
1月31日(土) 午後2時～3時30分	印象派 視覚の革命	五木田聡氏(東京富士美術館副館長)	絵画と写真の交差	88人

特別展セミナー

当館学芸員が展覧会に関連したテーマを設け、出品作品を取り上げながら展覧会の見どころを紹介した。

時間＝午後２時～３時

会場＝当館講堂(聴講無料)

平成19年度

開催日	演題	講師	関連展覧会	聴講者数
5月12日(土)、5月26日(土)	国別バロック美術案内	蘭部容子(当館学芸員)	ヨーロッパ絵画展	38人

平成20年度

開催日	演題	講師	関連展覧会	聴講者数
12月6日(土)、1月18日(土)	道東美術のフロンティア・スピリット	蘭部容子(当館学芸員)	フロンティア～道東美術の現在～	18人
2月7日(土)、3月14日(土)	19世紀ヨーロッパの視覚 絵画と写真と	鎌田 享(当館学芸課長)	絵画と写真の交差	47人

ギャラリー・ツアー

当館学芸員が展示室をめぐりながら出品作品を解説し、展覧会の見どころを案内した。

時間＝午後2時～

会場＝当館主展示室(要観覧券)

平成19年度

開催日	講師	関連展覧会	聴講者数
6月30日(土)、7月28日(土)	平 利弘(当館主任学芸員)	美しさへの挑戦	40人
2月16日(土)、3月15日(土)	苔名 真(当館学芸課長)	バリそぞろ歩き	55人

平成20年度

開催日	講師	関連展覧会	聴講者数
5月24日(土)、6月7日(土)	蘭部容子(当館学芸員)	速き道展	30人
9月13日(土)、9月20日(土)	平 利弘(当館主任学芸員)	もじ・モジ・文字展	20人

おすすめ1点トーク

当館学芸員が出品作品の中の1点について、制作背景や見どころを説明した。

時間＝午後1時～3時(希望に応じて随時、約15分間)

場所＝当館主展示室(要観覧券)

平成19年度

開催日	講師	関連展覧会	聴講者数
9月1日(土)、9月15日(土)	苔名 真(当館学芸課長)	北の風土と四季の彩り	33人

トークショー

展覧会出品作家を迎えて、これまでの活動や制作背景について話してもらうトークショーを行なった。

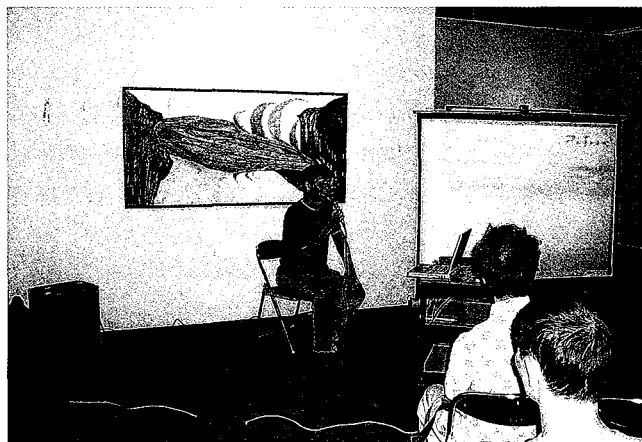
平成19年度

開催日	演題	講師	関連展覧会	会場	聴講者数
8月12日(日) 午後2時～4時	「バランスの代償」について	梅田マサノリ氏(現代美術作家)	十勝の新時代 X 梅田マサノリ展	当館コレクション・ギャラリー	68人

平成20年度

開催日	演題	講師	関連展覧会	会場	聴講者数
5月31日(土)* 午後1時～2時	院展草創期から現在まで	北田克己氏(日本画家)	遠き道展	当館講堂	45人
5月31日(土)* 午後2時30分～3時30分		北田克己氏、高橋秀年氏 (日本画家)	遠き道展	当館主展示室	35人
1月10日(土) 午後2時～4時		森弘志氏(画家)	フロンティア～道東美術の現在～	当館主展示室	54人

*アーティスト・トークとして開催



『「バランスの代償」について』梅田マサノリ氏



森弘志氏

ワークショップ

開催中の展覧会に関連し、美術家を迎えての造形ワークショップを行なった。

会場＝当館講堂(参加無料、応募制)

平成19年度

開催日	演題	講師	関連展覧会	参加者数
11月24日(土) 午後2時～4時	美術家に習う〈絵本作り教室〉 作ろう！絵本～クリスマスの思い出～	宮澤克忠氏(元平原社美術協会会長・ 美術文化協会会員)	オランダ絵本作家展	33人

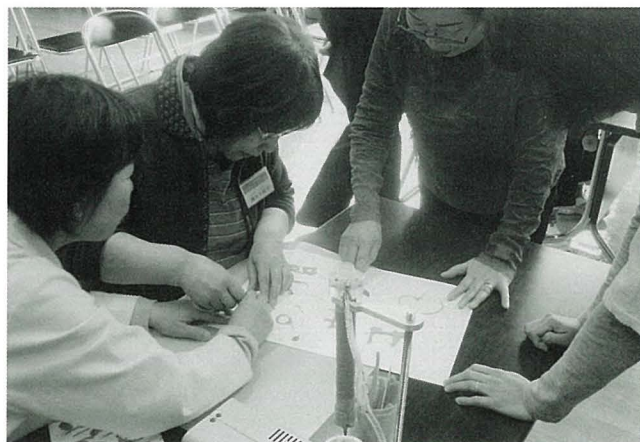
平成20年度

開催日	演題	講師	関連展覧会	参加者数
5月31日(土) 午前10時～12時	描いてさわろう、自分だけの絵	北田克己氏(日本画家)	遠き道展	6人* (サポートスタッフ12人)
10月4日(土) 午後2時～4時	石ころアート作りのたのしみ	片岡朱央氏(手描き友禅染模様師／自然石彩色意匠)	オビビ創作アトリエ	22人
11月29日(土) 午後2時～4時	作ろう！日本・世界の名建築	茶谷亜矢氏(折り紙建築家)	オビビ創作アトリエ	21人

*視覚にハンディキャップのある方向け



「美術家に習う 〈絵本作り教室〉」 宮澤克忠氏



「描いてさわろう、自分だけの絵」

ミュージアム・カレッジ

一般来館者を対象に開催した連続制の美術講座。外来講師や当館学芸員による講演会・講座のほか、作品鑑賞やワークショップを盛り込み多角的な内容で実施。美術についての基礎的・専門的知識を学ぶこと、また、新たな視点から作品の鑑賞をすることを通じて、地域住民の美術に対する興味・関心を高めることを目的に開催した。なお、本事業は北海道教育委員会、北海道立生涯学習推進センターが主催する道民カレッジの連携講座としても実施した。



「文字変化物語～あの手この手」 齊藤千鶴子氏

平成19年度

十勝と北海道の美術をめぐる4章

時間＝午後2時～4時

会場＝当館講堂、展示室(参加料620円、応募制)

開催日	演題	講師	聴講者数
9月22日(土)	「北の風土と四季の彩り」見かた見どころ発見ツアー	苫名 真(当館学芸課長)	28人
9月29日(土)	「十勝の新時代」の10年	菌部容子(当館学芸員)	32人
10月6日(土)	描かれた北海道―記録と美術の間	平 利弘(当館主任学芸員)	27人
10月13日(土)*	北の風土と美術―岩橋英遠、国松登、小川原脩、木田金次郎、神田日勝、片岡球子―	奥岡茂雄氏(札幌芸術の森美術館館長、北翔大学大学院教授)	55人

*10月13日は美術講演会に参加。

平成20年度

文字・記号と美術

時間＝午後1時～2時30分

会場＝当館講堂、主展示室(参加料500円、応募制)

開催日	演題	講師	聴講者数
10月11日(土)	もじ・モジ・文字展の歩き方～見る・読む・書く～	平 利弘(当館主任学芸員)	15人
10月18日(土)	なぜ文字を描くのか?現代アートの世界から	鎌田 享(当館学芸課長)	15人
10月25日(土)	西洋絵画における文字の意味	菌部容子(当館学芸員)	13人
11月1日(土)*	文字変化物語～あの手この手	齊藤千鶴子氏 (北海道立函館美術館学芸員)	62人

*11月1日は美術講演会に参加。

映写室

展覧会に関連したプログラムを中心に、映画、ビデオ、DVD の上映を行なった。

時間＝午後２時～

会場＝当館講堂(入場無料)

平成19年度

開催日	上映作品	関連展覧会・事業	入場者数
4月28日(土)、 5月5日(土・祝)	土曜映写室「西洋美術の流れ―様式の歴史」 「芸術家と社会」	ヨーロッパ絵画展	21人
6月23日(土)	土曜映写室「世界の化粧・ベニス編」 「日本の化粧」	美しさへの挑戦	7人
6月30日(土)	土曜映写室「江戸の結髪」 「西洋ヘア・ファッションの流れ」	美しさへの挑戦	17人
7月28日(土)	土曜映写室「おすべらかしと十二単」 「島原の太夫」	美しさへの挑戦	32人
11月1日(木)	映写室「レオナルド・ダ・ヴィンチ～永遠の微笑み～」 「ボッティチェリ～フィレンツェのヴィーナス～」	芸術週間	21人
11月2日(金)	映写室「ルーベンス～ネロの愛したルーベンス～」 「フェルメール～静寂のフェルメール～」	芸術週間	24人
11月3日(土)	映写室「クレール～色彩の管弦楽～」 「ムンク～叫びに込めたメッセージ～」	芸術週間	14人
11月5日(月)	映写室「バリの夜と夢―ロートレック、マリー・ローランサン、モディリアーニ」 「ユトリロ～悲しみの白～」	芸術週間	8人
11月6日(火)	映写室「雨の朝パリに死す」	芸術週間	24人
11月7日(水)	映写室「オペラ座の怪人」	芸術週間	43人

平成20年度

開催日	上映作品	関連展覧会・事業	入場者数
11月2日(日)	映写室「古代から殷～甲骨文字の登場」	芸術週間	5人
11月3日(月)	映写室「王羲之と蘭亭序」	芸術週間	12人
11月4日(火)	映写室「文房四宝の世界」	芸術週間	3人
11月5日(水)	映写室「授業(榊 莫山) - 文字のふしぎ -」	芸術週間	8人
11月6日(木)	映写室「アンディ・ウォーホル」	芸術週間	3人
11月7日(金)	映写室「クレール～色彩の管弦楽～」 「カンディンスキー～抽象画の騎士～」	芸術週間	3人

技法講座

芸術家の指導により、参加者が実際に作品を制作し技法の習得を図った。

時間＝午後２時～４時

会場＝当館講堂(参加無料、応募制)

平成19年度

開催日	内容	講師	関連展覧会	会場	参加者数
11月10日(土)	孔版画で作ろう 来年の年賀状	千葉定是氏(版画家)		当館講堂	22人

平成20年度

開催日	演題	講師	関連展覧会	会場	参加者数
11月22日(土)	版画技法講座(メゾチント)	中谷有逸氏(美術家)	フロンティア～道東美術の現在～	当館講堂	19人



「孔版画で作ろう 来年の年賀状」 千葉定是氏

ミュージアム・ミステリー

小学中・高学年を対象とした事業。鑑賞や制作のためのさまざまな体験プログラム・ワークショップを通じ、自ら感じ考えながら作品とふれあう創造的な鑑賞姿勢を導き出すべく企画した。

平成19年度

ミュージアム・ミステリー2007サマー 「ビジュツに挑戦！」

開催日＝7月7日(土)、7月14日(土) 午前11時～午後3時
会場＝当館講堂、主展示室ほか
参加者＝小学3～6年生 計58人
(7月7日＝30人、7月14日＝28人 参加料550円、応募制)
協力＝高砂香料工業株式会社
関連展覧会＝美しさへの挑戦―ヘアモード・メイクアップの300年―

プログラム

- ・鑑賞プログラム「展覧会にチャレンジ」
- ・仕事体験「美術館のお仕事にトライ」
- ・ワークショップ「自分だけの香水をつくろう」

午前中は「美しさへの挑戦」展展示室内で、部分当てゲームや模様のモチーフ当てクイズなどをしながら解説を聞き、展覧会への理解を深めた。午後からは、美術館学芸員の仕事体験として、お碗・花瓶の入った桐箱や掛軸の扱いを行った。また、ワークショップとして数種類の香料を自由に配合してオリジナル香水を作った。

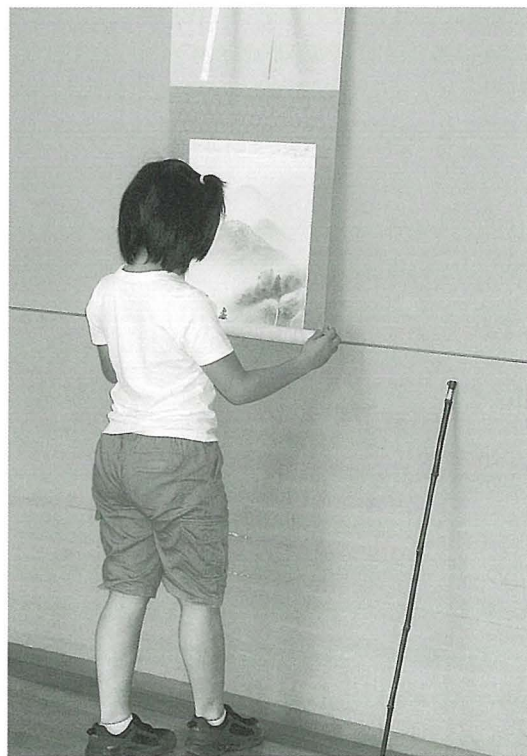
ミュージアム・ミステリー2008ウィンター 「わくわく美術館&動物園」

開催日＝2月23日(土)、3月1日(土) 午前11時～午後3時
会場＝当館講堂、展示室、おびひろ動物園
参加者＝小学3～6年生 計56人
(2月23日＝29人、3月1日＝27人 参加料300円、応募制)
関連展覧会＝アートな動物園、パリそぞろ歩き

プログラム

- ・鑑賞プログラム「どんな動物&どんな街？展覧会の世界へゴー！」
- ・動物園との連携プログラム「わくわく動物園ツアー」

鑑賞プログラムでは、開催中の「アートな動物園」展と「パリそぞろ歩き」展を、クイズや部分当てゲーム、簡単フランス語講座やパーツの組み合わせによる自分だけの作品作りなどをしながら鑑賞し、楽しく理解を深めた。また、初の試みとして同じ緑ヶ丘公園敷地内にあるおびひろ動物園と連携し、午後からはおびひろ動物園を訪れて、休園中の動物園を案内・説明してもらい、動物園の裏側も見学した。



「ビジュツに挑戦！」



「わくわく美術館&動物園」

ミュージアム・ミステリー ミニ

開催日＝3月2日(日)、3月9日(日)、3月16日(日) 午後1時～3時

会 場＝当館講堂、展示室

参加者＝計13人

(3月2日＝8人、3月9日＝3人、3月16日＝2人 参加無料、応募制)

ミュージアム・ミステリー「わくわく美術館&動物園」の定員に漏れた方のうち希望者にむけ、鑑賞プログラム部分を実施した。

平成20年度

ミュージアム・ミステリー2008サマー

「みんなの時間～絵本の世界へ～」

開催日＝7月19日(土)、7月26日(土) 午前11時～午後3時

会 場＝当館講堂、主展示室ほか

参加者＝小学3～6年生 計62人

(7月19日＝31人、7月26日＝31人 参加料600円、応募制)

関連展覧会＝五味太郎作品展「絵本の時間」

プログラム

- ・鑑賞プログラム「～五味太郎の世界へ～」
- ・「探検！美術館の裏側」
- ・工作ワークショップ「デカ絵本を作ろう！」

午前中は「五味太郎作品展」を、クイズやゲーム形式で楽しみながら、また作品解説を聞いて作品への理解を深めながら鑑賞した。昼食をはさんで、収蔵庫や館長室など、普段はなかなか入ることができない美術館の裏側を探検。その後、「ご」「み」「た」「ろ」「う」などのひらがなが書かれた大きなダンボールに、それぞれ「ご」のつくもの、「み」のつくものを絵に描き、それらをつなげて屏風状の巨大絵本を作った。

ミュージアム・ミステリー2009ウィンター

「絵具とカメラとこーさくと」

開催日＝2月28日(土)、3月7日(土) 午前11時～午後3時

会 場＝当館講堂、展示室ほか

参加者＝小学3～6年生 計43人

(2月28日＝28人、3月7日＝15人 参加料620円、応募制)

関連展覧会＝絵画と写真の交差 印象派誕生の軌跡

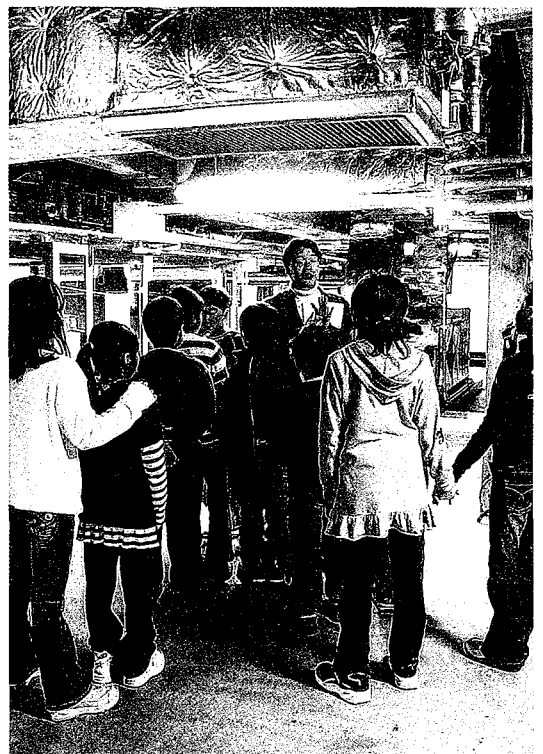
プログラム

- ・鑑賞プログラム「絵と写真ってどんな関係なの？」
- ・「探検！美術館のうらがわ」
- ・工作ワークショップ「石ころでアート！」

鑑賞プログラムでは、開催中の特別展「絵画と写真の交差」会場内で、作品探しクイズをしたり、カメラ・オブスキュラを体験してみたり、パズルをしたりしながら、作品やその背景についての説明を聞き、楽しみながら展覧会への理解を深めた。昼食をはさんで、収蔵庫や館長室など美術館の裏側を探検。また、工作ワークショップにつながる、コレクション・ギャラリー「オビビ創作アトリエ」を鑑賞した。工作ワークショップでは、用意したさまざまな形の石に着色して、「石ころアート」を作った。



「みんなの時間～絵本の世界へ～」



「絵具とカメラとこーさくと」

キッズ・ミュージアム

親子・家族連れの来館者を対象とした事業。各展覧会の会期中に1回託児の日を設け、日常ゆつくりと展覧会を鑑賞する機会の少ない幼児を連れた保護者に鑑賞の機会を提供した。託児の間、子どもたちには工作遊びを楽しんでもらった。本事業の実施にあたっては当館ボランティアしらかばの会との協同により、工作遊びの内容検討から準備作業、当日の受付業務、託児、工作補助まで、ボランティアスタッフが中心となって運営された。

時間＝午後2時～4時(受付は午後3時30分まで)

会場＝当館講堂(託児無料)

平成19年度

開催日	工作内容	関連展覧会	利用者数(内・子どもの数)
5月19日(土)	チクタク・チクタク・ボン・ボン	ヨーロッパ絵画展	24人(13人)
7月21日(土)	ほくもわたしもヘンシーン！	美しさへの挑戦	29人(17人)
9月8日(土)	こねこね・アート	北の風土と四季の彩り	26人(14人)
1月19日(土)	作ろう・ミッフィーの紙芝居	オランダ絵本作家展	42人(23人)
3月8日(土)	作って遊ぼう ジャンケンボン	パリそぞろ歩き	13人(8人)

平成20年度

開催日	工作内容	関連展覧会	利用者数(内・子どもの数)
5月10日(土)	とばしてあそぼう、空とぶアニマル	遠き道展	21人(12人)
8月9日(土)	ダンボールで遊ぼう	五味太郎作品展	42人(24人)
11月8日(土)	フィンガーペインティング	もじ・モジ・文字展	9人(5人)
1月17日(土)	ジグソーパズル作り	フロンティア～道東美術の現在～	21人(10人)
2月21日(土)	作って楽しい ひなまつり	絵画と写真の交差	26人(16人)



作って遊ぼうジャンケンボン



ダンボールで遊ぼう

オビビ・キッズ・アートフェスタ

各展覧会ごとに開催している託児事業「キッズ・ミュージアム」の、年1回の特別編。子どもや親子を対象に、展覧会鑑賞と工作遊びを通し、楽しみながら美術に親しむ機会を提供した。当館ボランティアしらかばの会が中心となり、企画・運営を行なった。

時間＝午後1時～4時

会場＝当館講堂、コレクション・ギャラリー

平成19年度

オビビ・キッズ・アートフェスタ2007
みるるん つくるん あそぶん

開催日＝12月23日(日)

主 催＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

協 力＝北海道立帯広美術館

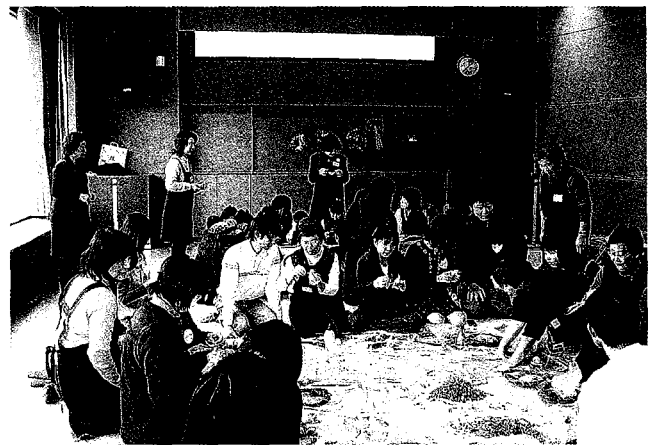
参加者＝30人(5～9歳の子と親、内・子どもの数16人 応募制)

関連展覧会＝アートな動物園

プログラム

鑑賞「アートな動物園」

ワークショップ「親子でリース ア・ラ・カルト」



「親子でリース ア・ラ・カルト」

平成20年度

オビビ・キッズ・アートフェスタ2008
みるるん・つくるん・あそぶん

開催日＝12月21日(日)

主 催＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

協 力＝北海道立帯広美術館

参加者＝27人(5歳～9歳)

関連展覧会＝オビビ創作アトリエ

プログラム

ワークショップ「スチレン版画」

鑑賞「オビビ創作アトリエ」

芸術週間

道立の文化施設では、道民が芸術に親しむ気運を醸成するべく、平成11年度より文化の日をはさむ7日間を芸術週間として設定した。期間中は幅広い広報活動を行なうことで施設や事業の案内・周知に努めるとともに、一週間をつうじて開館日とし各種の教育普及事業を集中的に開催。また、コレクション・ギャラリー観覧料を無料とすることで道民の関心を喚起して利用の促進を図った。

平成19年度

月 日	実 施 内 容
11月1日(木)	映写室 「レオナルド・ダ・ヴィンチ～永遠の微笑み～」 「ボッティチェリ～フィレンツェのヴィーナス～」
11月2日(金)	映写室 「ルーベンス～ネロの愛したルーベンス～」 「フェルメール～静寂のフェルメール～」
11月3日(土・祝)	映写室 「クレール～色彩の管弦楽～」 「ムンク～叫びに込めたメッセージ～」
11月4日(日)	アート・パフォーマンス「たゆたう」 出演：伽井丹彌氏(人形作家・舞踊家)、梅田マサノリ氏(現代美術作家)
11月5日(月)	臨時開館 映写室 「パリの夜と夢～ロートレック、マリー・ローランサン、モディリアーニ」 「ユトリロ～悲しみの白～」
11月6日(火)	映写室「雨の朝パリの死す」
11月7日(水)	映写室「オペラ座の怪人」

期間中の開催展覧会

コレクション・ギャラリー「十勝の新時代 X 梅田マサノリ展」
主展示室〈貸館〉「浅野修展 虚と実」

平成20年度

月 日	実 施 内 容
11月1日(土)	美術講演会 「文字変化物語～あの手この手」 講師：齊藤千鶴子氏(北海道立函館美術館学芸員)
11月2日(日)	映写室「古代から殷～甲骨文字の登場」
11月3日(月・祝)	映写室「王羲之と蘭亭序」
11月4日(火)	臨時開館 映写室「文房四宝の世界」
11月5日(水)	映写室「授業(榊 莫山)～文字のふしぎ～」
11月6日(木)	映写室「アンディ・ウォーホル」
11月7日(金)	映写室 「クレール～色彩の管弦楽～」 「カンディンスキー～抽象画の騎士～」

期間中の開催展覧会

コレクション・ギャラリー「ミステリアス・ゾーンへの招待」
主展示室「もじ・モジ・文字展～描かれた文字・記号と美術～」

サマー・ミュージアム

夏休みの児童生徒やその家族が、美術と美術館に親しむようになり、また今後も足を運ぶきっかけとなることを図って企画されたもの。コンサートやワークショップを通じて、美術への興味と関心が深まることをねらいとする。

平成20年度

開催日＝8月3日(日)

会 場＝当館講堂、ロビー

参加者＝173人

協 力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

内容

- ・グリーン・コンサート：ジャズ・セッション
出演＝MICA & ピアノトリオ
時間＝午後2時30分～3時30分
会場＝当館ロビー(入場無料)
- ・ワークショップ「巨大絵本を作ろう！」
時間＝午後1時～4時
会場＝当館講堂(無料、自由参加制)



MICA & ピアノトリオ

団体オリエンテーション

団体観覧者のうち希望するグループに対して、スライドを使用しながら当館の概要と開催中の展覧会の内容を紹介するオリエンテーションを実施した。

時間＝随時

会場＝当館講堂(無料、事前申込制)

平成19年度

関連展覧会	実施回数	利用者数
ヨーロッパ絵画展	15回	588人
美しさへの挑戦	6回	183人
北の風土と四季の彩り	34回	1,243人
(貸館) 浅野修展	5回	324人
オランダ絵本作家展	28回	1,125人
パリそぞろ歩き	9回	240人

平成20年度

関連展覧会	実施回数	利用者数
遠き道展	12回	449人
五味太郎作品展	45回	1,782人
もじ・モジ・文字展	15回	376人
フロンティア～道東美術の現在～	17回	578人
絵画と写真の交差	23回	795人

博物館実習

関係各大学の依頼により、学芸員資格取得希望の学生を受け入れ博物館実習を実施した。

受け入れ条件として、①帯広・十勝を中心とした地元出身者で、②美術(美学・美術史、美術教育、美術実技)を専攻しており、③卒業後に博物館勤務を現に希望する学生であることを原則とした。

平成19年度

受入期間＝9月7日(金)～9月19日(水) 13日間

受入人数＝3人(北翔大学、京都造形芸術大学、帯広大谷短期大学*)

*は科目等履修生。

実習日程

月 日	午 前 (8:45-12:00)				午 後 (13:00-17:30)			
9月7日(金)	8:45-9:50(65分) 事務連絡紹介／ 展示室巡回／オリエンテーション	10:00-10:30(30分) 講義「美術館の概要」	10:40-11:30(50分) 講義「展覧会の企画運営」	11:40-12:30(50分) 講義「地域社会と美術館」	13:30-14:50(80分) 館内見学／展示室自主見学	15:00-15:30(30分) 講義「美術館予算と施設管理」	16:00-17:00(60分) 講義「美術館と教育普及活動」	
9月8日(土)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・ 展示室巡回	9:30-10:50(80分) 視聴覚機器の取扱 (スライド作成等)	11:00-11:30(30分) 講義「美術館の財務事務」	11:40-16:30(240分) 学芸実務実習(「キッズ・ミュージアム」教育普及事業の準備・実施・記録)			16:00-17:00(60分) 学芸実務実習 (展覧会普及事業企画)	17:00-17:30 (30分) 展示室 巡回／ まとめ
9月9日(日)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・ 展示室巡回	9:30-10:20(50分) 講義「作品資料の 収集と保存」	10:30-12:00(90分) 学芸実務実習(収蔵庫・展示用具室整理)	13:00-15:00(120分) 学芸実務実習 (収蔵庫・展示用具室整理)	15:00-17:00(120分) 学芸実務実習 (展覧会・普及事業企画)			
9月10日(月)	休館日／他博物館自主見学							
9月11日(火)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・ 展示室巡回	9:30-10:50(80分) 学芸実務実習 (展覧会・展示記録作成)	11:00-12:00 (60分) 学芸実務実習 (展覧会・普及事業企画)	13:00-13:50(50分) 講義「生涯学習時代と美術館」	14:00-16:00(120分) 学芸実務実習(展覧会・展示記録作成)	16:00-17:00(60分) 学芸実務実習 (模擬トーク準備)		
9月12日(水)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・ 展示室巡回	9:30-17:00 (1)美術館実務実習 [講義・展示室監視業務](30分+120分) (2)学芸実務実習 [二次資料整理](180分) (3)休憩(60分)						
9月13日(木)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・ 展示室巡回	9:30-10:20(50分) 講義「印刷物の編集作成」	10:30-12:00(90分) 学芸実務実習(「芸術週間」チラシ作成)	13:00-13:50(50分) 学芸実務実習 (展覧会・普及事業企画)	14:00-14:50(50分) 学芸実務実習 (「芸術週間」チラシ作成)	15:00-16:00(60分) 美術作品の取り扱い (ビデオ学習)	16:00-17:00(60分) 学芸実務実習 (模擬トーク実施準備)	17:00-17:30 (30分) 展示室 巡回／ まとめ
9月14日(金)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・ 展示室巡回	9:30-10:50(80分) 学芸実務実習 (美術作品の取り扱い)	11:00-12:00(60分) 学芸実務実習 (展覧会・普及事業企画)	13:00-14:00(60分) 美術作品の取り扱い (ビデオ学習)	14:00-14:50(50分) 学芸実務実習 (「芸術週間」チラシ作成)	15:00-16:00(60分) 学芸実務実習 (用具庫・収蔵庫整理)	16:00-17:00(60分) 学芸実務実習 (模擬トーク実施準備)	
9月15日(土)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・ 展示室巡回	9:30-12:00(180分) 学芸実務実習 (展覧会・普及事業企画)		13:00-15:00(120分) 学芸実務実習(「おすすめ1点トーク」 教育普及事業の準備・実施・記録)	15:30-17:00(90分) 学芸実務実習 (「模擬トーク」実施準備)			
9月16日(日)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・ 展示室巡回	9:30-12:00(180分) 学芸実務実習 (展覧会・普及事業企画)		13:00-15:00(120分) 学芸実務実習 (資料整理)	15:00-16:00(60分) 学芸実務実習 (用具庫・収蔵庫整理)	16:00-17:00(60分) 学芸実務実習 (模擬トーク実施準備)		
9月17日(月)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・ 展示室巡回	9:30-12:00(180分) 学芸実務実習 (展覧会普及事業・企画)		13:00-15:00(120分) 学芸実務実習 (資料整理)	15:00-16:00(60分) 学芸実務実習 (用具庫・収蔵庫整理)	16:00-17:00(60分) 学芸実務実習 (模擬トーク実施準備)		
9月18日(火)	休館日／他博物館自主見学							
9月19日(水)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・ 展示室巡回	9:30-12:00(180分) 学芸実務実習 (模擬トーク実施準備・展示作業)		13:00-15:00(120分) 学芸実務実習 (模擬トーク実施・講評)	15:30-16:30(60分) 実習まとめ		17:00-17:30(30分) 実習終了にあたって	

平成20年度

受入期間 = 9月26日(金)～10月7日(火) 11日間

受入人数 = 3人(道都大学、弘前大学、横浜美術短期大学*)

*は科目等履修生。

実習日程

月 日	午 前 (8:45-12:00)				午 後(13:00-17:30)				
9月26日(金)	8:45-9:30(45分) 事務連絡紹介/展示室巡回/オリエンテーション	9:30-10:20(50分) 館内見学	10:30-11:00(30分) 講義「美術館の概要」	11:10-12:00(50分) 講義「展覧会の企画運営」	13:00-13:50(50分) 講義「生涯学習時代と美術館」	14:00-14:50(50分) 講義「美術館と教育普及活動」	15:00-15:30(30分) 講義「美術館の財務事務」	16:00-17:00(60分) 展示室自主見学	17:00-17:30(30分) 展示室巡回まとめ
9月27日(土)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・展示室巡回	9:30-10:00(30分) 講義「美術館の予算と施設管理」	10:10-12:00(110分) 学芸実務実習(収蔵庫整理)		13:00-15:00(120分) 学芸実務実習(美術作品の取り扱い)		15:00-17:00(120分) 学芸実務実習(展覧会事業企画)		
9月28日(日)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・展示室巡回	9:30-10:20(50分) 講義「作品資料の収集と保存」	10:30-12:00(90分) 学芸実務実習(教育普及事業準備)		13:00-15:00(120分) 学芸実務実習(展示室体験コーナー案内)		15:00-17:00(120分) 学芸実務実習(展覧会事業企画)		
9月29日(月)	休館日								
9月30日(火)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・展示室巡回	9:30-12:00(150分) 学芸実務実習(展覧会事業企画・展示解説パネル等原稿)			13:00-15:00(120分) 学芸実務実習(教育普及事業準備)		15:00-16:00(60分) 学芸実務実習(展覧会事業企画・同前)	16:00-17:00(60分) 学芸実務実習(用具庫整理)	17:00-17:30(30分) 展示室巡回まとめ
10月1日(水)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・展示室巡回	9:30-10:20(50分) 講義「印刷物の編集作成」	10:30-12:00(90分) 学芸実務実習(展覧会事業企画・チラシ作成)		13:00-15:00(120分) 学芸実務実習(教育普及事業準備)		15:00-16:00(60分) 学芸実務実習(展覧会事業企画・同前)	16:00-17:00(60分) 学芸実務実習(視聴覚機器の取扱)	
10月2日(木)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・展示室巡回	9:30-11:00(90分) 学芸実務実習(作品搬入立ち会い)		11:00-12:00(60分) 学芸実務実習(収蔵庫整理)	13:00-15:00(120分) 学芸実務実習(教育普及事業準備)		15:00-16:00(60分) 学芸実務実習(展覧会事業企画・同前)	16:00-17:00(60分) 学芸実務実習(美術作品の取り扱い・ビデオ学習)	
10月3日(金)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・展示室巡回	9:30-17:00 (1)美術館実務実習「講義・展示室監視業務」(30分+120分)(2)学芸実務実習「教育普及事業準備」(180分)(3)休憩(60分)							17:00-17:30(30分) 学芸実務実習
10月4日(土)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・展示室巡回	9:30-10:20(50分) 学芸実務実習(教育普及事業の準備)	10:30-12:00(90分) 学芸実務実習(展覧会事業企画・展示解説パネル等原稿)		13:00-17:00(240分) 学芸実務実習(教育普及事業の準備・実施補助・記録)				17:00-17:30(30分) 展示室巡回まとめ
10月5日(日)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・展示室巡回	9:30-12:00(150分) 学芸実務実習(展示記録作成)			13:00-15:00(120分) 学芸実務実習(展示記録作成)		15:00-16:00(60分) 学芸実務実習(展覧会事業企画・同前)	16:00-17:00(60分) 学芸実務実習(美術作品の取り扱い・ビデオ学習)	
10月6日(月)	休館日								
10月7日(火)	8:45-9:30(45分) 資料整理実習・展示室巡回	9:30-12:00(150分) 学芸実務実習(展覧会事業企画・同前)			13:00-15:00(120分) 学芸実務実習(展覧会事業企画・プレゼンテーション)		15:00-15:20(20分) 実習終了にあたって	15:30-17:30(120分) 実習のまとめ	

移動美術館

平成20年度

2008 北海道立近代美術館・帯広美術館コレクション 美へのいざない

北海道には現在、北海道立近代美術館、三岸好太郎美術館のある札幌をはじめとして、旭川、函館、帯広、釧路の各地に計6つの道立美術館・芸術館がある。これらの館は、それぞれが特色あるコレクションを持ち、地域に根ざしたさまざまな活動を展開している。道内各地を巡回する移動美術館は、この6館のコレクションを広く道民に紹介するとともに、多彩な教育・情報サービスを提供し、美術文化の振興を図ることを目的に開催しているものである。

平成20年度は、当館および北海道立近代美術館の所蔵品より、油彩・日本画・彫刻・版画・水彩・工芸の各分野から計40点によって構成し、作品解説・道立館紹介パネルと併せて展示した。また会期中、学芸員による作品解説やビデオ上映のほか、会場内に美術図書を自由に閲覧できる図書コーナーを設けるなどの関連事業を行った。

足寄町開町100年記念事業
2008 北海道立近代美術館・帯広美術館コレクション



美へのいざない

2008年9月17日(木)～21日(月)
午前10時～午後8時
足寄町民センター(入場無料)
足寄町南1条5丁目3番地
TEL. 0136-25-3188

リーフレット

会場	会期	主催・後援	入場者数
足寄町民センター	9月17日(木)～9月21日(月) 午前10時～午後8時	主催／足寄町教育委員会、北海道立近代美術館、北海道立帯広美術館 後援／足寄町、足寄町文化協会	1,627人
様似町中央公民館	9月24日(木)～9月30日(水) 午前10時～午後8時 *ただし9月29日(月)は休館	主催／様似町教育委員会、北海道立近代美術館、北海道立帯広美術館	705人

関連事業

作品解説

各会場の初日と最終日に、展示会場内において道立美術館学芸員による作品解説を随時行った。

ビデオ上映

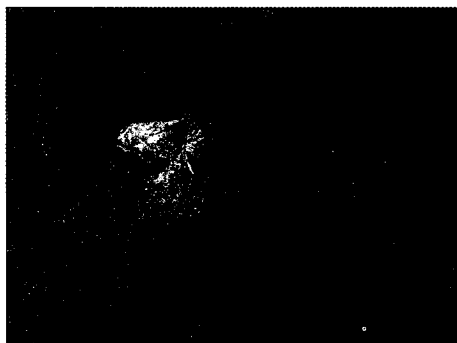
各会場において出品作品に関連するビデオ上映を随時行った。

「パスキン—真珠母色のリュミエール」(13分)

「感力の画人—木田金次郎」(15分)

「北辺のリアリスト—神田日勝」(12分)

「炎の凍結—吹きガラス」(7分)



ジャック＝レイモン・ブラカサ「海辺の羊」



マリー・ローランサン「三人の娘」

出品目録

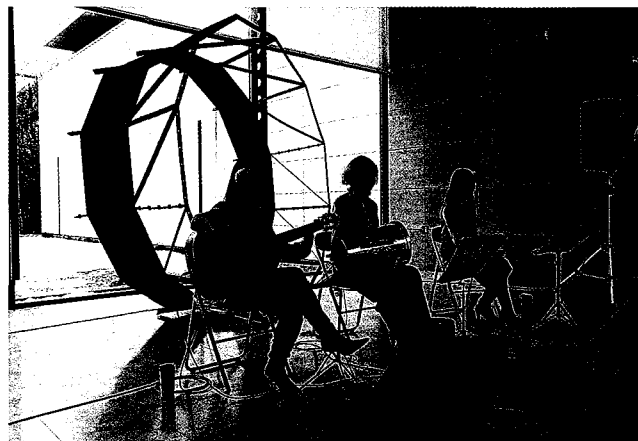
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)
■北海道立近代美術館					
●エコール・ド・パリの絵画					
1	ジュル・パスキン	花束をもつ少女	1925～26	油彩・キャンバス	80.0×64.0
2	エルミーヌ・ダヴィッド	寝具店	1922	油彩・紙、キャンバス	81.0×65.5
3	マリー・ローランサン	三人の娘	1943	油彩・キャンバス	61.0×49.8
4	マリー・ローランサン	犬と三人の乙女	1930～40	水彩・紙	27.5×37.5
5	モイズ・キスリング	オランダの娘	1928	油彩・キャンバス	100.4×73.4
6	キース・ヴァン・ドンゲン	アガテ・ヴェゲリフ・グラヴェスタインの肖像	1909	油彩・キャンバス	100.0×81.0
7	ジョルジュ・ルオー	聖なる顔	1939	油彩・紙	56.0×41.0
8	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』扉絵	刊行:1961	リトグラフ・紙	42.6×64.5
9	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』泉のほとりのダフニスとクロエ	刊行:1961	リトグラフ・紙	42.3×64.4
10	マルク・シャガール	『ダフニスとクロエ』結婚	刊行:1961	リトグラフ・紙	42.3×64.2
11	モーリス・ユトリロ	モンルージュの通り(セーヌ)	1910頃	油彩・キャンバス	57.5×79.3
12	モーリス・ド・ヴラマンク	風景	1920代	油彩・キャンバス	73.5×93.0
13	ハイム・スーチン	祈る男	1921	油彩・キャンバス	94.0×51.0
●海外の美術					
14	オノレ・ドーミエ	展覧会まであますところあと10日あまりのアトリエ風景	1864	リトグラフ・紙	24.0×20.8
15	サルヴァドール・ダリ	『シュールレアリスムの思い出』葉に囲まれたダリのシュールな肖像	1971	エッチング・リトグラフ、紙	50.5×40.0
●北海道の美術					
16	松島正幸	ハルビンの舗道	1937(昭和12)	油彩・キャンバス	91.0×72.8
17	木田金次郎	火山群	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	65.3×80.5
18	神田日勝	一人	1964(昭和39)	油彩・キャンバス	102.0×182.4
19	小谷博貞	立棺	1968(昭和43)	油彩・キャンバス	192.5×97.0
20	三岸節子	摩周湖	1965(昭和40)	油彩・キャンバス	59.5×108.5
21	国松 登	眼のない魚	1954(昭和29)	油彩・キャンバス	91.1×116.5
22	難波田龍起	北国の家	1953(昭和28)	油彩・キャンバス	80.5×100.0
23	片岡球子	葛飾北斎	1976(昭和51)	紙本彩色・額	116.0×79.0
24	本間莞彩	夕陽の北海	1957(昭和32)	絹本彩色・額	182.5×156.4
25	菊川多賀	回想賦(大正五年頃)	1984(昭和59)	紙本彩色・額	63.5×48.6
26	中江紀洋	私の B.C.330(Mater dolorosa)	1982(昭和57)	木(カツラ、マツ、ホウノキ)	70.5×82.0×144.5
27	佐藤忠良	演劇生	1968(昭和43)	ブロンズ	20.0×30.0×46.0
●ガラス工芸					
28	ガレ工房	プラム文花器	1925～30頃	ガラス:被せガラス、エッチング、型吹き	径27.2×32.5
29	塩谷直美	海を渡る夢	2002(平成14)	ガラス:キャスト、サンドブラスト、研磨	9.0×132.5×11.0
30	岩田藤七	花器	1966(昭和41)頃	ガラス:宙吹き	9.9×29.5×37.3
■北海道立帯広美術館					
●バルビゾン派の絵画					
31	カール・ボドメール	鹿の呼び声	19世紀後半	油彩・キャンバス	101.0×81.0
32	ジャック＝レイモン・ブラカサ	海辺の羊	19世紀中頃	油彩・キャンバス	49.0×65.0
33	レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼い	1872	油彩・キャンバス	69.1×99.8
34	レオンス・シャブリ	牧場と木々	1873	油彩・キャンバス	32.0×47.5
35	ギュスターヴ・クールベ	釣り人のいる風景	1870	油彩・キャンバス	60.0×73.0
36	アレクサンドル・ドゥフォー	森の中での休息	1871	油彩・キャンバス	98.0×131.0
37	アレクサンドル・ドゥフォー	農家の中庭	19世紀後半	油彩・キャンバス	40.0×68.0
38	ジュール・デュプレ	ベリー地方の農家	1830年代	油彩・キャンバス	45.7×67.3
39	アンリ＝ジョゼフ・アルピニー	川辺	1912	水彩・紙	22.5×33.8
40	アンリ＝ジョゼフ・アルピニー	川辺の道	20世紀初頭	水彩・紙	23.9×33.7

*寸法は、平面作品は縦×横、立体作品は奥行×幅×高さ、または径×高さ。

コンサート

美術館に親しんでもらうよう、展覧会や時季に合わせて美術館内でコンサートを開催した。

会場＝当館ロビー（入場無料）



「ボサノバでメリー・クリスマス☆」 ショコラッチ

平成19年度

開催日	内容	出演者	関連展覧会	参加者数
12月22日(土) 午後6時～7時	クリスマス・コンサート	ゴスベルシンガー Natsuki 氏	オランダ絵本作家展	154人
2月14日(休) 午後6時～7時	バレンタイン・コンサート	マルカート氏 (アコーディオン弾きがたり)	パリそぞろ歩き	68人
3月22日(土) 午後2時～3時	ミュージアム・コンサート 「Classic & Jazz クラリネットのフランス音楽巡り」	渡部大三郎氏(クラリネット)、 瀬尾高志氏(ベース)、 齋藤桃子氏(ピアノ)、 岸林大輔氏(ドラム)	パリそぞろ歩き	178人

平成20年度

開催日	内容	出演者	関連展覧会	参加者数
12月20日(土) 午後2時～3時30分	クリスマス・コンサート 「ボサノバでメリー・クリスマス☆」	ショコラッチ(ボサノババンド)	フロンティア～道東美術の現在～	109人
2月14日(休) 午後2時～3時	バレンタイン・コンサート	井上美代志氏 (フルート、オカリナ)、 伊藤笑里氏(ピアノ)	絵画と写真の交差	136人

その他

平成19年度

創作アトリエ

特別展「美しさへの挑戦」に関連し、ビーズとワイヤーを使って可愛らしい、あるいは華麗なティアラ(王冠型の頭飾り)を作った。

「ビーズでティアラを作ろう」

日時＝平成19年6月17日(日)、24日(日)、7月1日(日)、8日(日)、15日(日)、22日(日)、29日(日)

午後1時30分～4時

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

会場＝当館主展示室(要観覧券)

参加者数＝213人

ミニ・エステ体験

特別展「美しさへの挑戦」に関連し、エステサロンの協力を得て一日限定10人を対象に、ネイルケア、ハンドマッサージ、ネイルカラーリングを体験してもらった。

「ネイル・ケアでみがく指美人」

日時＝平成19年6月17日(日)、24日(日)、7月1日(日)、8日(日)、15日(日)、22日(日)、29日(日)

午後1時30分～4時

協力＝Total Beauty College NORIKO

会場＝当館ロビー(参加料500円、一日限定10人)

参加者数＝63人



ミニ・エステ体験

シアター・カフェ

特別展「美しさへの挑戦」に関連し、お茶を飲みながら世界の化粧や日本の髪型についての映像を楽しんでもらった。

日時＝平成19年6月17日(日)、23日(土)、24日(日)、30日(土)、7月1日(日)、3日(火)、4日(水)、6日(金)、8日(日)、10日(火)、11日(水)、15日(日)、16日(月・祝)、18日(水)、22日(日)、24日(火)、28日(土)、29日(日)、31日(火)、8月1日(水)

午前10時～午後4時30分

上映内容＝「世界の化粧〈ベニス編〉」「日本の化粧」「島原の太夫」「眉化粧」「おすべらかしと十二単」「結う」「江戸の結髪」「日本髪のかき方」「西洋ヘア・ファッションの流れ」から

会場＝当館講堂(入場無料)

参加人数＝341人

アート・パフォーマンス

コレクション・ギャラリー「十勝の新時代Ⅹ 梅田マサノリ展」会期中の芸術週間に、人形作家・舞踊家の伽井丹彌氏によるダンスと、出品作家の梅田マサノリ氏による映像と美術のコラボレーションで、アート・パフォーマンスを行った。

「たゆたう」

日時＝平成19年11月4日(日) 午後3時～4時

出演＝伽井丹彌氏(人形作家・舞踊家)、梅田マサノリ氏(現代美術作家)

会場＝当館コレクション・ギャラリー(要観覧券)

参加者数＝106人



アート・パフォーマンス「たゆたう」

創作アトリエ

特別展「オランダ絵本作家展」に関連し、会期中の日曜日などに主に紙や色鉛筆を使って、簡単な絵本作りを体験してもらった。

「ミニ・絵本作り体験」

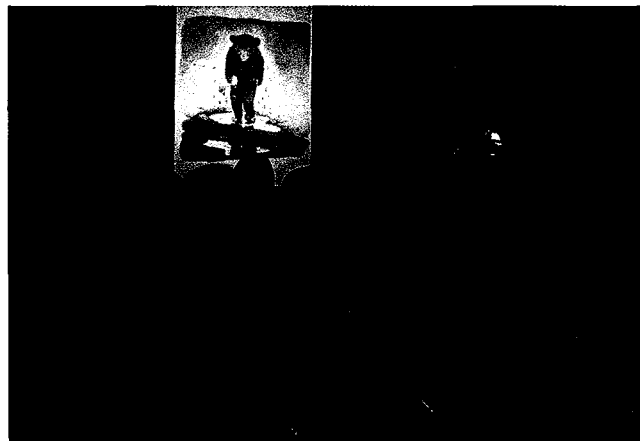
日時＝平成19年11月25日(日)、12月2日(日)、9日(日)、平成20年1月6日(日)、13日(日)、20日(日)、25日(金)、26日(土)、27日(日)

午後1時30分～4時

協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」

会場＝当館主展示室(要観覧券)

参加者数＝299人



読み聞かせ絵本シアター

読み聞かせ絵本シアター

特別展「オランダ絵本作家展」に関連し、オランダ絵本を中心に朗読や読み聞かせを行なった。

日時＝平成20年1月25日(金)、1月26日(土) 午後5時～5時40分

出演＝窪田稔氏(劇団ほうき座副代表)

会場＝当館講堂(入場無料)

参加者数＝59人

たんけん！雪の迷路にかくされた謎

「おびひろ氷まつり」の協賛事業として、当館前庭に雪の迷路を設置した。迷路の中にかくされた文字を探すゲームを催し、美術館に親しんでもらうことを図った。また、各日先着500人にプレゼント(ぬり絵、絵葉書)を贈呈した。

日時＝平成20年1月25日(金)、1月26日(土)、1月27日(日)

午前9時30分～午後4時

会場＝当館前庭、ロビー(参加無料)

参加者数＝2,632人



雪の迷路

平成20年度

鑑賞ツアー(視覚にハンディキャップのある方向け)

特別展「遠き道展」に関連し、当館ボランティアのサポートを得て、視覚にハンディキャップのある方を対象とした鑑賞ツアーを行った。

日時＝平成20年4月12日(土) 午後1時30分～4時
会場＝当館主展示室、講堂(参加無料、応募制)
参加者数＝4人 (サポートスタッフ29人)

オープン・カフェ

特別展「遠き道展」会期中、桜の季節に合わせてロビーにオープン・カフェを設置。抹茶やお菓子を楽しんでもらった。

日時＝平成20年5月10日(土)、5月11日(日)
午前10時～午後4時30分
協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」
会場＝当館ロビー(有料)
参加者数＝92人

鑑賞会

特別展「遠き道展」に関連し、展示室内で作品を前に、複数の美術家のコメントを聞きながらの鑑賞会を開催した。

「素晴らしい日本画を皆で鑑賞する会」

日時＝平成20年6月1日(日) 午後2時～3時30分
コメンテーター＝池田緑氏、齊藤隆博氏、瀧川秀敏氏、
中谷有逸氏、宮澤克忠氏、村上陽一氏(美術家)
会場＝当館主展示室、講堂(要観覧券)
参加者数＝53人

わくわく・ぬり絵

特別展「五味太郎作品展」に関連し、展示室内で五味太郎作品のぬり絵をすることができた。

日時＝平成20年6月20日(金)～9月3日(水) 午前9時30分～午後5時
会場＝当館主展示室(要観覧券)
参加者数＝9,497人

ミニ・絵本作り体験

特別展「五味太郎作品展」に関連し、会期中の日曜日に紙や色鉛筆などを使って、簡単な絵本作りを体験してもらった。



鑑賞ツアー



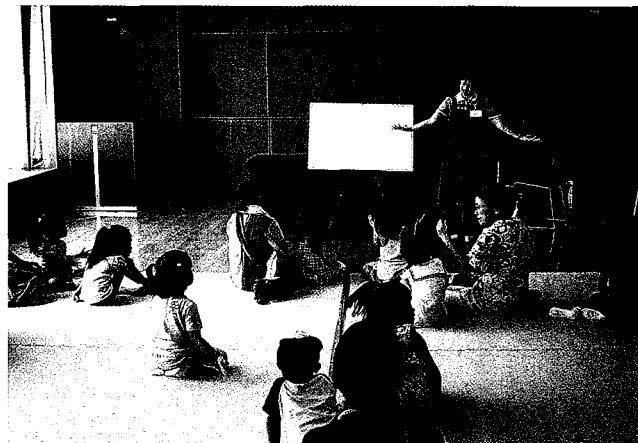
鑑賞会

日時＝平成20年 6月22日(日)、29日(日)、7月6日(日)、13日(日)、20日(日)、
27日(日)、8月3日(日)、10日(日)、17日(日)、24日(日)、31日(日)
午後1時30分～4時
協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」
会場＝当館主展示室(要観覧券)
参加者数＝406人

絵本の読み聞かせ

特別展「五味太郎作品展」に関連して、五味太郎の絵本を中心に絵本の読み聞かせ、エプロンシアター、パネルシアター、アニメーションを行った。

日時＝平成20年 7月27日(日)、8月10日(日) 午後2時～2時30分
出演＝「帯広図書館友の会 おひさま」、「子どもと本を楽しむ会」
会場＝当館講堂(入場無料)
参加者数＝57人



絵本の読み聞かせ

版画技法講座(メゾチント)&アトリエ探訪

特別展「フロンティア～道東美術の現在～」に関連し、メゾチントの版画技法講座および共同アトリエ訪問を行った。

日時＝平成20年11月22日(土)、11月23日(日)
午後2時～4時 全2回
講師＝中谷有逸氏(美術家)、小笠原洋子氏(画家)、
近藤みどり氏(画家)、白土薫氏(版画家)ほか
会場＝当館講堂、旧・毛根小アトリエ(参加無料、応募制)
参加者数＝32人(11月22日＝19人、11月23日＝13人)



アトリエ探訪

工作コーナー

コレクション・ギャラリー「オビビ創作アトリエ」に関連し、出品作家・茶谷正洋氏の考案した型紙を使って、折り紙建築を作ってもらった。

「折り紙建築 入門編」

日時＝平成20年11月23日(日)、30日(日)、12月7日(日)、14日(日)、
21日(日)、28日(日)、平成21年 1月4日(日)、11日(日)、18日(日)、
25日(日)、30日(金)、31日(土)、2月1日(日)、8日(日)、15日(日)、
22日(日)、3月1日(日)、8日(日)、15日(日)、22日(日)
午後1時～4時(ただし1/30、1/31、2/1は午前10時～午後4時)
協力＝帯広美術館ボランティア「しらかばの会」、市民ボランティア
会場＝当館コレクション・ギャラリー(要観覧券)
参加者数＝336人

たんけん！雪の迷路にかくされた謎

「おびひろ氷まつり」の協賛事業として、当館前庭に雪の迷路を設置した。迷路の中にかくされた文字を探すゲームを催し、美術館に親しんでもらうことを図った。また、各日先着500人にプレゼント（絵葉書）を贈呈した。

日時＝平成21年1月30日（金）、1月31日（土）、2月1日（日）

午前9時30分～午後4時

会場＝当館前庭、ロビー（参加無料）

参加者数＝1,414人

おすすめ作品ツアー

特別展「絵画と写真の交差」に関連して、主に会期中の金・土曜日に学芸員による展示室内でのおすすめ作品ツアーを行った。

日時＝平成21年2月21日（土）、27日（金）、28日（土）、3月6日（金）、7日（土）、13日（金）、20日（金・祝）、21日（土）

午後2時30分～3時

講師＝鎌田 享（当館学芸課長）

会場＝当館主展示室（要観覧券）

参加者数＝156人

NPO 十勝文化会議 ギャラリーフリートーク

特別展「絵画と写真の交差」に関連して、展示室内で作品を前にして美術家たちにフリートークをしてもらい、展覧会の理解を深める一助とした。

日時＝平成21年3月8日（日） 午後2～4時

講師＝池田緑氏、小笠原洋子氏、齋藤隆博氏、白土薫氏、
瀧川秀敏氏、中西堯昭氏、中谷有逸氏、宮澤克忠氏、
由良真一氏（NPO 十勝文化会議美術部会員）

会場＝当館講堂、主展示室（要観覧券）

参加者数＝43人



ギャラリーフリートーク

クイズ

各展覧会の会期中、出品作品中の10点程度についてクイズを作り、原則小中学生を対象に自由参加でクイズを行なった。

平成19年度

期間	関連展覧会	会場	参加者数
4月20日（金）～6月6日（水）	ヨーロッパ絵画展	当館主展示室	780人
8月10日（金）～10月17日（水）	北の風土と四季の彩り	当館主展示室	1,494人
11月22日（水）～1月30日（水）	オランダ絵本作家展	当館主展示室	3,068人
11月22日（水）～3月26日（水）	アートな動物園	当館コレクション・ギャラリー	2,976人
2月8日（金）～3月26日（水）	パリそぞろ歩き	当館主展示室	259人

平成20年度

期間	関連展覧会	会場	参加者数
4月11日(金)～6月15日(日)	遠き道展	当館主展示室	847人
4月11日(金)～6月15日(日)	美術家たちの自然図譜	当館コレクション・ギャラリー	565人
6月20日(金)～9月3日(水)	五味太郎作品展	当館主展示室	3,215人
6月20日(金)～9月3日(水)	色のいろいろ	当館コレクション・ギャラリー	2,628人
9月12日(金)～11月12日(水)	もじ・モジ・文字展	当館主展示室	1,138人
9月12日(金)～11月12日(水)	ミステリアス・ゾーンへの招待	当館コレクション・ギャラリー	1,049人
11月21日(金)～1月21日(水)	フロンティア～道東美術の現在～	当館主展示室	898人
1月30日(金)～3月25日(水)	絵画と写真の交差	当館主展示室	3,226人

他団体への協力

美術の教育普及を図る目的により、講師の派遣など他団体への事業協力を行なった。

平成19年度

日時	事業名	講師	主催者	関連展覧会	聴講者数
7月28日(土)	市民アート・カレッジ	蘭部容子(当館学芸員)	北網圏北見文化センター	ヨーロッパ絵画展	57人

平成20年度

日時	事業名	講師	主催者	関連展覧会	聴講者数
5月29日(土)	地域文化論	鎌田 享(当館学芸課長)	帯広大谷短期大学		31人
2月8日(日)	図書館芸術鑑賞講座	鎌田 享(当館学芸課長)	音更町図書館	絵画と写真の交差	57人

総合学習等への対応

小学校の「総合的な学習の時間」、中学校・高等学校の「職場体験学習」など、学校授業の受け入れを行った。

平成20年度

日時	事業名	学校名	人数
9月2日(水)	総合学習	釧路市立清明小学校	6人
9月3日(木)、 9月4日(金)	職場体験学習	北海道大樹高等学校	1人
9月4日(金)、 9月5日(土)	職場体験学習	帯広市立南町中学校	2人
10月16日(水)	職場研修	北海道帯広三条高等学校	5人
11月12日(水)	職場体験学習	音更町立下音更中学校	2人

美術作品の収集

平成19年度 作品収集状況

区 分	前 年 度 末 作品収蔵数		平成19年度収集数				作 品 総 数		受 託 作 品		
			購 入	受 贈	委託制作	計			前年度末	平成19年度	計
油 彩	67	(10.0%)	0	0	0	0	67	(10.0%)	30	2	32
日 本 画	8	(1.2%)	0	0	0	0	8	(1.2%)	1	0	1
水 彩・素 描	32	(4.8%)	0	0	0	0	32	(4.8%)	10	0	10
版 画	267	(39.9%)	0	0	0	0	267	(39.9%)	1	0	1
彫 塑	13	(1.9%)	0	0	0	0	13	(1.9%)	2	0	2
工 芸	1	(0.1%)	0	0	0	0	1	(0.1%)	0	0	0
デ ザ イ ン	239	(35.7%)	0	0	0	0	239	(35.7%)	0	0	0
写 真	42	(6.3%)	0	0	0	0	42	(6.3%)	0	0	0
合 計	669	(100%)	0	0	0	0	669	(100%)	44	2	46

受託

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	寄託者
2007K001	油彩	近藤みどり	慰する旅人 I	2004(平成16)	油彩・キャンバス	182.0×227.5	近藤みどり氏
2007K002	油彩	梅田マサノリ	compensation of balance #6	1995(平成7)	アクリル絵具、石膏・キャンバス	90.8×99.8	梅田マサノリ氏

平成20年度 作品収集状況

区 分	前年度末 作品収蔵数		平成20年度収集数				作 品 総 数		受 託 作 品		
			購 入	受 贈	委託制作	計			前年度末	平成20年度	計
油 彩	67	(10.0%)	0	0	0	0	67	(9.8%)	32	0	32
日 本 画	8	(1.2%)	0	0	0	0	8	(1.2%)	1	0	1
水 彩・素 描	32	(4.8%)	0	0	0	0	32	(4.7%)	10	0	10
版 画	267	(39.9%)	0	0	0	0	267	(39.2%)	1	0	1
彫 塑	13	(1.9%)	0	0	0	0	13	(1.9%)	2	0	2
工 芸	1	(0.1%)	0	0	0	0	1	(0.1%)	0	0	0
デ ザ イ ン	239	(35.7%)	0	12	0	12	251	(36.9%)	0	0	0
写 真	42	(6.3%)	0	0	0	0	42	(6.2%)	0	0	0
合 計	669	(100%)	0	12	0	12	681	(100%)	46	0	46

受贈

作品番号	分野	作家名	作品名	制作年	技法・材質	寸法(cm)	寄贈者
2008001	デザイン	梅津恒見	WELCOME 北海道	1985(昭和60)	シルクスクリーン・紙	105.1×74.9	梅津敍美氏
2008002	デザイン	梅津恒見	WELCOME 北海道	1985(昭和60)	シルクスクリーン・紙	102.8×72.7	梅津敍美氏
2008003	デザイン	梅津恒見	FLETCHER HOKKAIDO PROGRAM 85	1985(昭和60)	オフセット・紙	102.8×72.7	梅津敍美氏
2008004	デザイン	梅津恒見	札幌芸術の森 オープン	1986(昭和61)	オフセット・紙	102.8×72.8	梅津敍美氏
2008005	デザイン	梅津恒見	PEACE まあるい地球。平和な地球。	1987(昭和62)	シルクスクリーン・紙	104.2×74.2	梅津敍美氏
2008006	デザイン	梅津恒見	地球、水の精。	1989(平成元)	シルクスクリーン・紙	103.0×72.9	梅津敍美氏
2008007	デザイン	梅津恒見	PEACE まあるい地球。平和な地球。	1989(平成元)	シルクスクリーン・紙	103.0×72.6	梅津敍美氏
2008008	デザイン	梅津恒見	PEACE まあるい地球。平和な地球。	1990(平成2)	シルクスクリーン・紙	103.0×72.8	梅津敍美氏
2008009	デザイン	梅津恒見	広島・長崎 被爆五十周年	1995(平成7)	シルクスクリーン・紙	103.0×72.9	梅津敍美氏
2008010	デザイン	梅津恒見	北のデザインD+	1999(平成11)	オフセット、サインペン・紙	103.0×72.8	梅津敍美氏
2008011	デザイン	梅津恒見	北海道を組む。四季を編む。	2000(平成12)	インクジェットプリント・紙	102.9×72.4	梅津敍美氏
2008012	デザイン	梅津恒見	北海道を組む。四季を編む。	2000(平成12)	インクジェットプリント・紙	102.9×72.4	梅津敍美氏

図版目録

凡 例

1. この目録には、平成19年4月1日から平成21年3月31日までに北海道立帯広美術館に収蔵された作品を収録した。
2. 各作品は材質・形状により、次の分野に分類した。
 1. 油 彩
 2. デザイン
3. 各分野ごとに作品は国内作品、国外作品の順にまとめ、国内作家は姓の50音順、国外作品は作家の姓のアルファベット順に配列した。同一作家の作品が各分野に2点以上ある場合は制作年順に配列した。
4. 各作品のデータ記載事項と順序は次のとおりである。

作家名、作家名欧文、生没年、作品名、作品名欧文、制作年、技法・材質、寸法、初出展覧会(開催年／会場／受賞等)、収集年度・所蔵の経緯、作品番号(収集区分)
5. データ記載事項のうち、不詳のものは表記を省略した。
6. 寸法はセンチメートルを単位とし、平面作品には縦×横、レリーフ状の作品には縦×横×奥行、立体作品には幅×奥行×高さを示した。また、組作品のなかには、主要な1点を選択し、その寸法を記載したものがある。
7. 収集区分は、次の3つの収集方針に基づいて分類した。
 1. 道東の美術：十勝・釧路・根室・網走の北海道東部4地域にゆかりの作家・作品と関連する作品
 2. プリントアート：近現代を主とし国内外の版画やポスターを中心とした作品
 3. 西洋の美術：バルビゾン派をはじめ田園風景・農村風俗を主題とした作品
8. 収集区分の記載にあたり、複数の区分を併記したものがある。

油 彩

梅田マサノリ
UMEDA Masanori
1958(昭和33)～

compensation of balance #6

1995(平成7)
アクリル絵具、石膏、キャンバス
90.8×99.8
第6回リキテックス・ビエンナーレ(1997/青山スパイ
ラルガーデンほか/奨励賞)
平成19年度・梅田マサノリ氏寄託
2007K002(道東の美術)



近藤みどり
KONDO Midori
1946(昭和21)～

慰する旅人 I Comforting Wayfarer I

2004(平成16)
油彩、キャンバス
182.0×227.5
第59回行動展(2004/東京都美術館/奨励賞・会友推挙)
平成19年度・近藤みどり氏寄託
2007K001(道東の美術)



デザイン

梅津恒見
UMETSU Tsunemi
1936(昭和11)～2007(平成19)

WELCOME 北海道

Welcome to Hokkaido

1985(昭和60)
シルクスクリーン、紙
105.1×74.9
北からのメッセージ「はまなす国体」グラフィック'85展(1985)
平成20年度・梅津鋭美氏寄贈
2008001(プリントアート)



梅津恒見
UMETSU Tsunemi
1936(昭和11)～2007(平成19)

WELCOME 北海道

Welcome to Hokkaido

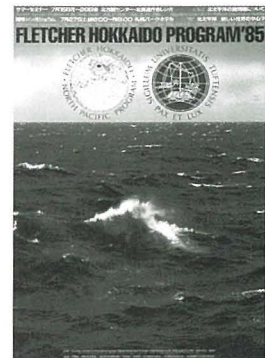
1985(昭和60)
シルクスクリーン、紙
102.8×72.7
北からのメッセージ「はまなす国体」グラフィック'85展(1985)
平成20年度・梅津鋭美氏寄贈
2008002(プリントアート)



梅津恒見
UMETSU Tsunemi
1936(昭和11)～2007(平成19)

FLETCHER HOKKAIDO PROGRAM '85

1985(昭和60)
オフセット、紙
102.8×72.7
平成20年度・梅津鋭美氏寄贈
2008003(プリントアート)



梅津恒見
UMETSU Tsunemi
1936(昭和11)～2007(平成19)

札幌芸術の森 オープン

Sapporo Art Park

1986(昭和61)
オフセット、紙
102.8×72.8
平成20年度・梅津鋭美氏寄贈
2008004(プリントアート)

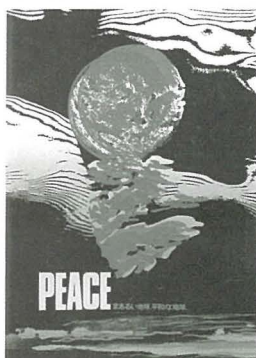


梅津恒見
UMETSU Tsunemi
1936(昭和11)～2007(平成19)

PEACE まあるい地球。平和な地球。

Peace: The Globular Earth, the Peaceful Earth

1987(昭和62)
シルクスクリーン、紙
104.2×74.2
JAGDA 平和ポスター展1987(1987)
平成20年度・梅津鋭美氏寄贈
2008005(プリントアート)

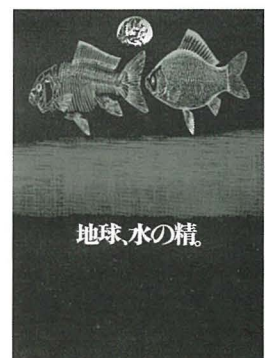


梅津恒見
UMETSU Tsunemi
1936(昭和11)～2007(平成19)

地球、水の精。

The Earth Has Spirits in Water

1989(平成元)
シルクスクリーン、紙
103.0×72.9
JAGDA ポスター展「WATER」(1989)
平成20年度・梅津鋭美氏寄贈
2008006(プリントアート)



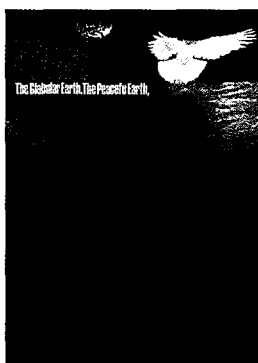
梅津恒見
UMETSU Tsunemi
1936(昭和11)～2007(平成19)

PEACE まあるい地球。平和な地球。
Peace: The Globular Earth, the Peaceful Earth
1989(平成元)
シルクスクリーン、紙
1030×726
JAGDA 平和ポスター展1989(1989)
平成20年度・梅津毅美氏寄贈
2008007(プリントアート)



梅津恒見
UMETSU Tsunemi
1936(昭和11)～2007(平成19)

PEACE まあるい地球。平和な地球。
Peace: The Globular Earth, the Peaceful Earth
1990(平成2)
シルクスクリーン、紙
1030×728
JAGDA 平和ポスター展1990(1990)
平成20年度・梅津毅美氏寄贈
2008008(プリントアート)



梅津恒見
UMETSU Tsunemi
1936(昭和11)～2007(平成19)

広島・長崎 被爆五十周年
Hiroshima-Nagasaki 50
1995(平成7)
シルクスクリーン、紙
1030×729
JAGDA 平和と環境のポスター展「HIROSHIMA-NAGASAKI 50」
(1995/平和記念資料館東館、広島市)
平成20年度・梅津毅美氏寄贈
2008009(プリントアート)



梅津恒見
UMETSU Tsunemi
1936(昭和11)～2007(平成19)

北のデザインD+
The Design Exhibition of Hokkaido
1999(平成11)
オフセット、サインペン、紙
1030×728
平成20年度・梅津毅美氏寄贈
2008010(プリントアート)



梅津恒見
UMETSU Tsunemi
1936(昭和11)～2007(平成19)

北海道を組む。四季を編む。
Braid the Hokkaido, Braid the Four Seasons
2000(平成12)
インクジェットプリント、紙
1029×724
JAGDA 北海道央地区 We Love Hokkaido ポスター展
2000(2000)
平成20年度・梅津毅美氏寄贈
2008011(プリントアート)



梅津恒見
UMETSU Tsunemi
1936(昭和11)～2007(平成19)

北海道を組む。四季を編む。
Braid the Hokkaido, Braid the Four Seasons
2000(平成12)
インクジェットプリント、紙
1029×724
JAGDA 北海道央地区 We Love Hokkaido ポスター展
2000(2000)
平成20年度・梅津毅美氏寄贈
2008012(プリントアート)



美術作品の貸出

平成19年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	目的
油彩	ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ	埼玉県立近代美術館ほか	平成19年10月10日	「田園讃歌—近代絵画に見る自然と人間」展出品(埼玉県立近代美術館、北九州市立美術館、ひろしま美術館、山梨県立美術館)
油彩	シャルル＝エミール・ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ		平成20年6月6日	
版画	ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	ひざまずくマグダラのマリア	奥田元宋・小由女美術館ほか	平成20年3月4日	「フランス近代絵画のながれ バルビゾンから印象派へ」展出品 (奥田元宋・小由女美術館、福島県立美術館、ハウステンボス美術館、秋田市立千秋美術館)
版画	ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	イタリアの思い出		平成20年10月26日	
版画	ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー	植林された平野			
版画	作者不詳	コローの肖像			
版画	ポール・ユエ	フォンテーヌブロー付近			
版画	ジュール・デュプレ	ソローニュの風車			
版画	ジュール・デュプレ	ノルマンディー地方の風景			
版画	ジュール・デュプレ	イギリス風景			
版画	ジュール・デュプレ	アランソン風景			
版画	テオドール・ルソー	ピオーのサクランボの木			
版画	テオドール・ルソー	ピオーの平原			
版画	テオドール・ルソー	堰の木と岩			
版画	シャルル＝エミール・ジャック	蹄鉄場			
版画	シャルル＝エミール・ジャック	オランダ牛			
版画	シャルル＝エミール・ジャック	雄鳥と雌鳥			
版画	シャルル＝エミール・ジャック	水飲み場			
版画	シャルル＝エミール・ジャック	豚飼いの少年			
版画	ジャン＝フランソワ・ミレー	裁縫する女			
版画	ジャン＝フランソワ・ミレー	落穂ひろい			
版画	ジャン＝フランソワ・ミレー	耕す人			
版画	シャルル＝フランソワ・ドービニー	レバノンの西洋杉			
版画	シャルル＝フランソワ・ドービニー	羊の柵囲い			
版画	シャルル＝フランソワ・ドービニー	オーヴェールのりんごの木			
版画	シャルル＝フランソワ・ドービニー	ヴィレルヴィル海岸			
版画	作者不詳	ドービニーの肖像			
版画	アドルフ・アピアン	リックスの周辺			
版画	アドルフ・アピアン	ロメ谷			
版画	アドルフ・アピアン	マントン近郊			
版画	アドルフ・アピアン	リヨン周辺			
版画	ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ			
版画	レオンス・シャブリ	アレスの道(ジロンド)			
素描	オーギュスト・アロンジェ	池の水門			
油彩	檜原武正	子供	神田日勝記念美術館	平成19年11月1日	「絵の具だ！バンザイ！」展 出品(神田日勝記念美術館)
油彩	福井正治	サーカスの祭り		平成19年12月15日	

平成20年度

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	目的
油彩	神田日勝	瘦馬	神田日勝記念美術館	平成20年7月2日	「神田日勝の世界」展出品 (神田日勝記念美術館)
油彩	神田日勝	画室 E		平成20年8月27日	
版画	ジェームズ・ローゼンクイスト	《水の惑星によくこそ》 頭蓋のスナップ、ステート I	北海道立函館美術館	平成20年11月14日	「文字とアートの素敵な関係」 展出品 (北海道立函館美術館)
版画	島 州一	新聞紙に新聞紙		平成22年10月30日	
版画	島 州一	新聞紙に泥のプリント			
版画	一原有徳	タガネ 9			
版画	矢柳 剛	飛んだ鉛筆 まどの氷			
版画	矢柳 剛	飛んだ鉛筆 にじ			
版画	矢柳 剛	飛んだ鉛筆 星			

分野	作家名	作品名	貸出先	貸出期間	目的
版画	矢柳 剛	飛んだ鉛筆 青い空のような花			
版画	矢柳 剛	飛んだ鉛筆 ふた			
版画	矢柳 剛	飛んだ鉛筆 バレンタインデー			
版画	矢柳 剛	飛んだ鉛筆 おとうさんのちんこ			
版画	矢柳 剛	飛んだ鉛筆 飛んだ鉛筆			
版画	横尾忠則	ブルー・ワンダーランド			
版画	太田三郎	Seed Project マメグンバイナズナ 1992年8月6日香川県小豆島寒霞溪			
版画	太田三郎	Seed Project ナナカマド 1992年12月30日北海道小樽市幸			
版画	太田三郎	Seed Project クジャクソウ 1993年6月4日東京都中央区築地			
版画	太田三郎	Seed Project イヌムギ 1993年6月12日東京都練馬区北町			
版画	太田三郎	Seed Project ヤマノイモ 1993年11月3日東京都練馬区北町			
版画	太田三郎	Seed Project センダングサ 1993年12月11日東京都練馬区高松			
版画	太田三郎	Seed Project シロバナタンポポ 1994年4月24日岡山県津山市北園町			
版画	太田三郎	Seed Project チカラシバ 1994年10月14日岡山県津山市山北			
版画	太田三郎	Seed Project ツワブキ 1995年1月3日岡山県津山市北園町			
版画	太田三郎	Seed Project ヘリクリサム 1995年7月26日山形県山形市霞城公園			
版画	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	ひざまずくマグダラのマリア	札幌芸術の森美術館ほか	平成21年3月29日	「絵画と写真の交差」展出品 (札幌芸術の森美術館、ひろしま美術館、松本市美術館、名古屋市美術館)
版画	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	イタリアの思い出	*	平成22年1月9日	
版画	ジャン＝パティスト＝カミーユ・コロ	植林された平野			
油彩	コンスタン・トロワイヨン	牛のいる風景			*印は札幌芸術の森美術館のみへの貸出、5/27まで。
油彩	ジュール・デュブレ	ベリー地方の農家			
版画	ジュール・デュブレ	ノルマンディー地方の風景	*		
版画	ジュール・デュブレ	イギリス風景			
版画	テオドール・ルソー	ビオーのサクランボの木	*		
版画	テオドール・ルソー	ビオーの平原			
版画	テオドール・ルソー	樫の木と岩			
油彩	シャルル＝エミール・ジャック	森の中の羊飼いと羊の群れ			
版画	シャルル＝エミール・ジャック	オランダ牛	*		
版画	シャルル＝エミール・ジャック	雄鳥と雌鳥			
版画	ジャン＝フランソワ・ミレー	耕す人	*		
版画	ジャン＝フランソワ・ミレー	落穂ひろい			
版画	ジャン＝フランソワ・ミレー	裁縫する女	*		
版画	シャルル＝フランソワ・ドービニー	羊の柵囲い			
版画	シャルル＝フランソワ・ドービニー	オーヴェールのりんごの木	*		
油彩	アレクサンドル・ドゥフォー	農家の中庭			
油彩	ジャン＝フェルディナン・シェニョー	草原の羊飼いの少女と羊の群れ			
油彩	レオンス・シャブリ	羊の群れを連れ帰る羊飼い			
油彩	レオン・リッシェ	農婦のいる風景			
写真	アルフレッド・ブリッケ	狼溪谷フォンテーヌブローの森	*		
写真	アシーユ・キネ	自然の習作			
写真	アシーユ・キネ	自然の習作	*		
写真	アシーユ・キネ	自然の習作	*		
写真	ウィリアム＝H.ハリソン／メイソン・ツイーム	フォンテーヌブローの森			
写真	シャルル・ファマン	ダニョーの沼	*		
写真	シャルル・ファマン	〈沼地〉			
写真	シャルル・ファマン	〈羊の群れ〉			
写真	ジェグレール	〈自然の習作〉	*		
写真	A.トーバン	〈自然の習作〉			
油彩	ギュスターヴ・クールベ	釣り人のいる風景			

特別観覧

平成19年度

内 訳	撮 影						複 写	熟 覧	原版使用	その他	合 計
	研 究	展 示	出 版	放 送	上 映	その他 (ネット配信等)					
件 数	0	0	0	2	0	0	0	0	6	0	8

平成20年度

内 訳	撮 影						複 写	熟 覧	原版使用	その他	合 計
	研 究	展 示	出 版	放 送	上 映	その他 (ネット配信等)					
件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6

貸館事業

平成19年度

◇講 堂

期日	事業内容	実施団体	利用者数
10月30日(火)	美術講演会	浅野修展実行委員会	130人

◇主展示室

会期	展覧会名	実施団体	利用者数
10月26日(金)～ 11月14日(水)	浅野修展	浅野修展実行委員会	2,488人

平成20年度

◇講 堂

期日	事業内容	実施団体	利用者数
8月2日(土)	大きな波を起こそう WAVE in おびひろ	こどもの本 WAVE	217人
9月21日(日)	映蔵庫上映会×帯広	映蔵庫	48人
3月20日(金)～ 3月25日(水)*	[芸術家と過ごす街プロジェクト：ミュージアム編] とかちのアーティストと一緒に帯広美術館で遊ぼう！	田園都市のコンテンポラリーアート展覧会事務局	172人
* 3月23日(月)を除く			

◇主展示室

期日	事業内容	実施団体	利用者数
3月9日(月)	第5回十勝ふゆ音楽祭 「土田英順チェロ・コンサート」	十勝ふゆ音楽祭実行委員会	141人



名 簿

北海道立帯広美術館協議会委員名簿(平成21年3月31日現在)

役職名	氏 名	現 職
会 長	平間 育子	釧路市女性団体協議会会長
副会長	岡庭 義行	帯広大谷短期大学准教授
委 員	横山 一男	清水町教育委員会教育長(十勝管内教育委員会連絡協議会教育長部会長)
委 員	辻 敦郎	帯広市立南町中学校長(帯広市校長会理事)
委 員	井口 五子	中標津町更生保護女性会会長
委 員	阿部 玲子	帯広市婦人団体連絡協議会理事
委 員	小笠原洋子	帯広美術館ボランティアしらかばの会会長
委 員	橋枝 篤志	帯広商工会議所常務理事
委 員	齊藤 隆博	平原社美術協会会員
委 員	海老江美紗世	北見市国際交流ボランティア
委 員	小野山敬一	(公募委員)
委 員	市川 静子	(公募委員)

※委員の任期は平成19年6月27日から平成21年6月26日まで

北海道立帯広美術館職員名簿

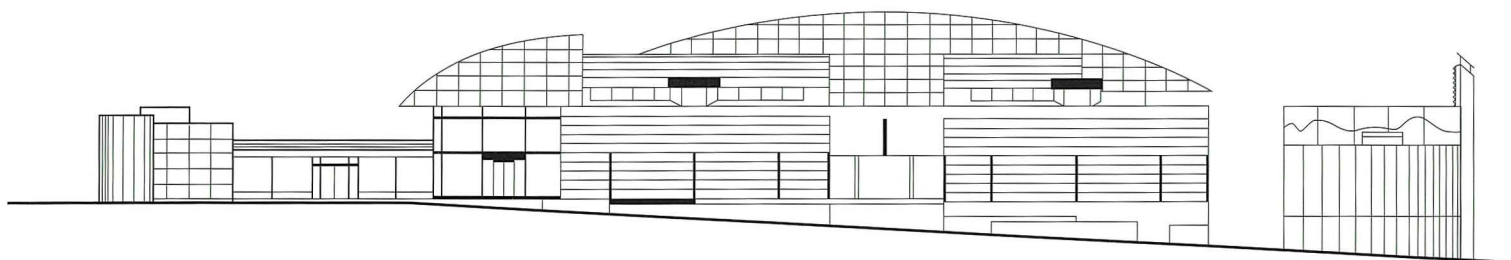
平成19年度(平成20年3月31日現在)

役職名	氏 名	発令年月日
館長(非常勤)	吉井 亮	平成19年 6 月 1 日
副館長	橋詰 博文	平成18年 4 月 1 日
総務課長	木下 陽一	平成19年 4 月 1 日
主査	岩上 拓史	平成19年 4 月 1 日
主任	藤原 充	平成19年 6 月 1 日
学芸課長	苫名 真	平成16年 4 月 1 日
主任学芸員	平 利弘	平成14年 4 月 1 日
学芸員	藺部 容子	平成18年 4 月 1 日
主事(非常勤)	菊池 美雪	平成 7 年 4 月 1 日
主事(非常勤)	冷水 聖子	平成 8 年 4 月 1 日
主事(非常勤)	伊藤 昭子	平成 9 年 9 月 1 日
主事(非常勤)	高田 佳子	平成 9 年11月 1 日
主事(非常勤)	山川 千里	平成14年 3 月 1 日
主事(非常勤)	中村 桂子	平成17年 4 月 1 日

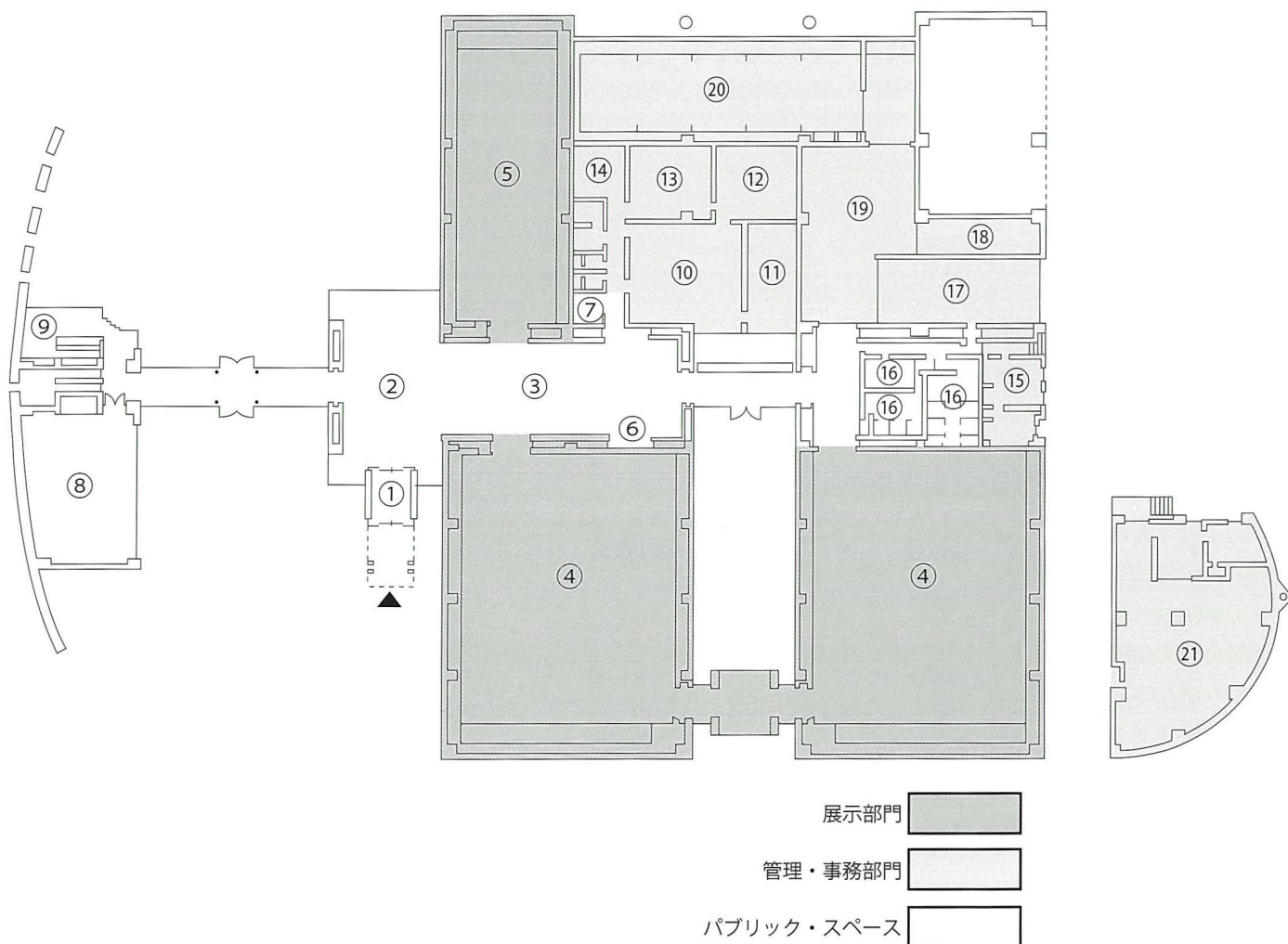
平成20年度(平成21年3月31日現在)

役職名	氏 名	発令年月日
館長(非常勤)	吉井 亮	平成19年 6 月 1 日
副館長兼総務課長	橋詰 博文	平成18年 4 月 1 日
主査	岩上 拓史	平成19年 4 月 1 日
主任	藤原 充	平成19年 6 月 1 日
学芸課長	鎌田 享	平成20年 4 月 1 日
主任学芸員	平 利弘	平成14年 4 月 1 日
学芸員	藺部 容子	平成18年 4 月 1 日
主事(非常勤)	菊池 美雪	平成 7 年 4 月 1 日
主事(非常勤)	冷水 聖子	平成 8 年 4 月 1 日
主事(非常勤)	伊藤 昭子	平成 9 年 9 月 1 日
主事(非常勤)	高田 佳子	平成 9 年11月 1 日
主事(非常勤)	山川 千里	平成14年 3 月 1 日
主事(非常勤)	中村 桂子	平成17年 4 月 1 日

館内案内図



①風除室	12.1 m ²	⑫資料室	36.0 m ²
②ロビー	123.1 m ²	⑬会議室	35.7 m ²
③ホール	209.9 m ²	⑭準備室	14.7 m ²
④主展示室	841.9 m ²	⑮管理室	30.2 m ²
⑤コレクション・ギャラリー	209.5 m ²	⑯トイレ	56.5 m ²
⑥ミュージアム・ショップ		⑰搬入口	57.8 m ²
⑦授乳コーナー	5.3 m ²	⑱展示器具庫	26.9 m ²
⑧講堂	98.4 m ²	⑲荷解室	100.6 m ²
⑨ティー・ラウンジ	36.7 m ²	⑳収蔵庫	218.2 m ²
⑩事務室	72.3 m ²	㉑機械室	165.7 m ²
⑪館長室	32.9 m ²	廊下	115.5 m ²
		床面積	2,499.9 m ²



建築概要

●位 置	帯広市緑ヶ丘2番地1
●構 想 設 計	アトリエアク(公開設計競技最優秀)
●基 本 設 計	アトリエアク・太洋共同企業体
●実 施 設 計	アク・日本設計・谷津共同企業体
●工事施工者	
建 設	宮坂・萩原・曽根・市川・大道共同企業体(1、2期)
電気設備	相互電業(株)(1期)
空気調和衛生設備	森設備工業(株)(1期)
電力設備	相互・柴野・誠和・テーエス・長島共同企業体(2期)
通信設備	北口・アサヒ・振興・扶桑・樋口共同企業体(2期)
衛生設備	フジ・梶山・中林共同企業体(2期)
空気調和設備	森・三洋・勝平・道東・浅岡共同企業体(2期)
●総 工 事 費	約13億4千700万円
●工 期	起工 平成元年10月9日 竣工 平成3年3月25日
●敷 地 面 積	7,000㎡
●建 物 面 積	建面積 2,499.99㎡ 延面積 3,521.60㎡
●構 造 概 要	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)
●仕 上	
[外 装]	
外 壁	大理石(ライムストーン) コンクリート打放し小叩仕上 アルミパネル
屋 根	アルミ亜鉛メッキ銅板葺
屋 上	露出アスファルト防水トップコート仕上
[内 装]	
ロビーホール床	テラゾーブロック
主展示室床	フローリング
常設展示室床	タイルカーペット
ロビーホール壁	大理石(ライムストーン) 合成樹脂系軽量骨材吹付
展 示 室 壁	石膏ボード 一部ラワンベニア下地クロス EP 仕上
ロビーホール天井	合成樹脂系軽量鉄骨材吹付
展示室天井	岩綿吸収板 EP 仕上

設備概要

●電 気 設 備	
受変電設備	受電電圧 6.6KV 変圧器容量 450KVA
非常電源設備	ディーゼル機関123PS 3,000RPH 発電機 98KVA 3相 200V
動 力 設 備	防災用動力 排煙機 11KW × 3 消化ポンプ5.5KW × 1
電 灯 設 備	展示室 壁面照明 退色防止蛍光灯(調光式) ロビー 間接照明 蛍光灯 講 堂 ワイヤメッシュ天井内埋込蛍光灯 電子ボタン電話
電 話 設 備	防災一般兼用アンプ160W
放 送 設 備	OCTV(帯広ケーブルTV)による共聴
テレビ共聴設備	P1級受信機
火災報知設備	上降式ビデオプロジェクター 1 式
視聴覚設備	音声・映像ラック 1 式 映写設備(16mmフィルム、35mmスライド) 1 式
●機 械 設 備	
空気調和設備	設定温湿度 常設展示室、主展示室 夏 24℃(21~25℃) 55%(50~60%) 冬 23℃(21~24℃) 50%(45~55%) 収蔵庫、展示ケース 年間22℃(20~24℃) 55%(40~60%) *()内は可変調整範囲、設定精度は温度±1℃ 湿度±3%
熱源機器	空冷チリングユニット 冷却能力 240,000Kcal/H 吸収式冷温水発生機 冷却能力 100USRT 暖房能力 253,000Kcal/H 温 水 機 暖房能力 500,000Kcal/H
空気調和機	主展示室 2 系統 常設展示室、荷解室 1 系統 展示ケース 1 系統 収蔵庫 1 系統 ロビー、ホール 1 系統 管理諸室 1 系統
衛生設備	給水設備 市水道使用 排水設備 市下水道放流 給湯設備 電気温水機 消火設備 屋内消火栓設備、ハロン消火設備



沿革

昭和62年 7 月	道東地域道立地方美術館設置調査費計上
昭和63年 2 月	帯広市への道立地方美術館設置を決定
昭和63年 4 月	北海道立帯広美術館設置基本構想策定
昭和63年 5 月	北海道立帯広美術館構想設計競技実施
昭和63年10月	北海道立帯広美術館構想設計競技入選作品決定
平成元年 3 月	北海道立帯広美術館基本設計完了
平成元年 8 月	北海道立帯広美術館実施設計完了
平成元年10月	北海道立帯広美術館建設工事着工
平成 3 年 3 月	北海道立帯広美術館建設工事竣工
平成 3 年 4 月	北海道立美術館条例の一部改正により、北海道立帯広美術館設置 北海道立帯広美術館職員を発令、組織発足 初代館長 室田浩志発令
平成 3 年 9 月	北海道立帯広美術館落成、開館記念式、屋外彫刻除幕(平成 3 年 9 月 21 日) 一般公開(平成 3 年 9 月 22 日)
平成 4 年 5 月	日本建築学会北海道支部第17回北海道建築賞受賞(平成 4 年 5 月 21 日授賞式)
平成 4 年 6 月	照明学会照明普及賞受賞(平成 4 年 6 月 18 日授賞式)
平成 4 年12月	第 9 回帯広市都市景観賞受賞(建物)(平成 4 年12月 4 日授賞式)
平成 6 年 4 月	第 2 代館長 阿部皎発令
平成 7 年12月	公共建築賞北海道優秀賞受賞(平成 7 年12月 7 日授賞式)
平成 8 年 6 月	入館者50万人達成(平成 8 年 6 月11日)
平成 9 年 1 月	開館 5 周年記念式(平成 9 年 1 月17日)
平成 9 年 4 月	第 3 代館長 長谷川吉廣発令
平成11年 7 月	第 4 代館長 上原脩平発令
平成13年 1 月	入館者80万人達成(平成13年 1 月 7 日)
平成13年 4 月	第 5 代館長 小野寺浩発令
平成13年10月	開館10周年記念式(平成13年10月31日)
平成16年 9 月	入館者100万人達成(平成16年9月26日)
平成19年 1 月	開館15周年記念展開催
平成19年 6 月	第 6 代館長 吉井亮発令

観覧者数一覧

平成19年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A = E + F (1日あたり)	個 人				団 体 / 前 売 / リピーター				共 通 券			有料入館者計 E = B + C + D (/ A)	無料招待免除 F (/ A)
				一 般 (/ B)	高大生 (/ B)	小中生 (/ B)	計 B (/ A)	一 般 (/ C)	高大生 (/ C)	小中生 (/ C)	計 C (/ A)	一 般 (/ D)	高大生 (/ D)	計 D (/ A)		
コレクション・ギャラリー		4月20日 3月26日 (254日)	21,391人 (84人)	1,339人 (97%)	36人 (3%)		1,375人 (6%)	449人 (91%)	43人 (9%)		492人 (2%)	4,775人 (94%)	300人 (6%)	5,075人 (24%)	6,942人 (32%)	14,449人 (68%)
特 別 展	開館15周年記念展	4月1日 4月11日 (9日)	840人 (93人)	170人 (91%)	17人 (9%)		187人 (22%)	15人 (100%)	0人 (0%)		15人 (2%)				202人 (24%)	638人 (76%)
	ヨーロッパ絵画展	4月20日 6月6日 (41日)	5,078人 (123人)	1,545人 (95%)	72人 (4%)	4人 (1%)	1,621人 (32%)	228人 (45%)	7人 (1%)	276人 (54%)	511人 (10%)	1,017人 (96%)	44人 (4%)	1,061人 (21%)	3,193人 (63%)	1,885人 (37%)
	美しさへの挑戦	6月15日 8月1日 (41日)	6,659人 (162人)	2,118人 (97%)	64人 (3%)	0人 (0%)	2,182人 (33%)	922人 (77%)	108人 (9%)	168人 (14%)	1,198人 (18%)	829人 (97%)	22人 (3%)	851人 (13%)	4,231人 (64%)	2,428人 (36%)
	北の風土と四季の彩り	8月10日 10月17日 (59日)	9,127人 (154人)	645人 (96%)	26人 (4%)		671人 (7%)	3,229人 (99%)	4人 (1%)		3,233人 (35%)	830人 (94%)	49人 (6%)	879人 (10%)	4,783人 (52%)	4,344人 (48%)
	オランダ絵本作家展	11月22日 1月30日 (55日)	12,162人 (221人)	1,569人 (93%)	88人 (5%)	30人 (2%)	1,687人 (14%)	1,884人 (82%)	31人 (1%)	387人 (17%)	2,302人 (19%)	1,907人 (96%)	83人 (4%)	1,990人 (16%)	5,979人 (49%)	6,183人 (51%)
	パリそぞろ歩き	2月8日 3月26日 (41日)	2,393人 (58人)	458人 (92%)	39人 (8%)		497人 (21%)	94人 (96%)	4人 (4%)		98人 (4%)	466人 (90%)	52人 (10%)	518人 (22%)	1,113人 (47%)	1,280人 (53%)
	計	6回 (246日)	36,259人 (147人)	6,505人 (95%)	306人 (4%)	34人 (1%)	6,845人 (19%)	6,372人 (87%)	154人 (2%)	831人 (11%)	7,357人 (20%)	5,049人 (95%)	250人 (5%)	5,299人 (14%)	19,501人 (54%)	16,758人 (46%)
計 (コレクション・ギャラリー+特別展)		7回 (500日)	57,650人 (115人)	7,844人 (95%)	342人 (4%)	34人 (1%)	8,220人 (14%)	6,821人 (87%)	197人 (3%)	831人 (10%)	7,849人 (14%)	9,824人 (95%)	550人 (5%)	10,374人 (18%)	26,443人 (46%)	31,207人 (54%)
貸 館	浅野修展 虚と実	10月27日 11月14日 (17日)	2,488人 (146人)	509人 (98%)	9人 (2%)		518人 (21%)	768人 (98%)	13人 (2%)		781人 (31%)				1,299人 (52%)	1,189人 (48%)
合 計		8回 (517日)	60,138人 (116人)	8,353人 (95%)	351人 (4%)	34人 (1%)	8,738人 (15%)	7,589人 (88%)	210人 (2%)	831人 (10%)	8,630人 (14%)	9,824人 (95%)	550人 (5%)	10,374人 (17%)	27,742人 (46%)	32,396人 (54%)

平成20年度

展 覧 会 名		会 期 (開催日数)	観覧者数 A = E + F (1日あたり)	個 人				団 体 / 前 売 / リピーター				共 通 券			有料入館者計 E = B + C + D (/A)	無料招待免除 F (/A)
				一 般 (/B)	高大生 (/B)	小中生 (/B)	計 B (/A)	一 般 (/C)	高大生 (/C)	小中生 (/C)	計 C (/A)	一 般 (/D)	高大生 (/D)	計 D (/A)		
コレクション・ギャラリー		4月11日 ～ 3月25日 (271日)	20,989人 (78人)	1,429人 (96%)	54人 (4%)		1,483人 (7%)	254人 (83%)	51人 (17%)		305人 (2%)	3,524人 (94%)	212人 (6%)	3,736人 (18%)	5,524人 (26%)	15,465人 (74%)
特 別 展	遠き道展	4月11日 ～ 6月15日 (54日)	4,345人 (80人)	715人 (96%)	30人 (4%)	0人 (0%)	745人 (17%)	375人 (57%)	50人 (8%)	231人 (35%)	656人 (15%)	812人 (95%)	39人 (5%)	851人 (20%)	2,252人 (52%)	2,093人 (48%)
	五味太郎作品展 [絵本の時間]	6月20日 ～ 9月3日 (65日)	14,885人 (229人)	3,919人 (93%)	152人 (4%)	110人 (3%)	4,181人 (28%)	1,334人 (65%)	20人 (1%)	697人 (34%)	2,051人 (14%)	1,567人 (94%)	97人 (6%)	1,664人 (11%)	7,896人 (53%)	6,989人 (47%)
	もじ・モジ・文字展	9月12日 ～ 11月12日 (54日)	3,890人 (72人)	548人 (95%)	31人 (5%)		579人 (15%)	96人 (96%)	4人 (4%)		100人 (3%)	473人 (93%)	35人 (7%)	508人 (13%)	1,187人 (31%)	2,703人 (69%)
	フロンティア ～道東美術の現在～	11月21日 ～ 1月21日 (48日)	2,532人 (52人)	228人 (97%)	7人 (3%)		235人 (9%)	90人 (99%)	1人 (1%)		91人 (4%)	414人 (96%)	16人 (4%)	430人 (17%)	756人 (30%)	1,776人 (70%)
	絵画と写真の交差	1月30日 ～ 3月25日 (47日)	9,261人 (197人)	2,512人 (95%)	108人 (4%)	17人 (1%)	2,637人 (28%)	2,220人 (85%)	22人 (1%)	364人 (14%)	2,606人 (28%)	598人 (95%)	29人 (5%)	627人 (7%)	5,870人 (63%)	3,391人 (37%)
	計	5 回 (268日)	34,913人 (130人)	7,922人 (95%)	328人 (4%)	127人 (1%)	8,377人 (24%)	4,115人 (75%)	97人 (2%)	1,292人 (23%)	5,504人 (16%)	3,864人 (95%)	216人 (5%)	4,080人 (12%)	17,961人 (51%)	16,952人 (49%)
合 計		6 回 (539日)	55,902人 (104人)	9,351人 (95%)	382人 (4%)	127人 (1%)	9,860人 (18%)	4,369人 (75%)	148人 (3%)	1,292人 (22%)	5,809人 (10%)	7,388人 (95%)	428人 (5%)	7,816人 (14%)	23,485人 (42%)	32,417人 (58%)

平成19－20年度
北海道立帯広美術館年報

発行日 平成22年 1 月29日

発行者 北海道立帯広美術館

〒080-0846

帯広市緑ヶ丘 2 番地

Tel. (0155)22－6963

印刷所 藤田印刷株式会社

© Hokkaido Obihiro Museum of Art 2010

